海外見聞

余美云 管林 辑注

海洋出版社

海　外　见　闻

余美云　管　林　辑注

海　洋　出　版　社

1985年·北　京

内 容 提 要

本书选自我国历代102部海外见闻著述。介绍了海外各地的民情风俗、名胜古迹、自然风貌、神话传说、宗教信仰、日用器物、服饰打扮、珍禽奇兽、特有物产等，充满异国情调，读来饶有兴趣。由于所述内容多是著者亲见亲闻的事情，所以较为真实。许多篇章文笔简洁优美。为了便于青少年阅读，编者对每则文字都加了新式标点，难字、难词及历史典故、历史人物一般都加了注释。

责任编辑：王培德
责任校对：刘兴昌

海外见闻
余美云 管 林 辑注

海洋出版社出版（北京市复兴门外大街1号）
新华书店北京发行所发行 89920部队印刷厂印刷
开本：850×1168 1/32 印张：11 3/4 字数：275千字
1985年7月第一版 1985年7月第一次印刷
印 数：18,700册

统一书号：11193·0454 定价：2.50元

目　　录

几点说明……（1）
一、亚　洲……（1）
1．朝鲜风土……（1）
2．朝鲜人的生活……（2）
3．大袖长裾（二则）……（3）
4．日用器物……（4）
5．油帽……（5）
6．龟船……（5）
7．妇女以首负重……（6）
8．春联……（6）
9．守孝与上坟（二则）……（7）
10．还愿的标志……（7）
11．养老宴……（8）
12．试士有状元而无榜眼……（9）
13．刑罚严酷……（9）
14．官员出门（二则）……（10）
15．箕子遗迹……（11）
16．孔庙……（11）
17．关帝庙……（12）
18．汉城形势……（12）
19．日本开辟神话……（13）
20．徐福的传说……（14）
21．日本风俗……（15）
22．古时民风俭朴……（16）
23．官吏均从大学所出……（17）
24．最恶依赖性……（17）

25. 尚恭敬…… (18)
26. 晋谒友朋，类不久谈…… (18)
27. 公德心…… (18)
28. 守秩序…… (19)
29. 尚净洁…… (19)
30. 小学生放学，列队回家…… (19)
31. 店家司买卖者多女子…… …… (20)
32. 服饰与装扮…… (20)
33. 额上剃发数寸…… (21)
34. 袜有两歧，屐两齿…… (21)
35. 结婚定礼…… (22)
36. 穿黑衣出嫁…… …… (22)
37. 女子已嫁，薙眉黑齿…… (23)
38. 喜园亭，善种植（二则）…… …… …… (24)
39. 茶道…… (25)
40. 功夫茶（二则）…… (26)
41. 尊佛敬祖，轻生无争…… (27)
42. 拜佛…… (27)
43. 以橘蚕为神…… (28)
44. 神庙…… (28)
45. 舞祀…… (29)
46. 赤信女…… (29)
47. 人死后以桶殓之…… (30)
48. 多用火葬…… (30)
49. 僧徒均许食肉娶妻…… (31)
50. 探汤法…… (31)
51. 参观监狱…… (32)
52. 隼人…… (33)
53. 猿乐…… (34)

54. 犬射 …… (35)
55. 正宗刀 …… (35)
56. 樱饭、樱茶、樱饼 …… (36)
57. “鸡锅” …… (37)
58. 菊为皇族徽志 …… (38)
59. 王宫画三代汉唐名臣像 …… (38)
60. 欢度“七夕” …… (39)
61. 教育博物院 …… (39)
62. 长崎之博物院 …… (41)
63. 戏园情状 …… (42)
64. 燃木柴捕鱼 …… (43)
65. 天满宫 …… (43)
66. 丰臣遗迹 …… (44)
67. 源光国之后乐园 …… (44)
68. 富士山（四则） …… (46)
69. 长崎的半月山 …… (49)
70. 琉球概况 …… (49)
71. 琉球一瞥 …… (50)
72. 阿摩美久 …… (50)
73. 那霸风俗 …… (51)
74. 宴客 …… (52)
75. 刺黑点于指上（二则） …… (52)
76. 男女不薙胎发 …… (53)
77. 佳苏鱼 …… (54)
78. 石筍崖 …… (54)
79. 琉球棋子 …… (55)
80. 善兴寺 …… (56)
81. 七星山 …… (56)
82. 佛桑 …… (57)

83. 祭稻神 …… (57)
84. 嫁娶之礼 …… (58)
85. 越南人的生活 …… (58)
86. 生女则喜男则忧 …… (59)
87. 迎神放炮 …… (60)
88. 男女均留全发 …… (60)
89. 越南戏 …… (61)
90. 西贡土人 …… (61)
91. 政弊人疲 …… (62)
92. 占城国（二则） …… (63)
93. 占城的服饰与居室 …… (64)
94. 占城婚俗 …… (65)
95. 昔嚟马哈剌札 …… (66)
96. 鳾鱼潭决狱 …… (66)
97. 三佛齐国 …… (66)
98. 于木筏上盖屋而居 …… (68)
99. 真腊都城风采 …… (68)
100. 真腊的儒、僧、道 …… (69)
101. 真腊国官及官舍府第皆面东 …… (70)
102. 真腊男女皆椎髻袒褐 …… (71)
103. 买“野人”以充役 …… (72)
104. 真腊国的节日 …… (73)
105. 天狱 …… (74)
106. 人死不葬身 …… (74)
107. 半年有雨，半年绝无 …… (75)
108. 取胆 …… (76)
109. 苦热喜浴 …… (76)
110. 国主出行 …… (76)
111. 暹罗国（三则） …… (77)

112. 曼谷的居室……（80）
113. 官民有银，不得私用……（81）
114. 三宝的传说……（81）
115. 概以火燄山为藏骨地……（82）
116. 彭坑风俗尚怪……（83）
117. 缅甸（二则）……（83）
118. 气候多变……（86）
119. 视草之疏密卜鱼之多寡……（86）
120. 四足鸟……（87）
121. 队队虫……（87）
122. 黯身涂体……（88）
123. 竹楼……（88）
124. 交易……（88）
125. 治罪之法……（89）
126. 男子文身，父子别居……（89）
127. 刻弥勒菩萨像……（90）
128. 不养猪鸡，不卖生口……（91）
129. 行像日……（91）
130. 波利城的传说……（92）
131. 无遮大会……（93）
132. 北印度裳衣无定……（93）
133. 人分四流……（94）
134. 步马车象四兵……（94）
135. 刑罚与审案……（95）
136. 致敬的方式……（96）
137. 释种与龙女的传说……（96）
138. 无忧王太子抉目之处……（98）
139. 东女国……（100）
140. 释迦菩萨降生处……（100）

141. 象坠坑的传说…… (100)
142. 箭泉的传说…… (101)
143. 油河的传说…… (101)
144. 施鹿林的传说…… (144)
145. 月中兔的传说…… (145)
146. 千子归宗的传说…… (145)
147. 供大人米…… (104)
148. 印度概况（二则）…… (105)
149. 印度人（二则）…… (106)
150. 孟买见闻…… (108)
151. 洗涤罪恶…… (108)
152. 状师…… (109)
153. 肩舆如柜形…… (109)
154. 大臣巡视与新报馆…… (109)
155. 棉花之种…… (110)
156. 西女国…… (110)
157. 呬摩呾罗国…… (111)
158. 羯盘陀国…… (111)
159. 鼠坟的传说…… (113)
160. 戎地风俗…… (113)
161. 巴南巴西姑娘善歌舞…… (114)
162. 古里国…… (114)
163. 敬象及牛…… (115)
164. 崇佛敬牛…… (116)
165. 荒唐的断狱…… (116)
166. 南尼华罗国…… (117)
167. 师子国…… (117)
168. 僧伽罗国的传说（二则）…… (118)
169. 阇维…… (123)

170. 曼陀蛮国的传说（二则）…… (124)
171. 细兰国…… (125)
172. 锡兰佛迹（二则）…… (125)
173. 锡兰岛酒家女…… (127)
174. 锡兰渡船（二则）…… (128)
175. 锡兰人服饰…… (129)
176. 游格仑坡…… (129)
177. 锡兰岛登佛寺…… (130)
178. 新加坡土人…… (131)
179. 新加坡人服饰…… (131)
180. 内山土人…… (132)
181. 德罗笏…… (132)
182. 新加坡习俗…… (133)
183. 新加坡多虎患…… (134)
184. 海民…… (134)
185. 满剌加国…… (135)
186. 满剌加人的习性…… (135)
187. 通人意的狨…… (136)
188. 火鸡、山凤…… (137)
189. 海鳇…… (137)
190. 海鳚…… (138)
191. 海蜘蛛…… (138)
192. 爪哇国的传说…… (139)
193. 爪哇民性勇悍…… (139)
194. 元将遗踪…… (140)
195. 竹枪会…… (140)
196. 爪哇婚丧之俗（二则）…… (141)
197. 文化娱乐…… (142)
198. 爪哇倒挂鸟…… (142)

199. 麻逸冻……(142)
200. 花面国……(143)
201. 龙涎屿……(143)
202. 翠蓝屿……(144)
203. 柯枝国……(144)
204. 柯枝国人分五等……(144)
205. 瓜亚人……(145)
206. 和兰以计谋侵占葛剌巴……(146)
207. 武乞氏……(147)
208. 火烟山……(148)
209. 三宝洞……(148)
210. 番戏……(149)
211. 暴暴……(149)
212. 西兰……(150)
213. 磁石洋……(150)
214. 竹筏……(150)
215. 浮空竹筏桥……(150)
216. 酋女爱华人……(151)
217. 安门岛……(152)
218. 巧遇故乡人……(153)
219. 无来由绕阿……(154)
220. 吕宋……(155)
221. 苏禄风貌……(155)
222. 敖罕国……(156)
223. 苏都识匿国……(157)
224. 哈烈……(157)
225. 塞蓝……(159)
226. 香气馥郁的礼拜日……(159)
227. 天房……(160)

228. 天方国…… (160)
229. 波斯人…… (161)
230. 谟罕默德…… (161)
231. 阿拉伯人…… (162)
232. 咖啡的由来…… (163)
233. 婚嫁之礼…… (163)
234. 亚腊的传说…… (164)
235. 日路撒冷（二则）…… (164)
236. 耶稣诞生地（二则）…… (167)
237. 耶稣被难处…… (168)
238. 死海…… (169)
239. 亚丁港…… (169)
240. 亚丁…… (170)
241. 独木舟…… (171)
242. 过红海…… (171)
243. 红海景色…… (172)
二、非洲 …… (172)
244. 阿非利加…… (172)
245. 拨拔力国…… (173)
246. 大食弼琵罗国…… (173)
247. 好望角…… (174)
248. 麦哥罗罗…… (174)
249. 桑给巴尔…… (176)
250. 桑给巴尔土人…… (177)
251. 刚高利…… (177)
252. 非洲人的装饰…… (178)
253. 大松林遇盗…… (178)
254. 过沙漠所见…… (180)
255. 杜道玛所见…… (181)

256. 基笪辣酋长…… (181)
257. 以投鞋为卜…… (182)
258. 乌苏古码风土人情…… (183)
259. 加拉贵国王…… (184)
260. 海外桃源…… (185)
261. 途中遇盗…… (186)
262. 马笪勃数国…… (186)
263. 罗大迦风俗…… (188)
264. 大臣见国王礼节…… (189)
265. 男女聘娶之礼…… (189)
266. 居丧人的装饰…… (190)
267. 斩决罪…… (190)
268. 祭河神…… (191)
269. 乌康达农村…… (191)
270. 见乌康达国王…… (192)
271. 以生人祭黑煞神…… (193)
272. 在鸡稍所遇…… (193)
273. 乌高镇集市所见…… (194)
274. 以圆木桶作舟…… (195)
275. 罗雅居民的发式…… (195)
276. 在郎薄所见…… (196)
277. 在马耶妈所见…… (197)
278. 观战…… (197)
279. 以蛤壳代银钱…… (198)
280. 臭木…… (198)
281. 所谓“生尾人”…… (199)
282. 刺臂流血，向空设誓…… (199)
283. 悍戾之风…… (200)
284. 肌肤上俱刺花纹…… (200)

285. 募化之遇 …… (200)
286. 酷信异端 …… (201)
287. 埃及都城改罗 …… (202)
288. 埃及旧京亚力山大城 …… (203)
289. 埃及人生活多似中国 …… (203)
290. 开罗见闻 …… (204)
291. 方塔之游（二则） …… (205)
292. 埃及人 …… (207)
293. 苏尔士见闻 …… (208)
294. 苏尔士运河的修建 …… (209)
295. 埃及回民之丧葬习俗 …… (210)
三、欧洲 …… (211)
296. 英都伦敦（二则） …… (211)
297. 雾伦敦（二则） …… (212)
298. 英都烟火 …… (214)
299. 白金汉宫 …… (215)
300. 伦敦水晶宫（三则） …… (216)
301. 避署胜地——杜拉 …… (218)
302. 苏格兰古王宫 …… (219)
303. 百利替司博物院 …… (220)
304. 根性登博物院 …… (221)
305. 伦敦的天士河 …… (222)
306. 宫廷宴会 …… (223)
307. 茶会与跳舞会 …… (224)
308. 英人的姓氏 …… (225)
309. 女皇庆生辰 …… (226)
310. 伦敦的礼拜堂 …… (226)
311. 在伦敦过圣诞节 …… (228)
312. 耶稣受难日 …… (228)

313. 民谣歌唱宗教斗争 …… (229)
314. 西人的迷信 …… (230)
315. 蜡人馆有林则徐像（二则） …… (230)
316. 英俗太奢 …… (231)
317. 女子衣着讲究时款 …… (232)
318. 男女婚配（二则） …… (233)
319. 祝贺金婚 …… (237)
320. 丧葬的习俗（二则） …… (237)
321. 少妇染成白发 …… (238)
322. 染白发的由来 …… (239)
323. 西人对遗产的处理 …… (239)
324. 拜客有时 …… (240)
325. 以花传语 …… (240)
326. 英人喜畜名犬 …… (241)
327. 西班牙斗牛 …… (241)
328. 戏园舞会 …… (242)
329. 嘉那华会 …… (242)
330. 以所生之日定名 …… (243)
331. 巴黎风光 …… (243)
332. 法国赛马 …… (245)
333. 法国马戏馆 …… (246)
334. 法国的中文专家 …… (247)
335. 圆明园失去之物 …… (247)
336. 看变戏法 …… (248)
337. 西洋魔术 …… (248)
338. 拿破仑遗迹 …… (250)
339. 拿破仑墓 …… (251)
340. 路易十六之故宫 …… (252)
341. 巴黎的游乐场 …… (253)

342. 假面舞会……(254)
343. 秋千胜会……(254)
344. 海滩游乐……(256)
345. 藏骨洞……(256)
346. 追悼会……(257)
347. 男女交际……(258)
348. 游春会……(259)
349. 耶稣受难周的游行……(259)
350. 巴黎的贫民窟……(260)
351. 西人厚今不慕古……(260)
352. “弄人日”……(261)
353. 妇女饰物……(261)
354. 女子的装扮……(262)
355. 西人服饰……(262)
356. 新生儿的“入教洗礼”……(263)
357. 西人喜街游……(263)
358. 递扇子……(264)
359. 丹京集奇馆……(264)
360. 丹麦博物院中的古物……(265)
361. 巨鲸的躯壳……(266)
362. 威柏阁胜景怡人……(266)
363. 北极传闻……(268)
364. 雪山之游……(268)
365. 瑞士风物……(271)
366. 过芦干湖……(272)
367. 游芦在湖……(272)
368. 弹丸之国……(275)
369. 那不勒斯见闻……(276)
370. 长埋地下的古城……(276)

371. 罗马观感…… (277)
372. 罗马教堂…… (278)
373. 号称宇内第一的彼得庙…… (279)
374. 精工绝伦的保罗庙…… (282)
375. 教皇宫（二则）…… (284)
376. 罗马最巨大的斗兽场…… (285)
377. 尼罗帝宫…… (286)
378. 意大利风景佳，人才多…… (286)
379. 意人重艺术…… (287)
380. 那不勒斯城…… (288)
381. 火山之游…… (289)
382. 威尼斯市…… (290)
383. 柏林日长夜短…… (291)
384. 德国老王宫…… (291)
385. 德国圆画…… (291)
386. 德国医院及医学堂…… (292)
387. 入俄所见…… (293)
388. 在巴立帅大戏园观剧…… (293)
389. 马拽雪床…… (295)
390. 礼拜日观舞…… (295)
391. 棺色与灵车…… (296)
392. 俄国的复活节（二则）…… (297)
393. 鸡子节…… (298)
394. 苹果节…… (299)
395. 俄人常爽约…… (299)
396. 戏院包厢…… (300)
397. 女骗子…… (300)
398. 俄人不畏冷而畏热（二则）…… (301)
399. 半身活女…… (301)

400. 富丽的俄宫……（302）
401. 帝俄别宫……（303）
402. 俄国骑兵由太后统带……（304）
403. 立体画……（304）
404. 俄皇遇刺……（305）
405. 俄国刑罚……（306）
406. 波罗的海……（306）
407. 马戏……（307）
408. 俄京博物院……（308）
409. 大好日……（308）
410. 西人决斗的风气……（309）
四、美洲、澳洲 ……（310）
411. 亚美利加洲概貌……（310）
412. 红种人（三则）……（311）
413. 美国黑人……（313）
414. 美国京城（二则）……（314）
415. 白宫（二则）……（316）
416. 华盛顿图书馆……（317）
417. 华盛顿纪功碑……（317）
418. 游华盛顿第宅（二则）……（318）
419. 国务卿忆林肯遇刺前后事……（320）
420. 世界最古之报馆……（320）
421. 波士顿博物院藏中国御物……（321）
422. 贫富悬绝……（322）
423. 美国人的住地……（322）
424. 妇女地位……（323）
425. 土著与客民……（323）
426. 任用官吏成拍卖场……（324）
427. 每办一事，必须筹费……（325）

428. 美国重专利权……（325）
429. 秘密结社……（326）
430. 王家书院……（326）
431. 博物院……（327）
432. 大瀑布（三则）……（328）
433. 激风洞……（331）
434. 寄藏所……（331）
435. 早期留美学生……（332）
436. 美国盐湖城的多妻教徒……（333）
437. 十八世纪的美国木器……（333）
438. 旧金山名称的来源……（334）
439. 旧金山的“唐人城”……（334）
440. 纽约“唐人埠”……（334）
441. 落机山之胜处……（335）
442. 费城宽街长桥……（336）
443. 假发假肢……（337）
444. 礼拜堂观婚礼……（338）
445. 狂笑园……（338）
446. 李鸿章“杂碎”……（339）
447. 所谓“奴隶省”……（339）
448. 美国对待黑人的私刑……（341）
449. 过檀香山……（341）
450. 会下棋的蜡像……（342）
451. 希卡果的铜铸人像……（342）
452. 西人讲话的规矩……（343）
453. 吐唾罚银五百元……（343）
454. 世界第二的长铁路……（343）
455. 巴拿马、个郎风物……（344）
456. 飞鱼……（344）

457. 古巴 …… (345)
458. 茶会 …… (345)
459. 在古巴观斗牛 …… (346)
460. 斗鸡 …… (347)
461. 斗人 …… (347)
462. 契神 …… (348)
463. 相见之礼 …… (348)
464. 华侨在古巴 …… (348)
465. 秘鲁田寮，虐待华人 …… (349)
466. 嘉罗连的雅森神 …… (350)
467. 澳大利亚概貌 …… (351)
468. 新金山土人 …… (351)
〔附录〕 引用书目 …… (353)

几 点 说 明

一、本书从晋代至晚清102部记述海外见闻的著述中，选出了508则，将同一内容的几则合编在一起，共得468题。为了便于读者查阅，每一题我们都给拟了一个题目。

二、本书所选内容，包括海外各地的风俗习惯、宗教信仰、神话传说、名胜古迹、重大节日、学校教育、文化娱乐、语言文字、日用器物、服饰打扮、交通工具、自然气候、奇禽珍兽、特有物产等。由于多是有关作者的亲见亲闻，所述内容比较真实、具体，可供历史学、民族学、民俗学、社会学等研究工作者参考，也可供到海外去工作或学习的人们，从事外事工作的同志们阅读，增广见闻，加深对海外情况的了解。但由于所选著述的作者多是封建时代的人，他们受到历史时代、阶级立场、生活阅历和知识结构的限制，所记的东西，不可避免存在错误或片面性，为了保留历史文献的原貌，对于原著中的错误观点和各种片面性，我们均未作改动，这就希望读者在利用这些材料时，要加以有批判地吸取。

三、本书的编排次序是：先亚非，后欧美；亚洲的编排是由东亚到西亚，欧洲则由西欧到东欧，美洲则由北美到中美和南美。每一国家或地区的内容，一般是由面（概述）到点（具体叙述），由远而近。

四、每则文字都加上新式标点，难字、难词，或历史典故、历史人物，一般都加以注释。注释文字力求准确明瞭，言简意赅，一般不作诸多考证。有时为了说明某典故的出处，或某词来源及其引申义，也作一些必要的引证。

五、有些词语前后都出现，如果意义上略有不同，注释也不避重复。

六、原书上可能是误刻的字，则在该字之后加方括号〔 〕，并在方括号内注上我们认为正确的字。

七、难字注音，除用汉语拼音字母外，另附同音方块字。

八、本书除有关日本和琉球这两部分的条目由管林注释外，其余部分均由余美云负责注释。

九、读者如发现本书的错误和缺点，欢迎来信批评指正。来信可寄北京海洋出版社或广州华南师范大学中文系转给我们。

编　者

1983年10月

一、亚　洲

1. 朝鲜风土

国俗：男子十五而娶，女子十四而嫁，婚姻丧葬之礼，从俭不从丰。士民平日之衣皆白色，如华人之守孝者，然沾染既易，洗涤实难，每有初犹皎洁可人，而继则污秽不堪寓目，几莫辨庐山真面。寺庙与衙署多高大廓落①，而纷饰辉煌光明悦目者甚属寥寥。客至家，必去履，然后升座，盖恐污其席也。小民见官吏，不能立谈，两手置地上作伛偻状，然后接语。官吏审案，亦席地坐，服役诸人②，恭立两旁，受质者跪阶前，俯首应答，不敢稍形抗违意。民居，土屋居多，覆以茅草，且低陋殊甚，不克③挺身直入。卧房中砌砖为床，隆冬则置火于下，以为御寒之计。城中瓦房居多，大率卑陋，街道不甚清洁，间有秽物流露，行人掩鼻。妇女在家纺织，见男人即趋避，罕有单身行路者。惟乡农寒苦之家，妇女亦往陇畔操作，然不数觏④也。释氏⑤久衰，僧尼每为人鄙薄。然民间崇信鬼祟，牢不可破，有疾病灾难，即随处烧香，求签问筮⑥，巫觋⑦辈劳于奔命，寝食不安。平民所食六畜与五谷，惟贫户终岁食蔬，无异唐园之腹⑧。其书籍，有华文者，有高文⑨者。华文之书，非仕宦缙绅家罕有读者，而高文则比户皆知。

（吴钟史：《朝鲜风土略述》⑩）

① 廓落：空旷、广大。这里用以形容房子的宽敞。

② 伛偻状：曲身的样子，表示恭敬的姿态。

③ 不克：不能够。克，能够。

④ 不数觏：不多见。觏，遇见。

⑤ 释氏：泛指佛教。释是佛教始祖释迦牟尼的简称，故有的以释氏、释门来作为佛教的代称。

⑥ 求签问筮(shì士)：迷信的活动。求签，迷信者在寺庙中向神佛求签以问吉凶。问筮，古人用蓍草占卜，预测成败吉凶。

⑦ 巫觋（xí习）：迷信职业者。古代称女巫为巫，男巫为觋，合称巫觋。

⑧ 唐园之腹：如菜园般的肚子。唐园，菜圃。《篆诂》："唐，古塘字，筑塘防水以为围，种果菜于其中。"《盐铁论·孝养》："审老亲之腹，非唐园，唯菜是盛，夫薪粝，乞者所不取，而子以养亲，虽欲以礼，非其贵也"。唐园之腹，可能由此而来。

⑨ 高文：高，高丽，朝鲜的另一称谓。高丽文即朝鲜文。

⑩ 吴钟史，清末浙江归安（今吴兴）人。光绪八年（1882年），上海招商总局徐雨之、郑陶斋邀他赴朝鲜察看商务情形。三月十三日启程，四月二十日回到上海。《朝鲜风土略述》概述朝鲜的历史、地理，文字、物产，风俗、习惯等。

2.朝鲜人的生活

人民贫多富少。居皆茅茨，屋之覆瓦者十仅一二。室无桌椅，皆席地而坐。衣服多麻苎，衫皆大袖，巾形如弁①。知文字，喜读书，性柔而谨。孝亲敬长，风气颇敦。凡遇婚丧大事，或水火之灾，邻里之人，莫不争先劻助②，不吝财，不惜力，其仁爱公义之诚有足多③者。待宾客甚厚，虽行道人素昧平生④者，苟欲假馆⑤，亦必殷勤款接，饮之食之，与至亲密迩者⑥无间。设风雨间阻，即连朝下榻⑦亦莫之怪。因之风气渐即于滥⑧而游惰之习起矣。北方之民性概强悍，耕渔操作倍勤于南方。南方民气质宽厚，人材辈出，颇有文质彬彬之概。

（龚柴：《朝鲜考略》⑨）

① 弁（biàn变）：帽子。古时男子穿礼服时戴的帽子叫作弁。
② 劻助：帮助、救助。
③ 多：赞美。
④ 素昧平生：是说彼此一向不了解。
⑤ 假馆：借用馆舍，即借住。
⑥ 至亲密迩者：最亲近的人。至亲，指最亲近的亲属或戚属。密迩，贴近。
⑦ 连朝下榻：连续寄宿几天。下榻，寄居。
⑧ 渐即于滥：渐渐流于无节制。即，接近。滥，过度、越轨。
⑨ 龚柴，清末浙江宁波人。《朝鲜考略》简介朝鲜的地理位置、官制兵制、风俗

习惯、名人志士、山川物产等。

3.大 袖 长 裾 （二则）

（一）

服饰皆遵中国明代之制。其制不一，然大略论之，皆大袖长裾①，头戴黑笠，脚著布鞋而已。服分三等，曰公服，朝臣之衣也；曰戎服，武弁②之衣也；曰常服，平民之衣也。贵显人所穿者，绫罗绸缎绢帛不等，贱民则麻布棉衣而已。然官吏务论品位之尊卑，以次递降。平民则皆用白布为衣，染色之衣，不过妇女儿童所穿，类于孝服勿顾也。少女衣笠，亦皆用白色。帽分数式，曰冠、曰笠、曰皮巾③，但冠有网巾以系脑前。又考试及第者，冠下再戴皮巾以自别。

男人头蓄长发，其髻如螺，中插以簪，有金银、珊瑚、黄铜各类。妇女发如洋妇，袂亦如之。京中妇女出门，必著被衣④，道遇外国人，即避入屋内，勿论此处为何等人家也。公馆近傍之妇女，则习见不避。

儿童之发，皆编成一辫，垂于背后。成童⑤以后尚不改髻，人皆待之如童，无有敬意，故有财者，年虽未长，已行加冠之礼，贫贱者不能购衣服，往往年已三十，尚作童装也。

（阙名：《高丽风俗记》⑥）

① 长裾：长衣襟。

② 武弁：武官。旧时称武官为武弁、将弁，后专指管理杂务的武职人员。这里是用古义。

③ 皮巾：皮制的帽子。我国古代以不同的样式表示显贵身份的级别，据本文所述，朝鲜的情况相类似。

④ 被衣：不束带子的衣服。

⑤ 成童：年稍长的孩童。古时一说十五岁以上叫成童，另一说八岁以上叫成童。

⑥ 作者姓名不详，所著述的这部笔记，略述朝鲜的风俗、习惯，器用、服饰等。

（二）

（光绪八年三月）廿二日，雾。午，朝鲜差官赵惠人来拜，戴圆翅乌纱，服圆领大袖红袍，束玉带，履方头薄底乌靴。靴帮底皆以皮为之。初以为俗尚太俭，继知王城系山路，砂石琐碎，步履窸窣有声，非皮则易于擦破也。立夏后，皆衣夏布袍，色用红青绿不等，平民多白色，直领，长短袄袖窄不过三寸。上者穿尖头薄底皮履，浅面单梁，前后高而中低，帮窄不盈寸。中者麻鞋，下者草鞋。制与中土大同小异。袜则不论冬夏，皆穿厚绵底即缝下口以为之，不另托以平片，故欹侧臃肿，形状累坠。

（吴钟史：《东游记》①）

① 作者已见前。《东游记》记述作者于光绪八年（1882年）游历朝鲜的行程和见闻。

4.日用器物

其往来于道路者，男则负物以背，女则戴物以首，男负女戴之古义存焉。至于任重致远，皆需牛马。牛较中产① 尤大，背有木鞍，亦可骑。策舆② 无下截，人须促膝盘坐，扛短而无横担，矮可及地，夫背有绳若推车。然亦有四人轿。妇人之舆，窗帘饰以彩带。其地少竹，物不用箩③，大小浣盆④，悉刳木为之，精粗各有其致。担水有架，横负于背，桶甚少，恒用陶器。其铜器，如僧之钵，磨荡光亮，唾溺⑤ 并需，虽精洁之气不如日本，而朴实之风胜日本远矣。及余束装南旋⑥，自制板舆，坐较安适。途中见麦苗布陇，黄叶满山，别有一番风景。至晚，则沿途居民皆束薪为烛，以送余行，三五里互相接引，殊足见尊礼中邦⑦ 之意。

（薛培榕：《朝鲜风俗记》⑧）

① 中产：出产于中国。

② 策舆：轿子的一种。

③ 箍（gū姑）：用竹篾编成，用以围束物件的圆圈。

④ 浣盆：洗物的盆子。浣，浣洗。

⑤ 唾溺：吐唾沫与小便。

⑥ 束装南旋：束理好行装南归故土。

⑦ 尊礼中邦：尊重中国。

⑧ 薛培榕，清末浙江平湖人。曾访问朝鲜。著有《朝鲜风俗记》、《朝鲜八道纪要》、《高丽舆地说》等。《朝鲜风俗记》记述他访问朝鲜时的行程，以及朝鲜的语言、文字，礼仪、器用、物产、服饰、风俗等。

5.油　　帽

雨天，惟官令隶人① 执盖，绅民皆油衣油帽，遍行路中。油帽折叠如摺式② ，有竹架可支。下等之人将油帽竹架束于腰间。天阴则预支架于项，将雨即撑帽于架。

（阙名：《朝鲜风土记》③ ）

① 隶人：差役。

② 如摺式：象摺子般的式样。

③ 著者不详。文中有“前明伊国大乱”等语，可知著者是清朝人。《朝鲜风土记》记述朝鲜的风俗习惯、衣着、刑罚、物产等。

6.龟　　船

龟船，明万历① 年间，朝鲜统制使李舜臣预造以防日寇。其制：以板铺船面，上插锥刀，藏兵于底，四围有銃穴② 十四。方战则覆以编茅，贼登船则陷于锥刀，围之，则炮火齐发，横行如飞，所向披靡，以是屡败日本兵于海上。至今仍循其制③ 。

（许午：《朝鲜杂述》④ ）

① 万历：明朝神宗皇帝的年号。即公元1573至1619年。

② 铳穴：铳，旧时的一种火器，铳穴，相当于现在所说的射击孔。

③ 循其制：依照它（指龟船）的式样。循，依照。制，法式、式样。

④ 许午，清末江苏江宁（今南京市）人。曾于光绪甲申十年（1884年）春，“游朝鲜，旅汉阳城，历乙酉、丙戌春。”在朝鲜三年。《朝鲜杂述》即记他在朝鲜汉阳城（汉城）的见闻。

7.妇女以首负重

丁卯，宿定州馆。馆侧有亭翼如山际，三面敞豁，登览旷然。其后有劲松怪石负势竞上，互相轩邈①，风来振之，觉翔舞檐上也。驿馆供役，选《子衿》娴文学者② 充之。入则置屦户外，循墙而走，容止可观。应爨多用妇人，惟不敢入使者署。其妇人行汲，负以首，重则数十斤举掉臂③ 趋道上，亦一神通也。

（姜曰广：《辎轩纪事》④）

① 轩邈：高远。

② 《子衿》娴文学者：指有文化的人。《子衿》，《诗经·郑风》的篇名，这里举它作为文学的代表。娴，熟悉。

③ 掉臂：摆动着臂膀。

④ 姜曰广，明代江西新建人，字居之。万历进士，授编修。天启（1621—1627年）年间，奉命出使朝鲜。《辎轩纪事》即记述此次出使朝鲜的见闻和旅程。

8.春　　联

春联① 纸尚白，只书“宜春”“纳福”“迎祥”“迪吉”等字，间有书三字者，若五言七言，则未之有也。且贴春联者，十家不得一二，其贫苦可知。草屋居多，间有瓦屋，皆百余年物，檐椽半摇摇欲坠，除王宫庙宇外，木皆本色，绝无油漆彩绘。元旦无拜贺之仪②，惟皆著新衣冠，游行街上。

（阙名：《朝鲜风土记》）

① 春联：我国人民在阴历新年（春节）用红纸写成贴在门上的对联，表示迎新年、庆新春。而文中说“春联纸尚白”，这就显得不同。

② 拜贺之仪：拜贺的礼节。

9.守孝与上坟（二则）

（一）

特亲丧者，皆麻衣草笠。笠形大如斗，边作花瓣式。父丧，发分于后；母丧，发分于前。手持麻布一方，旁有两柄，见人则以布掩口而过，问其名，则曰：丧扇。盖不欲人见也。然不掩其目而仅护其口，其义何居？春秋日，居民上坟祭扫，只奠以酒，或撮土三堆而后拜之，无所谓供献① 者。新葬之坟，亦有妇人哀哭于其旁。

（阙名：《朝鲜风土记》）

① 供献：祭祀时奉献的祭品。

（二）

俗于元旦、寒食、端阳、秋夕（谓中秋也），皆行墓祭，但元旦、端阳二节，诸祭馔略减耳。其祭时，则除去墓上草棘，以祝陈词，投匙正箸，行三献礼。礼毕，祠土地。

（许午：《朝鲜杂述》）

10.还愿的标志

村边巷口，每见小树枝上挂五色布，下以碎石堆积如坛式①

者，远视之，因风飘曳，宛如护花旛② 。问之土人，谓系病愈还愿云，

（阙名：《高丽风俗记》）

① 坛式：祭坛的样式。古代在平地上用土筑成高台，作为祭天神及远祖的祭场。盟誓、朝会等大典也如此。

② 护花幡：是旧时传说中一种保护花木的旗幡。唐代郑还古所著的《博异志》载：天宝年间，有一人名崔元微，遇见几位美女，其中名醋醋的向他诉说常受暴风摧折，恳求加以保护。只要他在某一定日期，制一面红色旗幡，上面绘画日月星辰的图象，竖在园圃的东面，她们就能免遭灾难。崔元微按照她的要求去做，果然，在狂风劲吹，树折沙飞的日子，园子里的群花却一点儿没受到损伤。

11.养　老　宴

养老宴，各道、州、府、郡、县，于仲秋① 择吉② ，布告境内群老。其日，主人位于正厅东壁西向，群老二品以上者，位于西壁重行东向北上，三品以下者，位于南行。凡同品，皆序齿③。庶人位于庭东西。并于庭次设宾主之拜位，主者东，老者西，异位同行俱北上。主人迎群老入，俱就拜位，互拜兴，升阶就坐位。工奏乐，主献老酢酒，行五遍，执事④ 收盏。群老主人俱就庭中拜位，互拜兴，群老出，主人送之门外。（王亦有时亲行养老宴于殿）

（许午：《朝鲜杂述》）

① 仲秋：秋季的中段，即阴历八月。仲，居中的。
② 择吉：选定好日子。
③ 序齿：按年龄大小排列次序。
④ 执事：古时指侍从左右供使唤的人。

12.试士有状元而无榜眼

试士以策论①，一年或三四试，绝无定期，一试即一状元，且有不止一状元者，盖无榜眼、探花②之名目，均可以状头称之。观其所对之策论，亦不过谀美颂扬，无甚实在学问。

（阙名：《朝鲜风土记》）

① 策论：策，策问。古代举行科举考试时，把问题写在策上，让参加考试的人回答，称为策问。论是议论文。策论应是阐明政治见解的论文。

② 榜眼、探花：封建时代表示科举考试中式者的称谓。榜眼之名，始见于北宋初年。当时，经殿试录取的第二、第三名，都称为榜眼，南宋以后至明、清，则专指第二名。探花之名，始见于唐。当时考中进士后，在曲江杏园初宴，称探花宴。选其中年少俊美的二人为探花使，探花由此得名。至南宋，则专指殿试第三名，自后沿袭不变。

13.刑罚严酷

刑罚严，罪及妻子，或发为奴，或流数千里外，或有以五牛分尸者，或将罪人以利刃刺其胸腹，而后枭首①，并暴尸七日，任其抛残。且必于未斩之先数夜，派人守之，以长绳系巨铃，贴于罪人之耳，频频摇动，使不得眠，不知其何意也。刑杖高约六尺，宽五寸，厚二寸，其厚薄长短之数，皆书于板。头宽尾窄，其形如棹②。每用时，旋舞多时始落下。责以四十为度，即身体强壮之人，亦多晕绝者。山上多栽松树，或盗伐一株，被获后责大板数十，即以草袋裹之，舁③至盗伐之处，两端系于树枝，中则空悬，如秋千式，死而后已。偶过其侧，见有尚能转动者，为之恻然。国人畏法，无敢私纵。俟绳索糜烂，坠于地上，任鹰犬食之，未有敢收其尸者。

（阙名：《朝鲜风土记》）

① 枭（xiāo消）首：旧时酷刑，斩头悬挂木上。

① 棹（zhào照）：划船拨水的工具，形状如桨，短的称棰，长的称棹。
② 舁（yú鱼）：共同抬东西。

14.官 员 出 门（二则）

（一）

官员出门，或乘驴，或坐轿，从人必将印匣负随于后，以绳作网而肩承之，口盂溺壶，皆杂置其中。官员束腰之带，下垂大穗，内藏一物，约三寸长，或象牙，或乌木不等，上刻其人之姓名、某科出身、何年入仕，闻是国王所颁给者。外城共分道八，即八省然。惟京畿道，文掌武权，衣前垂二皮包，内藏兵符及信符。便帽无分贵贱，皆黑马尾织成，如中军① 帽式。文人雅士，有戴六角帽，其质甚软，可叠摺之，名为程子冠，系仿程夫子之冠而为之，无书可考，不识然否？轿无椅板，惟盘膝而坐于下层。大官之轿，间有精工者，其制亦不外乎是。极大之官，有坐独轮车者，两杆甚长，前挽后推，轮高四尺余，上安一小椅，升车时，两旁以木撑住，然后扶人而上，巍然高坐，约离地六尺余，笨而且危。官行于路，并无仪仗② ，惟差役数人横列于前，每行数步，各鞠躬一喊，盖喝道意也。路人各相趋避，不敢参越一步，民之畏法可知矣。

（阙名：《朝鲜风土记》）

① 中军：清朝督抚、提镇，凡拥有兵权的，他手下的军官首领，称为中军。
② 仪仗：此指仪仗卫士。

（二）

凡仕宦出行，或短杠四窗之板轿，或小座长杠之显轿，或乘轺车，或乘马。其仆从皆列于前后左右四边，互相叫喝。其显官之仆从甚众，四边喧喝声殊嚣然。

（许午：《朝鲜杂述》）

15.箕子遗迹

（平壤）城以西自锦绣山蜿蜒迢递，伏而再起者，箕子① 衣冠所藏也。墓封而不石，旁即悯忠坛，神宗② 征倭时死事者塚。塚上长松翳蔽，白昼森沉，令人凄然，不胜怀忠之感。乙亥，远接使③ 舣舟城下，邀泛大同江，登浮碧楼，练光亭⑤，望箕子区画井田处，遗迹犁然，亭楼俯视浿江⑥，岿然德岩上，秀宇层明，望兼川陆，江光山色隐隐交接栏楯也。

（姜曰广：《辖轩纪事》）

① 箕子：殷纣王时的太师。纣王暴虐无道，累谏不听，于是弃官离朝，装疯为人奴仆，后被纣王囚禁。武王灭纣，被释放出狱，封国于朝鲜。

② 神宗：指明朝神宗皇帝。明神宗万历二十年（1592年），日本丰臣秀吉领兵侵略朝鲜，明朝派兵援救。

③ 远接使：是朝鲜派出迎接中国使臣的官员。据本书（即《辖轩纪事》）所载："远接使者，途次（旅途中）主周游应对者也"，"王以国史曹掌判金鎏为之。"

④ 浮碧楼：据吴省兰辑《朝鲜志》载，在（平壤府）乙密台，永明寺东，清朝人张浦诸公皆有诗。

⑤ 练光亭：据《朝鲜志》载，在（平壤府）东城德岩上。

⑥ 浿江：即大同江，又称作大通江。

16.孔　　庙

成均馆① 在王宫月觐门外，供奉至圣先师。国王春秋致祭，规模亦极宏备。其礼乐诸器，与中国等，惟度数稍有差池② 。祭则以羊，想循诸侯之制耳。

（阙名：《高丽风俗记》）

① 成均馆：公立学校。成均，古时的高级学府，后成了官设学校的泛称。

② 差池：参差不齐，指有所不同。

17.关 帝 庙

崇奉关圣帝①，其东南二庙，规模壮丽，礼器② 精详，瞻拜之余，令人生畏。亦有签筒签词③，任人占卜。惟两廊壁上，尽画《三国演义》故事，殊欠典雅。庙为国王所建，内悬匾额，多明代出使文臣及援藩武将所敬献者。

（阙名：《高丽风俗记》）

① 关圣帝：封建时代对关羽的封谥。

② 礼器：祭器。

③ 签筒签词：供应求签者用的器具。签筒为一竹制器皿，内储标列签号的竹签若干，置于寺庙中神坛之侧。求签者虔诚礼拜后，抽出其中一枝，按签上的标号，往查阅事前已写好的签词，据签词来预测吉凶。

18.汉 城 形 势

王城在京畿道之中，京畿道又在高丽全境之中，其城曰汉城，盖因汉江而名焉。城周四十余里，有门七，南三门，西二门，东、北各一门。城之北隅有紫禁城一座，王宫即在其中。汉城北枕高山，险峻雄固。城之东西垣，亦依山为险。城之西南门外，离城三五里，有汉江一道，萦纡深阔。若值春涨，则江水湍急，势如飞矢，扁舟横渡，惕惕若惊。城之东，离城十余里，有天摩岭，崖峨山，险峻异常，可守可伏，殊有一夫当关，万夫莫开之势。城之东，居民稀少，市面清凉，土垣茅舍，错杂其间。城之北，则有各官衙署，瓦檐鳞比①，间以茅舍。城之西南，商贾辐辏②，牛驴络绎，实为繁盛之区。城之南，远望村落，宛若星罗。东西门外，村落虽不少，究不若城南之犹盛也。

（吴钟史：《游高丽王城记》③）

① 瓦檐鳞比：屋檐象鱼鳞般排列。

② 商贾（gǔ鼓）辐辏：众多商人聚集在一起。辐，车轮集中于中心圆木（毂）上的直木条。辐辏，车辐集中于毂上，比喻人或物集聚在一处。

③ 作者见前，《游高丽王城记》记述汉城的地理形势、房舍街道、民情风俗等。

19.日本开辟神话

泰初① 一柱立天琼②，岳降真形地始成③。

西有和华④ 东诺册⑤，一夸手造一胎生。

纪神武⑥以前事为《神代史》，曰：开辟之初有国常立尊，为独化之神。七传至伊弉诺尊、伊弉册尊，为耦生之神。二尊以天琼矛探沧溟，锋滴凝结成磤驭卢岛，名为国柱。因下居，成夫妇。先以淡路洲为胞，钟灵孕祥，乃生八大洲，馀岛则矛头滴潮濡沫所凝者。泰西⑦人有《创世纪》⑧，称耶和华⑨手造天地万物，七日而成，同一奇谭⑩。

（黄遵宪，《日本杂事诗》⑪第二首）

① 泰初：即太初，天地之初的意思。

② 天琼：指日本古代传说中伊弉诺尊、伊弉册尊的天琼矛。

③ 此句叙述日本诸岛的形成。意思是山岳降下真形才逐步形成大地。

④ 和华：耶和华的略称。

⑤ 诺册：指伊弉诺尊、伊弉册尊，日本传说中的二位配偶神。

⑥ 神武：日本历史中虚构的第一代天皇，传说他自九州东征大和。

⑦ 泰西：极西的意思，旧时用来称西方国家，一般指欧美各国。

⑧ 《创世纪》：犹太教、基督教《圣经》的第一卷。内容是流传于犹太人中的关于上帝创造世界和人类始祖的神话，以及犹太人远祖的传说故事。

⑨ 耶和华：犹太教神名的基督教读法，造物神的名称。

⑩ 谭：同谈。

⑪ 黄遵宪（1848—1905）清末广东嘉应州（今梅县市）人。字公度，别号人境庐主人。1877年（光绪三年）出任驻日本公使馆参赞，深受日本研究中国历史、文化、医学的汉学家欢迎。他向日本人民介绍中国文化，同时了解日本当代文学和历史著作的情况，悉心研究日本的历史，着手撰写《日本国志》。《日本杂事诗》作于任职日本期间，是他撰写《日本国志》的副产品，描述日本的历史、疆土、山川、政治、外交、文化、民情、风俗、物产等情况。

20.徐福① 的传说

过熊野洋。熊野洋隶纪伊② 境，其地有熊野山③，徐福所谓海上有三神山者即此处。徐氏《瀛寰志略》④ 云，福所居之地名徐家村，冢在熊指山，今不指何地。据日人云，福墓在新宫旧城故陇中，前有老樟二株，碑题“秦徐福之墓”五字。墓北有孤峰，土人呼曰蓬莱山，盖因华人言而文饰之者。其西有小山，山下有飞鸟社，社旁有一祠，即福祠也。今已久圮⑤，仅存础址⑥而已。又云，距福墓二三町⑦ 有小垅七，系福从者坟。相传福所携者至则仅七人，死皆葬于此。又距小垅东数里，有秦栖村，土人省曰秦村，盖即福初至时所居处也。福初至时，在日本孝灵帝⑧ 年间，所赍鞍辔今犹藏熊野社神库中。（案新宫古称神邑，隶熊野境。《瀛寰志略》所谓熊指山，其即熊野山无疑。徐家村疑即秦栖村。惟所云从者仅七人与史不合，想彼国土人必有所受，殊不可解。日人又云，徐福秦时一大豪杰也，际秦之乱，思得土而王，其携童男女航海而东，意盖将大有所为者，史称其畏诛不敢还，为福所欺矣。）

（黄庆澄：《东游日记》⑨）

① 徐福：瑯邪方士，字君房。史载他曾载童男童女各三千入海求仙。

② 纪伊：日本旧时郡国名，在本州岛，今奈良县以南地方。

③ 熊野山：在本州岛南端纪伊半岛上。

④ 《瀛寰志略》：书名，共十卷，清代徐继畬著。叙述五洲各国疆土、沿革、物产、习尚。

⑤ 圮：毁坏；倒塌。

⑥ 础址：柱下石和地基。

⑦ 町：日本度名，一町等于一百零九点九公尺。

⑧ 孝灵帝：即日本的孝灵天皇，相传在位七十六年（公元前290年至公元 前215年）。

⑨ 黄庆澄，字愚初，清末浙江平阳人，“弱冠时倜傥自喜，好发奇论”。得到安

徽巡抚沈秉成和驻日公使汪凤藻的资助，东游日本。《东游日记》刻于光绪甲午年（1894年），多记日本政治、文化、学术、思想诸情况。

21.日本风俗

上古风俗不详，及中古通中国，宫室衣服，凡百器物，大抵模仿唐制。居室高，板篦① 以厚席铺其上。不设椅桌，以坐为礼。衣服阔袖大襟，上下一幅，以布帛裁之。男子薙头发而结发，女子结髻戴笄栉②，妆红粉，著长衣大带。明治③ 初年，宫室、服饰、礼节，以及学术、工艺、技能，改效西洋，习俗从而变化。然萨摩④ 地方以断布为带，二陆⑤ 之民穿至窄之袴。佐渡⑥ 风俗，男逸女劳；骏河⑦ 农夫，一日四食；筑肥⑧ 女儿，以凤仙花染指；皆古来习惯之小风俗，他地所无，至今犹不易也。

所奉教门，近以洋教为第一，儒教次之，神佛教又次之。（《日本风俗略》）

起坐皆席地，两膝据地，伸腰危坐，而以足承尻⑨ 后若趺坐⑩。蹲踞箕倨⑪，皆为不恭。坐必设褥，敬客之礼，旧有敷数重席者。有君命则设几，使者宣诏毕，亦就地坐矣。盖古礼也。（《东槎笔记》）

客来必出寒具⑫。或呼酒浆，出妻子，跪献盏，殷殷之意，良可感也。（《东槎笔记》）烟具极小。客来出小筐，筐有抽屉，旁置火炉，三寸烟管外，唾壶、齿签悉俱备，行则插腰间。（《东槎笔记》）有所受必高举为礼，有所敬则俯身握手而必膜拜。（《东槎笔记》）劝尊者酒酌而置杯于指尖以为敬，平等则置手心。（《东槎笔记》）男女相见，礼教如一，以两手按膝鞠躬，良久乃起立，皆感谢亲逊之词，如是者至再至三。常于狭隘道途，遇二人对面行礼，路为之阻。如至其家，男女迎送甚恭。（《日本述略》）行道之人，男女相勒⑬。遇良辰佳节，或祭神赛会诸胜事，则女多于男，未有不呼朋引类作汗漫游⑭者，家中

多留男子守之。（《日本述略》）俗好游，春秋佳日，携酒插花，屐声裾影，装束如左图画中人。（《东槎笔记》）好浴温泉。有小疾不医治，恒就温泉浴之。道路不问远近，辄旬月⑮不返云。（《东槎笔记》）

（陈家麟辑《东槎闻见录》⑯）

① 板篑：以板为床；篑，床栈。

② 笄（jī机）栉：簪、梳。

③ 明治：明治天皇的年号，元年是1868年。

④ 萨摩：地名，在九州。今属鹿儿岛县。

⑤ 二陆：地名，指陆前、陆奥，在本州的北部。今属岩手县、青森县。

⑥ 佐渡：地名，在本州的中部，北邻日本海。今属新泻县。

⑦ 骏河：地名，在本州，位于东京的西南。今属静冈县。

⑧ 筑肥：地名，指九州的筑前、筑后、肥前、肥后一带。今属福冈、长崎、熊本等县。

⑨ 尻（kāo考阴平）：屁股。

⑩ 趺坐：盘膝端坐的姿势，左脚放在右腿上；右脚放在左腿上。

⑪ 箕倨：即箕踞，伸开两脚而坐。

⑫ 寒具：食品的一种。即现在的馓子。以糯米粉和面、麻油煎成。

⑬ 相勒：相接、相随。

⑭ 汗漫游：无拘束地漫游。

⑮ 旬月：满月。

⑯ 陈家麟，清末江苏六合人。《东槎闻见录》分门别类叙述日本的地理、历史、语言、文化、政治、风俗、人物、物产等情况。本书辑自《日本地志提要》、《日本述略》、《日本杂事》、《蘅华馆诗录》、《使东述略》、《国史纪事本末》、《东槎笔记》等书。

22.古时民风俭朴

民风俭朴，崇信佛教。早年自死牛马，亦不敢食。三餐米饭，唯啖醃萝蔔，或以生鱼片拌酱醋，或炙海虾小鱼，闷① 鸡蛋，此外不知烹调，亦未有轻宰鸡鸭者。海味鱼翅海参鳆鱼之类，皆售于中国，本国无食者。国中以鳖为最贵之品，鳗鱼次之。淡水鱼以西京琵琶湖者为最。通国中无豢养之家，早年只长崎一埠有

华人售猪肉。近则通商码头皆有猪牛肉，国人亦习而效之，喜食西馔牛肉，而饮洋酒，人挂一时辰表。民风日见奢华。

（阙名：《日本杂记》②）

① 闷：通焖，以微火久煮食不使泄气。

② 作者姓名不详。《日本杂记》写于1880年（书中有“今王即位已十三年”、“自维新政出”等语，“今王”指明治天皇，明治十三年即公元1880年），书中记述日本的政治、经济、文化、习俗、山水、古迹等。

23.官吏均从大学所出

日本选举，大约小学优则入中学，中学优则入大学，大学优则授以官。间亦有为各大臣自举所知者（如昌平学① 旧徒之类），然不过万中之一耳。此外，当年老学究②，仅以充各学校教员之数，不得不以布衣终矣。士生今日，贵乎得时，亮哉③！

（黄庆澄：《东游日记》）

① 昌平学：即儒学。因为孔丘生于鲁国昌平乡陬邑，所以后世往往以昌平学代指儒学。

② 老学究：旧时教私塾的老先生。唐宋时，学究本是美称，宋太祖尝赐布衣王泽芳同学究出身。后来往往称塾师为老学究、村学究。

③ 亮哉：真是（如此）啊！

24.最恶依赖性

日人以依赖性为最恶。无论男女，一至成年，各有职业，宦家富商皆然。壹① 以营利为要务，故妻不倚其夫，父母不倚其子以为生。

（谭襄云：《东游管见》② 第十四章《风俗》）

① 壹：专一。

② 谭襄云，清末人，曾以同知衔广东议叙补用知县东游日本，居于神户。《东游管见》刊于光绪三十三年（1907年），记述作者东游日本的见闻。

25.尚　恭　敬

日俗最尚恭敬。彼此交接，不敢忽略固已，即仓卒电车火车之上，如坐位拥挤，无论识与不识，少者起立，让老者坐，男子起立，让女子坐。

（谭襄云：《东游管见》）

26.晋谒① 友朋，类② 不久谈

日人晋谒友朋，类不久谈。至即与言，言罢即去。故不旷日废事。

（谭襄云：《东游管见》）

① 晋谒：拜访。

② 类：皆，大都。

27.公　德　心

日人公德心最富。于舟车旅馆，绝无咳唾，及抛弃零杂物件等事；于公园戏院等场椅坐，并行路之便溺处所，亦莫不互相爱护，无污秽痕迹。

（谭襄云：《东游管见》）

28.守　秩　序

日本戏院神社，男女群众，或坐或立，必依先后次序，肃①成行列，无拥挤争言者。举坐②静听无谈笑者，虽数百人，寂然无声。

（谭襄云：《东游管见》）

① 肃：肃立。
② 举坐：全坐。

29.尚　净　洁

（日本国）俗尚净洁，街衢时为拭涤，夫妻不共汤羹，饮馀，婢仆尚弃之。富者履坐絮席，贫者履坐荐席，名曰毯踏棉①。各家计摊毯踏棉之多寡为户口。

（陈伦炯：《海国闻见录》②上卷
《东洋记》）

① 毯踏棉：日语坐垫的音译。黄遵宪《日本国志·礼俗志》：“室中例设莞席，每席宽二尺，长三四尺，以布为缘，名曰叠（国语曰踏踏美）。”
② 陈伦炯，清代福建同安人。少从其父熟闻海道形势，康熙年间，由荫生累擢苏松水师总兵，官至浙江提督，坐事归卒。曾以所见闻著成《海国闻见录》。书共二卷，上卷有《天下沿海形势录》、《东洋记》、《南洋记》、《小西洋记》、《大西洋记》、《昆仑》等；下卷有地图六幅。

30.小学生放学，列队回家

日本男女小学生放学，群行于市，如军队然，分为二行或四行，鱼贯①比肩，服色一律。侪②偶纵或笑语，亦无大声。歧

队③分行，必鞠躬致敬。

（谭襄云：《东游管见》第十四章
《风俗》）

① 鱼贯：依次序行进，好象鱼游水中先后相续。
② 侪（chái柴）：等辈，同辈。此指同行的同学。
③ 歧队：从队中分出，即离队。

31.店家司买卖者多女子

日本店家司买卖者，大半皆女子。货有定价。客上阶除①，鞠躬致敬。贸易成后，送客下阶，亦鞠躬致敬。闻数年前有拜送者，因中国人不知回敬，此礼遂废。

（谭襄云：《东游管见》）

① 阶除，台阶。

32.服饰与装扮

（日本国）男女衣服大领阔袖，女加长以曳地，画染花卉文采，裈①用帛幅裹绕，足著短袜以曳履。男束带以插刀，髡须②而薙顶额③，留髻④发至后枕，阔寸馀，向后一挽而系结，发长者修之。女不施脂而傅粉，不带鲜花剪彩簪珥，而插玳瑁，绿发如云，日加涤洗，薰灼楠沉⑤，髻挽前后，爪甲无痕，惟恐纳垢。

〔陈伦炯：《海国闻见录》上卷
《东洋记》〕

① 裈（kūn昆）：袴有裆叫裈，此指裤。

② 髡（kūn昆）须：剃去胡须。
③ 薙顶额：剃去额头顶上的头发。
④ 髾（shāo梢）：发尾。《宋史·占城国传》：“撮发为髾，散垂馀髾于后。”
⑤ 楠沉：指香木。

33.额上剃发数寸

白题胡舞翻新样①，黄胖春游学少年②。
脱却垂檐莞笠子，十分圆月到鹣颠③。

剃头发数寸，曰“月代”，犹言月样也，又名“十河额”，宇士新④称为“黄鹣颠”。数十年前，多戴垂檐白莞笠，后改用平顶一字⑤，今皆用伞矣。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百三十九首）

① 白题：我国古代北方少数民族的笠帽。杜甫《秦州杂诗》之三：“马骄珠汗落，胡舞白题斜。”此句即化用杜甫诗意。
② 黄胖：泥人。白獭髓注云：“游春黄胖由金明池起，有杏花园，游人取黄土捏成人形作为游戏。”
③ “十分”句：化用梅尧臣诗句“忽生圆月树头明”。
④ 宇士新：即宇野士新，名鼎，字士新，号明霞，日本京都人。
⑤ 平顶一字：没有垂檐的莞笠。

34.袜有两歧，屐两齿

声声响屧画廊边①，罗袜凌波望若仙②。
绣作莲花名藕覆，鸳鸯恰似并头眠③。

袜前分歧为二鞮，一鞮容拇指，一鞮容众指。《致虚阁杂俎》：“太真作鸳鸯并头莲锦裤袜，名曰藕覆。”

屐有如冂字者，两齿甚高，又有作反凹者。织蒲为苴，皆无墙有梁；梁作人字，以布绠或纫蒲系于头。必两指间夹持用力乃

能行，故袜分两歧。考《南史·虞玩之传》："一屐着三十年，蒉断以苎接之。"古乐府："黄桑柘屐蒲子履，中央有丝两头系④。"知古制正如此也。附注于此。

（黄遵宪《日本杂事诗》
第一百四十三首）

① "声声"句：春秋时吴国王宫有响屧廊，以梓板藉地，西施步屧绕之则有声，因名。见《姑苏图经》。此指日本妇女穿屐在屋廊行走。

② "罗袜"句：写袜之美。

③ "鸳鸯"句：形容绣花的两歧袜。

④ "黄桑"二句：见《全唐诗》卷十四所载《捉搦歌》之四。

35.结婚定礼

得宝无须聘妇钱，新弦唱彻《想夫怜》①。
同牵白发三千丈，共结红丝一百年②。

婿嫁及时。媒周旋二姓间，使两小相识。既诺，乃诣官告婚。遂用红定，谓之结纳。白发一，以白麻制之，如发然；熨斗一，以鳆鱼制之；鱼双，酒一樽，衣一领，带一围。贫富虽有差，更无聘钱也。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第九十首）

① 《想夫怜》：乐府曲名，此处有双意义。

② "同牵"二句：写送红定，喻白头偕老，永结眷属。红定，即定礼。

36.穿黑衣出嫁

绛蜡① 高烧照别离，乌衣换毕出门时。

小时怜母今怜婿，宛转双头绾色丝②。

大家③嫁女，更衣十三色。先白，最后黑。黑衣毕，则登舆矣。母为结束，盘五彩缕于髻。满堂燃烛，兼设庭燎④。盖送死之礼，表不再归也。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第九十一首）

① 绛蜡：红烛。
② “宛转”句：写高髻上盘着五彩丝线。
③ 大家：世族之家。
④ 庭燎：大烛。《诗·小雅·庭燎》：“庭燎之光。”《传》：“庭燎，大烛。”

37.女子已嫁，薙眉黑齿①

编贝描螺足白霜②，风流也称小蛮③腰。
薙眉涅齿缘何事，道是今朝新嫁娘。

长崎女子已嫁，则薙眉而黑其齿。举国旧俗皆然，殊为可怪。而装束则古秀而文，如观仕女图④。

（何如璋：《使东杂咏》⑤第十一首）

① 薙眉黑齿：剃去眉毛，染黑牙齿。
② “编贝”句：大意是美丽的牙齿，如画的眼眉和白如霜的脚。编贝，指牙齿的整齐洁白。描螺，用螺黛画的眼眉；螺，指螺黛。陈旅白《画眉图诗》：“隋家宫妓扫长蛾，销尽波斯万斛螺。”
③ 小蛮：唐代白居易的侍姬。《云溪友议》：“居易有妓樊素善歌，小蛮善舞。尝为诗曰：樱桃樊素口，杨柳小蛮腰。”
④ 仕女图：即美人图。“仕女”亦作“士女”。
⑤ 何如璋（1838—1891），清末广东大埔人。字子峨。光绪二年（1876年）以侍读差出使日本。翌年（1877年）冬，启程赴任。光绪六年（1886）年任满回国。后为督办福建船政大臣。在中法战争期间，秉承李鸿章避战求和意旨，造成马江战役惨败的结局。在日本时作《使东述略》、《使东杂咏》，后者包括六十七首七言绝句，多咏作者在日本的见闻。

38.喜园亭，善种植（二则）

（一）

板屋萧然半亩无，栽花引水也清娱。
客来席地先长跪①，瀹茗②同围小火炉。

东人③喜为园亭。贫仅壁立④者，亦种花点缀。离地尺许，以板架屋，席其上。客来脱履户外，肃入，跪坐围炉瀹茗，以淡巴菰⑤相饷。

（何如璋：《使东杂咏》第十首）

① 长跪，席地而坐，两膝据地，挺直腰股，称作长跪。
② 瀹茗：泡茶。瀹（yuè月），以汤煮物。
③ 东人：日本人。
④ 壁立：指家中空无所有。
⑤ 淡巴菰：即烟草。

（二）

著手成春任意栽，未花移种到花开。
移家家具无多少，却带寒梅百树来。

善于种树。合抱之木，动辄迁植。多有花时移来，花后徙去者。土人移居，遂并其花木竹石，一一布置如旧。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百八十九首）

39.茶　道

枣花① 泼过翠萍生，沫碎茶沉雪碗轻②。
矮室打头人对语③，铜瓶雨过悄无声④。

自僧千光游宋赍茶归，始栽之背振，后遂蔓衍。北条泰时，初尚之。至丰太阁⑤之臣，有茶博士官，赐禄三千石，子孙世其业。或费千金求其诀，不可得。及德川氏，每春遣使赍瓮收茶，曰“御茶壶”，藩属望尘拜趋道路。烹茶在丈室，劣容一二人，旧名“数奇屋”。时逢战争，鼙鼓振天，茶室独悄然无声，盖密谋之所也。而茶博士即借以窃权卖爵，无所不至。凡室忌华，器忌新。然珍木怪竹，朽株瘿枝，搜求之幽岩邃谷之中，或历数十年而后得。得其一以献，贫儿为富翁矣。器必用苦窳缺敝之物，曰某年造、某匠作；乃至一破瓯，一折匙，与夏鼎商彝同贵重，积金盈斗不可偿。争是而兴大狱者有之，因是而释战争者有之。器有风炉，有筥，有炭挝，有火荚，有鍑，有交床，有纸囊，有碾，有罗合，有则，有水方，有漉水囊，有瓢，有竹夹，有熟盂，有畚，有札，有涤方，有滓方，有巾。其候火，拣泉，吹沫，点花，辨味，侔色之法，微妙不可言传。盖碾茶煮之，故费工夫也。然稽之陆氏《茶经》⑥、蔡氏《茶录》⑦，正相同，惟不下盐耳。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百二十七首）

① 枣花：在中国古代曾以枣花作茶料，从皮日休《茶瓯》诗“枣花势旋眼，蕊末香沾齿”可知。这句中的“枣花”，仅指茶叶。

② 一二句：描写饮茶。

③ 矮室：指茶屋。全句是指借茶室商议事情。

④ 铜瓶：指茶壶。“雨过悄无声”，指茶壶里的水已煮好。

⑤ 丰太阁：即丰臣秀吉。

⑥ 陆氏《茶经》：唐代陆羽撰的《茶经》，共三卷，叙述制茶器具及烹茶诸法颇详细。

⑦ 蔡氏《茶录》，宋代蔡襄撰的《茶录》，共二卷。上篇论茶，下篇论茶器。

40.功夫茶（二则）

（一）

归游星冈①，亦名三皇山，在中国使署后。老柏三五，多数百年前物。有日本人以新茶末生火量水，假古陶器，品浓汁少许，谓之“功夫茶”。

（傅云龙：《游历日本馀记·前编上》②）

① 星冈：地名，在日本东京。

② 傅云龙，清末浙江德清人，曾任兵部郎中。光绪十三年（1887年）九月被派出国，往日本、美国和秘鲁诸国游历，至十五年九月回国，共撰述了游历图经八十六卷，此外还将游历日记编为馀记十五卷。《游历日本馀记》即《游历日本图经》（三十卷）这部国外考察记的一种附录。

（二）

（光绪丁亥闰四月）初九日，登天王山①，过星冈茶寮，饮工夫茶。茶室甚小，仅容三四人，碗皆窳旧，碾之成粉，调之成末，女鬟持以饷客，跪献甚恭。茶色新绿而味微苦，受而啜之，不遗一滴也。

（王詠霓：《归国日记》②）

① 天王山：在日本东京。

② 王詠霓，字子裳，清末浙江黄岩人。光绪庚辰进士，历官凤阳知府，后为职业外交官。光绪十三年（1877年），从欧洲归国时绕游英、美、日本诸国。《归国日记》即记述此次归国行程中的见闻。

41.尊佛敬祖，轻生无争

（日本）俗尊佛，尚中国僧。敬祖先，时扫坟庐。得香花佳果，非敬佛僧，则上祖坟。人轻生，有犯法者，事觉向荒山割肚自杀，无累他人。立法最严，人无争斗，语言寂寂。呼童仆，鸣掌则然诺。无售买人口，佣工期满即归。

（陈伦炯《海国闻见录》上卷
《东洋记》）

42.拜　　佛

其处人民俱重拜佛。舆山边海旁，多以石刻置佛像。坟墓石碑，多刻《南无妙法莲花经》①。予至大安寺，见人拜佛，不设香烛，拜后放钱数文于箱，名曰放生钱。寺有僧二名，以纸求予书。予观山景，则书“峰回水绕”四字与之。某亦题诗曰：

一丈方庵玉座同，寸馀砚石白云通。
黄金毕竟尘中② 物，不省③ 明朝炊米空。

（罗森：《日本日记》④）

① 《南无妙法莲华经》：佛经名，即《妙法莲花经》，简名《法华经》。七卷，罗什译。此经说一切不可思议之一乘法。

② 尘中：世俗之中。

③ 不省（xǐng醒）：不知道。

④ 关于罗森的生平，现存资料不多。从他的日记和《遐迩贯珍》编者的弁言里知道他是广东人，和香港的英美传教士有交往。他可能懂得英文。1853年和1854年连续两年，美国东印度舰队司令马登·柏利曾率领舰队到日本江户湾，强迫日本结束闭关锁国政策。罗森当时就在这个舰队里为美国人服务。他将此行的见闻，写成《日本日记》，在1854年至1855年香港的中文月刊《遐迩贯珍》上发表，这是现在知道的中国人所写的第一部日本见闻录，也是这次重大事件的一份目击记。

43.以橘蚕为神

三千神社尽巫风①，帐底题名列桂宫②。
蚕绿橘黄争跪拜，不知常世是何虫？

俗最敬神。《延喜式》所载神名帐，悉数之不能终也。国中大小神社凡三千余座。昔有所谓“常世虫”者，产于橘树，如蚕，绿有黑点。有大生部多③，能宠灵是虫，而诳人曰：神也。于是巫觋奔趋，所在迎神，设几筵，罗供帐。神或语人曰：吾能福尔。于是相叫呼曰：福至矣。乃至鬻田园，饥妻子，尚以为布施不足云。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第八十五首）

① 巫风：《尚书·伊训》：“敢有恒舞于宫，酣歌于室，时谓巫风。”《疏》：“巫以歌舞事神，故歌舞为巫觋之风俗也。”此指以歌舞事神。

② 桂宫：汉朝宫殿名，此指神社。

③ 大生部多：有关大生部多之事，见于《日本书纪》皇极天皇三年七月条：“东国不尽河边人大生部多，劝村里人祭虫曰：此常世虫，祭此神可致富且寿。巫觋等遂假托神语曰：祭常世神，贫人致富，老人还少。因此民家舍财宝，路侧陈酒菜、六畜……”

44.神　　庙

步出寺门一箭之地，有山溪，砂石流泉，水光彻底，堪以濯缨①。池之町②有一庙，内制偶像，身带弓矢。庙墙每悬一镜，画一船，大抵人家行洋，托赖平安酬恩之意。亦有发髻数十枚挂于墙上，亦是酬恩者。

（罗森：《日本日记》）

① 濯缨：洗帽带子。典出《孟子·离娄》：“有孺子歌曰：‘沧浪之水清兮，可以出濯我缨，沧浪之水浊兮，可以濯我足。’”

② 町：本指田区畔埒，此指边上。

45.舞　　祀

又游生玉宫，建于天正① 年，当明万历年，祀生国、荣国两鬼神。是日适观舞祀。一女赤足衣白，持悬线杵立汤釜前，入酒米于釜，以竹梢搅之，盘旋回洒而舞。两道士鸣鼓与钵。旧俗然也。

（傅云龙：《游历日本馀纪·前编下）

① 天正：日本正亲町天皇的年号，自公元1573年至1585年。天正元年，正好是明朝万历元年。

46.赤　信　女

乌啼月落写哀思①，剪发翻同练行尼②。

红泪洒来题赤字③，不堪石阙④ 独含悲。

僧又为之制谥，或曰“月落乌啼庵主”，或曰：“绿树院重阴居士”。夫死，妻则剪发去饰，更名用谥，称曰某院，俗曰“赤信女”。盖以碑面镌夫妻谥，其未亡人则涂以朱，故有此名也。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第一百首）

① “乌啼”句：乌啼月落，暗指“月落乌啼庵主”，意思是：一个谥号寄予哀思。

② “剪发”句：意思是夫死妻子剪发去饰翻同梁孝文帝的废后冯氏。练行尼，本于《海录碎事》卷十一下：“梁孝文废后冯氏，贞谨有节操，遂号练行尼。”

③ “红泪”句：指以碑面镌夫妻谥，未亡人就涂上红色。
④ 石阙：指墓碑。

47.人死后以桶殓之

日人崇尚释教，死后不论男妇①，皆薙发以桶殓之，将人跪于桶内，盖如生人之坐也。葬不大，亦不论风水。每一梵刹②后园中，葬坟无数。皆有石碣③，子孙常省墓④，必以水洗碑插花为供，亦可谓孝思矣。

（阙名：《日本杂记》）

① 男妇：男子和妇女。
② 梵刹：佛寺。
③ 碣：圆的碑。
④ 省墓：扫墓。

48.多用火葬

散路抛钱买路行，莲花妙法写铭旌①。
桐棺三寸②如人立，易履相迎入化城③。

旧多用火葬，木棺直立如佛龛。延僧诵经，以药水拭其体，使尸软如泥。乃令死者合掌趺坐，外糊以纸，书“南无阿弥陀佛”六字，或“南无妙法莲花经”七字。葬之日，前列纸幡二三十，亦书六字七字如棺，和撒钱而行，曰买路钱。编竹为化人城。主人多置草屣入城；出，易屣归。丧家初用白衣白巾；葬，易彩衣而归。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第九十九首）

① 铭旌：古时丧具之一，即“明旌”。《周礼·春官·司常》：“大丧共铭旌。”此诗中指纸幡。

② 桐棺三寸：指薄棺。桐木制成的棺材，是最粗恶的棺材。《墨子·节葬》：“禹葬会稽之山，衣衾三领，桐棺三寸，葛以缄之。”

③ 化城：本佛家语，指一时化作的城廓，喻小乘的涅槃。这里指火化人的城。

49.僧徒均许食肉娶妻

佛阁沉沉覆黑天①，黄标百万数堆钱②。

大师自主鸳鸯寺③，梵嫂同参鹦鹉禅④。

本愿寺号一向宗，僧亲鸾为教主⑤。其法谓不必离俗，不必出家；但使蓄妻子，茹荤酒，此心清净，即为佛徒。日本之民，因是半为僧矣。明治六年⑥下令，凡僧徒均许食肉娶妻。僧妻曰库里，曰大黑。大黑，俗所称为司财之神也。维新后，僧徒田产多没入官，而势始衰矣。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第八十一首）

① “佛阁”句：形容佛寺众多。

② “黄标”句：形容僧徒之富。黄标，本于《南史》卷五十一《临川靖惠王宏传》：“宏性爱钱，百万一聚，黄牓标之，千万一库，悬一紫标，如此三十余间。”

③ “大师”句：喻僧侣可以娶妻。

④ 梵嫂：僧侣之妻。同参鹦鹉禅，一同象鹦鹉学舌般念经。

⑤ 僧亲鸾为教主：《日本国志·礼俗志四》：“亲鸾（创立本愿寺，号一向宗，又号本愿寺门徒）。”

⑥ 明治六年：即公元1873年。

50.探　汤　法

拜手① 中臣罪祓除，探汤剪爪仗神巫。

竟将老子匮中物，看作司空城旦书②。

古无律法，有罪，使司祝告神。害稼穑、污斋殿为天罪，奸

淫、蛊毒为国罪，皆请于神祓除之。轻去爪发，重惩赎物。今尚传有中臣禊祠③，即其事也。且有探汤法④，入泥鑊中煮沸，使讼者手探之，以董正虚实。是皆余所谓方士法门也。刑于无刑，真太古风哉！至推古⑤乃作宪法，后来用大明律⑥，近又用法兰西律；然囹圄⑦充塞，赭衣⑧载道矣。

（黄遵宪：《日本杂事诗》第四十三首）

① 拜手：拜时头至手。《尚书·太甲》："王拜手稽首。"

② "竟将"二句：意思是，竟将一般寻常见惯的东西，看作日本古代的刑书。簏中物，本于《三国志·韦曜传》："孙皓即位……时所在承指数言瑞应。皓以问曜，曜答曰：'此人家簏簏中物耳。'"司空，汉朝时主管囚徒的官。司空城旦书，代指刑书。"看作"句本于《史记·儒林传》："窦太后好《老子》书，召辕固生问《老子》书。固曰：'此是家人言耳。'太后怒曰：'安得司空城旦书乎？'"《集解》徐广曰："司空，主刑徒之官也。"

③ 禊祠：祓除罪过的地方。

④ 探汤法：日本古代审案的一种方法。据《日本国志·刑法志一》载："应神时 有探汤听讼之法（以泥置釜中煮沸，令讼者手探之，直者不伤手，曲则手烂。

⑤ 推古：即推古女皇，在位三十六年（公元593年至628年）。

⑥ 大明律：指我国明代律法。

⑦ 囹圄：牢狱。

⑧ 赭衣：我国古代囚犯所穿的赤褐色的衣服，后来亦以此作为罪人的代称。

51.参观监狱

（光绪十三年十月）三日，日下① 知事遣兵部科藤田俊范导游监狱，其长池上四郎偕视。男监房五十二，已决之属，有禁锢监，有屏禁，有暗室，而暗室为最。地板数孔，裁② 足通气。岁未二十者入惩治监；病入病监；否则驱之监内工业场，舂米、结绳，强弱有差，其值计十之二，然在狱不支也。未决者（犹言未定，亦曰未济）支全直③。凡犯四百有奇④。女监十，其目与男同，其工课织纫，凡犯三十九。有堂，七日一说佛法，且有幼犯

读书习字处。

（傅云龙：《游历日本馀记·前编上》）

① 日下：即日下义雄，当时任长崎县知事。
② 裁：与“才”同。
③ 直：同“值”。
④ 有奇：有余。奇，余数。

52.隼　人

犬吠声来出隼人、大家角牴样翻新①。
数他竿木逢场戏②、几个翩翩善舞身③？

有隼人，世习相扑戏。相扑，角牴也④。植竿于肩，高出云表，儿缘而升，疑拙疑巧，捷若飞猱⑤，翩如坠鸟，则有戴竿戏。以柱缚绳，飘然凌空，处女脱兔⑥，索上相逢，摩肩而过，势若不容，则有高絙伎⑦。黄金四目，氅戎⑧跳舞，一人假面，二人击鼓，掷与一钱，欢跃而去，则有狮子舞。俱贱者为之，藉以营生。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百八十二首）

① “犬吠”二句：描述相扑戏。
② “数他”句：写戴竿戏。此句本于《传灯录》：“邓隐峰云：竿木随身，逢场作戏。”苏轼《六观堂老人草书》诗也有“逢场作戏三昧俱。”
③ “几个”句：写高绚伎。
④ 角牴：西汉时已流行的一种游戏。俗称摔跤。
⑤ 飞猱：跳跃如飞的猴子。
⑥ 处女脱兔：比喻舒而不纵，行动迅速。《孙子·九地》：“是故始如处女，敌人开户；后如脱兔，敌不及拒。”处女，喻舒而不纵。脱兔，喻行动迅速。
⑦ 高绚伎：走高索的艺人。绚，大索。
⑧ 氅戎：毛散开的样子。

53.猿　乐

吹螺竞作天魔舞①，傅粉翻同脂夜妖②。
红襦绥领碧绸袴，骑上屋山打细腰③。

猿乐名散乐，俗谓之“能”，又变为田乐。始自北条④，盛于室町⑤。及丰太阁⑥自学之，王公贵人，皆丹朱坋身⑦，上场为巾帼舞⑧，与优人相伍。部中色长曰大夫，副曰嗢基师，副末曰狂言师，歌工曰地讴。所奏曲词，多出于浮屠⑨，装饰乃近于娼优⑩。乐器有横笛、三鼓。三鼓：一曰大鼓，广于羯鼓⑪，承以小床，用两杖击之；二曰小鼓，似细腰鼓，捧左右肩，拍以指；三曰横胴，挟左胁下，亦以指拍之。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百五十四首）

① 天魔舞：唐代舞乐名。王建《宫词》：“十六天魔舞袖长。”按元顺帝至正中，以宫女十六人，珠璎盛饰，为菩萨相而舞，称作天魔舞，大概就是唐代的遗制。

② 脂夜妖：《汉书·五行志》（第七下之上）：“传曰：思心之不睿，是谓不圣。厥咎霿，厥罚恒风，厥极凶短折，时则有脂夜之妖。”此指娼优之类。

③ “骑上”句：本于韩愈《寄卢仝》诗：“每骑屋山下窥瞰。”屋山，即屋脊。此指舞台上设的坛。

④ 北条：即北条氏当政的镰仓时代（即公元1192年至1333年）。

⑤ 室町：即足利氏当政的室町时代（即公元1338至1573年）。

⑥ 丰太阁：即丰臣秀吉。

⑦ 丹朱坋身：《后汉书·东夷传》：“并丹朱坋身，如中国之粉也。”丹朱坋身，即以丹朱傅身。

⑧ 巾帼舞：妇人舞。巾帼，本指妇人的首饰，后来就以巾帼作为妇人的代称。

⑨ 浮屠：佛道。

⑩ 娼优：艺人。

⑪ 羯鼓：乐器。《通典·乐典》：“羯鼓正如漆桶，两头俱击，以出羯中，故号羯鼓，亦谓之两杖鼓。”

54.犬　　射

狗吠声腾马足驰，狩衣草屨古威仪①。
锦旗日曜红轮影，来看公侯习犬追②。

旧有犬射，编竹为城，纵犬于城内，驰逐而射之。皆公卿贵人亲执辔，狩衣草屨，妆束古朴。其磬控纵送③，均有法度，名曰犬追物。设台四隅，招邀贵客凭轼而寓目焉。君后亦亲临观礼。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百二十一首）

① “狗吠”二句：描述在竹城内公卿贵人进行犬射的具体情况。
② “锦旗”二句：写观看犬射者的情况。
③ 磬控纵送：形容善御善射。《诗经·郑风·大叔于田》：“抑磬控忌，抑纵送忌。”《传》：“驰马曰磬，止马曰控，发矢曰纵，从禽曰送。”

55.正　宗　刀

正宗千锻出金精，薛烛① 犹惊弟子名。
秋水芙蓉光内敛②，一挥头白不闻声③。

正宗者，相模国人，冈畸氏，好炼刀。壮走四方，访锻师数十年。八十归，神而明之，遂成绝技。举世称为正宗，价值数千金。某侯好之，得以试囚，头落而无声。赝者④极多。老儒根本通明精相刀，告余曰：“正宗刀内坚外柔，切铁如泥而铓刃不顿，有金线，有玉光，有闪电，有流声，有回澜，细观乃得之。其气象温润而泽，缜密而栗。彼锋芒外露，若不可逼视者，伪也。通明又言：“正宗之子为贞宗，弟子称十哲。义宏者比颜子⑤，其刀似正宗，而锐利过之。正宗不可得，得义宏亦可也。”

自欧公来⑥，咏日本刀歌者甚多⑦。名为屈伸刀，则告者过也。刀环重者亦值数百金。

日本上古之剑，既有天羽斩、大叶刈、蝮灵之名，所谓天丛云剑，乃为传国三器中之一。中古以来始贵刀，源氏之"鬼斩"、平氏之"小鸟"尤著名。后鸟羽帝⑧亲自督造，谓之御所锻。逮建武⑨大乱，兵革相踵，名工益辈出。于是相模有正宗、贞宗，越中有义宏、则重，筑前有源左，美浓有兼氏。铸冶之良，莫盛于斯。自兵法改用枪炮，士夫又禁佩带，名刀遂绝响矣。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百六十九首）

① 薛烛：古代刀剑鉴定家。《越绝书》载："昔越王勾践有宝剑五，闻于天下。有客薛烛能相剑。"

② "秋水"句：写正宗刀的光芒，好象秋水芙蓉，温润而不外露。

③ "一挥"句：写正宗刀的锐利。一挥头白，本于《越绝书》中的故事："楚王引剑登城麾之，猛兽欧胆，江水折扬，晋郑头白。"

④ 赝者：假货。

⑤ 颜子：孔子的学生颜回。

⑥ 自欧公来：自欧阳修以来。

⑦ 咏日本刀歌者甚多：欧阳修的《日本刀歌》实为司马光所作。中国人写过咏日本刀的作品的，有明代的唐顺之、王穉登，清代的陈恭尹、梁佩兰、沈德潜等。如陈恭尹的《日本刀歌》有云："白日所出金铁流，铁之性刚金性柔。铸为宝刀能屈伸，屈以防身伸杀人。'

⑧ 后鸟羽帝：即后鸟羽天皇，在位十五年（即公元1183年至1197年）。

⑨ 建武：后醍醐天皇的年号（即公元1334年至1337年）。

56.樱饭、樱茶、樱饼

持花作饭胜胡麻①，嚼蕊流酥更点茶②。
费尽挼莎才结果③，果然团子④贵于花。

有卖樱饭者，以樱和饭。有卖樱饼者，团花为餡⑤，或煎或蒸，谚有"团子贵于花"之谣。卖樱茶者，点樱为汤，少下以

盐，人谓可以醒酒。花枝或插于帽，或裹于袖，或系于带，游客归时，满城皆花矣。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百二十三首）

① 胡麻：又名油麻、脂麻（俗作芝麻）。据说汉代张骞至大宛，始得其种，故名胡麻。

② “嚼蕊”句：指点樱为茶。

③ 挼莎：犹挼挲。以手抚摩。此指“团花为馎”的动作。结果，指做成“结果”（据《日本国志·礼俗志二》：日本饼类之一种曰结杲。）

④ 团子：《日本国志·礼俗志二》：“以粉米为团，曰团子。”此指樱花饼。又云：“以蒸米捣为餈，通谓之饼。”“缀以樱花，有樱花饼。”

⑤ 馎：饼。李蕚《馋语诗》：“拈馎舐指不知休。”按《玉篇》：“蜀人呼蒸饼为馎。”

57. “鸡锅”

连日予小病，又事，胸襟不舒。午后偕外子① 出门散步，意欲登諏访山，未至，见层坡高耸，询知上有天满寺，登焉。残樱在枝，芳藤倒垂。憩于茶寮② 。长崎名物有所谓“鸡锅”者，穴案之正中为圆孔，孔悬器置炽炭，上承一锅，炙鸡肉，客自调味就食。忆括苍冬令③ 有此食法，姑试之，就藤花下坐饮啖鸡。仍步归，汗出，顿觉健爽。

（钱单士厘：《癸卯旅行记》④）

① 外子：丈夫。

② 茶寮：茶馆。

③ 括苍：地名，今浙江丽水县。冬令，冬季。

④ 钱单士厘（本人姓单，按当时习惯冠以丈夫的姓氏），字受兹，清末浙江萧山人。丈夫钱恂，很早投身外交界，历任荷兰、意大利等国公使。她是最早走出闺门，走向世界的中国知识妇女之一。《癸卯旅行记》是她于光绪二十九年（1903年）随丈夫出游所记，是我们现在所知道的中国第一部女子出国旅行记。

58.菊为皇族徽志

当王徽号贵黄花①，时唤臣僚共斗花②。
淡极秋容③翻富贵，疏篱茅舍到官家④。

自朱雀帝⑤时，始为菊合（凡分两朋，以角优劣，谓之合。斗歌曰歌合，斗诗曰诗合，斗扇曰扇合，斗画曰绘合，斗鸡曰鸡合，当时语也），王公以下各赐物。嵯峨帝尝为《菊花赋》⑥，故历朝尤赏菊，菊遂为皇族徽志。今御苑尚栽菊数百盘，每盆开花，有至五六百枝者。花时，必招各国使者及诸省院长次官为竟日之游。

（黄遵宪：《日本杂事诗》
第一百二十首）

① “当王”句：意思是黄色的菊花是当今皇族的徽号。

② 斗花：此指展览菊花，品评优劣。

③ 淡极秋容：为“秋容淡极”的倒置法。本于韩琦诗句“莫嫌老圃秋容淡，自爱黄花晚节香”。

④ “疏篱”句：指菊花本生长于疏篱下、茅舍旁，如今在日本却到了宫家，成了皇族的徽志。

⑤ 朱雀帝：即朱雀天皇，公元931年至946年在位。

⑥ 嵯峨帝：即嵯峨天皇，公元810年至823年在位；他的《菊花赋》全称《重阳节菊花赋》，载于《经国集》卷一。

59.王宫画三代汉唐名臣像

随下山，诣日王旧宫。官吏导入，观所谓紫宸殿者。殿屏图三代汉唐名臣，各为之赞。中土流风远矣哉！循殿西行，转数折，过曲廊，涉后园。落叶满阶，鸣禽在树，水喧石罅，泠泠然如闻琴筑① 声。静对片时，尘虑俱息，几不知游迹之在王宫也。宫

之左畔为后宫，日向暮，不获周览。遂趋出，命小车至铁道旁，坐候时许，乃乘火车回神户，二鼓② 始至。

（何如璋：《使东述略》③）

① 琴筑：琴和筑都是乐器名。筑，古乐器。王筠《说文句读》引《乐书》云："筑者，项细肩圆。鼓法：以左手扼项，右手以石击之。"

② 二鼓：即二更，指晚上九点至十一点。

③ 作者生平简介见前。《使东述略》作于出使日本之时，该书简略地介绍了明治维新以来日本的官制、兵制、学校等方面的设施，以及初到日本时的见闻。

60.欢度"七夕"

（日本）国俗每岁三节，皆有灯火歌曲。惟值七夕① ，闹热尤甚，通城小儿聚二千余名，服彩衣，吹笛箫，沿街歌唱。入夜则各执五彩花灯，样式不一，歌声满耳，男女观者如堵。国有孔圣庙② ，关王祠③ ，每年五月十三日举行祀礼。

（张德彝：《再述奇》④）

① 七夕：阴历七月七日夜晚。

② 孔圣庙：即孔子庙。

③ 关王祠：即关羽祠。

④ 张德彝（1847—1918），本名德明，字在初。清末汉军镶黄旗人。职业外交官。自1866年开始，历任我国驻外使馆、使团的随员、通事、秘书、参赞、公使等职。1905年任满回国。从1867年起，即陆续将在海外的见闻写成游记，著有《航海述奇》、《再述奇》、《三述奇》等八种述奇，其中的"七述奇"疑未成书。

61.教育博物院

（光绪己卯十一月）初六日，晴。昨游东照寺，归途车夫指檐牙高矗处谓余曰：此教育博物院也，明日曷① 往观乎？余曰：

唯唯。遂于辰饭后携仆往游。距院里余，遥望有红旗飘飐于半空者。近前视之，立石一人，高近丈许，下设一石池，中藏机械，激水上喷，水清如镜，可鉴人② 也。院外有方阱③ 一，深三丈余，方广二丈，内有熊罴各一，上以粗铁柱纵横冒之④，阱中有小井，可资其饮浴，食物则自铁柱隙中掷下。熊罴皆高近丈，毛黄黑色，见人欲咥⑤，狰狞可怖。绕阱而西，即抵院门。门者⑥每人授竹签一，任其入内。院宇宏广，分屋置器。每屋设小木椅数张，以为学者之所坐息。方者矩，圆者规，权衡斗量，寻尺⑦皆备。其有神明于规矩绳尺之外者，口所不能言，笔所不能载，皆有一式，备人仿制。泰西机器之属，若火车、火船、织纴、针缝等器，均具体而微。苟能一二寻绎⑧ 其意，不难别创一格，以驾夫前人之上。若斤斤于尺寸分秒间规仿之，尚属步人后尘，不免泰西之齿冷⑨ 也。由院之右入后栋，分屋五楹，中间储窥星镜、测天仪，地球大小各数十具。中之左，为置鳞介⑩ 之屋。虾须粗于人背，蟹螯大于车轮，龟壳可以为床，鱼骨可以支柱，非目击者几疑所说之诞。左之左为虫豸⑪ 之类。大者蜈蚣长丈，蝎如羊，倘生致之，人几不敢立近。从屋内登楼，左楼为绘画室。丹青水墨，工细匀妙。写生以显微镜窥之，高下大小，不差秒黍⑫。楼之中楹，悬铜人图四，正背左右各一，穴络分明；范土为人⑬ 而剖其腹，血肉狼籍淋漓，其中脏腑经络，逐一位置，另有小图，各肖其状。倘医者于此细心研究，于治病之道，思过半矣。右楼为储书之所，锦函玉轴，满架牙签⑭，任人繙阅。半系该国典籍及泰西之书，虽欲以裨实用，而蔑弃圣教⑮，大畔⑯ 其先崇尚汉学⑰ 之心，识者嗤其无足观也。从右楼下入院之右，蜀锦齐纨，杭绸湖绉⑱，以及外洋之呢缎羽毛，色色俱备。若者⑲ 稀粗，若者悦目而不堪久留，若者适体而较为耐久，一一区别而详记之，以便入市购买，不受人欺。法良善。纵览竟日⑳，坐东洋人力车忍饥回寓。

（王之春：《东游日记》㉑）

① 曷：何不，为什么不。

② 鉴人：照见人。

③ 阱（jǐng井）：陷坑。

④ 冒之：覆盖着陷坑。

⑤ 啑（dié迭）：咬。

⑥ 门者：守门的人。

⑦ 寻尺：长度单位。寻，古时以八尺为一寻。

⑧ 寻绎：反复研究体会。

⑨ 齿冷：耻笑。因笑则开口，笑的时间长了，牙齿就会感到冷。

⑩ 鳞介：水中动物的概称。

⑪ 虫豸：昆虫。《尔雅·释虫》载，有足谓之虫，无足谓之豸。

⑫ 秒黍：形容极细小。秒，禾芒；黍，小米。

⑬ 范土为人：用泥土做成人的模型。

⑭ 牙签：指藏书的标志，为便于检查。韩愈有诗云：“邺侯家多书，插架三万轴，一一悬牙签，新若手未触。”

⑮ 圣教：此指孔子的学说。

⑯ 畔：通“叛”，违背的意思。

⑰ 汉学：指中国文化。

⑱ 蜀锦：蜀地出产的锦。齐纨，齐地出产的白纨。杭绸，杭州出产的绸。湖绉，湖州出产的绉。这些都是中国出产的名贵丝织品。

⑲ 若者：这个。

⑳ 竟日：终日。

㉑ 王之春（1842—？）字爵棠，清末湖南清泉（今衡阳）人。曾任浙江、广东按察使，湖北、四川布政使，山西、安徽、广西巡抚等职。《东游日记》是他于光绪己卯年（1879年）游历日本时所记，记述在日本的游程和见闻。

62.长崎之博物院

长崎有博物院，在万寿山圣福寺左首山麓。院分数所，第一所瓷器为多，皆日本自造。大盘径四尺余，瓶高八尺，绘画雕刻，亦颇可观，价亦不贵。第二、三、四所各物杂陈，如矿产、石料、农器、乐器、衣冠、盔甲。各样禽鸟之皮毛，中实以棉，嵌以假眼，活泼如生。云系英国人送来者，上海格致书院内亦有此数种。所设字画，则有宋徽宗白鹰①，赵子昂马②，海刚峰③、史阁部④字。他如中国笔墨、东洋漆器、布帛、丝绵，分类而设。更有古衣冠二尺高坐身神像二十余，亦置两行架上，至此如

入古刹⑤然。

（李筱圃：《日本纪游》⑥）

① 宋徽宗白鹰：宋徽宗画的白鹰。宋徽宗，即赵佶，工书画。

② 赵子昂马：赵子昂画的马。赵子昂，名孟頫，元代湖州人，能诗，擅长书画。

③ 海刚峰：即海瑞，明代广东琼山人，字汝贤，自号刚峰。回族。小官僚家庭出身，家境贫寒。嘉靖举人。曾任户部主事、应天巡抚、南京吏部右侍郎、南京右佥都御史，力主严惩贪污，曾平反一些冤狱，民间有“海忠介公居官公案”、“大红袍”等传说。著作有《海瑞集》。

④ 史阁部：即史可法，明末河南祥符（今开封）人，字宪之，号道邻。崇祯进士。李自成灭明朝，他在南京拥立福王（弘光帝），加大学士，称史阁部。因马士英等不愿他当国，以督师为名，使守扬州。清多尔衮致书诱降，却之，坚守孤城。清军南下，扬州城破自杀未遂，为清军所执，不屈被杀。有《史忠正公集》。

⑤ 古刹：古寺庙。

⑥ 《日本纪游》收在《小方壶斋舆地丛钞》第十帙，署作“阙名”。今知作者为日本大河内辉声（源桂阁）《庚辰笔话》中所记载的李筱圃。李氏曾在江西吉安府做过同知，于光绪六年（1880年）春夏之交到日本游历了两个月。本书即为他记游之作。

63.戏园情状

戏园之屋仿佛中华，但坐客之地皆以板隔，作方槽，每一槽内可席地而坐四人上下，可容千余人。戏台甚大，优人① 但说白而不唱。左首小楼坐弹弦者二人，着大红半臂，偶或大声喝唱三二句，不知何辞，不知何调。右首小楼内有数人击鼓吹笛鸣小钲，亦无音节。大约观者专看伶人② 之扮演情形，能肖能妙，则喝采齐声，不计曲词腔调。其所演之戏并非故事，皆出新编，全本可演一月。编成，先将戏名、目录、情节、扮演形状分为数十出，刻作小本出卖。故坐观者，多手一本也。

（李筱圃：《日本纪游》）

① 优人：做戏的人。
② 伶人：本指乐工，这里泛指演员。

64.燃木柴捕鱼

（光绪六年五月）初三日庚午，戌刻，行近神户约二百里，无数渔舟皆明灯火。近视之，乃以铁为络，伸出船边，烧以木柴，故亮光甚大。据云鲦鱼[1]喜近灯火，故于夜间捕之。数十里海面如万点繁星，诚为一大观也。

（李筱圃：《日本纪游》）

① 鲦（tiáo条，又读yóu由）鱼：亦称白鲦。《庄子·秋水》："鲦鱼出游从容。"

65.天满宫

天满神宫祀道真①，瓣香②长爇③此方民。
姝姝媛媛④争崇奉，恍似安南⑤解大绅⑥。

大坂有天满宫极华丽，祀菅原道真⑦，日本先世名臣，世管学政者也。祠宇遍其国中。《安南行记》称其土人祀解缙⑧，亦其类欤！

（何如璋：《使东杂咏》第三十四首）

① 道真：指菅原道真。
② 瓣香：形状似瓜瓣的香。《祖庭事苑》："古今尊宿，拈香多云一瓣，瓣，瓜瓣也，以香似之，故称焉。"
③ 爇（ruò弱，又读rè热）：烧；点燃。同"焫"。
④ 姝姝媛媛：柔顺听从的样子。
⑤ 安南：越南的旧称。

⑥ 解（xjè谢）大绅：即解缙。

⑦ 菅原道真：字三，小名阿呼。日本元庆元年（877年）文章博士，仁和二年（886年），任赞岐守，得到宇多天皇信任，升任右大臣。延喜元年(901年)被贬，延喜三年卒，年五十九。著有《菅家文草》、《菅家后草》、《菅家万叶集》、《菅家遗诫》、《类聚国史》、《三代实录》等。

⑧ 解缙：明代江西吉水人，字大绅。洪武年间进士，授庶吉士。曾草万言疏指斥朝政。成祖时，累进翰林学士，兼右春坊大学士，因赞立太子，为汉王高煦所厌恶，几次进谗言，又因谏讨交趾忤旨，于是出为广西参议。既行，为李至刚所构，改交趾。高煦又以他事陷害他，逮下诏狱而死。著有《文毅集》。

66.丰臣遗迹

“丙辰，由铁道赴大坂。”“城小而坚，石濠深阔，镇兵驻之，丰臣秀吉遗址也。秀吉奋迹人奴①，袭织田②之业，称雄东海。课列藩，筑城以自固。乃暮齿③骄盈，不自量度，欲抗衡上国。暴十余万之师，西争高丽④，卒为明兵所扼，力绌势穷，国为之敝。身殁未久，遂覆其宗。兵犹火也，不戢自焚。秀吉之谓乎！”

（何如璋：《使东述略》）

① 秀吉奋迹为人奴：据《日本国志·国统志》注，丰臣秀吉家微为人奴，盗其主黄金六两，买刀剑衣服，伪姓名曰木下藤吉，谒信长于道，乞为奴。信长熟视之曰：汝面类猴，汝心亦必如猴矣。常命之拏鞋，呼曰猴奴。试以事，多机智。遂宠任之，使将兵。

② 织田：即织田信长，当时的藩主。

③ 暮齿：晚年。

④ 西争高丽：向西边争夺朝鲜。丰臣秀吉进攻朝鲜之事，发生在明朝万历二十年（1592年）。

67.源光国之后乐园

（光绪五年四月）初五日。是日偕同人至重野成斋① 家，屋宇幽静，陈设精雅，不愧为名士风流也。继同登车至后乐园。园

在炮兵厂内，今为陆军省② 所管理，以名贤遗迹，不敢毁也。当明季③ 时，源光国④ 让其国于其兄之子，解簪绂⑤，老于藩，开史馆于江户⑥ 邸内，称彰考馆。馆旁设园池，即此地。木石苍古，池水潆洄，临水一椽，即当日修史亭也。常会集诸名士于此，流觞飞羽⑦。时，明遗老朱之瑜以避难航海来此，源光国方为水户藩侯，特以师礼事之。园之甫建，朱君实为之经营。引水成池，广袤无际，仿佛小西湖。池畔为山，盘旋而上，有得仁堂，以祀孤竹⑧ 二子伯夷叔齐⑨ 者也。源光国让国后，多居西山，亦以自号，盖有慕于孤竹之高风欤！其地亦号砾川。考朱之瑜，字鲁屿，日人称曰舜水先生，浙江余姚县贡生。明亡，走交阯⑩，数来日本，遂家焉。年八十余卒，源氏题其墓曰：明征士，从其志也。舜水为程朱之学，一时靡然风从，弟子多著名者。郑芝龙客台湾，尝寄书舜水，欲乞师图复明。鲁监国之臣曰王翊，在余姚大岚山败亡者，亦其友也。《余姚志》无传，应补之。明亡至日本者凡三人，在水户则朱舜水也，在尾张则陈元赟也，在纪伊则戴曼公也。曼公后入黄檗山为僧，曰独立。时有张斐者，亦来此以终，皆胜国⑪ 通臣也。朱舜水始劝侯建学宫，规模一如中土，诸藩并起而效之，是舜水实开日本文教之先声，宜水户藩侯，终身执弟子礼，敬之弗衰也。源光国作日本史，意在尊王，顾身属幕府懿亲⑫，未敢显言。后有布衣高山彦九郎、蒲生秀实者起，始著论欲废藩服，尊王攘夷，一倡百和。幕府严捕之，身伏萧斧者⑬ 不可胜数，然卒赖以成功。光国裔孙曰：齐昭实以藩臣，始唱尊攘，然则今日维新之治，实黄门一家⑭ 之勋也。园中多数百年古木，园额尚是朱舜水所书，有《瘗鹤记》一碑，亦《瘗鹤铭》之流亚也。

（王韬：《扶桑游记》⑮）

① 重野成斋：鹿儿岛人，名安绎，字士德，通称厚之丞，号成斋。明治维新后，

任史局副长，一等编修官，元老院议官兼文科大学教授，贵族院议员，史学会长等职。明治四十三年（1910年）卒，年八十四。著有《成斋先生遗稿》、《大日本维新史》、《大日本编年史》、《帝国史谈》等。

② 陆军省：即陆军部。

③ 明季：明朝末年。

④ 源光国：即德川光国，旧藩主，历史学家。

⑤ 解簪绂：免除官职。簪绂，发簪和系印的带子，代指官帽和官印。

⑥ 江户：日本东京的旧称。

⑦ 流觞飞斝：喻喝酒作乐。流觞，古人修禊之日，与会者立于曲水之旁，投觞于水之上游，任其循流而下，止则取而饮之，谓之流觞。飞斝（jiǎ甲）：频频举杯。斝，玉杯。

⑧ 孤竹：商朝时的国名，汉朝时属辽西郡，今属河北省。孤竹君姓墨胎，伯夷、叔齐即孤竹君二子。

⑨ 伯夷、叔齐：伯夷，名元，或作允，他的父亲将死时，遗命立他的弟弟叔齐为国君。父死后，叔齐让伯夷，伯夷说：这是父亲的主意。于是逃走。叔齐亦不肯做国君而逃走。后来周武王灭商，伯夷、叔齐因耻食周粟，隐于首阳山，采薇而食，结果饿死。

⑩ 交阯：今越南北部。阯，又作“趾”。

⑪ 胜国：亡国，已亡之国为今国所胜，所以称胜国，此指明朝。

⑫ 懿亲：至亲。

⑬ 身伏萧斧者：被杀的人。萧斧，斧名。

⑭ 黄门一家：此指源光国这一家。他是德川幕府的至亲，所以称为“黄门”。黄门，原为我国官署名，秦汉以来有黄门侍郎、给事黄门侍郎等官，居禁中给事。

⑮ 王韬（1828—1897），清末江苏长洲（今吴县）人。初名利宾，字紫铨，号仲弢，别号弢园老人、天南遁叟。曾任职于英国教会办的墨海书馆。在太平天国和第二次鸦片战争发生后，屡向清政府献“平贼”、“御戎”等策，未被采纳，因化名黄畹，上书太平军将领而被清政府缉拿。逃往香港后，为传教士翻译中国经书，并主编《循环日报》。光绪五年（1879年），东游日本。《扶桑游记》即记此次东游之事。

68. 富士山（四则）

（一）

国中峰峦险阻，崎岖不平。通计火山四十有九，喷焰吐烟，屡遭地震。此四十九座中，今已息灭者三十有二。山之最著者名曰富士山，在东京西南约二百里。高峻绝伦，为通国群山冠。顶上

积雪，经月不消。日本国史纪：孝灵天王五年①，即中国周赧王二十二年，骏河国富士山涌出，谓其平地震撼而突起高山也。嗣后更迭爆烈，屡见记载。其罹灾最烈，在唐咸通② 初叶，即清和天皇③ 年间，山如红炉，火光遥烛，烟焰上腾，高出云表④，地轴转旋，若雷震耳。如是者十日，卒乃轰然一声，山麓崩裂，飞沙走石，如海潮决堤，狂波汗湃，死伤无数，方广二百里内，几成荒野，而人迹亦不可复睹矣。嗣于康熙四十五年⑤，山阪⑥ 复裂，沙土之远飏者，周围至八百里。东京一带，平地积沙数寸。山下之民，殆不可问，怵目伤心，莫此为甚。百余年来，火势渐减，今则阒然⑦ 无闻矣。富士山涌出之年，同日京都东北亦频频地震。沃野百余里，陷成泽国，后人名之曰近江。又以形似琵琶，名琵琶江。

（龚柴：《日本考略》⑧）

① 孝灵天王五年：据山西省图书馆编印的《中国日本朝鲜越南四国历史年代对照表》载，即公元前286年，周赧王二十九年，而不是周赧王二十二年。这可能由于日本古史对帝王即位年代说法不一而造成。

② 咸通：唐懿宗年号，自公元860年至873年。

③ 清和天皇：在位十八年，自公元858年至875年。

④ 云表：云外。

⑤ 康熙四十五年：即公元1706年。

⑥ 山阪：山陂。

⑦ 阒（qù去）然：静静地。

⑧ 作者简介见前。《日本考略》记中日交往概况、日本的区划、官制、生活习俗、火山奇景等。

（二）

其地距富士山麓约四十八里（日本里八），而如咫尺。峰矗万四千一百七十尺，一名不二山，又有白扇倒悬之目，盖象形云。日本地志略谓四时戴雪，每当中国七月，为西纪① 八月，雪融，三十余日，游之者众。日本史言孝灵② 时夜生一山。《庆宏

纪闻》言，宝永③年间，山地大震，发火焰，生一小山于其山腹，名宝永山。富士山顶大坑，盖火处也，其信然欤。山跨相模、骏河、甲斐三国境，东有足柄、箱根二山，与鹰山对。

（傅云龙：《游历日本馀纪·前编下》）

① 西纪：西历纪元，即今公历。
② 孝灵：即孝灵天皇。
③ 宝永：东山天皇的年号（即公元1704年至1710年）。

（三）

拔地摩天独立高，莲峰涌出海东涛①。
二千五百年前雪，一白茫茫积未消②。

直立一万三千尺③，下跨三州者为富士山，又名莲峰，国中最高山也。峰顶积雪，皓皓凝白，盖终古不化。

（黄遵宪《日本杂事诗》第二十三首）

① “拔地”二句：写富士山的高。
② “二千”二句：写富士山的寒。
③ 直立一万三千尺；《日本国志·地理志》载：“直立凡一万四千一百七十尺，其状如芙蓉，四面皆同。”

（四）

向西赴见富姿山①，高约一千三百丈，土人呼为“福思雅玛”。国王岁时修旅祭之礼，国人敬之如华人之虔奉泰山。上有积雪，终年不化。每晨起远望，青云一缕，横亘山腰，令山之上截如悬天际然。

（张德彝：《再述奇》）

① 富姿山：即富士山。

69.长崎的半月山

有山曰半月山，相传郑成功幼时，其母亡入日本。后以楼船数百艘来访，无从认识，但以乌牙① 为记。于时崎② 之妇女乃尽染其齿。大索三日不得，临行之际，示其威武，架大炮攻山，山震去半，崎人服焉。今多劫火痕，如悬釜覆甑，草木与他山亦差异。

（汪鹏：《袖海篇》）

① 乌牙：黑牙齿。
② 崎：指长崎。
③ 汪鹏，字翼仓，号竹里山人，清代浙江钱塘（今杭州）人。善画工诗。乾隆甲申年（1764年）游历日本，寓于长崎唐馆。《袖海篇》即记此次游历日本长崎的见闻。

70.琉 球 概 况

琉球① 始名流虬。（《中山世鉴》云：隋使羽骑尉朱宽至国，于万涛间见地形如虬龙浮水中，故名。）《隋书》始见，则书流求。《宋史》因之。《元史》曰瑠求。明洪武② 中改琉球国。在闽福州正东一千七百里偏南三里。其地形东西狭长，宽处数十里，南北长四百四十里。自中山首里南至喜屋武边海，紧行一日半，北至国头边海，紧行三日半。明永乐③ 以前，国分为三，曰中山，曰山南，曰山北。宣德④ 时并为一，分为三省，中山为中头省，属府十四，山南为岛窟（一作尻）省，属府十二，山北为国头省，属府九。府，土名间切，所属皆称村头，土名毋喇。国中亦有五岳，辨岳在中山，八头岳在山南，佳楚岳、名护

岳、恩纳岳在山北，比他山为高，佳楚岳尤峻，为琉球第一峰云。

（徐葆光：《中山传信录》⑤）

① 琉球：国名，位于亚洲日本之南，我国台湾省之东北，包括冲绳等五十余岛。明时通中国，曾封其头目为中山王，后兼属日本，光绪五年（公元1879年），为日本所灭，改为冲绳县。

② 洪武：明太祖朱元璋的年号，自公元1368年至1398年。

③ 永乐：明成祖朱棣的年号，自公元1403年至1424年。

④ 宣德：明宣宗的年号，自公元1426年至1435年。

⑤ 徐葆光，清代江苏吴江人，字亮直。康熙进士，官编修，赐一品服，出使琉球，敕封国王。《中山传信录》记叙琉球风土。

71.琉 球 一 瞥

琉球一国，长阔一百七十五里，其国城在地球图纬线赤道之北二十六度十四分，经线中华北京偏东十一度二十四分。自明①以来，世封王爵，叨列藩篱。其处土产，不过蔬菜、番薯、菜油、黑糖等类。人民束髻大袖，足穿草履。男女妆饰，头上只插一簪二簪为别；故少年之男女，瞥目则无所异。及其壮也，皆留须髯，故街上长须之人甚多。

（罗森：《日本日记》）

① 明：明朝。

72.阿 摩 美 久

琉球始祖，其初有一男一女，生于大荒①，自成夫妇，曰阿摩美久②，生三男二女。长男即天孙氏，开国始祖也，次男为诸

侯始，三男为百姓始。长女曰君君，次女曰竹竹，为国守护神，一为天神，一为海神。今寺院有三首六臂女神，手执日月，名曰天海大自在神，盖即此也。

（王韬：《琉球朝贡考》③）

① 大荒：指广野。

② 阿摩美久：姚文栋译《琉球说略》载："相传琉球上古，有男女二神，降于大岛之北岳，男云志仁礼久，女云阿摩美姑，生三男二女，长男之孙，世为国王。

③ 作者生平见前。《琉球朝贡考》叙述琉球的传说与入贡中国的历史，证明琉球为中国之藩属。

73.那霸风俗

甲寅① 正月初一，予上岸游玩，见街上儿童甚多。分以铜钱，各极欢喜。人民亦甚谦恭。民居间亦贴新春联于门外，但不见有别等繁华之事。那霸② 有寺，寺内有园，是名家世官之坟所，以石刊刻姓名、年号于碑上。每日道人打扫，供奉生花③ 树叶于墓前。另有人家祖坟，与中国之明冢④ 无异。峰峦之上，树木多植。民房则以峦石围墙，内以茅草结屋而居。住物椅桌俱无，惟以草席屈膝而坐，对火盆而吹烟。民间亦有识中国语言字墨者。不张铺店，惟有墟场。男不贸易，妇女为之，以货易货，而外方之金银弗尚焉。然而百姓亦甚畏官长。饭食亦甚粗粕，甘守朴俭，不务奢华，亦鲜欺诈。板门纸窗，夜间亦不防窃。会见途中拾物，亦能以返原人。公门之内，冷冷落落，并无案牍之烦。淳朴之风，略有同于上古之世。我等外国之欲买化物，须言于官，官为代办。

（罗森：《日本日记》）

① 甲寅：咸丰四年（1854年），日本安政元年。

② 那霸：琉球的首府。

③ 生花：鲜花。
④ 明冢：明代的坟墓。

74.宴　　客

琉球，海中小国也。所出土产，惟蕉布、硫磺，其烟刀、纸张、摺扇、漆器之类，皆来自日本国。有米麦，只可供应王府，民皆食番茄，状如薯蓣。宴宾客，席甚简薄，斤肉樽酒，可享数人，叙款洽而已，一席不过一二器。即夫妻儿女，从不闻同餐，食之所余皆弃之。客来相访，不分上下东西，任随客意自坐，盘膝于地，坐下方叩一首，烟酒茶汤接踵而至。如客返，亦叩一首，竟出，主人不送迎，若无闻也。

（张学礼：《中山纪略》①）

① 张学礼，清初汉军旗人。顺治十一年（1654年），曾奉命册封琉球，因故未行。康熙元年（1662年），又奉命册封琉球。十一月就道，康熙二年四月抵闽，五月二十五日抵琉球首府那霸港。康熙三年七月回到北京。《中山纪略》即记述作者此次琉球之行的见闻。

75.刺黑点于指上（二则）

（一）

女子自幼即刺黑点于指上，年年加刺；至十二三岁出嫁时，竟成梅花；至衰老，手背皆黑矣。发长四五尺，头梳一髻，光如油，黑如墨。不修眉鬓，不带钗环手饰，不施脂粉。穿大领衣，色尚白。有时以手扯裳，有时以衣覆脑，若兜衣之状。如有夫之妇，犯奸淫，男女俱死。

（张学礼：《中山纪略》）

（二）

女子皆黥① 手背指节为饰，甚者全黑，少者间作梅花斑。按《诸番志》②：黎母俗，女及笄，即黥颊为细花纹，谓之绣面，集亲客相庆，俗与雕题、凿齿③ 同。……人家门前多树“石敢当”碣，墙上多植吉姑罗，或揉树横卧墙头，剪剔极齐整。

（李鼎元：《使琉球记》④）

① 黥：即刺字。

② 《诸番志》：书名，宋代赵汝适著。文中所引，似述我国海南黎族的风俗，并不是指琉球的风俗。

③ 雕题、凿齿：古时我国南方的少数民族。雕题的原意是在面额上刺花纹；凿齿是指一种齿如凿长五六尺的人（参看《山海经·海外南经》）。

④ 李鼎元，清代四川绵州（今绵阳）人，字墨庄。乾隆进士，官兵部主事，久滞冷官，自甘穷约。嘉庆三年（1879年）奉命为册封琉球国王的副使（正使为赵文楷）往琉球。《使琉球记》即详细记述此行的历程与见闻。

76.男女不薙胎发

男女不薙胎发，男至二十成立。娶妻之后，将顶发削去，惟留四余，挽一髻于前额右旁，簪小如意① 。如意亦分贫贱品级，国王用金而起花者，王之伯叔兄弟用光金②；三法司、紫金大夫用银起花者，大夫、通使③ 等职用光银；百姓用玳瑁、明角、竹簪而已。妇女亦然。衣服敞袖长袍，腰系全幅锦缎，长丈余，两旁插扇子、烟袋、小刀之类。足穿无跟皮鞋，冠以纸为胎，绸布裹之。分贵贱，长七寸，阔二分，周回三转，共为一圈。王用五色花绫，王之叔伯兄弟子侄用黄花绫，宗族用黄光绫；法司、紫金用紫花绫，大夫、通使等官用红绢。初进王府者为秀才，用红光绢。王府役人及杂职用红布。百姓皆用青绿布，此定制也。

（张学礼：《中山纪略》）

① 如意：器物名，一名搔杖。古代有搔杖，为搔背痒的器具，可如人意，所以称为“如意”，而近世多以玉石做成，长一二尺，其端作芝形或云形，以供玩赏。这里是指好象如意的簪。

② 光金：没有花纹的金，与“用金而起花者”有别。下文光银，是指没有花纹的银。

③ 三法司、紫金大夫、大夫、通使：都是当时琉球国的职官名称。

77.佳　苏　鱼

（嘉庆五年五月）二十一日壬寅，阴。连日食海味，腹渐作泻，饬庖人① 但供时蔬淡粥，庖人乃以佳苏鱼进。问之，曰：此非鱼名也，系削黑鳗鱼脊肉，乾而为之。长五六寸许，形如梭，质如枯木。……食法：先以温水浸洗，裹蕉叶煨② 之，切片如刨花，连五七片不断，又如兰花。宜清酱，颇有异味。清酱甘美，十倍于闽③ 。惟求佳苏之义不得。适有长史至，问亦不解，因呼至前细核之。据云：此品在敝国，既多且美，自王官以及贫民，皆得食，意殆谓如家常蔬菜，人人得食也。球人字皆对音，辄为易以家蔬，以纪其实。

（李鼎元：《使琉球记》）

① 庖人：掌管膳食的人。
② 煨：用灰火焖熟食物。
③ 闽：福建省的简称。

78.石　笋　崖

（嘉庆五年五月）二十二日癸卯，晴。午后偕介山① 、寄尘② 策骑游波上山，一名石笋崖，以形似名之也。石垣四周，垣内板阁，离立三楹，下有平堂三楹。垣后可望海。沿海多浮石，嵌空玲珑，潮水击之，声作钟磬。东北有山，曰雪崎。又东北有

小石山，曰龟山。稍下为护国寺，国王祷雨之所。龛内有神，黑而倮，手剑立，状甚狞，名曰不动，或曰火神。庭中有景泰七年③铸钟一，庑④下又有乾隆五十七年⑤新铸钟一。寺后多凤尾蕉，一名铁树。而有石高五六尺，黑而阔，状如骈佛手，为书“仙人掌”三字于上。佛桑叶正与桑无异，世以木槿为佛桑，未得实也。

（李鼎元：《使琉球记》）

① 介山：即赵文楷，嘉庆五年奉诏往琉球册封的正使。安徽安庆府人，嘉庆元年状元。当时，《使琉球记》的作者是副使。

② 寄尘：据李鼎元《使琉球记》嘉庆五年四月十八日与二十三日所记述：寄尘“衡山人，名衡麓，别号八九山人，寄尘其字也。姓范氏，五岁度为僧。略窥内典，好吟咏，工书善画，有奇术，人莫测也。”“挂锡乌石山”。曾与李鼎元遍游福建省城各峰，并随李渡海至琉球。

③ 景泰七年：公元1456年。景泰，明代宗的年号。

④ 庑：堂下周围的屋。

⑤ 乾隆五十七年：公元1792年。乾隆，清高宗的年号。

79.琉球棋子

（嘉庆五年五月）二十四日乙巳，晴。闲居，无可消遣，与介山弈①，用琉球棋子。白者磨螺之封口石为之。内地小螺拒户②有圆壳，海螺大者其拒户之壳厚五六分，径二寸许，圆白如砗磲③，土人名曰封口石。黑者磨苍石为之。子径六分许，围二寸许，中凸而四围削，无正背面，不类云南子式。棋盘以厚木为之，厚八寸，四足，足高四寸，面刻棋路。其俗好弈，举棋无不定之说，颇亦有国手。局终数空眼多少，不数实子数正同。相传国中供奉棋神，画女像如仙子，不令人见，乃国中雅尚也。

（李鼎元：《使琉球记》）

① 弈：围棋。

② 拒户：封口处。

③ 砗磲：动物名，本作车渠，属软体动物瓣鳃类。壳厚而大，长径三尺许，略呈三角形，左右壳片相等，壳表有放射肋五条，即所谓垄文。壳缘如锯齿状，壳表灰白色或暗褐色，内面色白有光泽，栖热带海中。

80.善 兴 寺

二十八日己酉，晴，偕介山游善兴寺。寺在使院东北，周垣可五六亩，树多福木① 榴薇。中建板阁一，祀天满大自在天神，户尚扃②，祈报者，皆膜拜于门外。土俗敬神用瓣香而不焚，最尊敬者辄撒米数撮而去。佛堂亦供“不动”③，更有神三首六臂，黑如漆，从官云：此开国天孙氏神也。僧供茶，甚甘，问之，即本寺井泉。寺侧有石池，叠石山，玲珑可爱，百层拳屈，色如初烧瓦，上以花草点缀，问知为石芝④，结自海边，然质脆不能携远。

（李鼎元：《使琉球记》）

① 福木：即冬青。“冬青谓之福木。”（见《使琉球记》）

② 扃（jiōng坰）：门上了锁。

③ “不动”：或曰火神。“黑而倮，手剑立，状甚狞。”（参见本书《石笋崖》）

④ 石芝：即珊瑚之类。

81.七 星 山

（嘉庆五年六月）初四日乙卯，晴，食后偕介山游七星山，俗名富盛山。出馆东行，至文庙① 折而南，度泉崎桥，下为漫湖浒。每当晴夜，双门拱月，万顷澄清，如玻璃世界，为中山八景之一。过桥而南，为牧志村，有堤曰长虹。山多松，无亭舍，陵阜错峙，如七星之蝉联。多蚊墓，皆依山而封截其前。由山北折

而东，里许至城岳，圆峰突起，灌木成林，山麓板屋一区。石大小横列，国俗以石为神也。旁有小浮屠②，立于乾隆二十七年③，后署“亲云上某渡海归来造”。有古松数百株。东有泉，曰旺泉，味甘，为中山八景之一。旁有老松三株，奇崛可玩。东望见壶家山瓦屋十数楹，东西对列……未刻大雨，归。

（李鼎元：《使琉球记》）

① 文庙：孔子庙。
② 小浮屠：小佛塔。
③ 乾隆二十七年：即公元1762年。

82.佛　桑

初五日丙辰，阴，巳后大雨。长史送佛桑四株，一种千层如榴，有深红、粉红二色，一种单层，花如灯盘，蕊单出如烛，长二寸许，有红白二色。朝开暮落，落则瓣卷如烛花而不实。四季有花，深冬叶始凋谢。此地花开四季者甚多，气暖故也。余感长史意，嘱从客酬以酒，意有花再相致耳。

（李鼎元：《使琉球记》）

83.祭　稻　神

（嘉庆五年六月）二十五日丙子，晴。是日，国中祭稻神，谓之大祭，家以糯饭馈客。稻既收，报田祖也。有梁长史邦弼馈糯米饭，须发尽白，问其年，方五十，诘其故，自称“小底”，因云国人多不寿，“小底”尤早衰。而胡靖录云：人无劳心，多致天年。语不实。“小底”者，陪臣对天使之词，若对从客则曰

“弟”，亦成例也。通文墨者，自称夷官。

（李鼎元：《使琉球记》）

84.嫁娶之礼

（嘉庆五年七月）十七日丁酉，微雨。郑得功① 来，问以嫁娶礼。对曰：小民礼固陋，世家亦有以酒肴珠贝为聘者。婚时，即用本国轿结彩鼓乐而迎，不计妆奁，父母送至夫家即返，不宴客，至亲具酒贺，不过数人。问《隋书》云贵国风俗，男女相悦，便为匹偶，其旧俗欤？曰：然。闻我三十六姓初来时，俗尚未改，后渐知婚礼，此俗遂革。今国中法，有夫之妇犯奸即杀，岂尚容苟合。

（李鼎元：《使琉球记》）

① 郑得功：琉球中山国的紫金大夫，“能汉语，通事无能及者”。（见《使琉球记》）

85.越南人的生活

惟高平一府四州，在北隅之东，俱无城廓。其人被发①，以香蜡梳之，故不散。跣足，足无尘捻②，以地皆净沙也。男女衣皆大领，无分别，无裙裤，女有无摺围裙。其王与官，或时冠带靴韈③，然非其所好也。称其贵人曰翁茶，翁茶者大官也。其牛羊猪烧去毛，即割而食之。只有烧酒。时刻吃槟榔，惟睡梦时方停嚼耳。每④用药物涂其齿，黑而有光，见人齿白者反笑之。惟王宫用黄瓦，官民不敢用瓦，以草苫⑤，楹栋⑥以竹。房檐高四尺许，门高不过三尺，俛首折腰，乃得出入，即王殿，檐高不过

丈许。其屋外多种刺竹、甘蔗、椰子诸树。其果四时生长无定。其气候常暖，其土产惟稻，无二麦。有布最纤轻，有蚕桑绵绸，曰交兑。素绢如画，阔二尺。多榕树、甘橘，有波罗密，果如南瓜，味微甜，中有子，如刀豆子，皆可食。

（李仙根：《安南杂记》⑦）

① 被发：即披发。

② 尘埃：可能即尘芥。尘，尘土；芥，小草。这里指灰尘。

③ 靴韈：即靴袜。

④ 每：时常、往往。

⑤ 草苫（shān山）：用草编成覆盖物，盖屋顶。

⑥ 楹栋：指屋梁及支柱。楹，厅堂前部的柱子；栋，房屋的正梁。

⑦ 李仙根，清代四川遂宁人，字南津，顺治进士，授编修。康熙年间出使安南，著有《安南杂记》、《安南使事纪要》等书。《安南杂记》简介越南的地理形势和人民的生活习俗。

86.生女则喜男则忧

军制无定额，器械则纯用炮火，刀剑次之。编伍悉依古田赋法。故其俗，生女则喜，男则忧。男则娶于人，女则娶人。女娶人，非有常产资财，男多鄙弃不屑。间中有中土人① 娶其女，生男则听取回，生女则留不返，盖女贵于男。男成丁，符于定额，宜编伍者，则官薙② 其额上发寸许，以别于民焉。

（潘鼎珪：《安南纪游》③）

① 中土人：指中国人。

② 薙：剃的异体字。

③ 潘鼎珪，清代福建晋江人。康熙二十七年（1688年）冬，他因事赴粤，所乘海船因受风而飘入安南（越南）。《安南纪游》即记述他飘入安南后的见闻。

87.迎神放炮

越有患瘟疫者，法人略宽其法，使民任意迎神放炮。上月十二夜① 六点钟，奉广德尊王法座② 巡游。花灯辉煌，宛有元宵③景象，铺户各排香案，以昭诚敬，至十点钟时，炮声方息。

（陈××：《越南游记》）

① 作者于“戊子三月初九日”“附搭法国火船公司之染那轮船往游安南。”因此，所谓上月，即指当年二月十二日。

② 法座：本指佛说法之座，这里指神的塑像，

③ 元宵：阴历正月十五日叫上元节，这天晚上叫元宵。唐代以来，有观灯的风俗。孟元老《东京梦华录·元宵》：“正月十五日元宵，大内前自岁前冬至后，开封府绞缚山棚，立木正对宣德楼。游人已集御街两廊下，奇术异能，歌舞百戏。”

④ 陈××，新埠（即马来西亚、马来亚西岸的槟榔屿）人。戊子年（1888年）曾附搭法国火船公司的染那轮船往游越南。《越南游记》即记述此次出游的经过与见闻。

88.男女均留全发

本处男女均留全发，上衣窄袖乌长衫，下衣窄管白袜。头缠色布，腰束色带。带之双头垂至膝，皆用广东荷包。百人之中，赤足者七八十人，西鞋者一二十人，华鞋者数人而已。除在国家雇工外，或耕作，或肩挑小贩为生。妇女多杂廛市① 中卖生果什货，鱼市中尤多。男子则当法人防兵差役，人多贫寒。

（陈××：《越南游记》）

① 廛市：市场。

89.越　南　戏

某日演越南戏，其戏文曰：平南王怀女助阵得胜，王和尚布阵逞能。入而观之，一武将出焉，身衣粤班[1]废旧之服，其面随手乱画数色，足无鞋，缓步至棚前，以越南土话陈其姓名，又复不知说何言语。正静耳细听间，不意反身一跃，退坐其位，殊令人捧腹。弦调如海南之曲，其唱或二字或三字为句，音无高低，唯闻平上之声，长短之节与弦声大不相同，喜怒哀乐不能分别，甚不足悦人耳目。

（陈××：《越南游记》）

① 粤班：粤剧戏班。

90.西贡土人

土人多面黄而黑，类闽粤[1]产。亦有身躯短矮者，仿佛侏儒[2]。衣以黑色为尚，束以红巾，缠粗布于首。男女俱不薙发，垂垂如漆，盘于颈中，齿牙亦染黑，以为美观。其有戴大帽者，皆功名中人，平人不能有也。

（阙名：《三洲游记》[3]）

① 闽粤：福建、广东的简称。

② 侏儒：短小之人。

③ 作者姓名不详。光绪初年，作者承丹国（即丹麦国）新简驻扎亚非利加领事麦君的邀请，同行赴任。《三洲游记》即记述由中国往非洲的见闻以及在非洲的种种险遇。书中叙写友人曼卿，升之设宴饯行后，记云："时光绪二年二月之花诞日也"。尔后四日即启行。细按所记行程，至当年除夕后翌日即记"四年正月元旦"事，中缺光绪三年行迹，疑记启程日云光绪二年乃光绪三年之误。

91.政 弊 人 疲

西贡六省，水土肥美，与中国江浙相似，天气较暖，种植更旺。初属越南时，田地多荒芜，粮赋多隐匿。由于越南政治不修，上下相蒙，黠者① 有田数十亩，仅纳数亩之赋；弱者种田数亩，须纳数十亩之赋；官又袒护黠者而欺弱，不为稽考②，于是民率弃其恒产而逃亡。故六省膏腴③ 之地每年仅收银五六十万两。今属法国，法国派官各处丈量，绘图登册，按田征粮，……凡一法亩，每年收税英洋二圆，垦荒者三年后收税，中国穷民闻风前往，相率垦荒……至今已有四、五十万人。越南土人仅有二十万人，转不及其半矣。法国每年收税共七八百万，较越南旧时多至十余倍。

越南百姓稍富者，即被官吏讹诈，必使之倾家荡产而后已。涉讼到官，非贿不得直④，君臣无道，民不聊生。

越南之例，不许民富。平民无论男女，例皆跣足，不准穿履袜。屋高止可齐眉，踰限⑤ 则罚。民心寂绝无乐趣，故手中积蓄银数两，即不愿勤力作事。……广种薄收，米价极贱，每石仅银四五钱。

（徐建寅：《欧游杂录》⑥）

① 黠者：狡猾的人。

② 稽考：考核、检验。

③ 膏腴：肥沃。

④ 非贿不得直：不行贿就不能伸其冤曲。直，伸张。

⑤ 踰限：超过规定。

⑥ 徐建寅（1845—1901），我国近代务实的技术专家。江苏无锡人，字仲虎，幼承家学，深通理化数学。光绪间，任驻德使馆参赞，官至直隶道员。后调湖北督办保安火药局，制造棉质无烟药，在配药时发生爆炸而殉职。《欧游杂录》写于徐建寅殉职的二十年前，是他1878—1880年在德国、英国和法国考察工艺技术，订造铁甲战舰的实录。

92.占城国①（二则）

（一）

国都号新州，有县镇之名，甃塼为城②，护以石塔。王出入乘象，或乘软布兜③，四人舁④之，头戴金帽，身披璎珞⑤。王每出朝坐，轮使女三十人持剑盾或捧槟榔从。官属谒见，膜拜一而止。白事毕，膜拜一而退。妇人拜揖与男子同。男女犯奸皆杀。盗有斩指断趾之刑。战则五人结甲，走则同甲皆坐以死。唐人被土人杀害，追杀偿死。国人好洁，日三五浴。以脑麝合香涂体，又以诸香和焚薰衣。四时融暖，无寒暑候。每岁元旦，牵象周行所居之地，然后驱逐出郭，谓之逐邪。四月有游船之戏，陈鱼而观之。定十一月望日⑥为冬至，州县以土产物帛献于王。

（赵汝适：《诸蕃志》⑦卷上）

① 占城国：地在今越南中部一带。

② “甃塼”句：用砖砌城墙。用砖砌物称“甃”。“塼”是“砖”的异体字。

② 软布兜：坐舆的一种。《岭外代答》卷十“抵鹊”条说：“自安南及占城真腊，皆有肩舆。以布为之，制如布囊，以一长竿举之，上施长篷，以木叶鳞次饰之，如中州轿顶也，二人举一长竿，又二人策行，安南名曰抵鹊。”这就是此处所说的软布兜。

④ 舁：抬。

⑤ 璎珞：连缀珠玉而成的装饰品。

⑥ 望日：阴历每月十五日。

⑦ 赵汝适（kuò 扩）南宋人，宋太祖八世孙。嘉定（1208年至1224年）至宝庆（1225年至1227年）间任福建路市舶提举。《诸蕃志》成书于宝庆元年(1225年)。原著已佚”今书从《永乐大典》辑出。此书是作者提举泉州市舶司采访所得，记载东自日本，西至北非的摩洛哥，有关各国风土物产和贸易情况。

（二）

其国临海，有港曰新州。西抵交趾，北连中国地。海船到

彼，其酋长头戴三山金花冠，身披锦花手巾，臂腿四腕，俱以金镯，足穿玳瑁履，腰束八宝方带，如妆塑金刚状。乘象，前后拥番兵五百余，或执锋刃短枪，或舞皮牌、槌鼓、吹椰壳筒。其部领皆乘马出郊迎诏，下象膝行，匍匐感恩，奏贡方物。其国所产巨象、犀牛甚多，象牙犀角，广货① 别国。棋楠香在一山所产，酋长差人禁民不得采取，犯者断其手。乌木降香，樵之为薪。天无霜雪，气候常热如夏，草木长青，随花随结。煮海为盐，禾稻甚薄。国人惟食槟榔，裹蒌叶包蠔壳灰，行住坐卧，不绝于口。不解正朔② ，但看月生为初，月晦为尽，如此十次盈亏为一岁。昼夜以善槌鼓，十更为法。酋长及民下，非至午不起，非至子不睡③ 。见月则饮酒歌舞为乐。……鱼不腐烂不食，酿不生蛆，不为美酒，以米拌药丸干和入瓮中，封固如法，收藏日久，其糟生蛆为佳酝。他日开封，用长节竹干三四尺者，插入糟瓮中，或团坐五人十人，量人入水多寡，轮次吸竹引酒入口，吸尽再入水，若无味则止，有味留封再用。酋长岁时采生人胆入酒中，与家人同饮，又以浴身，谓之通身是胆。

（费信：《星槎胜览》④ 卷一）

① 货：出售。

② 不解正朔：不懂历法。我国古代一年的开始曰正，一月之始曰朔。改朝换代时，新王朝往往重定正朔。汉武帝以建寅之月为岁首，历代沿用，直至清末。

③ 午：十二时辰之一，十一时至十三时；子，则指夜半十一时至一时。

④ 费信（1388—？），明代航海家，字公晓，江苏昆山人。十四岁代兄从军。曾四次随郑和下西洋，归来后于1436年写成此书，共二集，前集记亲历的诸国，后集系采辑所成，逐国分叙。原书在文字上比较粗俗，传抄和刊刻过程中，一些人又加以修改润色，因此有多种文字互异的版本。

93. 占城的服饰与居室

国王系锁俚① 人，崇信释教② 。头戴金钹③ 三山玲珑花冠，

如中国副净④者所戴之样，身穿五色线细花番布长衣，下围色丝手巾，跣足⑤，出入骑象，或乘小车，以二黄牛前拽而行。头目所戴之冠，用茭葦叶为之，亦如其王所戴之样，但以金彩妆饰，内分品级高低。所穿颜色衣衫，长不过膝，下围各色番布手巾。王居屋宇高大，上盖细长小瓦，四围墙垣用砖灰妆砌甚洁，其门以坚木雕刻兽畜之形为饰。民居房屋用茅草盖覆，檐高不得过三尺，出入躬身低头，高者有罪。服色禁白衣，唯王可穿。民下玄黄紫色并许穿，衣服白者死罪。国人男子鬅头⑥，妇人撮髻脑后。身体俱黑，上穿秃袖短衫，下围色丝手巾，俱赤脚。

（马欢：《瀛涯胜览》⑦）

① 锁俚：印度东岸的种族名。

② 释教：佛教。释是佛教始祖释迦牟尼的简称。

③ 金钹（xī吸）：金戟。

④ 副净：戏剧脚色名。《辍耕录》：“院本五人，一曰副净。”

⑤ 跣足：赤脚。

⑥ 鬅头：头发散开。鬅（péng蓬）：头发散乱的样子。

⑦ 马欢，明代航海家。字宗道，浙江会稽（今绍兴）人。信伊斯兰教。曾参加郑和的第四次、第六次、第七次航行，任翻译。此书就是他归国后追述出使所经各国情况的。书中从占城国（今越南中南部地区）开始，至忽鲁谟斯国（在今伊朗霍尔木兹海峡内）止；其后马欢继续予以增补，并加入天方国（今沙特阿拉伯麦加），一共记述了二十个国家。由于当时我国人民渴求得到海外知识，所以此书传抄甚速，版本很多，但各本差异不少。

94.占城婚俗

男女婚姻，但令男子先至女家成亲毕，过十日或半月，其男家父母及诸亲友以鼓乐迎取。回家则置酒作乐。其酒则以饭拌药，封于瓮中，候熟欲饮，则以长节小竹筒长三四尺者插入酒瓮中，环坐，照人数入水，轮次咂① 饮，吸干再添入水而饮，至无味则止。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 咂（zā扎）：用嘴唇吸。

95.昔嚟马哈剌札①

其国王为王三十年，则退位出家，令弟兄子侄权②管国事。王往深山持斋受戒，或吃素，独居一年，对天誓曰：我先为王，在位无道，愿狼虎食我，或病死之。若一年满足不死，再登其位，复管国事，国人呼为昔嚟马哈剌札，此至尊至圣之称也。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 昔嚟马哈剌札：译音，是吉祥大王的意思。此条记占城国事。
② 权：暂时。

96.鳾鱼潭决狱①

再有一通海大潭，名鳾鱼潭。如人有争讼难明之事，官不能决者，则令争讼二人骑水牛赴〔越〕过其潭，理亏者鳾鱼出而食之，理直者虽过十次，亦不被食，最可奇也。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 此条所记是占城国的事。

97.三佛齐国

三佛齐① 间于真腊闍婆② 之间，管州十有五，在泉③ 之正南。冬月顺风，月余方至凌牙门，经商三分之一，始入其国。国人多姓蒲，累甓④ 为城，周数十里。国王出入乘船，身缠缦布，

盖以绢伞，卫以金镖。其人民散居城外，或作牌水居，铺板覆茅，不输租赋。习水陆战，有所征伐，随时调发，立酋长率领，皆自备兵器糗粮⑤，临敌敢死，伯于诸国。无缗钱，止凿白金贸易。四时之气，多热少寒，豢畜颇类中国。有花酒、椰子酒、槟榔蜜酒，皆非面蘗所酝，饮之亦醉。国中文字用番书⑥，以其王指环为印。亦有中国文字，上表章则用焉。国法严，犯奸男女，悉置极刑。国王死，国人削发成服。其侍人各愿徇死，积薪烈焰，跃入其中，名曰同生死。有佛名金银山，佛象以金铸，每国王立，先铸金形以代其躯，用金为器皿，供佛甚严。其金像器皿各鐫志示后人，勿毁。国人如有病剧，以银如其身之重，施国之穷乏者。……俗号其王为龙精，不敢谷食，唯以沙糊⑦食之。……浴以蔷薇露。……有百宝金冠，重甚，每大朝会，惟王能冠之，他人莫胜也。传禅⑧则集诸子，以冠授之，能胜之者则嗣。……其国在海中，扼诸番舟车往来之咽喉。古用铁索为限，以备他盗，操纵有机，若商舶至则纵之，比年宁谧⑨，撤而不用，堆积水次，土人敬之如佛，舶至则祠焉。沃以油，则光焰如新，鳣鱼不敢逾为患，若商舶过而不入，即出船合战，期以必死，故国之舟辐凑⑩然。

（赵汝适：《诸蕃志》卷上）

① 三佛齐国名首见于宋代。唐朝译作宝利佛逝，或作尸利佛逝。又别称金洲。苏门答剌岛上之国。

② 真腊：柬埔寨。闍婆，在古代书籍中或指苏门答剌，或指爪哇。本书“闍婆条”云：“闍婆国”又名“莆家龙”，那么，此闍婆则明指爪哇。

③ 泉：福建泉州。

④ 甓：砖块。

⑤ 糗粮：干粮。

⑥ 番书：《宋史·三佛齐传》改作“梵书”，以南海出土碑文为证。

⑦ 沙糊：《瀛涯胜览》满加剌条云：“有一等树，名沙孤树，乡人以此物之皮，如中国葛根，捣浸澄滤其粉作丸，如绿豆大，晒干而卖，其名曰沙孤米，可以作饭吃。”即本文中所说的沙糊，今俗称西米。

⑧ 传禅：传位。

⑨ 比年宁谧：近年平安、宁静。比，近。
⑩ 凑：聚合。

98.于木筏上盖屋而居

三佛齐国，自爪哇顺风八昼夜可至。……其处水多地少，部领者皆在岸造屋居之，周币① 皆仆从住宿，其余民庶皆于木筏上盖屋而居，以木桩系闸，或水长② 则筏浮起，不能没也。或欲别居，起桩去之，连屋移徙，不劳财力。

（费信：《星槎胜览》）

① 周币（zā扎）：周围。币同“匝”。
② 长：涨。

99.真腊都城风采

州城周围可① 二十里，有五门，门各两重。惟东向开二门，余向开一门。城之外皆巨濠，濠之上皆通衢大桥。桥之两旁，共有石神五十四枚，如石将军之状，甚巨而狞，五门皆相似。桥之阑皆石为之，凿为蛇形，蛇皆九头。五十四神皆以手拔蛇，有不容其走逸② 之势。城门之上有大石佛头五，面向四方。中置其一，饰之以金。门之两旁，凿石为象形。城皆叠石为之，高可二丈。石甚周密坚固，且不生繁草，却无女墙③ 。城之上，间或种桃榔木，比比皆空屋。其内向如坡子，厚可十余丈。坡上皆有大门，夜闭早开，亦有监门④ 者，惟狗不许入门。其城甚方整，四方各有石塔一座。曾受斩趾刑人，亦不许入门。

当国之中有金塔一座，傍有石塔二十余座。石屋百余间，东向有金桥一所。金狮子二枚，列于桥之左右。金佛八身，列于

石屋之下。金塔之北可一里许，有铜塔一座，比金塔更高，望之郁然。其下亦有石屋数十间。又其北一里许，则国主之庐也。其寝室又有金塔一座焉。所以舶商自来有“富贵真腊”之褒者，想为此也。

石塔山在南门外半里余，俗传鲁般⑤一夜造成。鲁般墓在东南外一里许，周围可十里，石屋数百间。

东池在城东十里，周围可百里，中有石塔、石屋。塔之中有卧铜佛一身，脐中常有水流出，味如中国酒，易醉人。

北池在城北五里，中有金方塔一座，石屋数十间。金狮子、金佛、铜象、铜牛、铜马之属，皆有之。

（周达观：《真腊风土记》⑥）

① 可：约略。
② 走逸：逃跑。
③ 女墙：古城墙上面作射孔的小墙。
④ 监门：守门的小吏。
⑤ 鲁般：我国春秋时鲁国的巧匠。“般”亦作“班”。后世土木工人奉为祖师。
⑥ 周达观，自号草庭逸民。元代永嘉（今属浙江）人。元贞元年（1295年），周达观随元使赴真腊访问，至大德元年（1297年）返国，因记所闻见，撰成此书。

100.真腊的儒、僧、道

为儒者呼为班诘①，为僧者呼为苧姑，为道者呼为八思惟。

班诘不知其所祖，亦无所谓学舍讲习之处，亦难究其所读何书。但见其如常人打布②之外，于项上挂白线③一条，以此别其为儒耳。由班诘入仕者，则为高尚之人。项上线终身不去。

苧姑削发穿黄，偏袒右肩，其下则系黄布裙，跣足。寺亦许用瓦盖，中止一像，正如释迦佛之状，呼为孛赖④。穿红，塑以泥，饰以丹青，外此别无像也。塔中之佛，相貌又别，皆以铜铸

成。无钟鼓铙钹，亦无幢幡宝盖之类。僧皆茹⑤鱼肉，惟不饮酒。供佛亦用鱼肉，每日一斋，皆取办于斋主之家，寺中不设厨灶。所诵之经甚多，皆以贝叶迭成，极其整齐。于上写黑字，既不用笔墨，但不知其以何物书写。僧亦用金银轿杠、伞柄者，若国主有大政亦咨访之。却无尼姑。

八思惟正如常人，打布之外，但于头上戴一红布或白布，如鞑靼娘子罟姑⑥之状而略低。亦有宫观，但比之寺院较狭。而道教者⑦，亦不如僧教之盛耳。所供无别像，但止一块石，如中国社坛中之石耳，亦不知其何所祖也。却有女道士。宫观亦得用瓦。八思惟不食他人之食，亦不令人见食，亦不饮酒。不曾见其诵经及与人功课之事。

俗之小儿入学者，皆先就僧家教习，暨长而还俗，其详莫能考也。

（周达观：《真腊风土记》）

① 班诘：译音，意为婆罗门学者。

② 打布：巩珍《西洋番国志》“爪哇条”描述说：“其手巾比世用者倍阔，名曰打布。男女皆从腰下臀上围起，至于面脐下掩闭，却以狭布一条系于打布上面，名为压腰。”

③ 项上白线：即婆罗门项带。

④ 孛赖：译音，意思为佛。

⑤ 茹：吃。

⑥ 罟姑：蒙古妇女的冠饰。宋代赵珙《蒙鞑备录》说：“凡诸酋之妻，则有姑冠，用铁丝结成，形如竹夫人，长三尺许。”

⑦ 道教：指印度教别派。文中的儒者，指印度教中之学问精博者；道者，指道教别派的苦行修道者。

101.真腊国宫及官舍府第皆面东

国宫及官舍府第皆面东①。国宫在金塔、金桥之北，近北门周围可五六里。其正室之瓦以铅为之；余皆土瓦，黄色。梁柱

巨，皆雕画佛形。屋颇壮观，修廊② 复道③，突兀参差，稍有规模。其莅事处④ 有金窗，棖左右方柱，上有镜约四五十面，列放于窗之旁。其下为象形。闻内中多有奇处，防禁甚严，不可得而见也。

其内中金塔，国主夜则卧其下，土人皆谓塔之中有九头蛇精，乃一国之土地主也。……

其次如国戚大臣等屋，制度广袤，与常人家迥别，周围皆用草盖，独家庙及正寝二处许用瓦。亦各随其官之等级，以为屋室广狭之制。其下如百姓之家，止用草盖，瓦片不敢上屋。其广狭虽随家之贫富，然终不敢效府第制度也。

（周达观：《真腊风土记》）

① 面东：朝向东方。《旧唐书·真腊传》记述："其俗东向开户，以东为上。"
② 修廊：长廊。
③ 复道：宫中楼阁相通，上下有道，所以称为复道。
④ 莅事处：指国主亲临处理政事的地方。

102. 真腊男女皆椎髻袒裼

自国主以下，男女皆椎髻袒裼①，止以布围腰。出入则加以大布一条，缠于小布之上。布甚有等级，国王所打之布，有直② 金三四两者，极其华丽精美。其国中虽自织布，暹罗及占城皆有来者，往往以来自西洋者为上③，以其精巧而细美故也。

惟国主可打纯花布。头戴金冠子，如金刚头上所戴者；或有时不戴冠，但以线穿香花，如茉莉之类，周匝于髻间。顶上戴大珍珠三斤许。手足及诸指上皆带金镯，指环上皆嵌猫儿眼睛石④。其下跣足，足下及手掌皆以红药染赤色。出则手持金剑。

百姓间惟妇女可染手足掌，男子不敢也。大臣国戚可打疎花布，惟官人可打两头花布；百姓间惟妇人可打之。若新唐人⑤ 虽打两头花布，人亦不敢罪之，以其暗丁八杀故也。暗丁八杀者，

不识体例也。

（周达观：《真腊风土记》）

① 椎髻袒裼：把头发挽束在头顶上成椎形，是为椎髻。吴哥石刻浮雕之真腊人像，一般髻在顶上偏后。袒裼，脱衣露体。

② 直：同值。

③ 来自西洋者：指印度棉布。印度棉布元代已经著名。《马可波罗游记》中曾称赞印度默忒菲里国出产的细棉布为世界最好、最美丽之布。十六世纪以来，闻名欧洲。

④ 猫儿眼睛石：宝石名。《诸蕃志·志物》“猫儿睛”条：“猫儿睛，状如母指大，即小石也。莹洁明透如猫儿眼，故名。”

⑤ 唐人：海外诸国对中国人的称呼。

103.买“野人”以充役

人家奴婢，皆买野人以充其役。多者百余，少者亦有一二十枚，除至贫之家则无之。盖野人者，山中之人也。自有种类，俗呼为撞贼。到城中，皆不敢出入人之家，城间人相骂者，一呼之为撞，则恨入骨髓，其见轻于人如此。少壮者一枚可直百布，老弱者止三四十布可得，只许于楼下坐卧，若执役①，方许登楼，亦必跪膝合掌顶礼而后敢进。呼主人为巴驼，主母为米。巴驼者父也，米者母也。若有过挞之，则俯首受杖，略不敢动。

……

或有逃者，擒而复得之，必于面刺以青，或于项上带铁以锢之，亦有带于臂腿间者。

……

野人有二种，有一等通往来话言之野人，乃卖与城间为奴之类是也；有一等不属教化，不通言语之野人，此辈皆无家可居，但领其家属巡行于山，头戴一瓦盆而走，遇有野兽，以弧矢摽枪射而得之，乃击火于石，共烹食而去，其性甚狠，其药甚毒，同党中常自相杀戮。近地亦有以种苎蔴、木棉花、织布为业者，布

甚厚，花纹甚别。

（周达观：《真腊风土记》）

① 执役：供主人使唤。

104.真腊国的节日

每用中国十月以为正月。是月也，名为佳得。当国宫之前，缚一大棚，棚上可容千余人，尽挂灯毬花朵之属。其对岸远离二三十丈地，则以木接续缚成高棚，如造搭扑竿之状，可高二十余丈。每夜或设三四座，或五六座，装烟火爆杖于其上，此皆诸属郡及诸府第认直① 。遇夜则请国主出观，点放烟火爆杖，烟火虽百里之外皆见之。爆杖其大如炮，声震一城。其官属贵戚，每人分以巨烛槟榔，所费甚夥，国主亦请奉使观焉。如是者半月而后止。

每一月必有一事，如四月则抛毬，九月则压猎② 。压猎者，聚一国之众，皆来城中，教阅于国宫之前。五月则迎佛水，聚一国远近之佛，皆送水来与国主洗身。陆地行舟③ ，国主登楼以观。七月则烧稻，其时新稻已熟，迎于南门外烧之，以供诸佛。妇女车象往观者无数，国主却不出。八月则挨蓝，挨蓝者舞也。点差伎乐，每日就国宫内挨蓝，且斗猪斗象，国主请奉使观焉，如是者一旬。其余月份不能详记也。

（周达观：《真腊风土记》）

① 直：同“值”。

② 压猎：译音，指校阅全国适龄壮丁。

③ 陆地行舟：今日柬埔寨有一种游戏，与“竞舟”游戏同名，但实际上在陆地举行。此种盛会举行两天，第一天将竹子一节，使其端卷曲如船首，各人推之，在光

滑地面上滑行，推送最远者取胜。第二天，竞赛者分为两组，相对而立，把每一组看作为一龙舟。甲组的人以手传递一物，不令对方看到，但令对方猜在何人之手，猜中则乙组得分，在船尾之人改立于船首；若未猜中则不动。两组轮流，全组皆取得原来位置，即立船首者仍回船首，先者为胜。这是柬埔寨今天的陆地行舟游戏。周达观当年所见，可能也是这一游戏。

105.天　　狱

民间争讼，虽小事亦必上闻国主。初无笞杖之责，但闻罚金而已。其人大逆重事，亦无绞斩之事。止于城西门外掘地成坑，纳罪人于内，实以土石，坚筑而罢。其次有斩手足指者，有去鼻者。但奸与赌无禁。奸妇之夫或知之，则以两柴绞奸夫之足，痛不可忍，竭其资而与之，方可获免，然装局欺骗者亦有之。人或有死于门首者，则自用绳拖置城外野地，初无所谓体究检验之事。

人家若获盗，亦可自施监禁拷掠之刑。……且如人家失物，疑此人为盗，不肯招认，遂以锅煎油极热，令此人伸手于其中，若果偷物，则手腐烂，否则皮肉如故。云番人有异法如此。

又两家争讼，莫辨曲直。国宫之对岸有小石塔十二座，令二人各坐一塔中。其外，两家自以亲属互相隄防。或坐一二日，或坐三四日。其无理者，必获证候而出。或身上生疮疖，或咳嗽发热之类。有理者略无纤事。以此剖判曲直，谓之天狱。

（周达观：《真腊风土记》）

106.人死不葬身

人死无棺，止贮以箦席之类，盖之以布。其出丧也，前亦用旗帜鼓乐之属。又以两柈① 盛以炒米，绕路抛撒，抬至城外僻远无人之地，弃掷而去。俟有鹰鸦犬畜来食，顷刻而尽，则谓父母

有福，故获此报。若不食，或食而不尽，反谓父母获罪而至此。今亦渐有焚者，往往皆是唐人之遗种也。父母死，别无服制，男子则尽髡② 其发，女子则于囟③ 门剪发如钱大，以此为孝耳。国主亦有塔葬埋，但不知葬身与葬骨耳。

（周达观：《真腊风土记》）

① 枰：盛物的器皿。与“盘”、“槃”通。
② 髡（kūn昆）：剃去头发。
③ 囟（xìn信）门：颅顶。

107.半年有雨，半年绝无

大抵一岁中，可三四番收种。盖四时常如五六月天，且不识霜雪故也。其地半年有雨，半年绝无。自四月至九月，每日下雨，午后方下。淡水洋中水痕高可七八丈，巨树尽没，仅留一杪① 耳。人家滨水而居者，皆移入山后。十月至三月，点雨皆无。洋中仅可通小舟，深处不过三五尺，人家又复移下，耕种者指至何时稻熟，是时水可淹② 至何处，随其地而播种之。耕不用牛，耒耜镰锄之器，虽稍相类，而制自不同。又有一等野田，不种常生，水高至一丈，而稻亦与之俱高，想别一种也。

但粪田③ 及种蔬，皆不用秽，嫌其不洁也。唐人到彼，皆不与之言及粪壅之事，恐为所鄙，每三两家共掘地为一坑，盖之以草；满则填之，又别掘地为之。凡登溷④ 既毕，必入池洗净。止用左手，右手留以拿饭。见唐人登厕，用纸揩拭者，皆笑之，甚至不欲登其门。

（周达观：《真腊风土记》）

① 杪（miǎo秒）：树木的末梢。

② 淹：阿淹。
③ 粪田：施肥料于田中。
④ 登溷（hùn混）：上厕所。溷，厕所。

108.取　　胆

前此于八月内取胆。盖占城主每年来索人胆一瓮，可千余枚。遇夜则多方令人于城中及村落去处，遇有夜行者，以绳兜住其头，用小刀于右胁下取去其胆，俟数足，以馈占城主。独不取唐人之胆。盖因一年取唐人一胆杂于其中，遂至瓮中之胆俱臭腐而不可用故也。近年已除取胆之事，另置取胆官属，居北门之裏。

（周达观：《真腊风土记》）

109.苦 热 喜 浴

地苦炎热，每日非数次洗澡则不可过，入夜亦不免一二次。初无浴室盂桶之类，但每家须有一池，否则亦两三家合一池。……

或三四日，或五六日，城中妇女三三五五，咸至城外河中澡洗。至河边，脱去所缠之布而入水。会聚于河者，动以千数，虽府第妇女亦预焉①，……城外大河，无日无之。……水常温如汤，惟五更则微凉，至日出则复温矣。

（周达观：《真腊风土记》）

① “虽府第妇女”句：府第妇女，指贵族妇女；预，参与。

110.国 主 出 行

闻在先国主，辙迹未尝离户，盖亦防有不测之变也。新主乃

故国主之婿，原以典兵① 为职。其妇翁殂②，其女密窃金剑以付其夫，以故亲子不得承袭。尝谋起兵，为新主所觉，斩其趾而安置于幽室。新主身嵌圣铁③，纵使刀箭之属，著体不能为害，恃此遂敢出户。

余宿留岁余，见其出者四五。凡出时诸军马拥其前，旗帜鼓乐踵④ 其后。宫女三五百，花布花髻，手执巨烛，自成一队，虽白日亦点烛。又有宫女皆执内中金银器皿及文饰之具，制度迥别，不知其何所用。又有宫女，手执摽枪、摽牌为内兵，又成一队。又有羊车、鹿车、马车，皆以金为饰。其诸臣僚国戚，皆骑象在前，远望红凉伞不计其数。又其次则国主之妻及妾媵，或轿或车，或马或象，其销金凉伞何止百余。其后则是国主，立于象上，手持金剑，象之牙亦以金套之。打销金白凉伞凡二十余柄，其伞柄皆金为之。其四围拥簇之象甚多，又有军马护之。若游近处，止用金轿子，皆以宫女抬之。大凡出入，必迎小金塔金佛在其前，观者皆当跪地顶礼⑤，名为三罢，不然，则为貌事者⑥ 所擒，不虚释也。

（周达观：《真腊风土记》）

① 典兵：掌管军队。典，掌管。

② 殂（cú徂）：死亡。

③ 圣铁：指人脑骨。明代张燮《东西洋考》“暹罗”条云：“大将多用圣铁裹身，刀矢不能入。圣铁者，人脑骨也。

④ 踵：追随。

⑤ 顶礼：佛家语，即五体投地，以自己的头顶礼尊者的脚，是至敬之礼。

⑥ 貌事者：掌管礼仪的人。

111.暹罗国（三则）

（一）

风俗劲悍，专尚豪强，侵掠邻境。削槟榔木为标枪，水牛皮

为牌，药鏃等器，惯习水战。男女椎髻，白布缠头，穿长衫，腰束青花手巾，其上下谋议，大小事悉决于妇。……妇人多为尼姑，道士能诵经持斋，服色略似中国，亦造庵观。能重丧礼，人死气绝，必用水银灌养其尸，而后择高阜之地，设佛事葬之。酿秫为酒，煮海为盐。……以海贝代钱，每一万个，准中统钞二十贯。

（费信：《星槎胜览》）

（二）

暹罗港，水中长洲，隐隆如坝。舶出入如中国车坝然，亦国之一控扼也。少进为一关，守以夷酋①，又少进为二关，即国都也。其地沮洳②，无城郭，王居据大屿，稍如中国殿宇之制，覆以锡版，辟东壁为巨扉，是为王门。治内分十二塘坝，酋长主焉，犹华之有衙府也。其要害为龟山、为陆昆，主以阿昆猛斋，犹华言总兵，甲兵属焉。有奶街，为华人流寓者③之居，土夷乃散处水棚板阁，荫以茭章，无陶瓦也。其国右僧④，谓僧作佛，佛乃作王，其贵僧亦称僧王，国有号令决焉。凡国人谒王，必合掌跽而扪⑤王之足者三，自扪其首者三，谓之顶礼，敬之至也。凡王子始长，习梵字梵礼，若术数之类，皆从贵僧，是故贵僧之权侔⑥于王也。国无姓氏，华人流寓者始从本姓，一再传亦亡矣。人皆髡首，耻为盗窃，凡犯盗及私市者罪之。其犴狱⑦则穴地为重楼三级，谓之天牢，轻罪置上级，差重置中级，殊死者乃置下级。轻则刑以皮鞭，差重断足十趾，差重断手十指，罪至殊死者腰斩，或以象蹂之。贵僧为请于王，王乃宥⑧之，没为僧奴，谓之奴团。赋役省薄，惟给象为最重，故殊死获免者，不为奴团则以给象终身焉。国无占候，凡日月薄蚀，国人见者，则奔告于王，首至者赏。建寅之月，王乃命巫占方，命力者由胜方所向，掠人而剔其胆，杂诸药为汤，王濡足，象濡首，以作猛气。

凡用胆，华人为上，僧不剔，孕妇不剔，疮痏⑨不剔，是故用胆视岁甲子为多寡也。建辰之月，是为岁首。建巳之月，始作农事。建午之月，潦⑩始涨。建酉之月，潦退，王乃御龙舟，乃祀土谷，禾乃登始获。凡稼之长茂，视潦之浅深，秆长丈有三尺，穗八寸，有只稻三。盈寸田亩赡⑪数口，少歉岁也。凡男女先私媾而后聘婚。既嫁而外私者，犯则出货以赎，然犹蔽罪于男，谓其为乱首也。凡妇多慧巧，刺绣织纴，工于中国，尤善酝酿，故暹酒甲于诸夷。妇饰必以诸香泽其体发，日夕三四浴，戏狎不禁。虽王之妻妾，皆盛饰倚市与汉儿贸易，不诃亦不敢乱。居父母若夫之丧，则削发如比丘尼⑫，经旬乃蓄鬓如旧。凡死丧，富夷火尸而葬，贫者举尸筏而浮诸海，丧属跪伏于海滨，迎僧而咒。群大鸟啄而食之，顷之而尽，谓之鸟葬。

（黄衷：《海语》⑬）

① 夷酋：外族的统帅。夷，古代对四方少数民族的统称。酋，魁帅。

② 沮（jù具）洳：低湿。

③ 流寓者：侨居的人。

④ 右僧：尊重僧人。古代以右边为尊，故以右表示较高的地位，引申为重视、尊重。

⑤ 扪：抚摸。

⑥ 侔：等同。

⑦ 犴（àn暗）狱：即“牢狱”。

⑧ 宥：赦免。

⑨ 疮痏：疮瘢，伤痕。

⑩ 潦（lǎo老）：久雨积水。

⑪ 赡：供养。

⑫ 比丘尼：梵语，女子出家受具足戒者的通称。

⑬ 黄衷，明代广东南海人，字子和，号铁桥病叟。《海语》成于嘉靖十五年（1536年），记海客所谈之事。全书分风俗、物产、畏途、物怪等四类，多记叙暹罗、满加拉（孟加拉）等南海诸国山川风土。

（三）

暹罗国者，西洋一夷也，历朝修贡，皆自福州而入。其人知

礼义，有朝鲜之风。其国皆平壤①，无城郭，有山相距甚远，山内多犀象及苏木、胡椒等树。番民所居，旁皆栽槟榔，收时，王分税之，以售于中国人。王出入乘象，前导亦鸣金列戟，所戴如兜鍪②而有锐向前，非玉非金，不知其何以为之也。所衣皆锦而赤脚跣足无鞾履③，此则番夷之俗矣。国民俱造高楼，云其地通黄河，四月水至，皆黄色，王亦徙居远山，民尽登楼以处。牛羊犬豕，亦畜于楼上，人则乘舟往来，蔬薪之属，以小舟贸易。……且年有水则多收，无水则歉，禾播于田，随水之大小，必高出于水上，无淹没之患。故水之来也，王必排驾出迎。八月水退，王又率臣民出送，始迁旧居。民亦退居楼下矣。

（季麒光：《暹罗别记》④）

① 平壤：平坦的地域。壤，地区，土地。
② 兜鍪：头盔。
③ 鞾履：鞾同靴；履，鞋。
④ 季麒光，清代金匮（今江苏无锡）人。《暹罗别记》简介暹罗的土地、民情、物产、河流等情况。

112.曼谷的居室

京城曰曼谷，建于湄南河滨，城内居民约十万。华人屋宇，楼阁相望。土人之屋，大都以竹为柱，因其地出竹甚多故也。屋面用细藤覆盖，再以草铺之。四壁先编粗藤为围，外则蔽以纤细藤席。近江之处，往来潮水较大，所居皆楼。楼下四周有柱无壁，潮水浸入，不能损坏。又有在水上建屋者，名曰屋舟。法用极大竹排为基，上建竹屋，浮于水面，水涨则屋为之高，水退则屋为之低，如有事来去，即撑屋移行如大舟然。又于屋之前开设一店以便买卖食物等件，诚便法也。

（阙名：《游历笔记》①）

① 著者姓名不详。《游历笔记》主要记述作者游历德、法、比、荷、瑞、西、葡、意、土、希、埃等国的情况，以及归途的见闻。

113.官民有银，不得私用

炎热卑湿，人皆楼居。上联槟榔片藤覆之，间用陶瓦。无床桌几凳，皆藉毡席藤而坐。官民有银，不得私用，皆送王所，委官倾泻成珠，用铁印印文其上，每百两入税六钱。无印文者，以私银论罪。初犯断左指，再犯断右指，三犯者死。

（阙名：《暹罗考》①）

① 作者姓名不详。《暹罗考》记述暹罗的地势、制度、物产、风俗，以及中暹交往等情况。

114.三宝的传说

相传三宝① 到暹罗时，番人稀少，鬼祟更多。与三宝斗法，胜，许居住一夜，各成寺塔，将明，而三宝之寺塔未及覆瓦，视鬼之塔已成，引风以侧之，用头巾顶插花代瓦幔覆，今其塔尚侧。三宝寺殿今朽烂，棕绳犹存于屋瓦。……为插花番病，每向三宝求药，无以济施，药投之溪，令其水浴。至今，番唐人尚以浴溪浇水为治病。外洋诸番以汉人呼唐人，因唐时始通故也。

（陈伦炯：《南洋记》②）

① 三宝：亦作三保，即郑和。郑和，云南昆阳人，本姓马，小字三保。明成祖时，累擢太监，世称三保太监。曾七次出洋，足迹达南洋诸岛及非洲沿岸。

② 作者简介见前。《南洋记》为《海国闻见录》的一部分，记南亚一些国家和地方的情况。

115.概以火焰山为藏骨地

国中无论君民贫富，人死不葬，概以火焰山为藏骨地，国人毅然不为怪。绅富巨室，人之将死，必预延亲戚故旧及黄冠羽客①，环绕讽经，梵呗之声② 不绝于耳。比气绝，相向号哭逾刻，将尸身洗濯洁净，衣以华服，然后舁尸入棺，虚阖焉。棺饰以金，雕镂綦巧③ 。停棺于室三日，乃穴壁④ 舁出，谓不由户而由窦⑤，恐鬼将迎门而返也。棺出，绕屋疾行三匝⑥，乃登舟，执绋送丧者⑦ 咸服縞素⑧，舣舟⑨ 古刹前。送柩入至中庭，架新木成阜，启棺置尸其上，举火焚之，送丧者绕立四围，各薙发以示哀。火烬，拾其残肢剩骨以归，酾酒宴客，豪兴飙举，无论家人亲友，莫不终日酣啜⑪，喜跃欲狂，三日乃已。国君崩则举国臣民咸惶惶若有所失，盖丧礼既盛则徭役亦多也。……出令召工师入山伐巨木，择都城适中处筑台，高三十丈，五金镶嵌，穷极工丽。四周拱立神仙鬼怪马牛之属，均以巨材雕琢成像，或以纸帛糊之，斑驳陆离⑫ 狰狞可惧。布置既毕，前后各设布幔，围作屋数十间，以备送丧文武臣工憩息。工既蒇⑬，乃择请举行火礼日期，然距君崩日已岁星终矣。届期奉金匮置御辇上，辇制⑭ 炫丽夺目，以黄金为饰。一路仪仗鲜明，管弦嘈杂，国人聚观，几至空巷。行抵台所，将尸取出，纳台上，召梨园子弟开场演剧连七日夜，然后举火焉。于是金鼓大震，儡傀杂陈，有腾身纵舞者，有伸臂弄拳者，种种儿戏，不名一格。入夜，则哀丝慘竹，作悲恒⑮ 之音。嗣位新主，每日必登台撒下银钱钞票数张，观人攘夺以为乐。至第七日，新主乃取收贮之雷火，由最下处燃起，烈焰漫天，尽成灰烬。复于焦炭中拾取残骨数茎携归，和入白泥捣烂，搏⑯ 成小像一尊，藏之太庙，而台所已摧为平地矣。

（龚柴：《暹罗考略》⑰）

① 羽客：道士。世称道士之衣为羽衣，所以称道士的羽客。
② 梵呗之声：佛教徒作法事时的赞叹歌咏之声。
③ 雕镂綦巧：雕刻极为精巧。綦，极，甚。
④ 穴壁：在墙壁上挖洞穴。
⑤ 窦：洞穴。
⑥ 三匝：三周。
⑦ 执绋送丧者：拉着引棺索送葬的人。绋，引棺索。
⑧ 咸服缟素：都穿孝服。缟素，白色，因丧服尚白，所以以缟素称丧服。
⑨ 舣舟：船泊岸边。
⑩ 古刹：古寺庙。
⑪ 酺啜：聚饮。
⑫ 斑驳陆离：色彩错杂，长短参差。
⑬ 工既蒇（chǎn产）：工程既已完成。蒇，完毕。
⑭ 辇制：辇车的式样。
⑮ 悲怛：悲伤。
⑯ 搏(tuán团)：把散碎的东西捏聚成团。
⑰ 作者简介见前。《暹罗考略》记述暹罗的地理位置，中暹交往，官制服饰，风俗习惯等。

116.彭坑风俗尚怪

其处在暹罗之西，石崖周匝崎岖，远望山平如寨。田沃，米谷丰足，气候温和。风俗尚怪，刻香木为人，杀人血祭祷，求福禳灾① 。男女椎髻系单裙。富家女子金圈四五饰于顶发，常人五色烧珠穿圈。

（费信：《星槎胜览》）

① 禳灾：消灾。

117.缅甸（二则）

（一）

缅甸，南藩大国也。……

国中迭经侵削，死亡枕藉之余，孑遗① 人民仅得四兆②，躯干修短适中，颜稍形黧黑。男女蓄发甚长，皆绾髻，男子顶前，女子顶后。居恒露顶，无冠。尊者之冠，前高耸而后崭削。男女皆穿双耳，贯金银环以为饰。男子服长而窄，束以巾，长至丈有七八尺。女子上衣下裙，略短而较宽。……饮食尚节俭，席地无箸，与暹罗同。王宫富丽，民居洼陋，植木地上，以藤系架，簟席为墙，覆以苫茨，大者不日可成，小者顷刻立就，民乐为之，取其便也。俗尚佞佛③，赴庙烧香合十膜拜④。每逢大会，踵趾相接，举国若狂。争先效力。有大事必抱佛赌誓然后可决。建庙、造塔、塑像等役，即贫窭⑤之家，莫不慨然捐助，多方称贷⑥勿恤也。僧人黄衣髡首，沿途乞食，状貌可怜，而国中奉以为师。男童七岁以上，皆削发入寺，课读佛经，兼习诗词，经史之学，则概付阙如⑦，二十岁左右，始准还俗，各随其业。治斯民者君王，懔严⑧临上，操生杀之权，综揽朝纲政事，下有亲政大臣、辅政大臣、副理政事、通事臣各一员。部有帅，郡有守，又下则有土司调司等职。禄无常制⑨，故贿赂公行，肆无忌惮，殊非民生之福也。

（龚柴：《缅甸考略》⑩）

① 孑遗：遗留、剩余。
② 四兆：四百万。
③ 佞佛：迷信佛。
④ 合十膜拜：合掌拜。合十，佛家敬礼之一种，两掌相合，表示心的专一。两掌十指，故称合十。
⑤ 贫窭：贫寒。
⑥ 称贷：向人告贷。
⑦ 阙如：缺空。
⑧ 懔严：严峻可畏。
⑨ 禄无常制：官吏的俸禄没有定规。
⑩ 作者简介见前。《缅甸考略》述中缅关系，风俗、习惯、河流、物产等情况。

（二）

从前瓦城作四方形，每方约长英路一里，四周以莲池为濠，有雉堞①，垣苦不高，内木城一层，土城一层，凡三层始至缅王金殿。今英人毁去土木二城，仅存方城一座。金殿改为督署，城内驻印度兵以为重镇。当缅王在位时，有丞相一人总握钧轴②。王出游乘象，象前导，卤簿③从之。征民为兵，无军资粮食，民皆枵腹从公④。……国例不立青宫⑤，王病将属纩⑥，诸子俟储位既定，即远遁，不敢迟疑观望。盖新王登位，首以翦除宗室为事，昆弟伯叔，必尽杀而后已。……法最酷，民间稍富，必多方盘诘，甚则诬指为盗，抄没归官。除各国人旅居外，不许百姓盖造砖瓦房屋。故淫雨连绵，既苦壬癸⑦，晴天烈日，又畏丙丁⑧。俗佞佛，贫富均喜布施，缁徒⑨之众，几与齐民等。有子为僧，则合族瞻仰。浮屠⑩林立，大小不等。富者间饰以金，顶缀宝石缨络。国师以僧为之。王佞佛视民间尤甚，……都城凡数迁，今皆不可考。离瓦城三十里曰当庙，故城基址存焉。前明鼎革之际⑪，其都城在薄摩左右。时永历拒命⑫，兵败投缅，缅王纳之。吴三桂率师追讨，王不敢拒，以永历父子付之。昔诸葛武侯⑬南征，仅及永昌、牂牁诸郡，未深入缅境，而缅地有武侯庙，盖孟获实即缅酋，故土人言七擒七纵事，犹能历指其处云。

（阙名：《缅藩新纪》⑭）

① 雉堞：城墙上排列如齿状的矮墙，作战时起掩护作用。

② 钧轴：掌握国家大权。

③ 卤簿：古代帝王外出时，在他前后的仪仗队。

④ 枵（xiāo消）腹从公：空着肚子服役。枵，空虚。

⑤ 青宫：太子。皇太子居于东宫，按古代的说法，东方属木，颜色青，所以又称青宫。后来皇以青宫作为太子的代称。

⑥ 属纩：古时用新棉放在临死者的鼻前，检验是否断气。后来以它作为临终、病危的代称。

⑦ 壬癸：水。

⑧ 丙丁，火。

⑨ 浮屠：梵文译音。一译浮图，佛塔的意思。

⑩ 缁徒：僧人之辈。

⑪ 鼎革：改朝换代。

⑫ 永历拒命：永历是南明最后的皇帝朱由榔的年号。公元1644年，明朝崇祯帝自杀，清兵入关，建立了清朝。明政权覆亡，但反清斗争持续了几十年。桂王朱由榔于1646年在肇庆建立政权。1659年，吴三桂引兵攻打，永历帝兵败，由云南撤入缅甸境，缅王开始收容他，但在吴三桂胁迫下，缅甸统治集团终于把他父子交出。1662年，永历父子被吴三桂杀害于云南。

⑬ 诸葛武侯：即诸葛亮。

⑭ 作者姓名不详。《缅藩新纪》记缅甸的疆域、气候、国法、习俗、都城、物产等情况。

118.气候多变

地去中国偏西二度，天气视中国为热。近瓦城诸处，每年大雨不过数次，余俱炎天赤日，如张火伞。递年二三月，尤为酷热，寒暑针高至百度外。五六月后，炎威略减。十一月至正月，微有朔风①，晨起御棉，晚间挟纩②，祇巳午未三时如常。一日之间，倏③冬倏夏，时序顿异。西南隅仰光、普鲁缅、荷怀北省等处，故老云：递年晴雨各半，九十月后始晴，四五月后始雨。当其晴，欲求涓滴，难于甘露；当其雨，欲阳光一照而不可得。今则时雨时晴，不似从前矣。

（阙名《缅藩新纪》）

① 朔风：北风。

② 挟纩：披着绵衣。

③ 倏（shū书）：原义为犬疾行，引申为疾速、忽然。

119.视草之疏密卜鱼之多寡①

涯命海中，水草蔓生，实如鸡头苞，时至，其苞自裂，内皆

小鱼。进出彼土，人视草之疏[illegible]，卜② 鱼之多寡。

（朱孟震：《西南夷风土记》③）

① 此记缅甸情况。
② 卜：估计、猜测。
③ 朱孟震，明代新淦（今江西清江县）人，字秉器，隆庆进士，官副都御史，巡抚山西。《西南夷风土记》记述我国西南地区和缅甸一带的风土人情。

120.四 足 鸟

缅甸有鸟，四足肉翅，大如鹅，其鸣似鹤，能飞而不能远。其雏胎生，飞行则负雏于背。不践稼穑，不食生虫，杀之必见不祥，故千百为群，人亦不敢相害也。

（朱孟震：《西南夷土风记》）

121.队 队 虫

昆虫、蚱蜢、蜗蜒之类，夷人皆生啖①，云解烦热。有虫曰队队者，形如壁蟫，生有定偶②，斯须不暂离③。夷妇有不得于夫者，饲于枕空中，则其情自翕合。土官、目把、富夷之妻，皆不惜金珠易之。

（朱孟震：《西南夷风土记》）

① 生啖：生吃。
② 定偶：固定的配偶。
③ 斯须不暂离：片刻也不分离。
④ 翕合：和合。

122.黥身涂体

其余部夷，男髡头，长衣长裾，女堆髻，短衣桶裙。男女无贵贱皆穿耳徒跣，以草染齿成黑色。缅人男女自生下不剃头发，以白布缠之。……男子皆黥① 其下体成文，以别贵贱。部夷黥至腿，目把黥至腰，土官黥至乳。涂体：男以旃檀② ，女以郁金，谓极黄为美。

（朱孟震：《西南夷风土记》）

① 黥：在人体上雕上花纹叫黥。
② 旃（zhān毡）檀：香木名。梵语旃檀那的略称。
③ 郁金：植物名，姜黄的变种。

123.竹　　楼

所居皆竹楼。人处楼上，畜产居下。苫盖皆茅茨。缅甸及摆古城中，咸僭① 盖殿宇，以树皮代陶瓦，饰以金，谓之金殿。炎荒酷热，百夷家多临水。每日侵晨，男女群浴于野水中。不如此则生热病。唯阿昌② 枕山栖谷，以便刀耕火种也。

（朱孟震：《西南夷风土记》）

① 僭：以下拟上。
② 阿昌：缅甸种族之一。

124.交　　易

交易，或五日一市，十日一市，惟孟密一日一小市，五日一

大市。盖其地多宝藏，商贾辐辏①，故物价常平。贸易多妇女，无升斗秤尺，度用手，量用箩，以四十两为一载。论两不论斤，故用等② 而不用秤。以铜为珠，如大豆，数而用之，若中国之使钱也。

（朱孟震：《西南夷风土记》）

① 辐辏：车辐凑集于毂上，引申为聚集。
② 等：即等子，俗作“戥子”，衡器，用来秤小量的东西。

125.治 罪 之 法

缅人崇佛教，凡罪人顾① 舍身为僧者，即止不治。莽瑞体②治亦尚宽，有人犯法当死，亦不加刑，惟乘以小舟，量载饮食，置于海洋之外，听其漂没自尽。间亦有遇救者，然终不敢返故土也。应理性③ 极惨刻，凡有罪者，群埋土中，露头于外，以牛耙之，后覆以柴草，举火焚之。

（朱孟震：《西南夷风土记》）

① 顾：但，只要。
②③ 莽瑞体，应理性：皆古缅甸部族名。

126.男子文身，父子别居

缅俗：男子文身，至十岁以外，腰股之间，遍刺花草鸟兽之形，染以蓝靛，或用红色。头挽髻，耳穿环，上体裸程，下围花布一幅，男女骤难分别也。早晚必浴于河，用瓦罂汲水以归，承之于顶。入室必脱其履，见尊长则蹲伏于地，食饭以手攫之，不

用匕箸①，渴饮冷水，不知煎茶。不宰生物，遇有血痕在地，必却步远行。父子异居，女勤而男懒，贸易经营，俱妇人为之。故汉人居此者，多纳缅妇为室②焉。田地悉归王家，耕者输纳租税。民无私产，草庐竹屋，迁徙无常，入其室，空空如也，瓦缶之外，别无长物。俗最重佛，生平有所余积，概以布施，无所吝惜。喜造浮图，金碧华丽，每一村一镇，必有数十塔也。

（黄懋材：《西輶日记》）

① 匕（bǐ比）箸：饭匙、筷子。

② 室：妻子。

③ 长（zhàng仗）物：余物。

④ 黄懋材，字豪伯，清末江西上高（今属吉安市）人。熟于地理测量之术。光绪四年（1878年）五月，奉四川总督丁宝桢之命，游历三藏、五印度地方。七月初，由成都起程，经缅甸，入印度。光绪五年十月，由海道经新加坡、西贡回国。光绪六年正月抵江西家中。三月初五日，自家中起程，六月初四日，到川销差。《西輶日记》即记此行首尾及见闻。

127.刻弥勒菩萨像

度岭已到北天竺①，始入其境，有一小国，名陀历，亦有众僧，皆小乘学②。其国昔有罗汉，以神足力，将③一巧匠上兜率天④，观弥勒菩萨长短色貌。还下，刻木作像，前后三上观，然后乃成。像长八丈，足趺⑤八尺。斋日，常有光明，诸国王竞兴供养，今故现在。

（法显：《佛国记》⑥）

① 天竺：古印度别称。

② 小乘学：佛教用语。大乘佛教流行之后，原部派佛教被称为小乘。小乘教保持早期佛教的教理，重在自我解脱，以求证阿罗汉果为其止境，通过个人修行，入于涅槃，免受轮回之苦。

③ 将：带。

④ 兜率天：佛教用语，是欲界六天中的第四天。兜率是“妙足”、“知足”的意思。

⑤ 足趺：足背。

⑥ 法显（约337—约422），东晋僧人、旅行家、翻译家。本姓龚，平阳武阳（今山西临汾县境）人。于东晋安帝隆安三年（399年）偕同学慧景、道整等从长安（今西安）西行求法，渡流沙，越葱岭，遍历北、西、中、东天竺等地，后赴狮子国（今斯里兰卡），并到过印度尼西亚的爪哇岛，于义熙八年（412年）经海道达青州广郡牢山（今山东青岛市崂山）。前后凡十四年，游历三十余国，带回很多梵本佛经。《佛国记》原名《历游天竺记传》，又名《法显传》，是作者往天竺求佛经归国后自记行程之作。对所经历约三十国的山川风物，都有扼要的记载。

128.不养猪鸡，不卖生口

从是以南，名为中国①。中国寒暑调和，无霜雪。人民殷乐，无户籍官法，唯耕王地者乃输地利，欲去便去，欲住便住。王治不用刑罔，有罪者但罚其钱，随事轻重。虽复谋为恶劣，不过截右手而已。王之侍卫左右，皆有供禄。举国人民悉不杀生，不饮酒，不食葱蒜。唯除旃荼罗。旃荼罗，名为恶人，与人别居，若入城市，则击木以自异；人则识而避之，不相搪揆②。国中不养猪鸡，不卖生口。市无屠行及酤酒者，货易则用贝齿。唯旃荼罗猎师卖肉耳。

（法显：《佛国记》）

① 中国：此指印度的古国。

② 搪揆：冒犯、抵触。

129.行　像　日

凡诸中国，唯此国城邑为大。民人富盛，竞行仁义。年年常以建卯月八日行像。作四轮车，缚竹作五层，有承栌揵戟①，高二丈馀许。其状如塔，以白氎②缠上，然后彩画作诸天形像，以金

银琉璃庄校。其上悬缯幡盖③，四边作龛④，皆有坐佛，菩萨立侍。可有二十车，车车庄严各异。当此日，境内道俗皆集，作倡伎乐，华香供养。婆罗门⑤子来请佛，佛次第入城。入城内再宿，通夜然灯，伎乐供养。国国皆尔。其国长者居士，各于城中立福德医药舍，凡国中贫穷孤独残跛一切病人，皆诣此舍，种种供给，医师看病，随宜饮食及汤药。

（法显：《佛国记》）

① 有承栌掘戟：有承托梁柱的斗拱，有拔起的、立于门外的戟。形容结扎的精工。栌，柱顶上承托栋梁的方木，即斗拱。古代官门及显贵之家，于门外立戟，称戟门。

② 白氎（dié蝶）：白色的细棉布。

③ 缯幡盖：用丝织品制成的华盖。缯，古代丝织品的总称。

④ 龛（kān刊）：佛龛、神龛。供佛像或神像的柜子。

⑤ 婆罗门：印度四姓之一，奉事大梵天而修净行的一族。

130.波利城的传说

（提谓城）北四十余里，有波利城。城中各有一窣堵波①，高余三丈。昔者如来初证佛果，起菩提树，方诣鹿园。时二长者遇彼威光，随其行路之次，遂献麨蜜②。世尊为说人天之福，最初得闻五戒③十善④也。既闻法晦，请所供养，如来遂授其发爪焉。

（玄奘：《大唐西域记》⑤）

① 窣堵波：梵语的译音，意为佛塔。

② 麨蜜：干粮的一种。把麦蒸熟磨成屑称麨。

③ 五戒：佛家语，佛为在家弟子制定不杀生、不偷盗、不邪淫、不妄语、不饮酒的戒法，叫做五戒。

④ 十善：佛家语。指一不杀生，二不偷盗，三不邪淫，四不妄语，五不两舌，六不恶口，七不绮语，八不贪欲，九不瞋恚，十不邪见，这十件事顺乎正理，所以说

"十善"。

⑤ 玄奘（602—664）唐代人，通称三藏法师，俗称唐僧。佛教学者、旅行家。与鸠摩罗什、真谛并称为中国佛教三大翻译家，唯识宗的创始人之一。本姓陈，名祎，洛州缑氏（今河南偃师缑氏镇）人。唐太宗贞观三年（629年，一说贞观元年），从凉州出玉门关西行赴天竺，在那烂陀寺从戒贤受学。后又游学天竺各地，并同一些学者展开辩论，名震五天竺。经历了十七年，贞观十九年（645年）回到长安。《大唐西域记》简称《西域记》，于贞观二十年（646年）成书。记玄奘西行并周游五天竺所亲历者一百一十国，得之传闻者二十八国的山川、城邑、习俗，多《唐书》所未载。

131.无遮大会

（梵衍那国）城东十二三里，伽蓝① 中有佛入涅槃③ 卧像，长千余尺② 。其王每此设无遮大会④ ，上自妻子，下至国珍，府库既倾，复以身施。群官僚佐就僧酬赎。若此者，以为所务矣。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 伽蓝：梵文音译，为佛教寺院的通称。

② 长千余尺：原文如此。

③ 涅槃：佛教用语。梵文音译，意为"灭度"，是佛教宣扬的最高境界。佛教认为信仰佛教的人，经过长期修道，能脱离一切烦恼，进入自由无碍的境界。这种境界，名为"涅槃"。

④ 无遮大会：佛教举行的一种以布施为中心的法会。

132.北印度裳衣无定

其北印度，风土寒烈，短制褊衣① ，颇同胡服② 。外道服饰，纷杂异制，或衣孔雀羽尾，或饰髑髅③ 璎珞，或无服露形，或草板掩体，或拔发断髭，或蓬鬓椎髻，裳衣无定，赤白不恒④ 。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 褊衣：窄小的衣服。褊，狭窄的意思。
② 胡服：我国北方少数民族的服装。
③ 髑髅：死人骨头。
④ 不恒：没有定规。

133.人分四流

若夫族姓殊者，有四流焉：一曰婆罗门，净行也，守道居贞，洁白其操。二曰刹帝利，王种也，奕世君临①，仁恕为志。三曰吠奢，商贾也，贸迁有无，逐利远近。四曰戍陀罗，农人也，肆力畴陇②，勤身稼穑③。凡兹四姓，清浊殊流，婚娶通亲，飞伏异路，内外宗枝，姻媾④不杂。妇人一嫁，终无再醮⑤。自馀杂姓，实繁种族，各随类聚，难以详载。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 奕世君临：一代接一代，统治下民。
② 畴陇：田地。
③ 稼穑：播种曰稼，收获曰穑。稼穑，泛指农业劳动。
④ 姻媾：婚姻。
⑤ 再醮：再嫁。

134.步马车象四兵

凡有四兵，步、马、车、象。象则被以坚甲，牙施利距①，一将安乘，授其节度，两卒左右，为之驾驭。车乃驾以驷马②，兵帅居乘，列卒周卫，扶轮挟毂③。马军散御，逐北④奔命。步军轻捍，敢勇充选，负大楯⑤，执长戟，或持刀剑，前奋行阵⑥。凡诸戎器，莫不锋锐。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 牙施利距：象牙上装上锐利的刺。距，本为雉鸟、雄鸡等跖后面突出象脚指的部分，这里是借用其意。

② 驷马：四匹马。

③ 毂：车轮中心的圆木，周围与车辐一端相接，中间有圆孔，用以插轴。

④ 逐北：追逐败走的兵。

⑤ 大楯：大盾牌。

⑥ 行阵：军队行列。

135.刑罚与审案

夫其俗也，性虽狷急，志甚贞质，于财无苟得，于义有馀让。惧冥运之罪，轻生事之业，诡谲不行，盟誓为信。政教尚质，风俗犹和。凶悖群小，时亏国宪①，谋危君上，事迹彰明，则常幽囹圄②，无所刑戮，任其死生，不齿人伦。犯伤礼义，悖逆忠孝，则劓鼻③，截耳，断手，刖足④，或驱出国，或放荒裔⑤。自馀咎犯，输财赎罪。理狱占辞，不加荆朴⑥，随问款对，据事平科⑦。拒违所犯，耻过饰非，欲究情实，事须案⑧者，凡有四条：水、火、秤、毒。水则罪人与石，盛以连囊，沈之深流，校其真伪，人沈石浮则有犯，人浮石沈则无隐。火乃烧铁，罪人踞上，复使足蹈，既遣掌案，又令舌舐，虚无所损，实有所伤；懦弱之人，不堪炎炽，捧未开花散之向焰，虚则花发，实则花焦。秤则人石平衡，轻重取验，虚则人低石举，实则石重人轻。毒则以一羖羊⑨，剖其右髀，随被讼人所食之分，杂诸毒药置剖髀中，实则毒发而死，虚则毒歇而稣。举兹四条之例，防百非之路。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 国宪：国家大法。

② 常幽囹圄：长期监禁于监狱。

③ 劓（yì艺）鼻：割去鼻子。

④ 刖（yuè月）足：斩断脚。

⑤ 荒裔：边远的地方。

⑥ 荆朴：刑杖。
⑦ 平科：定案。
⑧ 案：考察。
⑨ 羖（gǔ古）羊：黑色的雄羊。

136.致敬的方式

致敬之式，其仪九等：一、发言慰问，二、俯首示敬，三、举手高揖，四、合掌平拱，五，屈膝，六、长跪，七、手膝踞地，八、五轮俱屈，九、五体投地。凡斯九等，极惟一拜。跪而赞德，谓之尽敬。远则稽颡拜手①，近则舐足摩踵。凡其致辞受命，褰裳② 长跪。尊贤受拜，必有慰辞，或摩其顶，或拊其背，善言诲导，以示亲厚。出家沙门既受敬礼，惟加善愿，不止跪拜。随所宗事，多有旋绕，或唯一周，或复三匝③，宿心别请，数则从欲。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 稽颡拜手：稽颡，是古时一种跪拜礼，屈膝下拜，以额触地，表示极度的敬意。拜手，古代男子跪拜礼的一种，既跪，两手拱合，俯头至手心平而不至地，故称拜手。
② 褰裳：揭起衣裳。
③ 匝：环绕一周。

137.释种与龙女的传说

至蓝勃卢山，山岭有龙池，周三十余里，绿波浩汗，清流皎镜。昔毘庐释迦王前伐诸释，四人拒军者，宗亲摈逐，各自分飞。其一释种既出国都，跋涉疲弊，中路而止。时有一雁飞趣①其前，既以驯狎②，因即乘焉。其雁飞翔，下此池侧。释种虚游，远适异国，迷不知路，假寐③树阴。池龙少女游览水滨，忽

见释种，恐不得当也，变为人形，即而摩拊。释种惊寤，因即谢曰："羁旅羸人④，何见亲附？"遂款殷勤，陵逼野合。女曰："父母有训，祇奉⑤无违，虽蒙惠顾，未承高命。"释种曰："山谷杳冥⑥，尔家宴在？"曰："我，此池之龙女也。敬闻圣族流离逃难，幸因游览，敢慰劳弊。命有燕私，未闻来旨。况乎积祸，受此龙身，人畜殊途，非所闻也。"释种曰："一言见允，宿心斯毕。"龙女曰："敬闻命矣，唯所去就。"释种乃誓，心曰："凡我所有福德之力，令此龙女举体成人。"福力所感，龙遂改形，既得人身，深自庆悦。乃谢释种曰："我积殃运，流转恶趣。幸蒙垂顾，福力所加，旷劫弊身，一旦改变。欲报此德，糜躯未谢。心愿陪游，事拘物议。愿白父母，然后备礼。"龙女还池，白父母曰："今者游览，忽逢释种，福力所感，变我为人，情存好合，敢陈事实。"龙王心欣人趣，情重圣族，遂从女请。乃出池而谢释种曰："不遗非类，降尊就卑，愿临我室，敢供洒扫。"释种受龙王之请，遂即其居。于是龙宫之中，亲迎备礼，燕尔乐会，肆极欢娱。释种覩龙之形，心常畏恶，乃欲辞出。龙王止曰："幸无远舍，邻此宅居，当令据疆土，称大号，总有臣庶，祚延长世。"释种谢⑦曰："此言非冀。"龙王以宝剑置篋中，妙好白氈而覆其上。谓释种曰："幸持此氈以献国王，王必亲受远人之贡，可于此时害其王也。因据其国，不亦善乎？"释种受龙指诲，便往行献，乌仗那王躬举⑧其氈，释种执其袂⑨而刺之。侍臣、卫兵諠乱阶陛⑩，释种麾剑告曰："我所仗剑，神龙见授，以诛后伏，以斩不臣。"咸惧神武，推尊大位。于是沿弊立政，表贤恤忠。已而动大众，备法驾，即龙宫而报命，迎龙女以还都。龙女宿业⑪未尽，馀报犹在，每至燕私⑫，首出九龙之头。释种畏恶，莫知图计。伺其寐也，以利刃断之。龙女惊寤⑬曰："斯非后嗣之利，非徒我命有少损伤，而汝子孙当苦头痛。"故此国族常有斯患，虽不连绵，时

一发动。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 趣：同“趋”。按一定方向迅疾向前。
② 驯狎：顺服、亲热。
③ 假寐：打盹儿。
④ 羁旅羸人：作客他乡的疲弱之人。
⑤ 祗奉：敬奉。祗，恭敬。
⑥ 杳冥：遥远、幽深。
⑦ 谢：推辞。
⑧ 躬举：亲自举起。
⑨ 袂：衣袖。
⑩ 阶陛：皇宫的台阶。
⑪ 宿业：佛教指前世行善或作恶所造成而见于今世的后果。
⑫ 燕私：在寝室安息。
⑬ 惊寤：惊醒。

138.无忧王太子抉目之处

城外东南，南山之阴有窣堵波，高百余尺，是无忧王太子拘浪拏为继母所诬抉目之处，无忧王所建也。盲人祈请，多有复明。

此太子正后生也，仪貌妍雅，慈仁夙著①。正后终没，继室骄淫，纵其昏愚，私逼太子。太子沥泣引责，退身谢罪。继母见违，弥增忿怒，候王间隙，从容言曰：“夫咀叉始罗，国之要领，非亲子弟，其可寄乎？今者，太子仁孝著闻，亲贤之故，物议斯在。”王闻惑说，雅悦奸谋，即命太子，而诫之曰：“吾承馀绪，垂统继业，唯恐失坠，忝负先王。咀叉始罗，国之襟带，吾今命尔作镇彼国。国事殷重，人情诡杂，无妄去就，有亏基绪。凡有召命，验吾齿印。印在吾口，其有谬乎？”于是太子衔命来镇。岁月虽淹，继室弥怒，诈发制书，紫泥封记，候王眠睡。窃齿为印。驰使而往，赐以责书。辅臣跪读，相顾失图。太

子问曰："何所悲乎？"曰："大王有命，书责太子，抉去两目，逐弃山谷，任其夫妻随时生死。虽有此命，尚未可依。今宜重请，面缚待罪。"太子曰："父而赐死，其敢辞乎？"齿印为封，诚无谬矣。"命旃荼罗② 抉去其眼。眼既失明，乞贷自济，流离展转，至父都城。其妻告曰："此是王城。嗟乎，饥寒良苦！昔为王子，今作乞人！愿得闻知，重伸先责。"于是谋计，入王内厩。于夜后分，泣对清风，长啸悲吟，箜篌鼓和。王在高楼闻其雅唱，辞甚怨悲。怪而问曰："箜篌歌声，似是吾子，今以何故而来此乎？"即问内厩，谁为歌啸？遂将盲人，而来对旨。王见太子，衔悲问曰："谁害汝身，遭此祸釁③？爱子丧明，犹不觉知，凡百黎元，如何究察？天乎，天乎，何德之衰！"太子悲泣，谢而对曰："诚以不孝，负责于天，某年月日，忽奉慈旨，无由致辞，不敢逃责。"其王心知继室为不轨也，无所究察，便加刑辟。时菩提树伽蓝有瞿沙六阿罗汉者，四辩无碍，三明具足。王将盲子，陈告其事，惟愿慈悲，令得复明。时彼罗汉受王请已，即于是日宣令国人："吾于后日，欲说妙理，人持一器，来此听法，以承泣泪也。"于是远近相趋，士女云集。是时阿罗汉说十二因缘，凡厥闻法，莫不悲哽，以所持器，承其沥泪。说法既已，总收众泪，置之金盘，而自誓曰："凡吾所说，诸佛至理。理若不真，说有纰缪④，斯则已矣；如其不尔，愿以众泪，洗彼盲眼，眼得复明，明视如昔。"发是语讫，持泪洗眼，眼遂复明。王乃责彼辅臣，诘诸僚佐，或黜或放⑤，或迁或死，诸豪世禄移居雪山东北沙碛之中。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 夙著：平素著名。
② 旃荼罗：译音。意为恶人。
③ 祸釁（xìn信）：灾祸事端。
④ 纰（pī批）缪：错误。纰，不正。

⑤ 或黜或放：有的降职，有的放逐。黜，贬斥，降职；放，驱逐。

139.东 女 国

此国境北大雪山中，有苏伐剌拏瞿咀罗国，（唐言金氏）出上黄金，故以名焉。东西长，南北狭，即东女国也。世以女为王，因以女称国。夫亦为王，不知政事，丈夫唯征伐、田种而已。土宜宿麦，多畜羊、马。气候寒烈，人性躁暴。东接土蕃国，北接于阗国，西接三波诃国。

（玄奘：《大唐西域记》）

140.释迦菩萨降生处

宫城内有故基，净饭王① 正殿也。上建精舍，中作王像。其侧不远有故基，摩诃摩耶（唐言大术）夫人② 寝殿也。上建精舍，中作夫人之像。其侧精舍，是释迦菩萨降神母胎处，中作菩萨降神之像。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 净饭王：佛教始祖释迦牟尼的父亲，中印度憍萨罗国迦毗罗卫城城主。
② 摩诃摩耶夫人：释迦牟尼的生母。

141.象坠坑的传说

城南门有窣堵波，是太子与诸释捔力掷象之处。太子伎艺多能，独拔伦匹。净饭大王，怀庆将返，仆夫驭象① ，方欲出城，提婆达多素负强力，自外而入，问驭者曰："严驾② 此象，其谁欲

乘？”曰：“太子将还，故往奉驭。”提婆达多发愤引象，批其颡③，蹴其臆④，僵仆塞路，杜绝行途，无能转移，人众填塞。难陀后至而问之曰：“谁死此象？”曰：“提婆达多。”即曳之僻路。太子至，又问曰：“谁为不善，害此象耶？”曰：“提婆达多害以杜门⑤，难陀引之开径。”太子乃举象高掷，越度城壍，其象坠地，为大深坑。土俗相传为象坠坑也。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 驭象：驾驭大象。
② 严驾：整备车驾。
③ 批其颡（sǎng）嗓）：打它的额。
④ 蹴其臆：踢它的胸。
⑤ 杜门：堵塞门户。

142.箭泉的传说

城南门外路左，有窣堵波，是太子与诸释角艺，射击鼓。从此东南三十余里，有小窣堵波，其侧有泉，泉流澄镜。是太子与诸释引强校能，弦矢既分，穿鼓过表，至地没羽①，因涌清流。时俗相传，谓之箭泉。人有疾病，饮沐多愈。远方之人，持泥以归，随其所苦，渍以涂额，灵神冥卫，多蒙痊愈。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 没羽：箭没入土地中。

143.油河的传说

四天王捧太子窣堵波侧不远，有大石柱，上作马像，无忧王

之所建也。后为恶龙霹雳，其柱中折仆地。傍有小河，东南流，俗号曰油河。是摩耶夫人产孕已，天化此池，光润澄净，欲令夫人取以沐浴，除去风尘。今变为水，其流尚腻。

（玄奘：《大唐西域记》）

144.施鹿林的传说

昔于此处大林之中，有两群鹿，各五百余。时此国王畋游原泽①，菩萨鹿王前请王曰："大王校猎中原，纵撩飞矢，凡我徒属，命尽兹晨，不日腐臭，无所充膳。愿欲次差，日输一鹿。王有割鲜之膳，我延旦夕之命。"王善其言，回驾而返。两群之鹿，更次输命②。提婆群中有怀孕鹿，次当就死③，白其王曰："身虽应死，子未次也。"鹿王怒曰："谁不宝命！"雌鹿叹曰："吾王不仁，死无日矣。"乃急告菩萨鹿王。鹿王曰："悲哉慈母之心，恩及未形之子！吾今代汝。"遂至王门。道路之人传声唱曰："彼大鹿王，今来入邑。"都人士庶，莫不驰观。王之闻也，以为不诚④，门者白至，王乃信然。曰："鹿王何遽来⑤耶？"鹿王曰："有雌鹿当死，胎子未产，心不能忍，敢以身代。"王闻叹曰："我人身，鹿也。尔鹿身，人也。"於于悉放诸鹿，不复输命。即以其林为诸鹿薮⑥。因而谓之施鹿林焉。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 畋游原泽：在郊野里打猎、游览。
② 更次输命：轮班送命。
③ 次当就死：按次序应往受死。次，按次序排列。
④ 不诚：不真实。
⑤ 遽来：骤然来到。
⑥ 为诸鹿薮（sǒu叟）：作为群鹿聚居的地方。薮，人或物聚集之处。

145.月中兔的传说

劫初① 时，于此林野，有狐、兔、猿，异类相悦。时天帝释欲验修菩萨行者，降灵应化为一老夫，谓三兽曰："二三子善安隐乎？无惊惧耶？"曰："涉② 丰草，游茂林，异类同欢，既安且乐。"老夫曰："闻二三子情厚意密，忘其老弊，故此远寻。今正饥乏，何以馈食？"曰："幸少留此，我躬驰访。"于是同心虚已，分路营求。狐沿水滨，衔一鲜鲤，猿于林树，采异花果，俱来至止，同进老夫。惟兔空还，游跃左右。老夫谓曰："以吾观之，尔曹未和。猿、狐同志，各能役心。惟兔空还，独无相馈。以此言之，诚可知也。"兔闻讥议，谓狐猿曰："多聚樵苏③，方有所作。"狐、猿竞驰，衔草曳木，既已蕴崇④，猛焰将炽。兔曰："仁者，我身卑劣，所求难遂，敢以微躬，充此一餐。"辞毕入火，寻即致死。是时老夫复帝释身，除烬收骸，伤叹良久，谓狐、猿曰："一何至此！吾感其心，不泯其迹，寄之月轮，传乎后世。"故彼咸言，月中之兔，自斯而有。后人于此建窣堵波。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 劫初：佛经说，天地的形成到毁灭为之一劫。劫初，是指天地形成之初。

② 涉：游历。

③ 樵苏：柴草。打柴曰樵，割草曰苏。

④ 蕴崇：积聚、堆积。《左传·隐公六年》："芟夷蕴崇之。"注："蕴，积也；崇，聚也。

146.千子归宗的传说

告涅槃期侧不远。有窣堵波，千子见父母处也。昔有仙人，

隐居岩谷。仲春之月①，鼓濯清流。麀鹿②随饮，感生女子，姿貌过人，惟脚似鹿。仙人见已，收而养焉。其后命令求火，至他仙庐，足所履地，迹有莲花。彼仙见已，深以奇之，令其绕庐，方乃得火。鹿女依命，得火而还。时梵豫王畋游见花，寻迹以求，悦其奇怪，同载而返。相师③占言，当生千子。余妇闻之，莫不图计。日月既满，生一莲花。花有千叶，叶坐一子。余妇诬罔④，咸称不祥。投竟伽河，随波泛滥。乌耆延王下流游观，见黄云盖乘波而来，取以开视，乃有千子。乳养成立，有大力焉。恃有千子，拓境四方。兵威乘胜，将次此国。时梵豫王闻之，甚怀震惧，兵力不敌，计无所出。是时鹿女心知其子，乃谓王曰："今寇戎⑤临境，上下离心，贱妾愚衷，能败强敌。"王未之信也，忧惧良深。鹿女乃昇城楼，以待寇至。千子将兵围城已匝⑥，鹿女告曰："莫为逆事，我是汝母，汝是我子。"千子谓曰："何言之谬？"鹿女手按两乳，流注千歧⑦。天性所感，咸入其口。于是解甲释兵⑧，归宗返族。两国交欢，百姓安乐。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 仲春之月：阴历二月。
② 麀（Yōu幽）鹿：牝鹿。
③ 相师：看相的人。
④ 诬罔：虚构事实以诬蔑人、欺骗人。
⑤ 寇戎：来侵犯的敌兵。
⑥ 围城已匝：把城池团团包围住。匝，一周。
⑦ 千歧：一千道。
⑧ 解甲释兵：卸下甲衣，放下武器。甲，战衣。兵，武器。

147.供 大 人 米

摩揭陀国，周五千余里。城少居人，邑多编户①。地沃壤，滋稼穑，有异稻种，其粒粗大，香味殊越，光色特甚，彼俗谓之

供大人采。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 编户：编于册籍的民户。

148.印度概况（二则）

（一）

缅甸之西，西藏之南，有广土突入南海，形如箕舌，《汉书》谓之身毒，又称天竺。六朝以后，皆称印度。今有称温都斯坦、痕都、忻都者，盖同一地而译者互异也。南界海洋，西跨印度河，与阿富汗、俾路芝接壤。东西相距约五千八百余里，南北约五千余里。北枕雪山，南连冈岭，中间沃野千里，西北沙碛无垠。气候不齐，暑旱各异。北方凉燠咸宜，迤南炎熇殊甚①。后汉始通华夏，佛教之入中国，实根于此。唐世屡次入贡，赵宋时为回部侵割。元起北方，据有其地，太祖② 征服西北印度，宪宗③ 征服中印度，以宗王驸马统之，东南诸部皆听役④焉，由是印度为蒙古别部。元末，驸马帖木耳，王撒马儿罕⑤，威行西域，印度诸部，低首称臣，慴伏恭顺。明嘉靖⑥ 初，撒马儿罕别部莫卧儿尽夺印度地，整饬纪纲，力黜佛教，历十五年，声名洋溢，威震天下，惜诸子争立，内乱并起，各部酋皆乘间自主其地，印度遂分崩离析，几至不国。弘治八年⑦，葡萄牙人航海至印度西境，占其海口建城，画邑设埠，通商利权，遂为所擅⑧。荷人⑨ 忌之，于嘉靖间胁以兵威，开港通市，如是者数十年。英吉利、法兰西并起而争，遂成两国利薮⑩，各立埠头。

（龚柴：《印度考略》⑪）

① “迤南”句：往南伸延，十分炎热。迤，伸延。
② 太祖：即元太祖成吉思汗。
③ 宪宗：即元成宗硕八剌，在位三年，自公元1321年至1323年。
④ 听役：听从驱使。
⑤ 王撒马儿罕：做撒马儿罕的王。
⑥ 嘉靖：明世宗的年号，自公元1522年至1566年。
⑦ 弘治八年：即公元1495年。弘治，明孝宗的年号。
⑧ 擅：专有。
⑨ 荷人：荷兰人。
⑩ 利薮：获得利益的渊薮。
⑪ 作者已见前。《印度考略》简介印度的历史、政治、都会、习俗等情况。

（二）

印毒① 国，去中国最近，军民一千二百万户，所出细药、大胡桃、珠宝、乌木、鸡舌、宾铁诸物。国中悬大钟，有诉者击之，司钟者记其事及时，王宫亦纪其名，以防奸欺。居民以蒲为屋，夏大热，人处水中。

（刘郁：《西使记》②）

① 印毒：即印度。
② 刘郁，生平事迹不详。《西使记》记述蒙古宪宗时，常德自和林西行觐旭烈兀于西亚的沿途见闻。

149.印度人（二则）

（一）

人面多黧黑，居北方者稍为清皙，以白布裹头，故粤东称为小白头，以别波斯国之大白头也。巨家额涂日光花草，或点以粉，额上刺纹，胸臂间皆烙卦形。《礼》所谓雕题之国，始其苗裔欤！衣以华丽相尚，贫人则俱裸体，但以幅布围腰，又自脐下绊至臀后，以掩下体，谓之水幔。出门则幅布稍宽，遇正事则

长衣曳地。男挂耳环，女穿耳鼻，挂金银环，臂胫俱带钏镯。秉性灵巧，百技俱工，金漆雕镂皆精绝，所制玉器，薄如蝉翼。国人分四类：一婆罗门，学士及僧众所从出；二曰王孙贵族，世世从军；三曰农，为商为兵，听其自便；四曰工，终身佣力，受役于人。凡此四等，皆各守世业，不得互相交接，更不得联秦晋之好①。违之者，父母恶，亲戚疏，众民绝。等诸罢民②，终身不齿，以为负本忘宗，辱莫甚也。以故，贵者世贵，贱者世贱。贱者死，多有弃诸水而葬于鱼腹。更有妇人伉俪情笃，以身殉夫者，夫既死，积薪于野，置尸其上，举烈火焚之，妇则尽戴所有金银珠宝，绕火大哭，亲戚亦随之哭，见尸将化，妇尽撒诸宝饰，分赠亲族及生平所与厚者，乃跃入火中殉之。诚陋俗也。

（龚柴：《印度考略》）

① 联秦晋之好：春秋时，秦、晋两国，世为婚姻，后人因称联姻为秦晋之好。

② 等诸罢民：把他们等同于害群的恶人。罢民，指行为恶劣为民害者。

（二）

土人用白布一幅，蔽其下体，复自后绕至前，留数尺，用以蒙首。有戴白帽者，有缠红布者，有涂画眉棱①、额角及印堂②、山根、胸膛等处者。大抵皆雕题文身之旧俗欤！食物以手攫取，举重承之于顶，无肩挑背负者。其商贾富民多效英人装束。中国人居此者，亦皆短衣圆帽，惟薙发编绦③，知其为华人耳。

（黄懋材：《印度劄记》④）

① 眉梭：眉角。

② 印堂：额头。道书上称额头为上丹田，相家称为中正印堂。

③ 薙发编绦：清朝时，男子剃去前额的头发，把后面的头发总起编成发辫。

④ 作者已见前。《印度劄记》记述印度的地理位置、交通贸易、物产矿藏、风俗习惯等。

150.孟买见闻

（光绪九年九月）孟买客居者沛而寻人，即上海所谓白头人最多，高冠白衣，岸然道貌，大都殷富。所奉之教与天主耶稣不同。死者不葬，置一坟围于孟买之西山巅，地名马拉罢溪耳。其周围数十丈，围以墙壁，前开一穴，扃① 以铁门，内分三围，每围砌成槽若干，外围置男尸，中围女尸，内围孩尸。中心掘一井，凡死者由教士送入围中，露置于槽内，任禽鸟之悍鸷者食尽其肉，然后将尸骨弃置井中。初七日往游其处，车行盘旋而上，一路林木阴翳，花草芬芳，景致甚佳。居民大半欧人，无不亭台花圃。山之西巅，又有水池五、六所，每长数十丈，阔数丈，深数丈，以雨水先入沙池滤过，引入水池，储以济饮。因孟买四面皆海，不能得甜水之故。左旋而下，则巨石嶙峋，海波澎湃，西人乘车纳凉于海湾之滨，渔歌唱晚，蕉果飘香，客居之乐，舍此固无所取也。

（钱德培：《欧游随笔》②）

① 扃：关闭。

② 钱德培，清末大兴（今北京市）人。光绪三年（1877年）十月往欧洲，寓居德国柏林六、七年，至光绪九年（1883年）十月回至上海。《欧游随笔》即记此次行程及有关见闻。

151.洗涤罪恶

安额河，即佛经所称恒河。发源雪山，倒流而下，高逾千仞，继自西北顺流倾泻，势颇湍急，卒分数支入海。每届潦水涨发，农田恒受其患。土人称为圣江，谓凡人负罪深重，苟入内洗澡，即能涤去一身罪愆。若为鳄鱼吞噬，或将子女投之江流，以

饱鱼腹，则佛更锡① 之遐福② 。

（龚柴：《印度考略》）

① 锡：赐。
② 遐福：洪福。

152.状　　师

印度风俗，颇好搆讼① ，大抵利归于状师。为状师者，明习律例，兼擅辩才。多由状师入官，或官退仍为状师。更有所谓国家大状师者，其权力可知也。

（黄懋材：《印度劄记》）

① 搆讼：打官司。

153.肩舆如柜形

又有肩舆，制如柜形，独木为杠。人卧其中，四人舁之以行。然较之中华，抬轿其劳，殊不雅观。

（黄懋材：《印度劄记》）

154.大臣巡视与新报馆

街道之中，设有铁柱，空其中。凡冤抑之事，准民投入。三年则遣大臣巡视，以察官吏之贤否，民情之向背。

新报馆每日至公堂录取讼案刊印，以供众览。夫是非曲直，既经重绅会议于前，复经新报传播于后，则耳目昭彰，讼者不能

诳张① 为幻，听者不致蒙蔽滋弊。

（黄懋材：《印度劄记》）

① 诳张：欺诳。

155.棉花之种

中国之布，从前皆以麻织，自元太祖征印度，乃得棉花之种（棉花初称吉贝），流传中土，至今衣被九州①，功驾桑麻之上，其利溥② 矣。

（徐继畬：《五印度论》③）

① 九州：指全中国。

② 溥（pǔ普）：广。

③ 徐继畬（1795—1873），清代山西五台人。字健男，号牧田，又号松龛。历任知府、巡抚、总督等职。后在总理各国事务衙门行走，1866年授太仆寺卿，寻任京师同文馆大臣。著有《瀛环志略》及《退密斋诗文集》。《瀛环志略》于1848年刊行，是一部继《海国图志》后叙述外国历史、地理较早的书籍。《五印度论》即节自《瀛环志略》。

156.西女国

拂懔国西南海岛，有西女国，皆是女人，略无男子。多诸珍宝货，附拂懔国。故拂懔王岁遣丈夫配焉。其俗产男，皆不举① 也。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 不举：不抚养。

157.呬摩呾罗国

呬摩呾罗国，覩货逻国故地也。周三千余里，山川遥迤，土地沃壤，宜谷稼，多宿麦①，百卉滋茂，众果具繁。气序寒烈，人性暴急，不识罪福，形貌鄙陋，举措威仪，衣毡皮褐，颇同突厥②。其妇人首冠木角，高三尺余，前有两岐，表夫父母，上岐表父，下岐表母，随先丧亡，除去一岐，舅姑俱歿，角冠全弃。其先强国，王，释种也，葱岭之西，多见臣伏。境邻突厥，遂染其俗。又为侵掠，自守其境，故此国人，流离异域，数十坚城，各别立主，穹庐③毳帐④，迁徙往来。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 宿麦：麦子。因秋冬时种下，隔年才成熟，所以称为宿麦。
② 突厥：种族名，匈奴族之别种。
③ 穹庐：即毡帐。
④ 毳（cuì脆）帐：也指毡帐。

158.揭盘陀国

揭盘陀国，周二千余里。国大都城基大石岭，背徙多河，周二十余里。山岭连属，川原隘狭。谷稼俭少，菽麦丰多，林树稀，花果少。原隰丘墟①，城邑空旷。俗无礼义，人寡学艺，性既犷暴，力亦骁勇，容貌丑弊，衣服毡褐。文字、语言，大同佉沙国。然知淳信，敬崇佛法。伽蓝②十余所，僧徒五百余人，习学小乘教说一切有部。

今王淳质，敬重三宝③，仪容闲雅，笃志好学。建国以来，多历年所。其自称云是至那提婆瞿呾罗（唐言汉日天种）。此国之先，葱岭中荒川也。昔波利斯国王娶妇汉土，迎归至此，时属兵

乱，东西路绝，遂以王女置于孤峰。峰极危峻，梯崖而上，下设周卫，警昼巡夜。时经三月，寇贼方静，欲趋归路，女已有娠。使臣惶惧，谓徒属曰："王命迎妇，属斯寇乱，野次④荒川，朝不谋夕，吾王德感，妖气已静，今将归国，王妇有娠，顾此为忧，不知死地，宜推首恶，或以后诛。"讯问喧哗，莫究其实。时彼侍儿谓使臣曰："勿相尤⑤也，乃神会耳。每日正中，有一丈夫从日轮中乘马会此。"使臣曰："若然者，何以雪罪？归必见诛，留亦来讨，进退若是，何所宜行？"佥⑥曰："斯事不细，谁就深诛？待罪境外，且推旦夕。"于是即石峰上筑宫起馆，周三百余步，环宫筑城，立女为主，建宫垂宪。至期产男，容貌妍丽，母摄政事，子称尊号，飞行虚空，控驭风云，威德遐被⑦，声教远洽⑧，邻国异域，莫不称臣。其王寿终，葬在此城东南百余里大山岩石室中，其尸乾腊，今犹不坏，状羸瘠人，俨然如睡，时易衣服，恒置香花。子孙奕世⑨，以迄于今。以其先祖之出，母则汉土之人，父乃日天之种，故其自称汉日天种。然其王族，貌同中国，首饰方冠，身衣胡服。后嗣陵夷⑩，见迫强国。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 原隰丘墟：田地荒废。原隰，广平低湿之地。
② 伽蓝：佛寺。
③ 三宝：佛家以佛、法、僧为三宝，
④ 次：停留。
⑤ 相尤：互相指责、怨恨。
⑥ 佥：众人。
⑦ 遐被：播及远方。
⑧ 声教远洽：声威与教化影响到远处。洽，霑润的意思。
⑨ 子孙奕世：子孙一代传一代。
⑩ 陵夷：衰微。

159.鼠坟的传说

王城西百五六十里，大沙碛正路中，有堆阜，并鼠壤坟也。闻之土俗曰：此沙碛中，鼠大如蝟，其毛则金银异色，为其群之首长。每出穴游止，则群鼠为从。昔者，匈奴率数十万众，寇掠边城，至鼠坟侧屯军。时瞿萨旦那王率数万兵，恐力不敌，素知碛中鼠奇而未神也，洎乎寇至①，无所求救，君臣震恐，莫知图计，苟复设祭，焚香请鼠，冀其有灵，少加军力。其夜瞿萨旦那王梦见大鼠曰："敬欲相助。愿早治兵，旦日合战，必当克胜。"瞿萨旦那王知有灵佑，遂整戎马，申令将士，未明而行，长驱掩袭。匈奴之闻也，莫不惧焉。方欲驾乘被铠②，而诸马鞍、人服、弓弦、甲缝，凡厥带系，鼠皆齧断。兵寇既临，面缚受戮。于是杀其将，虏其兵，匈奴震慑，以为神灵所佑也。瞿萨旦那王厚感鼠恩，建祠设祭，奕世③遵敬，特深珍异。故上自君王，下至黎庶④，咸修礼祭，以求福佑。行次⑤其穴，下乘而趋，拜以致敬。祭以祈福，或衣服弓矢，或香花肴膳，亦既输诚⑥，多蒙福利。若无享祭，则逢灾变。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 洎乎寇至：及至入侵者来到。
② 驾乘披铠：骑上战马，穿上甲衣。
③ 奕世：累代，世世代代。
④ 黎庶：平民百姓。
⑤ 行次：将至。
⑥ 输诚：献纳诚心。

160.戎① 地 风 俗

山绕溪环，部落坦夷，田畬②连成片，土膏腴。气候不正，

春夏苦雨。俗陋，男女方头③，儿生之后，以木板四方夹之，二周后去其板。四季祝发④，以布缦遶身。

（汪大渊：《岛夷志略》⑤）

① 一些研究者认为《岛夷志略》书中的“戎”是指马来半岛克拉地峡附近的春蓬，今亦称尖喷。

② 田畬（yú余）：田地。畬，已耕种三年的熟田。

③ 男女方头：《大唐西域记》卷一说：屈支国“其俗生子以木押头，欲其匾也”。南海则仅加里曼丹有此风俗。

④ 祝发：剃去头发。

⑤ 汪大渊，字焕章，元代江西南昌人。自幼好游历，年二十，即附舶浮海，前后两下东西洋。《岛夷志略》撰于元顺帝至正己丑（1349年）冬。书分百条，多与汪氏本人游踪有关。此书是上承宋代赵汝适《诸蕃志》，下接明代马欢《瀛涯胜览》、费信《星槎胜览》等书的一种重要撰述。

161.巴南巴西① 姑娘善歌舞

国居大响山之南，环居数千里。土瘠②，宜种豆。气候乍凉，俗尚浇薄③。男女体小而形黑，眼圆耳长，手垂过膝，身披丝绒单被。凡民间女子，其形窊婼④，自七岁，父母以歌舞教之，身折叠而圆转，变态百出，粗有可观。

（汪大渊：《岛夷志略》）

① 巴南巴西：在印度半岛西岸。

② 土瘠：土质瘦瘠。

③ 浇薄：风气浮薄 。

④ 窊婼（yāyà亚牙）：指女子善于作出各种姿态。

162.古　里① 国

锡兰山起程，顺风十昼夜可至。其国当巨海之要屿，与僧迦

密迩，亦西洋诸国之马头② 也，山广地脊，麦谷颇足。风俗甚厚，行者让路，道不拾遗，法无刑杖，惟以石灰画地，乃为禁令。其酋富，居深山，傍海为市，聚货通商。男子穿长衫，头缠白布。妇女穿短衫，围色布，两耳悬带金牌络索数枚，其项上真珠宝石珊瑚，连挂缨络，臂腕足胫皆金银镯，手足指皆金银廂宝石戒指，发堆脑后，容白发黑，娇美可观。

（费信：《星槎胜览》）

① 古里：其地在今印度西岸。
② 马头：同“码头”。

163.敬象及牛

（古里国）王信佛教，敬象及牛。盖佛殿以铜瓦，及以铜铸佛，象乃纳儿。掘井于佛象之旁，每早王自来汲水浴佛礼拜。又每夜令人收取黄牛粪，以铜盘装盛，早晨和水洒涂佛殿地上及各墙壁。王家并头目及诸富家皆如此敬佛。又烧牛粪为细白灰，用好布为袋装盛。每早盥洗毕，以此灰调水涂额并鼻准及两股间各三次，方才见佛。以此相传。又昔有圣人名某些① ，乃真天人，立教化于此地。其圣人因往他国，令弟撒没嘹摄教。其弟心起矫妄，铸铜为犊，诈曰：“此圣主也。若能崇敬，当日粪金以酬。”其人贪得金而忘天道，因此皆敬牛为重。及某些圣人回国，怪弟忘，乃废其牛，欲罪，其弟即乘一大象遁去。至今国人悬望撒没嘹回，如月初则言月中必至，及月中又言月终必至。南毘② 人敬象及牛，盖以此也。

（巩珍：《西洋番国志》③）

① 某些：国王的名字。

② 南毘：指贵族。巩珍在本书中介绍说：国中人分五等，“名回回、南毘、哲地、革令、木瓜。”

③ 巩珍，明代航海家。号养素生，江苏南京人。兵士出身。宣德五年（1430年）随郑和通使西洋，任通事转译，记录各国风土民俗，归后于宣德九年（1434年）撰成《西洋番国志》。但此书内容主要抄自《瀛涯胜览》，只是个别地方有文字上的差异和译名上的不一致。

164.崇佛敬牛

（锡兰）国人系锁里人氏，崇信释教，尊敬象牛，人将牛粪烧灰，遍搽其体，牛不敢食，止食其乳，如有牛死，即埋之。若私宰牛者，王法罪死，或纳牛头金以赎其罪。王之居址，大家小户每日将牛粪用水调稀，遍涂屋下地面，然后拜佛。两手直舒于前，两腿直伸于后，胸腹皆贴地而为拜。

（马欢：《瀛涯胜览》）

165.荒唐的断狱

（古里国）国王位不传子，传与外甥。王若无姊妹，则传于弟，无弟则传与有德之人。世世代代相仍① 如此。国法无鞭笞之刑，轻则截手断足，重则罚金诛戮，甚则抄封灭族。人犯法到官则称冤。不服者则于王前或大头目前，以铁锅煮油令滚，先以树叶爆裂有声，乃命其人以右手二指浸滚油内，片时取出，用布包裹封记，监留在官。过三日聚众开封视之，若手溃烂则不枉，遂加以刑。其不溃烂者，则头目人等以鼓乐送此人回家。诸亲邻友皆贺，相与饮酒作乐。

（巩珍：《西洋番国志》）

① 相仍：互相因袭。

166.南尼华罗国

国人好佛教，尊牛，屋壁皆涂牛粪以为洁。各家置坛，以牛粪涂，置花木蒸香供佛。路通西域，常有轻骑来劫，闭门拒之，数日，绝粮而退。番商到彼，不得入室。

（周致中：《异域志》①）

① 周致中，元代湖北江陵人，做过知院，“奉使外番者六，熟知四夷人物风俗”《异域志》原名《赢虫录》，后人重编时改为现名。本书著录有二百一十个国家和民族，主要杂记其风俗物产。除了有些为我国古代少数民族外，所记范围，东起朝鲜、日本，西抵西亚、非洲，南至东南亚、南亚诸国。

167.师　子　国①

法显② 住此二年写经及画像，于是载商人大舶泛海西南行，得冬初信风，昼夜十四日，到师子国。彼国人云，相去可七百由延③。其国大，在洲上东西五十由延，南北三十由延。左右小洲，乃有百数，其间相去，或十里，二十里，或二百里，皆统属大洲。多出珍宝珠玑，有出摩尼珠地，方可十里，王使人守护，若有采者，十分取三。其国本无人民，止有鬼神及龙居之，诸国商人共市易。市易时，鬼神不自现身，但出宝物，题其价值，商人则依价直取物。因商人来往住，故诸国人闻其土乐，悉亦复来，于是遂成大国。其国和适，无冬夏之异，草木常茂，田种随人，无有时节。佛至其国，欲化恶龙，以神足力，一足躡王城北，一足躡山顶，两足相去十五由延。于王城北迹上起大塔，高四十丈，金银庄校，众宝合成。塔边复起一僧伽蓝④，名无畏山，有五千僧，起一佛殿，金银刻镂，悉以众宝。中有一青玉像，高二丈许，通身七宝炎光，威相严显，非言所载，右掌中有一无价宝

珠。法显去汉地积年⑤，所与交接，悉异域人，山川草木，举目无旧，又同行分搆⑥，或留或亡，顾影唯已，心常怀悲，忽于此玉像边，见商人以晋地⑦一白绢扇供养，不觉悽然，泪下满目。其国前王遣使中国，取贝多树子，于佛殿旁种之，高可二十丈。其树东南倾，王恐倒，故以八九围柱拄树，树当拄处心生。遂穿柱而下，入地成根，大可四围许。柱虽中裂，犹裹在其外，人亦不去。树下起精舍⑧，中有坐像，道俗敬仰无倦。

（法显：《佛国记》）

① 师子国，即狮子国，今天的斯里兰卡。

② 法显：东晋僧人、旅行家、翻译家。本姓龚，平阳武阳（今山西临汾县境）人。中国僧人到天竺留学的先驱者。前后凡十四年，游历三十余国，带回很多梵本佛经。

③ 由延：古代印度计算长度的单位，指军行一日的行程，有的说四十里，有的说三十里，有的说十六里。《大唐西域记》卷二“数量”载：“夫数量之称，谓踰缮那。（旧曰由旬，又曰踰闍那，又曰由延，皆讹略也。）踰缮那者，自古圣王一日行军也。旧传一踰缮那四十里矣，印度国俗乃三十里；圣教所载，惟十六里。”

④ 僧伽蓝：佛教寺院的通称。

⑤ 去汉地积年：离开中国多年。去，离。

⑥ 分搆：分合。搆，即拼字，连合，缀合。

⑦ 晋地：即晋朝。

⑧ 精舍：指道士、僧人修炼、居住的地方。

168.僧伽罗国的传说（二则）

（一）

僧伽罗国①，周七千余里。国大都城，周四十余里。土地沃壤，气序温暑，稼穡时播，华②果俱繁。人户殷盛，家产富饶。其形卑黑，其性犷烈，好学尚德，崇善勤福。此国本宝渚也，多有珍宝，栖止鬼神。其后南印度有一国王，女娉邻国，吉日送归，路逢师子。侍卫之徒，弃女逃难。女在輦③中，心甘丧命。时师子

王负女而去，入深山，处幽谷，捕鹿采果，以时资给。既积岁月，遂孕男女。形貌同人，性种畜也。男渐长大，力格猛兽。年方弱冠④，人智斯发。请其母曰："我何谓乎？父则野兽，母乃是人，既非族类，如何配偶。"母乃述昔事以告其子。子曰："人畜殊途，宜速逃逝。"母曰："我先已逃，不能自济⑤。"其子于后，逐师子父，登山踰岭，簪⑥其游止，可以逃难。伺父去已，遂担负母妹，下趋人里。母曰："宜各慎密，勿说事源，人或知闻，轻鄙我等。"于是至父本国。国非家族，宗祀已灭。投寄邑人，人谓之曰："尔曹何国人也？"曰："我本此国，流离异域，子母相携，来归故里。"人皆哀愍⑦，更共资给。其师子王，还无所见，追恋男女，愤恚既发，便出山谷，往来村邑，咆哮震吼，暴害人物，残毒生类，邑人辄出，遂取而杀。击鼓吹贝，负弩持矛，群从成旅，然后免害。其王惧仁化之不洽⑧也，乃纵猎者，期于擒获。王躬率四兵，众以万计，掩薄林薮⑨，弥跨山谷。师子震吼，人畜辟易⑩。既不擒获，寻复招募，其有擒执师子除国患者，当酬重赏，式旌茂绩⑪。其子闻王之令，乃谓母曰："饥寒已甚，宜可应募，或有所得，以相抚育。"母曰："言不可若是，被虽畜也，犹谓父焉，岂以艰辛而兴逆害？"子曰："人畜异类，礼义安在？既以违阻，此心何冀？"乃袖小刃，出应招募。是时，千众万骑，云屯雾合，师子踞在林中，人莫敢近。子即其前，父遂驯伏，于是乎亲爱忘怒，乃剚刃⑫于腹中，尚怀慈爱，犹无忿毒，乃至刳腹，含苦而死。王曰："斯何人哉！若此之异也。诱之以福利，震之以威祸，然后具陈始末，备述情事。王曰："逆哉！父而尚害，况非亲乎？畜种难驯，凶情易动。除民之害，其功大矣！断父之命，其心逆矣！重赏以酬其功，远放以诛其逆，则国典不亏⑬，王言不贰⑭。"于是，装二大船，多储粮糗，母留在国，周给赏功，子女各从一舟，随波飘荡。其男船泛海，至此宝渚，见丰珍玉，便于中止。其后商人采宝，复至渚中，乃杀其商主，留其子女。如是繁息，子孙众

多，遂立君臣，以位上下，建都筑邑，据有疆域。以其先祖，擒执师子，因举元功而为国号。其女船者，泛至波剌斯西，神鬼所魅，产育群女，故今西大女国是也。

（玄奘：《大唐大西域记》）

① 僧伽罗国：今斯里兰卡。
② 华果：花果。华同花。
③ 輦：车子。
④ 弱冠：古代男子二十岁行冠礼，故以弱冠指二十岁左右的年龄。弱，年少。
⑤ 不能自济：不能自给。济，接济。
⑥ 瞥：察的异体字。
⑦ 哀愍：哀怜、同情。
⑧ 不洽：不能影响深远。洽，浸润的意思。
⑨ 掩薄林薮：遍及山林水泽之间。
⑩ 辟易：惊退
⑪ 式旌茂绩：以立大功的规格加以表彰。
⑫ 剚（zì字）刃：用刀刺入体内。
⑬ 国典不亏：国家大法没有受损害。
⑭ 不贰：不变。

（二）

佛法所记，则曰：昔此宝洲大铁城中，五百罗刹女① 之所居也。城楼之上，竖二高幢② ，表吉凶之相。有吉事，吉幢动，有凶事，凶幢动。恒伺商人至宝洲者，便变为美女，持香花，奏音乐，出迎慰问，诱入铁城，乐谑欢会已，而置铁牢中，渐取食之。时赡部洲有大商主僧伽者，其子字僧伽罗，父既年老，代知③ 家务。与五百商人，入海采宝。风波飘荡，遇至宝洲。时罗刹女望吉幢动，便齎④ 香花，鼓奏音乐，相携迎候，诱入铁城。商主于是对罗刹女王，欢娱乐会。自余商侣，各相配合。弥历岁时，皆生一子。诸罗刹女，情疏故人，欲幽之铁牢，更伺商侣。时僧伽罗夜感恶梦，知非吉祥，窃求归路，遇至铁牢，乃闻悲号之声，遂昇高树问曰："谁相拘絷，而此怨伤。"曰："尔不知

耶！城中诸女，并是罗刹。昔诬我曹入城娱乐，君既将至，幽牢我曹，渐充所食，今已太半⑤，君等不久，亦遭此祸。”僧伽罗曰：“当图何计，可免危难。”对曰：“我闻海滨有一天马，至诚祈请，必相济渡。”僧伽罗闻已，窃告商侣，共往海滨，专精求救。是时天马来告人曰：“尔辈各执我毛鬣不回顾者，我济汝曹越海免难，至赡部洲吉达乡国。”诸商人奉指告，专一无贰，执其髦鬣，天马乃腾骧云路⑥，越济海岸。诸罗刹女忽觉夫逃，递相告语，异其所去。各携稚子，凌虚往来，知诸商人将出海滨，遂相召命，飞行远访。尝未踰时，遇诸商侣，悲喜俱至，涕泪交流，各掩泣而言曰：“我惟感遇，幸会良人，室家有庆，恩爱已久，而今远弃，妻子孤遗，悠悠此心，谁其能忍？幸愿留顾，相与还城。”商人之心，未肯回虑。诸罗刹女策说无功，遂纵妖媚，备行娇惑。商侣爱恋，情难堪忍，心疑去留，身皆退堕。罗刹诸女，更相拜贺，与彼商人，携持而去。僧伽罗者，智慧深固，心无滞累⑦，得越大海，免斯危难。时罗刹女王，空还铁城，诸女谓曰：“汝无智略，为夫所弃，既寡艺能，宜勿居此。”时罗刹女王，持所生子，飞至僧伽罗前，纵极媚惑，诱请令还。僧伽罗口诵神咒，手挥利剑，叱而告曰：“汝是罗刹，我乃是人，人鬼异路，非其匹合，若苦相逼，当断汝命。”罗刹女知诱惑之不遂也，凌空而去，至僧伽罗家，谓其父僧伽曰：“我是某国王女，僧伽罗娶我为妻，生一子矣，赍持宝货，来还乡国，泛海遭风，舟楫漂没，惟我子母及僧伽罗，仅而获济。山川道阻，冻馁艰辛，一言忤意⑧，遂见弃遗。詈言⑨不逊，骂为罗刹。归则家国辽远，止则孤遗羁旅⑩，进退无依，敢陈情事。”僧伽曰：“诚如所言，宜时即入室。”居未久，僧伽罗至，父谓之曰：“何重财宝，而轻妻子？”僧伽罗曰：“此罗刹女也。”则以先事具白父母，而亲宗戚属咸事驱逐。时罗刹女遂以诉王，王欲罪僧伽罗，僧伽罗曰：“罗刹之女，情多妖惑。”王以为不诚也，而情悦其淑美，谓僧伽罗曰：“必弃此女，今留后宫。”僧伽罗

曰："恐为灾祸，斯既罗刹，食惟血肉。"王不听僧伽罗之言，遂纳为妻。其后夜分⑪，飞还宝渚⑫，召余五百罗刹鬼女共至王宫，以毒咒术，残害宫中，凡诸人畜，食肉饮血，持其余尸还归宝渚。旦日群臣朝集，王门闭而不开，候听久之，不闻人语。于是排其户，辟其门，相从趋进，遂至宫庭，阗⑬其无人，惟有骸骨。群官僚佐，相顾失图，悲号恸哭，莫测祸源。僧伽罗具告始末，臣庶信然，祸自招矣！于是国辅老臣，群官宿将，历问明德，推据崇高，咸仰僧伽罗之福智也，乃相议曰："夫君人者，岂苟且哉？先资福智，次体明哲，非福智无以享宝位，非明哲何以理机务？僧伽罗者，斯其人矣。梦訾祸机，感应天马，忠以谏主，智足谋身。历运在兹，惟新成咏。"众庶乐推，尊立为王，僧伽罗辞不获免，允执其中，恭揖群官，遂即王位。于是沿革前弊，表式⑭贤良，乃下令曰："吾先商侣，在罗刹国，死生莫测，善恶不分，今将救难，宜整兵甲，拯危恤患，国之福也。收珍藏宝，国之利也。"于是治兵，浮海而往。时铁城上凶幢遂动，诸罗刹女靦而惶怖，便纵妖媚出迎诱诳。王素知其诈，令诸兵士，口诵神咒，身奋武威。诸罗刹女蹎坠退败，或逃隐海岛，或沉溺洪流。于是毁铁城，破铁牢，救得商人，多获珍宝，招募黎庶，迁居宝洲，建都筑邑，遂有国焉。因以王名而为国号。僧伽罗者，则释迦如来本生之事也。

（玄奘：《大唐西域记》）

① 罗刹女：罗刹，佛经中恶鬼的通称。原为古印度土著民族之一，雅利安人进入印度后，诬蔑罗刹族人凶恶可畏，遂转化为凶恶之意。罗刹女，女恶鬼，能变为美丽妇人，魅惑食人。

② 幢：旗子之类。佛教徒在长筒圆形绸伞上写经的，叫经幢。

③ 代知：代理。

④ 賫：带着、抱着。

⑤ 太半：大半、过半。

⑥ 腾骧云路：飞跃、奔腾于空中。

⑦ 滞累：困惑于尘俗。

⑧ 忤意：逆意。
⑨ 詈言不逊：斥骂的话很难听。詈（li力），责骂，不逊，不顺。
⑩ 羁旅：寄居作客。
⑪ 夜分：夜半。
⑫ 渚：水中小洲。
⑬ 阒（qù去）：静寂。
⑭ 表式：表彰。

169.阇　维

城南七里，有一精舍，名摩诃毗诃罗，有三千僧，住有一高德沙门①，戒行清洁，国人咸疑是罗汉②。临终之时，王来省视，依法集僧，而问比丘③得道耶。其便以实答，言是罗汉。既终，王即案经律④以罗汉法葬之。于精舍东四五里，积好大薪，纵广可三丈余，高亦尔近，上著栴檀沈水诸香木，四边作阶上，持净好白氎⑤，周币蒙薪上⑥，作大輦床，似此间輜车⑦，但无龙鱼耳。当闍维⑧时，王及国人，四众咸集，以华香供养，从輦至墓所。王自华香供养。供养讫，輦著薪上，苏油遍灌，然后烧之。火然之时，人人敬心，各脱上服及羽仪伞盖，遥掷火中，以助闍维。闍维已，即检取骨，即以起塔。法显至，不及其生存，唯见葬时。

（法显：《佛国记》）

① 沙门：梵语，原为古印度各教派出家修道者的总称，后佛教专指依照戒律出家修道的人。
② 罗汉：梵语，亦称阿罗汉。指修行得道的比丘，地位仅次于菩萨。
③ 比丘：梵语，意为乞者。佛教指出家修行的男僧。按佛教规定，少年出家，初受戒，称为沙弥。到二十岁，再受具足戒，成为比丘。
④ 案经律：依照经书规定。
⑤ 白氎：白色细棉布。
⑥ 周币蒙薪上：周密地覆盖在柴堆上。
⑦ 輜（chuán传）车：古代运灵柩的车子。
⑧ 闍维：梵语。指僧死梵尸的仪式。

170.晏陀蛮国的传说（二则）

（一）

其国周围七千里，人如黑漆，能生食人。地无铁，唯磨蚌壳为刃。其国有一圣迹，用浑金② 作床，承一死人，经代不朽，常有巨蛇卫护。其蛇毛长二尺，人不敢近。有一井，一年两次水溢流入海，所过沙石经浸尽成金。

（周致中：《异域志》）

① 晏陀蛮国：晏陀蛮，《瀛涯胜览》锡兰国条作按笃蛮，即今尼科巴群岛以北的安达曼群岛。

② 浑金：未冶炼的金。

（二）

自蓝无里① 去细兰国，如风不顺，飘至一所，地名晏陀蛮。海中有一大屿，内有两山，一大一小。其小山全无人烟，其大山周围七十里。山中之人身如黑漆，能食生人，船人不敢舣岸。山内无寸铁，皆以砗磲磨铦为刃②，上有圣迹浑金床，承一死人，经代不朽。常有巨蛇卫护，蛇身毛长二尺，人不敢近。有井，每岁两次水溢流入于海，所过砂石经此水浸皆成金。阖山人常祭此井。如铜铅铁锡用火烧红，取此水沃之③，輒变成金。旧传曾有商舶坏船，人扶竹木，随流飘至此山，知有圣水，潜以竹筒盛满，乘木筏随浪飘漾至南毗国，以水献南毗国王，试之果验。南毗国王遂兴兵，谋奄有其山。船未至间，遭恶风飘回。船人漂至山，尽为山蛮所食。盖此山有金床异人，密有神护，不令人近也。

（赵汝适：《诸蕃志》）

① 蓝无里：地名，在苏门答剌岛之西北角。

② 以砗磲磨銛为刃：用砗磲壳磨利作刀刃。砗磲（chēqú），软体动物，壳略呈三角形，很厚，大的可达一米，栖息于热带海中。

③ 沃：浇。

171.细　兰　国

自蓝无里风帆将至其国，必有电光闪烁，知是细兰[1]也。其王黑身而逆毛，露顶不衣，止缠五色布，躡金线红皮履。出骑象，或用软兜。日啖槟榔，炼真珠为灰，屋宇悉用猫儿睛及青红宝珠玛瑙杂宝妆饰，仍用藉地以行。东西有二殿，各植金树，柯茎皆用金，花实并叶则以猫儿睛青红宝珠等为之。其下置金椅，以琉璃为壁。王出朝，早升东殿，晚升西殿，坐处常有宝光，盖日影照射琉璃，与宝树相映，如霞光烁然。二人常捧金盘从，承王所啖槟榔滓，从人月输金一镒于官库，以所承槟榔滓内有梅花脑并诸宝物也。王握宝珠，径五寸，火烧不煖，夜有光如炬，王日用以拭面，年九十余，颜如童。国人肌肤甚黑，以缦缠身，露顶跣足，以手掬饭。器皿用铜，有山名细轮叠，顶有巨人迹，长七尺余[2]。

（赵汝适：《诸蕃志》）

① 细兰：即锡兰，今斯里兰卡。

② 《瀛涯胜览》锡兰条载："王居之侧，有一大山，侵云高耸。山顶有人脚迹一个，入石深二尺，长八尺余。云是人祖阿聃圣人，即盘古之足迹也。此山内出红雅姑，青雅姑，黄雅姑，青朱蓝石，昔剌泥，窟没蓝等，一切宝石皆有。每有大雨冲出土，流下沙中，寻拾则有。常言宝石乃是佛祖眼泪结成。"

172.锡兰佛迹（二则）

（一）

自帽山南放洋，好风向东北行三日，见翠蓝山在海中。其山

三、四座，惟一山最高大，番名按笃蛮山。彼处之人，巢居穴处，男女赤体，皆无寸丝，如兽畜之形。土不出米，惟食山芋、波罗蜜、芭蕉子之类，或海中捕鱼虾而食。人传云：若有寸布在身，即生烂疮。昔释迦佛过海，于此处登岸，脱衣入水澡浴，彼人藏其衣，被释迦咒讫，以此至今人不能穿衣。俗言出卵坞，即此地也。过此投西，船行七日见莺歌咀山，再三、两日到佛堂山，才到锡兰国。马头名别罗里，泊船登岸。海边山脚光石上有一足迹，长二尺许，云是释迦从翠蓝山来，从此处登岸，脚踏此迹存焉。中有浅水不乾，人皆手蘸其水洗面拭目，曰佛水清净。左右佛寺内有释迦佛，混身侧卧，尚存不朽。其寝座用各样宝石妆嵌，沉香木为之，甚是华丽。及有佛牙① 并活舍利子② 等物在堂，其释迦涅槃，正此处也。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 佛牙：相传释迦牟尼死后，曾留下四颗牙齿，佛教徒奉为珍宝，把它供奉起来，称为佛牙。

② 舍利子：佛骨。《魏书·释老志》："佛既谢世，香木焚尸，灵骨粉碎，大小如粒，击之不坏，焚亦不燋，或有光明神验，胡言谓之舍利。弟子收奉，置之宝瓶，竭香花致敬慕，建宫宇，谓为塔。"

（二）

（同治五年二月）二十四日，晴。午正行七百九十六里，申正，泊舟锡兰。酉刻阵雨。考《瀛环志略》，锡兰在南印度之东南，海中大岛也。周千余里，中有崇山高阜，近海洼下。地多雨、多迅雷，花木繁绮，林内多象，山出宝石，所产桂枝最良。前明时葡萄牙据立埠头，后为荷兰所夺。嘉庆元年① ，英人尽有其地，《天下郡国利病书》② 云，古狼牙修也。自苏门答腊顺风十二昼夜可至。相传释迦从伽蓝屿来登此山，犹存足迹。山下有寺，中贮释迦涅槃真身及舍利子。明永乐六年③ 遣太监郑和等齎

供器宝旛，布施④于寺、建碑。

（斌椿：《乘槎笔记》⑤）

① 嘉庆元年：公元1796年。
② 《天下郡国利病书》：书名，明末清初顾炎武作。
③ 永乐六年：公元1408年。永乐，明成祖的年号。
④ 布施：施舍。
⑤ 斌椿，字友松，清内务府正白旗汉军。曾任山西襄陵县知县。同治五年（1866年），奉命率领张德彝等随同海关总税司英国人赫德前往法、英、俄、德等国游历，采风问俗。出国期间写了这部笔记，记叙游历期间的见闻。

173.锡兰岛酒家女

二十六日午，阴。阅各国地图，云锡兰为天竺本国，地广人稠，亚于爪哇（南洋大岛，即噶啰巴）。古时佛教起于印度，盛行中土。晋法显、北魏惠生、唐玄奘皆遍历其地，记载特详。诸佛菩萨绘塑各像，多裸上体。或耳戴环，胫束钏。所衣袈裟，即外著之沙郎，至今未改也。自红衣喇嘛教兴，嗣复演为黄教。元起北方，取五印度，建为外藩，乃已半从回教。今则备欧罗巴之东藩①，而佛教愈微。《瀛环志略》云，慧光照于震旦②，而净土转滋他族，盛衰之感，洵不虚也③。今则市肆楼宇之繁盛，皆泰西④及中土人。村店尚有土人售鱼虾果蔬者，或楼居、或板屋。近岸三五里，楼宇相望，皆宏敞，垩白土⑤，半颓圮矣。闻盛时多系娼楼，有著名如古称燕子章台⑥者，十不存一耳。瞥见酒家女搴帘倚门，螺髻绛唇，面如淡墨色。见过客，笑靦⑦露齿，赤足骇人。询舆夫，亦娼而劝客入饮者。……是日，舟行极稳，因考天竺缘起，补录于此。过此而往，则自古未通中国，载籍不能考证，惟据各国所译地图，参酌考订，而宗以《瀛环志略》耳。

（斌椿：《乘槎笔记》）

① 欧罗巴之东藩：欧洲国家的东方藩属（即殖民地、半殖民地）。

② 震旦：印度古时称中国为震旦。

③ 洵不虚也：实在不假。洵，实在。

④ 泰西：极西。泛称欧洲、美洲各国。

⑤ 垩白土：用白泥涂饰。用泥涂壁曰垩。

⑥ 燕子、章台：代指著名楼台。燕子，即燕子楼，唐贞元中张建封镇守徐州时所建，张的爱妾关盼盼居此楼。章台，战国时秦宫内之台。

⑦ 笑靥：笑脸。

174.锡兰渡船（二则）

（一）

（光绪二年十一月）初六日。锡兰渡船皆刳木① 为舟，有至四、五间者，每间仅容一人，纳足其中而身坐其上，旁施横木，首尾各系树株束之。舟行巨浪中，亦无攲侧② ，盖犹上古刳舟之遗制也。

（郭嵩焘：《使西纪程》③）

① 刳（kū枯）木：把木头剖开挖空。

② 攲（qī欺）侧：倾斜。

③ 郭嵩焘（1818—1891），清代湖南湘阴人。字伯琛，号筠仙，晚号玉池老人。光绪二年（1876年）被派赴英国对“马嘉理案”表示“惋惜”，并首任驻英公使。1878年兼任驻法公使。《使西纪程》记叙出使期间的见闻。

（二）

（光绪二年十一月）初十日卯正进口，行半时许停船，地名戈尔，锡兰极南海口也。由亚丁至此八千一百十三里。客由英至印度会城加尔格达者，在此换船。口左有白石灯塔，高矗云表① 。两岸绿荫参天，幽雅奇绝，皆椰林也。早餐后，乘小艇上岸，每人船资一锡林② 。艇制奇甚，刳木为之，长逾二丈，宽不及尺，深倍之。客列坐左右，船舷首尾二人，棹桨以行。船左首尾各横

札一木，长五六尺，其末与水平。复驾一巨木，若与船相低昂者。询知为风浪甚大，非是无以免覆溺患。

（李圭：《环游地球新录》③）

① 云表：云外。

② 锡林：当时锡兰的货币单位。

③ 李圭（1842—1903）字小池，清末江苏江宁（今南京市）人。浙海关工作人员。光绪二年（1876年），美国费城举行“赛珍会”，即万国博览会，中国展品由李负责运往。在出国期间，写了这部《环游地球新录》，记录他环游世界的见闻。

175.锡兰人服饰

（锡兰岛）民睛发如中土，惟面目黎黑可畏。俗奉佛，谨好膜拜①，讽经悉曇章梵天法。跣足，袭窄袖短衣，重白色，下通服长裙，色尚红，间用印花者。或袒其右臂，首缀玳瑁②，细齿梳作半月形（泰西人亦多用之）。男螺髻，或左右披发，女辫发。

（缪祐孙：《俄游日记》③）

① 膜拜：举手加额，长跪而拜。表示极度的恭敬或畏服。

② 玳瑁：海中动物，形状似龟，背面角质板光滑，有美丽的花纹，可用来制作装饰品。

③ 缪祐孙，字柚琴，清代江苏江阴人。光绪年间进士，历官户部郎中。光绪十三年（1887年）八月，在上海乘船出发，由海道至欧洲，再乘火车入俄国考察政治。光绪十五年由陆路回国。《俄游日记》即记此次游历的见闻。

176.游 格 嵢 坡①

（光绪十三年九月）二十七日辛巳，晨微雨，午晴。舟向东北行，入锡兰岛，泊格嵢坡。午牌行一千有八十里，经赤道北六度三十六分。此岛右势斜伸，屏印度洋。乱石崛突，激海水，作

高浪，直上十余寻②，舣舟则动盪。自前五年，英人用塞门土③兼大石，筑长堤一道捍御之，泊者始安。趁小轮舟登岸，易马车，先观沿海炮垒，皆坚朴，盖新式也。游博物院，有大鲸骨，其首且长七八尺。石佛、石象、石狮，各国古钱、古铜器、刀剑，断柱黛色，光泽可鉴，或云玉也。登楼，见壁上石断英世子④像，殆创兴此院者。门外叠石为台，上范⑤铜像，乃英之大酋初踞此岛者也。复游藏经楼，读贝叶经，有白石卧佛龛，前布鲜花八九种，色奇艳，莫询其名，微飔⑥暂拂，芳溢六空⑦。卧佛寺距此又三里许，有塔，如来涅盘真身及舍利子在焉，多梵贝⑧。申刻，旋舟。锡兰，古佛国，或曰即东天竺之境。

（缪祐孙：《俄游日记》）

① 格崙坡：锡兰的地名，今译作科伦坡。
② 寻：古时长度单位，八尺为一寻。
③ 塞门土：或译作“士敏土”，即水泥。
④ 英世子：英国王太子。
⑤ 范：按照模型铸造。
⑥ 微飔（sī思）：微微的凉风。
⑦ 六空：上下四方。
⑧ 梵贝：佛经。佛书以贝叶书写。

177.锡兰岛登佛寺

（八月）初九日，趁朝凉，与包（尔）①坐车入山，行六七里，椰子林外，时见一泓净水，种满碧荷。微风吹来，暗闻妙香。沿山有花瓣，作黄白色，殆佛经所称薝蔔欤！土人须发连卷，跣足裸体，耳带环，胫束钏，役驯象如牛马，亦与世所塑罗汉像相类。沙地上建佛寺，卧佛长三丈许，殿旁白塔高一丈。僧云：内藏佛骨及舍利子。塔前列石幢，树纸旛。僧披黄袈裟②，出贝叶经相际③，以锦袱袭之，若甚珍贵。而遍寻碑碣不可得，不知

此地晋法显、魏惠生、唐元奘④、明郑和曾至否？相传释迦从迦蓝屿来登此山，犹存足迹。山寺供释迦涅槃真身，即塔内所谓佛骨耶。记余来时泊舟岛外，风浪极大，不敢登岸，每以为憾。此游可以补夙缘⑤矣。

（潘飞声：《天外归槎录》⑥）

① 包尔：作者在德国的学生，当时由克鹿卜炮厂派往天津商办铁路，亦坐历嘉船东来。

② 袈裟：佛教僧尼的法衣。

③ 睨：“视”的异体字。这里借用为“示”。

④ 唐元奘：即唐玄奘。因避清康熙玄晔的讳，将“玄”改成“元”。

⑤ 宿缘：旧日的缘份。

⑥ 潘飞声，清末，广东番禺人。字公欢，一字兰思，号兰史，一号剑士。少以能文名，负经世之志，但不得志，牢骚抑塞，遂作航海远行。光绪十三年（1887年）七月，受德王聘请，至柏林讲经。至光绪十六年（1890年）回国。《天外归槎录》即记录他归途的见闻。

178.新加坡土人

土人色黑，喜食槟榔，故齿牙甚红。以花布缠首，衫而不袴。女……挽髻，额贴花钿，以铜环穿右鼻孔，两耳轮各穿五六孔，满嵌铜花，富者或用金银，手腕足胫戴银钏，腰裹短幅，亦衫而不袴，赤足，奔走若男子，沿途嬉笑……。闻此等人服役甚勤谨，西人眷属，喜雇用之。

（李圭：《环游地球新录》）

179.新加坡人服饰

（同治丙寅二月）十八日戊申，早抵新加坡，地系邏罗国界也，现属于英。其地中国人贸易者以万计。天气酷热，地多山冈

花树。又有英人建造楼房，土人房屋极陋，面色极黑，深目高鼻。妆饰服色不一，有薙秃者，缠首者，男子以蓝白红黄四色涂面，有自额前画至準头一条者，有涂在眉间者，人之贵贱，即以此分。耳坠双环，女子七孔，饰以白点，手十指戴环，足大指戴一金环，男女皆赤身光脚。腰围红白洋布一条，一头搭于肩上。

（张德彝：《航海述奇》）

180.内 山 土 人

彼境原有土民，皆深居内山，敛迹不出，新山市中之土民，则皆由新加坡或他处迁往，颇自矜异，而呼原有地主为山人焉。山人深藏于幽谷之中，居无定所，衣无布帛，食无谷粱，其所资以为生者，独异乎众，有上古巢居穴处之风。有时就树为屋，猱升栖止①，有时依山为穴，洞处如仙。其人不分男女，皆科头②赤足，缚蕉叶树皮之类于腰腹下，即蔽体装也。其食也，不耕不植，专事采果猎兽，用以资生。……

（阙名：《柔佛略述》③）

① 猱升栖止：象猿猴一般爬到树上居住。

② 科头：不戴帽子。

③ 著者姓名不详。《柔佛略述》简介柔佛（在马来亚东南部，西南濒麻六甲海峡）的情况。

181.德 罗 笏

（新加坡）领事色肋遣人招饮……既而侍者进一物，曰腾堂。状如鹅，而大更过之，问其价则洋蚨① 十圆。主人剖腾堂之腹，中贮碎肉，香味颇美。肉中杂以黑物，如中国黑豆，名德罗笏，食

之颇可口。按德罗笏为西国上品美果，多出于法国，而他国亦有。其果无根无叶，生于土中，如中国之茯苓然。味甘肥，形不一，有尖者，有圆者。有长者，因其地之坚松而成何形。土中生此，则其香外透。土人闻其香，便知有果。然平原莽莽，欲觅无从，因驱犬豕为前导。犬闻香欲食其果，则以爪爬之。土人即从爬处深掘，必得其果，或一枚，或五六枚，十无一失。国中因其所出无多，目为贵品，价亦昂。公卿贵戚大臣巨贾② 之家，设极盛之筵，以宴贵客，始觅此果，寻常筵宴，所请之客不甚尊贵者，罕有用之。其品之贵如此。

（阙名：《三洲游记》）

① 洋蚨：洋钱。
② 巨贾：大商人。

182.新加坡习俗

婚姻之礼，先款通女之父母，父母若允，命女乘小舟荡桨先行，男亦乘小舟追之。女若有意，必舣① 舟以待，不愿则 櫂舟② 他往，不知所之矣。无水之区，则先奔走于陆地，所行一如前法。屋宇极朴陋，或架于大树，或以四木柱撑之，防毒蛇猛兽也。人性刚直，受恩必报。所食惟谷果为多。设遇仇人为势所不敌者，即迁居以避之。亦有其仇悔过而请其回居者，尚有太古之风焉。喜聚族而居，每村约四、五十家，守望相助，疾病相扶持，死则掘地置尸或坐或立而葬之。

（阙名：《游历笔记》）

① 舣（yǐ蚁）：整舟向岸。通作檥。
② 櫂舟：划船。櫂或作棹。

183. 新加坡多虎患

地多猛虎，遇浅水亦能渡过，人之被其所伤者日有一人，虎患之烈可知已。但虽食人，亦畏人。一日，夕阳在山，有土人抱子归家，至丛莽① 间，忽遇虎迎面而来，土人无可奈何，姑俟之。虎亦不敢近，乃逐渐退至大树边，将其子置于树上而挺身与之对立，相离约十五丈。人逼近，虎退后，见其无能为，鼓勇直前，虎即大吼遁去。然此法惟对面时可用之，若于背后，鲜克免者② 。虎食人必先以掌扑击，俟人昏晕，然后啮破其颈而食之。牝者③ 生子置于树林中，日夜守之，恐被雄虎见而食之也。

（阙名：《游历笔记》）

① 丛莽：草木杂乱丛生的地方。
② 鲜克免者：甚少能免于被害的。
③ 牝者：雌性的。

184. 海　　民

另有一种人呼之为海民。小舟一叶，家人父子咸集其中，生生世世，不谙陆居，出没洪波巨浪之中，而不知惧，常泊青山绿水之旁而不知乐。以渔为食，迹类浮鸥① 。其人因食鱼过多，受湿热之毒，故皮肤多生疮疾，身无点瑕者② ，百无一二。

（阙名：《柔佛略述》）

① 迹类浮鸥：行踪似四处飘荡的海鸥。
② 身无点瑕：身上没有瑕疵（指瘢痕）。

185.满 剌 加[1] 国

其国傍海，山孤人少，受降于暹罗，每岁输金四十两为税。田瘠少收，内有山泉，流为溪。于溪中淘沙取锡，煎成块，曰斗锡，每块重官秤一斤四两。及织芭蕉心簟，惟以斗锡通市，无他产。气候朝热暮寒。男女椎髻，身肤黑漆。间有白者，唐人种也。俗尚淳厚，民淘钓网鱼为业。屋如楼阁而不铺板，但用木高低层布，连床就榻。箕踞而坐，饮食厨厕俱在上。

（费信：《星槎胜览》）

① 满剌加：即麻剌甲，或作马喇甲，在马来半岛西南岸，扼麻剌甲海峡之咽喉。

186.满剌加人的习性

满剌加在南海中，始为暹罗属域，厥后守土酋长叛其主而自立。……民性犷暴而重然诺[1]。钯镥[2]不离顷刻。生男二岁，即造小钯镥而佩之，一语不合，便戡刃其胸，死即刃者辄逃匿山谷。踰时乃出，死者之家不复寻仇，姑郎伽哪[3]亦不复追论矣。交会[4]则交扪其心以为礼。误扪其首则勃然忿争。贫民颇事剽掠，遇独客辄杀而夺其赀。舶商假馆，主必遣女奴以服役，犹日夕馈食饮，少不知戒，即腰缠[5]皆为所掩取矣。

（黄衷：《海语》）

① 重然诺：重视诺言。
② 钯镥：泛指金属武器。钯，即镝，箭头。镥，属于锡这一类的金属。
③ 姑郎伽哪：当地对贵官的称谓。
④ 交会：交朋会友。
⑤ 腰缠：资财。

187.通人意的狨[1]

狨人属出于暹罗之崛岙[2]，短小精悍，圆目而黄睛，性绝专慤[3]，不识金帛，木食如猿猱。古樾蒙密者[4]率数十巢，盖举族所聚也。语伊嘤不可辨。山居夷獠每谙其性，常驯扰以备驱使。蒙以敝絮，食以鲞鲅（夷言小咸鱼），饮以漓酒[6]，即跃然喜，似谓得所主者，举族受役，至死不避，虽历世不更他姓。尝役以采片脑鹤顶[7]，皆如期而获。其山多犀象，主者利其齿角，授以毒镖。狨挟以归，遇犀或象，辄往刺之，升木而匿，犀或象怒，且索毋得也。移刻毒发而殪[8]，狨乃群聚叫啸，若夸其捷者。相戒聚以守，经月，犀象且腐，所遗如齿如角，齿则负以数狨，角乃一狨肩之，以输其主[9]，遇夺他姓，亦至死弗畀也。舶人编竹为笼，纡深其制，置所必由之径，机而取之，以献于夷王。王大爱玩，酬以苏方木[10]至数千斤。狨衣狨以番锦，饲以嘉实[5]，置之爽塏[12]。狨以非其主，终不附也。然稍近烟火，泪目死尔。

（黄衷：《海语》）

① 狨，可能是野人或毛人。狨，又写作“狨。

② 崛岙：暹罗（今泰国）的地名。

③ 专慤（què确）：真诚、忠厚。

④ 古樾蒙密者：古木茂密的地方。樾，树木交聚而成的树荫。

⑤ 谙其性：熟悉它的习性。

⑥ 漓酒：薄酒。

⑦ 片脑鹤顶：药名。片脑，以龙脑香之树胶制成，形状似梅花片，以洁白透明为上品，亦称冰片或龙脑。鹤顶，指鹤的丹顶，相传有毒，能杀人。

⑧ 殪（yì意）：死。

⑨ 以输其主：运送给他的主人。

⑩ 苏方木：当地出产的优质木材。

⑪ 嘉实：好的果品。

⑫ 爽塏：高燥的地方。

188.火鸡、山凤

火鸡出满剌加山谷，大如鹳，多紫赤色，能食火，吐气亦烟焰也。子如鹭胎，壳厚踰重钱，或斑或白。岛夷采为饮盏，见者多珍奇之。山凤喙首① 如鹤，顶足率② 七八尺，翅翮过之，能吞众鸟，敌人③ 而啄其脑，若刀斧然。子大如椰瓯，近时暹罗哪哒挟一以饷④，盘检悦之。倩巧匠裁为酤瓠⑤，市井⑥ 夸谓仅见也。

（黄衷：《海语》）

① 喙首：咀和头。
② 率：大率、通常。
③ 敌人：与人相斗。
④ 饷：送。
⑤ 酤瓠：酒瓶。
⑥ 市井：市场。

189.海　　鳇

鳇有二种，常鳇类鲥鱼而小，河海皆产也。海鳇身首差短①，岁二、八月群至，数百腾于沙屿，移时② 化为鸟，俗呼火鸠是也。海滨居民候其上也，譟而驚之，化者才十五，鳞鬣全不开者不全化矣。居人羞者市者③，濒海皆是。余少时尝见广海人有以糟鳇④ 饷先大人⑤ 者，比发瓿⑥，鸟首而鱼身者二。

（黄衷：《海语》）

① 差短：略短。
② 移时：过一会儿。

③ 羞者市者：（捉海鳇）食的，出售的。
④ 糟鳇：腌制的海鳇。
⑤ 先大人：已去世的父亲。
⑥ 瓿（pǎu剖上）：古代盛物的器皿，圆口，深腹，圈足。

190.海　鳝

海鳝长者亘百余里（原文如此），牡蛎聚族其背，旷岁之积崇十许丈①，鳝负以游，鳝背平水，即牡蛎峙屹②水面如山矣。舶猝遇之，如当其首，辄震以铳炮。鳝惊，徐徐而没，犹漩涡数里，舶颠顿久之乃定，人始有更生之贺。盖观甚奇而灾甚切也。

（黄衷：《海语》）

① “旷岁”句：长年累积，高十余丈。
② 峙屹：高耸、突出。
③ 猝：突然。

191.海　蜘　蛛

海蜘蛛巨若丈二车轮，文具五色，非大山深谷不伏也。游丝隘中，牢若组缆①，晨晖照耀，光焰烨烨。虎豹麋鹿，间触其网，蜘蛛益吐丝如缟霞②，缠纠卒不可脱，俟其毙腐，乃就食之。舶人欲樵苏③者，率百十其徒，束炬而往，遇丝辄燃，红遍山谷，如设庭燎④，蜘蛛潜愈邃密，惟恐其及也。或云，取其皮为履，不航而涉，岂其然欤⑤。

（黄衷：《海语》）

① 组缆：粗大的缆绳。
② 缟霞：白色的云霞。
③ 樵苏：打柴割草。

④ 庭燎：庭中照明的火炬。一说，古时国家有大事，夜则燃薪，以火光照众，谓之庭燎。

⑤ 岂其然欤：难道是真的吗。

192.爪哇国的传说

古名阇婆，自占城起程，顺风二十昼夜可至。其国地广人稠，甲兵为东洋诸蕃之雄。旧传鬼子魔天，正于此地与一罔象①青面红身赤发相合，凡生子百余，常食啖人血肉。佛书所云鬼国，即此地也。其中人被啖几尽。忽一日雷震石裂，中坐一人，众称异之，遂为国主，即领兵驱逐罔象而不为害，后复生齿② 而安业。

（费信：《星槎胜览》）

① 罔象：传说中的水怪。《国语·鲁语》：“水之怪曰龙、罔象。”

② 生齿：古代认为人生男八月而生齿，女七月而生齿，官府俱登记其数，载入户册。后世因称人民为生齿。

193.爪哇民性勇悍

男子腰插不剌头① 一把，三岁小儿至百岁老人皆有此刀，皆是兔毫雪花上等宸铁为之。其柄用金或犀角象牙雕刻人形鬼面之状，制极细巧。国人男妇皆惜其头，若人以手触摸其头，或买卖之际，钱物不明，或酒醉颠狂，言语争竞，便拔此刀刺之，强者为胜。若戳② 死人，其人逃避三日而出，则不偿命。若当时捉住，随亦戳死。国无鞭笞之刑。事无大小，即用细藤背缚两手，拥行数步，则将不剌头于罪人腰眼或软肋--二刺即死。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 不剌头：匕首名。

② 戳：用锐器刺人或物。

194.元 将 遗 踪

海滩有一小池，甘淡可饮，曰是圣水。传言大元时命将史弼、高兴征伐闍婆，经月不得，船中之水已尽，军士失措①。其二将拜天祝曰："奉命伐蛮，天若与之则泉生，不与则泉无。"祷毕，奋力插枪海滩，泉水随枪插处涌出，水味甘淡，众饮而得全生。此天赐之助也。至今存焉。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 失措：举动慌张，不知所措。

195.竹 枪 会

（爪哇）年例有一竹枪会，但以十月为春首，国王令妻坐一塔车于前，自坐一车于后。其塔车高丈余，四面有窗，下有转轴，以马前拽而行。至会所，两边摆列队伍，各执竹枪一根。其竹枪实心，无铁刃，但削尖而甚坚利。对手男子各携妻奴在彼，各妻手执三尺短木棍，立于其中，听鼓声紧慢为号，二男子执枪，进步抵戳，交锋三合，二人之妻各持木棍格① 之，曰那剌那剌② 则退散，设③ 被戳死，其王令胜者与死者家人金钱一个，死者之妻随胜者男子而去，如此胜负为戏。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 格：止。
② 那剌：爪哇语译音，意思是"退"。
③ 设：假如。

196.爪哇婚丧之俗（二则）

（一）

其婚姻之礼，则男子先至女家，成亲三日后，迎其妇。男家则打铜鼓铜锣，吹椰壳筒，及打竹筒鼓，并放火铳，前后短刀团牌围绕。其妇披发裸体跣足，围系丝嵌手巾，项佩金珠联络之饰，腕带金银宝装之镯，亲朋邻里以槟榔茏叶线纫花草之类，妆饰彩船而伴送之，以为贺喜之礼。至家则鸣锣鼓，饮酒作乐，数日而散。凡丧葬之礼，如有父母将死，为儿女者先问于父母，死后或犬食，或火化，或弃水中，其父母随心所愿而嘱之，死后即依遗言所断送之。若欲犬食者，即抬其尸至海边，或野外地上，有犬十数来，食尽尸肉无遗为好。如食不尽，则子女悲号哭泣，将遗骸弃水中而去。又有富人及头目尊贵之人将死，则手下亲厚婢妾先与主人誓曰：死则同往。至死后出殡之日，木搭高捶，下垛柴堆，纵火焚棺，候焰盛之际，其原誓婢妾二、三人，则满头带草花，身披五色花手巾，登跳号哭良久，撺下火内，同主尸焚化，以为殉葬之礼。

（马欢：《瀛涯胜览》）

（二）

其丧事；凡主翁病死，婢妾辈对而誓曰："死则同往。"临殡之日，妻妾奴婢皆满头簪草花，披五色手巾，随尸至海边或野地，舁尸于沙地，俾众犬食尽为好，如食不尽，则悲歌号泣。堆柴于旁，众妇坐其上，良久，乃纵火烧柴而死。盖殉葬之礼也。

（费信：《星槎胜览》）

197.文 化 娱 乐

(爪哇)每月至十五、十六夜，月圆清明之夜，番妇二十余人或三十余人，聚集成队，一妇为首，以臂膊递相联绾不断，于月下徐步而行。为首者口唱番歌一句，众皆齐声和之。到亲戚富贵之家门首，则赠以铜钱等物，名为步月，行乐而已。有一等人以纸画人物鸟兽鹰虫之类，如手卷样，以三尺高二木为画干，止齐一头。其人蟠膝坐于地，以图画立地。每展出一段，朝前番语高声解说此段来历，众人圜坐而听之，或笑或哭，便如说平话① 一般。

(马欢：《瀛涯胜览》)

① 平话：亦写作“评话”，即说书，以口语敷演故事，专重说白，宋代最盛行。

198.爪哇倒挂鸟

其倒挂鸟，身形如雀，而羽五色，日间焚好香，则收而藏之羽翼间，夜则张尾翼而倒挂以放香。

(费信：《星槎胜览》)

199.麻 逸 冻

其处在交栏山之西南海中，山峻地平，夹溪聚村落而居。气候稍热，男女椎髻，穿长衫，围色布。田膏腴，倍收他国。尚节义，妇丧夫，则削发，劈面① ，绝食七日，夫死同寝，多有并逝者。七日不死，则亲戚劝以饮食，若得甦② ，终身不再嫁矣。至焚夫

日，多赴火死。

（费信：《星槎胜览》）

① 劈（lì利）面：以刀划面流血，表示忠诚哀痛。
② 甦：稣的俗字，《集韻》：“死而更生曰甦，俗作稣。”

200.花　面　国

其国与苏门答剌邻境。傍南巫里洋，逶迤山地，田足稻禾，气候不常，风俗淳厚。男子皆以墨刺面为花兽之状，猱头① 裸体，单布围腰。妇女围色布，披手巾，椎髻脑后。地多出牛羊，鸡鸭罗布② 。强不夺弱，上下自耕而食，富不骄，贫不盗，可谓善地矣。

（费信：《星槎胜览》）

① 猱头：猿猴的头，此指好似猿猴的头。
② 罗布：广为分布，形容众多。

201.龙　涎　屿

望之独峙南巫里洋之中，离苏门答剌西去一昼夜程。此屿浮滩① 海面，波激云腾。每至春间，群龙来集，于上交戏而遗涎沫。番人拏驾独木舟，登此屿，采取而归。或风波，则人俱下海，一手附舟旁，一手揖水而得至岸。其龙涎初若脂胶，黑黄色，颇有鱼腥气，久则成大块。或大鱼腹中刺出，若斗大，亦觉鱼腥，焚之清香可爱。货② 于苏门答剌之市，官秤一两，用彼国金钱十二个。一斤该金钱一百九十二个，准③ 中国铜钱九千个，价亦非轻矣。

（费信：《星槎胜览》）

① 浮滛海面：浮在海面。滛，水波动荡的样子。
② 货：出售。
③ 准：比照。

202.翠 蓝 屿

其山在龙涎之西北五昼夜程，大小七门，门中皆可过船。传闻释迦佛昔经此山，浴于水，被窃其袈裟，佛誓云：后有穿衣者，必烂其皮肉。由此男女今皆削发无衣，止用树叶纫结而遮前后。米谷亦无，惟下海网鱼虾，及种芭蕉、椰子为食。然船去，未尝得泊山下。宣德壬子① 十月二十二日，因风水不偶② ，至此山，泊系三日夜。山中之人驾独木舟来贸椰实③ 。舟中男妇，果如前言。

（费信：《星槎胜览》）

① 宣德壬子：即宣德七年，公元1432年。宣德，明宣宗的年号。
② 不偶：不顺利。
③ 来贸椰实：来卖椰子。

203.柯 枝 国

又一种曰“木瓜”，无屋舍，惟穴居巢树，入海捕鱼为业。男女裸体，纫结树叶或草遮其前后。行人遇人，则蹲避道旁，俟过方行，盖避羞也。

（费信：《星槎胜览》）

204.柯枝国人分五等

国有五等人，一等名南昆，与王同类。内有剃头挂线在颈者，最为贵族。二等回回人。三等人名哲地，系有钱财主。四等

人名革令，专与人作牙保① 。五等人名木瓜，木瓜者，至低贱之人也。至今此辈在海滨居住，房檐高不过三尺，高者有罪。其穿衣上不过脐，下不过膝。其出于途，如遇南昆、哲地人，即伏于地，候过即起而行。木瓜之辈，专以渔樵② 及抬负挑担为生，官不容穿长衣，其经商买卖与中国汉人一般。其国王崇信佛教，尊敬象牛。建造佛殿，以铜铸佛像，用青石砌坐，佛座边周围砌成水沟，傍穿一井，每日侵晨③ ，则鸣钟击鼓，汲井水，于佛顶浇之再三，众皆罗拜而退。另有一等人名浊肌，即道人也，亦有妻子。此辈自出母胎，发不经剃，亦不梳篦，以酥油等物将发搓成条缕，或十余条，或七八条，披拽脑后。却将黄牛之粪，烧成白灰，遍搽其体。上下皆不穿衣，止用如拇指大黄藤，两转紧缚其腰。又以白布为梢子，手拏大海螺，常吹而行。……倘到人家，则与钱米等物。

（马欢：《瀛涯胜览》）

① 牙保：代人销售货物者。
② 渔樵：打渔，砍柴。
③ 侵晨：天刚亮。

205.瓜　亚① 人

葛剌巴，古瓜亚之国。和（荷）兰所居沿海边地，未及十分之一，瓜亚人数百倍于和兰。……家计生产皆妇人主之，生女为贵，赘人于室② ，生男则出赘于人。其室如亭，四面开窗，无椅榻，席地而坐。房中地皆铺席，施帷幄③ ，状亦不高。坐褥茵软④ ，枕叠如塔，大小六七级。坐则盘膝趺坐⑤ 。见客以握手为礼，以槟榔为敬，富者以金银器盛之。常人用铜唾壶，大如花瓶，用以盛吐槟榔之汁。男女浑坐，无禁忌也。食不设箸，以手掬之。以牛为烹，不食犬豕。女子脚不缠，面不脂粉，首不簪花，

衣不带领，裾而不袴。男子则衣有领，鬓簪花，有袴，可谓颠倒矣。

（王大海：《海岛逸志》⑥）

① 瓜亚：即今印尼的爪哇岛。
② 赘人于室：使别家男子就婚于自己家中。赘，是以身为质（抵押品）的意思。
③ 帷幄：帐幕。
④ 茵软：厚而柔软。茵，两层床垫。
⑤ 趺坐：两足交迭而坐。原为佛教修禅者的坐法。
⑥ 王大海，清代福建漳州人。乾隆四十八年（1783年）参加科举考试，不售。后来往游南洋诸岛。《海岛逸志》约作于乾隆五十六年（1791年）之后，记叙南洋诸岛国山水、风土、人情。

206.和兰以计谋侵占葛剌巴①

华人呼和兰，通称曰段，和兰呼华人为秦，通称曰稽。和兰居西北海。其人隆準② 赤发，面粉眼绿，不蓄髭须，衣服精洁，短身狭袖，步履佻达。与红毛、佛兰西三国鼎峙。红毛国贫而强，又居咽喉之地，每被其欺凌。和兰占巴国③ 二百余年。始以避风入巴地，见其土地雄阔，可建城池，故假守风④，入万丹，卑辞厚币⑤，求于史丹（瓜亚巨魁，镇于万丹⑥），以暂借海滨之地，修理舟楫为名。未几，又以设立木栅蔽内外为请，增其岁币。瓜亚……遂被其袭破万丹并巴地。万丹者，巴国门户，必争之地也。乃与巡栏⑦（瓜亚之国主处览内）盟约，每年输纳地租，而沿海之地，尽归和兰统辖。建立城池，蚕食附近。

（王大海：《海岛逸志》）

① 葛剌巴：今印度尼西亚。
② 隆準：高鼻。
③ 巴国：即葛剌巴，今印度尼西亚。
④ 假守风：借口候风。
⑤ 卑辞厚币：谦卑的语言，丰厚的礼物。

⑥ 万丹：即今印度尼西亚的加里曼丹岛。
⑦ 巡栏：当地人对国主的称呼。

207.武　乞　氏①

武乞氏，居于望加锡②，其魁③处于山中，自称脊啫，如瓜亚之称巡栏。南洋诸国，皆习武艺，武乞氏为最勇。武艺精者，父母荣之，乡里敬之，尊之曰牛实地，大好汉也。能断④一乡，无不服从者。所以不论男女，十岁以上，则演习枪棒跳舞诸技。其枪法刀法，皆有教师秘传。其教之名色甚多，如太祖达尊猴拳鹤势之类，故其武艺为南洋之冠。每扬帆海上，贼船遇之，莫不辟易。不受和兰节制，与盟约为兄弟而已。土产幼布⑤海参二者，为西洋最。友人王砥侯，有仆数人，随其驾舟往万澜⑥，中途遇盗，舟师⑦大惧，诸仆曰："我等武乞氏，武艺皆高强，此辈所慑服，无恐也。"戒舟人勿言动，以示懦怯状。盗见之，曰："此必巴国唐人之船，畏怖如此。"齐登船上，诸仆持刀以待，盗夥一见，皆错愕，曰："何得武乞氏船？"即欲遁去。仆大喝，盗长跪称误犯死罪，各献所有，叩头而去。武乞氏女子，丽而乖巧，能识人意。余一婢名掌珠，随往马辰，中途遇贼，众寡不敌，仓皇失措。婢云："无恐。"持枪而出，守于楼门不动。贼登舟拥至，婢以枪挥之，立伤数人。贼退而相谓曰：何得有武乞氏之枪法。婢叱曰：我即武乞氏也。贼惧而尽披靡⑧。

（王大海：《海岛逸志》）

① 武乞氏：种族名，尚武仗义。
② 望加锡：即"乌戎潘当"的旧名，为印度尼西亚东部各岛中最大的港口。
③ 魁：首领。
④ 断：裁决。
⑤ 幼布：细布。
⑥ 万澜：即万隆，在印度尼西亚。

⑦ 舟师：船夫。
⑧ 披靡：溃败。

208.火　烟　山

火煙山①，在巴城② 西南六百里，其山极高，人迹罕到。峰顶如灶上之突③，日夜不息。晴明则其烟少减，风雨晦冥则其烟愈炽。或有时如鸣巨炮，则天雨灰④，气味如硫磺。意者南海之极南，乃地气之发舒也。录之以备博物者采取。

（王大海：《海岛逸志》）

① 火烟山：即活火山。
② 巴城：即巴达维亚，今印尼的雅加达。
③ 突：烟囱
④ 天雨灰：天空降下灰土。

209.三　宝　洞

明宣宗① 好宝玩，命内监郑和等至西洋采办，止于万丹，实未至巴。而三宝垅② 有三宝洞，云是星槎遗蹟③，极灵应，每朔望④，士女云集拜祷。

（王大海：《海岛逸志》）

① 明宣宗，在位十年，自公元1426年至1435年。
② 三宝垅，在印尼爪哇岛的北部。
③ 星槎：槎（chá茶）木筏。神话传说，天河与海相通，汉代曾有人乘槎到天河，遇上牛郎织女。（见张华《博物志》）后有用星槎比喻贵宾降临。这里所说星槎遗迹，是指明朝三宝太监郑和的遗迹。
④ 朔望：阴历每月的初一日与十五日。

210.番　戏

番戏，名曰浓迎。番妇之颇有色者，带虬发①，缠锦幔，插金花，摇纸箑②，裸衣赤脚，歌番歌，舞番舞，摇头闪目，鹤立鹭行，演唱杂剧，……。或两妇对舞，或三四妇共跳舞。闲人亦可入其中，与之对舞，名曰弄浓迎。弄毕则酬以金。每于清夜远远听之，其音凄切悲楚，所谓异乡之乐，祇令人悲耳。有带鬼脸演唱者，略同浓迎，……。华人住居之地，严拒不许入境焉。又有花英者，类影戏，俗呼皮猴。所演唱皆其瓜亚上古故事，……。

（王大海：《海岛逸志》）

① 虬发：卷曲的头发。
② 纸箑：纸扇。

211.暴　暴

暴暴①，居于安汶②之东。……浑身漆黑，毛发螺拳③如艾，……手足敏捷，上树如飞。多木处④而穴居，不火食，血如浓墨。性多嗜酒。……与西兰、吉宁⑤比连⑥而处，……。

（王大海：《海岛逸志》）

① 暴暴：种族名。
② 安汶：印度尼西亚的岛名。
③ 螺拳：卷曲。
④ 木处：栖息在林木上。
⑤ 西兰、吉宁：种族名。
⑥ 比连：相邻近。

212.西　　兰

西兰邻于暴暴，风俗亦同，……。巢树上，疾同猨猱。不火食，见一切虫豸，皆喜而食之。

（王大海：《海岛逸志》）

213.磁　石　洋

磁石洋，在南旺之东，山谷间及崖岸皆有磁石。磁石性能引铁，故其处之船皆以竹钉为之，不敢用铁钉也。来往船楫，悉当飐开①，不得相近，或有被狂风驱近者，则被其牵引，不能解脱矣。

（王大海：《海岛逸志》）

① 飐开：疾速驶过。飐，飞扬，飞去。

214.竹　　筏

岛中有过渡之处，不用舟楫，皆用篙竹数十片，编为竹筏。不用篙桨，只用大藤一条，长数十丈，横亘东西两岸，或立木为竿以系之，或系于大树之身。又以小藤数条，结于筏环，系大树之上。欲渡时，数人手挽大藤，循藤过焉。

（王大海：《海岛逸志》）

215.浮空竹筏桥

两山相向，中隔一溪，而水深流急，不能造桥。两岸大树参

天，而树杪① 交柯者，用竹筏连绵纠结，阔七八尺，长十余丈。筏之两边，以藤悬挂树梢，形如月桥，浮空摇曳，乍见骇人。番众过之，如履平地。余自垅至浪，必由此径，无可奈何，乃下舆，戒仆人不得同过，惧其摇曳也。徐步轻涉而进。至其半高处，目不敢下视。惧而蹑足② ，则其摇愈甚。乃伏而坐，番仆欲走进扶掖，余愈惧，急止之。小停，则其摇息，乃徐起战战而下。噫！异域畏途，于兹仅见也。

（王大海：《海岛逸志》）

① 杪（miǎo渺）：树木的细枝。
② 蹑足：追踵，即很小步地往前移动。

216.酋女爱华人

至摩鹿加岛，又二日，船抵一处，去安门、武罗甚近，舆图不列其名，故不知为何岛。船中乏水，因拢岸汲取淡水。同行者皆上岸随喜① ，见土人面黄睛赤，散发齐眉，不衫不袴，但腰围花布一幅，而貌皆和善，无野恶之态。见华人登岸，群异之，集随而观。少刻，四土人用方板一块，抬一老翁飞至，止于树下，翁就大石踞坐，诸土人男女咸集其前，蹲嗅其足，如敬礼然。大约是其酋长。客及同行者，皆遥视之。旋有数土人来邀，众至其酋前，指石命坐，酋顾笑语，唧啾不可辨，又指前之抬板者喃喃数言，四人长啸飞驰而去。俄见乘板之人一队，来自林中，近视，男女幼童共七人，装束稍异，肩上斜披锦绸一方，并有手带金饰者，同至酋前，举手行礼，然后各就一石而坐，同顾诸客笑语。是时，土民集观者更众。酋起立，至众前，拉一华人手，又回指旁坐一女，咿唔而言，诸华客摇手，告以不解。酋回顾一侍者，授意而去，旋见其偕船主至，酋语如前状。船主操土人音答之，许久始止。酋似有不豫② 之色，率后来者男女，仍乘方板而去。

船主招呼诸客，疾行回船，起棹飞桨而驶，并频频回顾，意似甚恐惧者。诸客叩之，始曰：方才诸君中几有一人不得行矣。众问其故，曰：适与我言者，是岛之酋也。旁坐戴金项圈者，酋之女也。酋告我曰：彼女甚爱华人，欲在汝众中选一，留为赘婿③，吾以言语不通却之。酋云：无妨也，饥与之食，渴与之饮，不解方言无害也。女云：相居日久，自能谙悉。吾又以诸客皆粗俗，不足以为酋女之配，此当选俊外慧中者偕来，送备乘龙之选④，今敢方命⑤，王故不乐而去。然其风素善，不尚强行，如不然，恐不止于留一而释然。吾之急行者，惧酋之女情不自已，再着人来嬲⑥也，莫如一去了事。

（阙名：《南洋述遇》⑦）

① 随喜：佛家语。意思是随己所喜。这里是指游览。
② 不豫：不高兴。
③ 赘婿：入赘女家的女婿。
④ 乘龙之选：女婿的人选。
⑤ 方命：违抗意旨。
⑥ 嬲（niǎo鸟）：纠缠。
⑦ 著者姓名不详。从书中所使用的方言词语来看，作者可能是两广的粤方言区人。《南洋述遇》叙述自吕宋乘坐帆船往新加坡时的奇遇与见闻。

217.安　门　岛

抵安门岛，岛围圆百里，自海中远望之，如含苞之碧莲，初出水面者。近见果树成林，一望无际，中有小山，峰峦耸秀，青翠欲滴。一水澄清，自内洄逶而出，流达于海。土人男女，驾橄榄式小舟，渔于港口。林中茅屋，炊烟缕缕而起，武陵村户，鸡犬桃源①，不复有烟火气矣。少刻舟就岸，群童拍手和歌而至，二三垂髫女，亦伫立观瞻。见其面色微黑，而五官平正，眉目之间，深含秀气，貌则和蔼可亲，盖得山水灵气之半也。余出所携麪果

一盒，登岸分给之，群童喜甚，捧果跳跃而去。俄顷，见诸童又至，各携鲜果相投，其意乃酬吾之所给也。因出玫瑰露酒一樽，遍酌以劳之，童皆喜极而啸。

（阙名《南洋述遇》）

① “武陵村户”二句：晋朝陶渊明《桃花源诗》并记中，描写武陵渔人所见的桃花源胜景：“土地平旷，屋舍俨然，有良田美池桑竹之属。阡陌交通，鸡犬相闻。……”这里隐括上述句意以形容这世外桃源般的海岛。

218.巧遇故乡人

（在安门岛）忽见昨日导游之童，率一壮者，自林中曲折而出，直趋余舟，停足，岸童向余拍手而呼，余招之登，壮者从焉。余启舱命入，盖以客礼视之也。壮者入舱，忽深深拜揖，操华音而言曰：乡人到此，吾竟不知，若非邻童相告，几将当面错过。言讫，执礼甚恭。余惊睇① 之，见彼修发② 番衣，俨然土人装束也。何以所操之音，非闽非粤，声类京腔。细审之，眉丰目秀，面赤唇红，亭然玉立，知非凡种也。即揖其坐，并叩其乡贯，对曰：吾凤阳朱姓，为胜朝之国族③ ，先代因宗室之谊，曾膺显爵④ ，后当国破家亡之秋，吾祖某公张帆浮海，欲至台湾依郑氏，不料舟被飓风所引，数昼夜而至此岛。蒙土人赠地以居，于今至小子已七传矣。本岛土风和厚，安居无事，水渔山樵，土麦番米，优然自给，不复知世外岁月矣。在此住久，咸从其俗，惟故国乡音及祖宗族谱，生男子必口授心传，不欲忘根本所自。其他祖遗吾华书籍数部，愧无师教，大半不能解识矣。此岛僻处海中，又无土产外运，故无商船过问。有近岛土人，贩运瓷布杂货各物，每岁一二至，岛人持蚌珠宝石，与之互市。华人之船，吾有生以来，此次为再见。四年前，曾有一船，遭风至此，吾诣舟⑤ ，见华人首有发辫，心异与祖遗之像不符。叩其故，彼皆工

作之民，不能道其所以，但云我见吾乡人皆如是。吾亦不敢穷诘⑥也。今幸遇君，求道其详。余历举本朝冠服各制，并目下轮舟往返之利捷而告之。壮者又诧曰：吾闻祖传，中国有出海之禁令，今已弛乎？余又告以通商大略。壮者闻而仰顾，若有所思，继而欣然曰：或者此生尚可一返故国也。……随检一华文舆图赠之，壮者再拜而受之。又请曰：舟既小修，行尚有待，肯屈尊一临荒居，使家人得瞻故国人物，以广其见闻，可乎？余笑允之。

（阙名：《南洋述遇》）

① 惊睇：惊奇地注视。睇，斜视，流盼。
② 修发：长发。
③ 胜朝之国族：前朝皇帝的宗族。新皇朝称已覆灭的前皇朝为胜朝。
④ 曾膺显爵：曾经荣受显贵的爵位。膺，受。
⑤ 诣舟：到船上去。诣，前往。
⑥ 穷诘：追问到底。

219.无来由绕阿

苏禄、吉里问、文莱、朱葛礁喇，总名皆为无来由绕阿。番性喜铜钲①，器皿皆铜，沿溪箬屋②为居。俗甚陋，身不离刃。精于标枪，见血即毙。以采色布帛成幅衣身。经商其地，往来乘莽甲（即小舟），夥众，持利器相随。……红毛人曾据其港口，欲占其地。番畏火炮，莫敢敌，入山以避，用毒草浸洗上流，使其受毒而自去。产钢钻、胡椒、檀香、降香、科藤、豆蔻、冰片、铅、锡、燕窝、翠羽、海参等类。钻有五色，金、黑、红者为贵，置之暮夜密室，光能透彻，投之烂泥污土中，上幔③青布，其光透出。各番以为首宝，大如棋子，价值十万余两。西洋人购之为至宝。

（陈伦炯：《东南洋记》④）

① 铜钲：铜锣。
② 箬屋：竹屋。
③ 幔：布幔。这里作动词用，“盖上”、“蒙上”的意思。
④ 作者情况已见前。《东南洋记》为《海国闻见录》的一部分。

220.吕　宋

东南洋诸番，惟吕宋① 最盛。因大西洋干丝腊② 、是班呀③番舶运银到此交易，丝绸布帛百货尽消，岛番土产云集。西洋立教建城池，聚夷族地，原系吕宋土番，今为据辖。汉人娶本地土番妇者，必入其教，礼天主堂，用油水画十字于印堂④ ，名曰浇水，焚父母神主，老终归天主堂，挖坑土而埋之。富者纳赀较多寡，埋堂上基内，贫者埋墙外。三年一清，弃骸骨于深涧。所有家赀，鸣于公堂。天主、妻、子、作三股均分。其蛊⑤ 殊甚，母传女而不传子，即如牛皮火骹咒法，缩小如沙，令人食而胀毙。又有虾蟆鱼蛊之类，彼能咒解，从口跃出成盆。……晨鸣钟为日，方许开市肆经营，午鸣钟为夜，阖市寝闭，不敢往来。昏鸣钟为日，灯烛辉煌，如昼营生，夜半鸣钟为夜，以闭市肆。昼夜各以三时辰为日为夜，傍午捉夜禁……

（陈伦炯：《东南洋记》）

① 吕宋：岛名，今属菲律宾。
② 干丝腊：即法兰西。旧时我国称法兰西为佛郎机，又称干丝腊。《明史》卷三三百二十五：“佛郎机……后又称干系腊国。”干系腊即干丝腊。
③ 是班呀：即西班牙。
④ 印堂：指额部两眉之间的部位。
⑤ 蛊：相传为一种由人工培养的毒虫。传说南洋一带有以蛊毒放在饮食中者，使人在不知不觉中受毒。

221.苏禄风貌

苏禄① ，亦东南海外一国，近浡泥、琐里② ，皆水乡。民居

架屋于浅水上，惟国王所居之城乃实也。国分东、西、峒，凡三王。东峒王为尊，西、峒二王次之。有石崎山，以此为保障。其俗崇奉猪悟能③，故不食猪肉。物产则燕窝、海参、真珠、珊瑚树、冰片、红木、乌木等，亦产竹布，居民织以为业。少银，以货交易，用钱小而陋，其宝华钱以一当二。男女俱无衣服，惟披搭绒一片遮其身。……亦多窃盗，风斯劣矣。

（叶羌镛：《苏禄纪略》④）

① 苏禄：菲律宾群岛内的古国。

② 浡泥、琐里：南洋的岛名，属大巽他群岛。有人说浡泥即婆罗洲。“婆罗洲为南洋第一大岛，西洋人称为蜡尼阿，即浡泥之转音。”（见《海国图志》）

④ 猪悟能：即猪八戒。

⑤ 叶羌镛，清代江苏太仓人。《苏禄纪略》概括介绍苏禄的风貌。

222.敖罕国

敖罕①，一大国也，回子②谓之克则尔巴什，在巴达克山之西。其地绝长补短，方数千里，称其王曰汗。城池壮丽，人户富盛。天气酷热多雨。多奇花异果，五金、珠玉、宝石、金刚石、松、竹、杉皆其土产。有瘴气。多猩猩，亦通其人言语。巨莽长蛇，熊罴虎豹，不一而足。地产象，耕田负重，皆取于象。间有牛，如中国之象，男女聚观，以为罕物③。……其人种类不一，有与内地回子相似者，有与安集延④相似者，有与额鲁特⑤相似者，有与土尔扈特⑥相似者，有须发卷曲与鄂罗斯⑦相似者。又一种人亦回子衣帽，但目益深，鼻益高，睛碧色，须绕颊如蝟而赤如丹砂，多力而横恣⑧，遇有战阵，辄为前锋。无火枪弓矢，专用木矛。冲突于矢石之间，矫疾无伦。其须用茜草染之以为丰采。西域人皆畏之。又一种人圆领大袖，衣冠类汉唐之制，貌多

清秀，似朝鲜人，或谓是后汉之遗种云。

（七十一：《外藩列传》⑨）

① 敖罕：即阿富汗。
② 回子：回教徒。
③ 罕物：少见的东西。
④ 安集延：地名，在中亚细亚。清末为俄国所蚕食。这里指安集延人。
⑤ 额鲁特：蒙古种族名。
⑥ 土尔库特：蒙古种族名。
⑦ 鄂罗斯：指俄罗斯族。
⑧ 横恣：横暴放肆。
⑨ 七十一，清代满洲正蓝旗人，字椿园，乾隆进士。《外藩列传》概述哈萨克、布鲁特、安集延、博罗尔、敖罕（即阿富汗）、克什米尔、塞克（即波斯）、鄂罗斯（即俄罗斯）、郭罕、退摆特、科罕、哈他木等国或民族的情况。

223.苏都识匿国①

国名夜叉②，有野叉窟，人近窟住者五百余家。窟口作舍，设关籥，一年再祭。人有逼窟口，烟气出，先触者死，因以尸掷窟中，其窟不知深浅，其人皆如夜叉。

（周致中：《异域志》）

① 苏都识匿：今苏联中亚之乌腊提尤别。
② 夜叉：梵语译音，是勇健、凶暴丑恶的意思。指佛经中一种形象丑恶的鬼。

224.哈　　烈①

哈烈一名黑鲁，在撒马儿罕西南，去陕西肃州嘉峪关万一千一百里。其地四面多山，中有河，西流。城近东北山下，方十余里。国主居城东北隅。垒石为屋，平方若高台，不用栋梁陶瓦，中敞虚室数十间，窗牖门扉雕刻花纹，绘以金碧，地铺毡毯。无

君臣上下，男女相聚皆席地趺坐。国主衣窄衣及贯头衫，戴小罩刺帽，以白布缠头，辫发后髭②，服制与国人同。但尊称之曰："锁鲁攘"，盖华言君王也。上下相呼皆称名，相见惟稍屈身。初相识，行大礼，则屈一足三跪，男女皆然。饮食不设筋，酿酒多用葡萄，饮则坐于地。大宴会则设小几案。尊者饮，下人皆跪。行则陈币帛，次进珍宝，又次进金银，钱布之坐上，余者撒坐间。左右执事者竞拾之，諠譁大笑，名曰"喜钱"。市中交易，用大小三等银钱。下人私造无禁，造成输纳税于国主用印记，无印记者禁不用。市易诸物，皆有征税，什取其二以资国③。不置斗斛④，惟用权衡⑤。不设官府，设管事者，称之曰"刀完"。国主与管事者凡有事，施用纸直书其事，各以花押⑥为记。花押之制，以金银为戒指，上镌其事名。国无法律，不施刑罚，伤人命亦止于罚钱。婚姻，以姊妹为妻妾，同居男女相混。男子髡首，缠以白布，女亦白布蒙首，略露双眸，丧则易以青黑。居丧只百日。葬不用棺，以布囊裹瘗之。尝于坟墓设祭，家不祀祖宗，亦不祀鬼神，惟重拜天之礼。凡拜天，若聚会，则择日行之。无月朔甲子，择日，每七日一转，周而复始。聚拜之所，筑一大屋，众列班，其中一人大呼则皆拜。每岁二月十日为把斋月，昼不饮食，至暮乃食。周月始食荤，则聚众射胡芦。其制：植长竿数丈，竿木悬胡芦，中藏白鸽一只，跃马射之，以破胡芦鸽飞者为得采。国人有通回回教经典者，众称曰"满剌"，为国主所尊敬。城中置大土室，中置一铜器，周围数丈，上刻文字，如古鼎状。游学子弟皆聚此，若中国太学⑦然。有善步走者，日可行三二百里，盖自幼习步，有急务，令持箭走报。

（陈诚：《使西域记》⑧）

① 哈烈：古国名，明永乐三年（1405年）帖木儿四子沙哈鲁建立。
② 髡（di敌）：装衬的假发。
③ 资国：供给国家。

④ 斗斛：量物的器具。
⑤ 权衡：秤物的器具。
⑥ 花押：旧时文书上的草书签名或代替签名的特种符号。
⑦ 太学：古代学校名，即国学。
⑧ 陈诚，明代人。永乐年间，任吏部员外郎，曾随中使李达出使西域。《使西域记》记述他出使十七国的山川、风俗、物产诸情况。

225.塞　　蓝①

塞蓝，在达失干② 之东，去撒马儿罕③ 千三十里，城周二三里，四面平旷，居人稠密，树林深蔚④ ，五谷蕃殖。秋夏间，草上生黑蜘蛛，甚小，噬⑤ 人，遍体皆痛。治之法，以薄荷枝扫痛处，又以羊肝擦之，诵经一昼夜，痛方息，而遍体皮肤皆脱。六畜被伤者，多死。凡止宿，必择近水之地，可以避之。

（陈诚：《使西域记》）

① 塞蓝：中亚西亚的古国名。
② 达失干：今译作塔什干，在苏联境内。
③ 撒马儿罕：地名，今在苏联境内。
④ 深蔚：茂盛。
⑤ 噬（shì市）：咬。

226.香气馥郁的礼拜日

（祖法儿国① ）如遇礼拜日，上半日市绝交易。男子长幼皆沐浴，以蔷薇露或沉香油涂擦体面，始着新洁衣服。又以小土炉焚沉檀、俺八儿② 等香，跨其上以薰体。如到礼拜寺礼拜及经过街市，香气顿饭不散。

（巩珍：《西洋蕃国志》）

① 祖法儿国：是现在沙特阿拉伯东部一城市，面临印度洋。

② 俺八儿：指龙涎香。

227.天　　房①

报达之西，马行二十日，有天房，内有天使神，胡之祖葬所也。师名癖颜八儿，房中悬铁绚②，以手扪③之，心诚可及，不诚者不得扪。经文甚多，皆癖颜八儿所作。辖大城数十，其民富实。

（刘郁：《西使记》）

① 天房：即天方，中国古籍原指麦加，后泛指阿拉伯。
② 铁绚：铁索。
③ 扪：抚摸。

228.天　方　国

其国自忽鲁谟斯四十昼夜可至，其国乃西海之尽也。有言陆路一年可达中国。其地多旷漠①，即古筠冲之地②。名为西域。风景融和，四时皆春也。田沃稻饶，居民安业。男女穿白长衫，男子削发，以布缠头，妇女编发盘头。风俗好善，酋长无科扰③于民，亦无刑罚，自然淳化④，不作盗贼，上下安和。古置礼拜寺，见月初生，其酋长与民皆拜天号呼称扬以为礼，余无所施。其寺分为四方，每方九十间，共三百六十间。皆白玉为柱，黄甘玉为地，中有黑石一片，方丈余，曰汉初时天降也。其寺层次高上如塔之状。每至日落，聚为夜市，盖日中热故也。

（费信：《星槎胜览》）

① 旷漠：辽阔的沙漠。

② 筠冲：古地名。
③ 科扰：以条律扰民。
④ 淳化：淳厚的教化。张衡《东京赋》有“淳化通于自然”句。

229.波　斯　人

人民约七兆① 余，性巧慧，百艺颇精，力强体健，姿容清秀。俗尚奢华，衣长衣，妇女外出，必以大幅巾掩其面。所奉之教，本为火神，后为阿剌伯回部所据，遂改从回教，火教大衰，延至今日，十中仅存一二。按，火教与古时所称景教② 异，今世不究其原，直欲二而一之矣。

（龚柴：《波斯考略》③）

① 七兆：七百万。
② 景教：基督教的聂斯托利派。
③ 作者简介已见前。《波斯考略》简述波斯概况和人民的习俗。

230.谟罕默德

陈宣帝太建元年① ，有谟罕默德者，生默伽城。少时家贫，豢骆驼为业。继从贾远游，偏交异国。年二十五，娶富商寡妇，遂至大富，因萌霸国之心。于隋炀帝大业五年② 创立教门，以诡言异行，羁服人心，人多信之。初谟罕默德患疯痫，时发时愈，历有年所③ 。每后逢病发，不悟人事，妄称此时多受上神默牖④ ，陟⑤ 为天使，能预知将来。如是者三年，得信徒五十余人，妻亦与⑥焉。唐高祖武德三年⑦ ，民人不悦，共起攻之，潜窜至默德那城，卒免于难，转益自负，宣讲尤殷，土人靡然从教，即以是年为纪元。徒党日众，不入教者，率众攻杀之，遂据阿剌伯全土。渐布其教于四邻，回教遂蔓延西域。谟罕默德益骄

纵，广取妇女，妻十余，妾不可以数计，复夺继子之妻，年六十二逝世，葬默德那城。每岁诸回回至其地，接踵膜拜，以数万计。

（龚柴：《阿拉伯考略》⑧）

① 陈宣帝太建元年：即公元569年。太建，陈宣帝的年号。
② 隋炀帝大业五年：即公元609年。大业，隋炀帝的年号。
③ 历有年所：经过了数年。年所，年次，年数。
④ 默牖：暗中引导。牖，诱导。
⑤ 陟：升。
⑥ 与：参与。
⑦ 唐高祖武德三年：即公元620年。武德，唐高祖的年号。
⑧ 作者生平见前。《阿拉伯考略》简述阿拉伯的历史演变及人民的风俗习惯。

231.阿 拉 伯 人

人民之数约得三兆有六十余万人，其中游牧者半，庐居者亦半。人皆矮小，面黄体瘠。俗尚节俭，惟富者食米。贫苦之户食大麦等类，以加非① 壳浸水煮而饮之。菜饭皆调以骆驼乳，罕肉食，猪肉向干② 例禁，非谟罕默德创制也。土人衣长衫，腰缠白布以佩刀剑。布帽，无论寒暑必数层。妇女亦长衣，顶珠冠，垂缨络，耳佩金银宝环，手金宝镯钏。常蒙头掩面，与波斯人同俗，惟贫贱家稍宽其例。人民禀性悍勇，各族屡相械斗，尤善骑射。凡出行，必佩刀剑，携鸟枪，往往终夜不眠，以备不虞③。盖地方盗贼甚多，竟有防不胜防之势，不得不随在④ 戒心也。

（龚柴：《阿拉伯考略》）

① 加非：即咖啡。
② 干：干犯。
③ 不虞：没有意料到的事。

④ 随在：随时存有。

232.咖啡的由来

考加非始生于亚拉皮国，土人未知其可食。有天主教修道士某，夜坐诵经，睡眼不能开。明日，见牧竖① 而告之，竖戏曰："余昨牧羊至某所，羊食某树果，及归，终宵鸣叫，不安于栏。子若倦，盍② 试之。"教士如其言，觅③ 而食之，遂精神焕发，彻夜不眠。于是遍告国人，食之皆不倦。轰传四处，来食者渐多，因设肆作茶，令人售之。就而饮者，踵相接，肩相摩也。遂有争殴等事，为当道④ 所闻，立饬严禁。然嗜者既众，禁令空陈⑤ 。迨西历一千六百九十年，有商人携往他处，而欧罗巴各国亦有食之者。唯价甚昂贵，每斤约白金十两，非巨官大商，不得购食。未几，荷国人往购加非种，分栽各处，于是由渐推广，各国皆有，价亦因之而贱。

考加非树开白花，花落结子，始青继黄，大如芡实，摘下先入锅炒之，使微焦，然后研细，以沸水冲泡，沥去渣滓，加以白糖，食之可消解滞闷，提振精神。故泰西各国皆尚此物，每遇客至，辄进一杯。此加非之所由来也。

（阙名：《三洲游记》）

① 牧竖：牧童。
② 盍：何不。
③ 觅（mì蜜）：寻找。
④ 当道：当权者。
⑤ 空陈：徒然摆着。

233.婚嫁之礼

婚嫁之礼，甚为简便。男子求亲，先凭媒妁通问，倘女允

诺，父母亦应承，即为聘定。无馈送聘金之礼，亦无装奁衣衾之备。后五六日，即行婚娶。至期，新婿率见证数人，牵绵羊一头，至妇家宰之，血流至地，便为婚礼。已而老幼即共相欢饮，尽兴而散。

（龚柴：《阿拉伯考略》）

234.亚腊的传说

亚腊①，在东北边境，峰壑崭险②，洞峡幽深。上古时，洪水氾滥，尽天下之人，悉遭沦溺③。时有先哲诺厄，一家八口，昭事敬恪④，默承上主谕，先造巨舟登避，洪水退，船阁于是山之峰，久始灭蹟。

（龚柴：《东土耳其考略》）

① 亚腊：在土耳其境内。
② 崭险：险峻。
③ 沦溺：淹没。
④ 敬恪：恭敬。

235.日路撒冷（二则）

（一）

西里亚三分之一为如德亚，或作犹太，即唐宋拂箖，晋魏明直称大秦，盖罗马别号而误加诸拂箖者也。如德亚都城，名曰路撒冷，变音为拂箖。当殷商之世①，业已奠定。地极崎岖，城内最高之处曰西婉，即达味城。视地中海洋面较高二十八丈有奇。当其盛时，居民多至十五万。西汉之季，有罗马藩王，筑围垣三

重，其垣上筑敌垒六十，其次四十，又次十九，门十三。以后屡有沿革，至前明嘉靖十二年②，土王③即据如德亚，重修都城，至今未改。计其城墙高三丈六尺，厚约四尺，周围之广，约方四千六百三十步。城门五。东门内，古有天主大堂一座，为圣王达味子撒落满所建，规制宏敞④，材料贵重，七年后始得告成。溯⑤其造时，王月遣工人一万，伐木于黎巴嫩山，此去彼来，轮流劳役，其担负重任者凡七万人，开山取石，琢磨成材者凡八万人，有工师之任督理其事者凡三千有三百人。堂基盘石，硕大无朋，率皆长七丈。基址之长，得百有二丈五尺。堂中栋楹墙壁，皆裹以金片。一切动用器具，莫不皆然。且珠玉辉煌，耀光夺目，洵⑥为世所罕有。故一时富丽传闻，名驰宇内。惜如此工程，仅四百二十载，竟为巴庇伦王所废。“楚人一炬，可怜焦土⑦”，行其境者，尝有离黍故宫之感⑧焉。后七十余载，如德亚人自虏返，乃各出所宝，重建一堂，虽亦宽绰华美，终不足当故殿之什一。故落成之日，凡长老之目睹情形者，莫不咨嗟流泪，不胜昔盛今衰之叹。又四百八十年，有罗马藩王代理其地，又整修而宽大之。其时工人十一万，所用之石类长六丈余，堂面之镇柱凡六十，围皆不止三合抱。后罗马人以如德亚屡有叛志，率师来攻，胜之，夷⑨其城，焚其殿。自是余烬不得复燃。今日建有回回教堂于其地。

（龚柴：《东土耳其考略》⑩）

① 殷商之世：我国商朝的时候。
② 嘉靖十二年：即公元1533年。嘉靖，明世宗的年号。
③ 土王：土耳其王。
④ 规制宏敞：规模宏伟、宽敞。
⑤ 溯：追溯，回顾。
⑥ 洵：确实。
⑦ “楚人一炬”二句：杜牧《阿房宫赋》：“呜呼！楚人一炬，可怜焦土”，叙述楚项羽入咸阳后，一把火把秦始皇所建的阿房宫烧成灰烬。这里是借以指耶路撒冷城内大天主教堂之被毁。

⑧ 离黍故宫之感：《诗经·王风·离黍》序："周大夫行役于宗周，过宗庙宫室，尽为禾黍，悯周室之颠覆。"后人以故宫离黍比喻怀念故国的情思。这里则指盛衰兴亡之感。

⑨ 夷：剷平。

⑩ 作者生平见前。《东土耳其考略》即述亚洲部分土耳其的历史演变与古迹。

（二）

耶路撒冷京城周七里，其形方，城垣似中土，有五门，北二门东西南各一，户口约二万四千，通英语者约五百人，近有自各国而归者约四千人。余自北门入，又名大马色门，因此门可通大马色城① 也。既至城中，寓义大利人所开之梅升客栈内。诘旦② 升屋面，东方未明，有细雨数阵，旋止。西南有郁山，乃大卫王所居者。南有耶稣殿故址，现为回回堂矣，堂中有古屋一所。东有山谷，再东约半里，即橄榄山。西约百余里，即地中海。时鸟声四起，旭日渐升，山尖屋顶，照耀通明，俯视城内，街衢毕见。亚喇伯人之售卖货物者甚众。下楼早膳毕，往南至冈三丁母所建之礼拜堂一游。堂有三座，一居山顶，云是耶稣被钉之处；一居山之中央石洞内，名十字架堂，云于此寻得十字架，内点长明灯四十四盏；一居山麓，圆形，有石柱十六，四围无窗，光自屋顶而进，中藏耶稣之石坟，长阔皆六尺，坟有石门，方一尺五寸，云是天使坐于此石而传语马利亚③ 者。旁有石台，云是安放救主尸身者。其北相离约四丈，有石方四尺，云是天使指示马利亚者。此堂内有二路，可通至上二堂，云使徒彼得④，曾于此处痛哭。是该堂人附会之语也。其郁山上之回回堂，据云大卫王坟墓在其内，外人不许观看。城内街道狭隘，路中皆石子，高下不齐，往来俱用骡马，现亦有筑好之马路矣。闻法国人欲在彼筑一铁路，其电线亦已设立。后至东门，其路名苦路，因耶稣于此路至被钉之处。近城门有院落，相传是彼拉多堂。近处有一古墙，高五丈，长约十五丈，乃被毁之古城也。犹太人每男女老幼悉来此哀恸呼吁，又以口吻接其墙，志不忘旧苦也。城

之中有一池，名希西家，乃古王希西家所凿者，四周砌以石。其他古迹甚多，不能尽述。

（阙名：《游历笔记》）

① 大马色城：即大马士革。
② 诘旦：早晨。
③ 马利亚：耶稣的母亲，基督教徒所说的圣母。
④ 彼得：基督教《圣经》中的人物，耶稣的得力门徒。

236.耶稣诞生地（二则）

（一）

白冷，在京都南约十六里。其东门外，有山洞一，宽三丈七尺，阔一丈余，高惟九尺，乃耶稣诞生之地。自东晋以来，多建圣殿于其旁。至今四方来朝者，踵趾相错，无间远近。纳匝勒，在都城北约二百里，筑于高阜，四面山岭护绕，仿佛都城形势，当时为耶稣家居之处。于道光十七年① 时，土地大震，城垣房屋半遭坍废。

（龚柴：《东土耳其考略》）

① 道光十七年：即公元1837年。

（二）

伯利恒① 为犹太各城之最热闹者，居民约有数千，然无一真犹太人，以世代屡变迁也。近处殿阙巍峨，云是耶稣降生处。往而观之，有天主教人看守，堂中神父和蔼可亲，携手至堂内，极高大华美，乃罗马王冈丁三之母所建。左右白石柱两行，雕镂精工，堂基下即耶稣降生处，乃燕烛② 由隧道相率而下，见一堂装饰

华丽，中悬明灯数十盏，扎成一球，金银为之，乃各国帝王所助，点时通明如白昼。由堂转折至尽处有一室，旁点常明灯十六盏，下有银板，形如西人所画之星，上镌字，其文曰：耶稣基督降生是处。对面一石槽，云耶稣所寝者。又一室，乃仇龙所居，起居物件依旧陈设。观毕，由旧道而上，以钱银数枚酬其劳。

（阙名：《游历笔记》）

① 伯利恒：地名，离耶路撒冷约八十里。
② 燕烛：点燃腊烛。

237.耶稣被难处

在西婉山之西北，有加尔瓦略山，本高若邱陵，称之为山，随俗也。上平广，方三十一丈六尺，此处为耶稣被难钉死之处。今建有圣堂二座。是阜之麓，有圣冢堂，云即耶稣死后埋葬三月后复活之地，罗马总王公斯当丁曾饬建① 大堂于此。虽以后屡会时艰② ，不无损益③ ，而其大制，则千百年来犹历历可观。在东门外，有阿利伐山，云即耶稣升天之处。东晋时，亦建有大殿，今则半已颓废。其下有园，名曰塞马尼，园中尚存阿里伐古树八大株，中二株围二丈五尺，以其树之难长，测之当不下二千年之久。此皆该处古蹟，而他国所罕有者也。

（龚柴：《东土耳其考略》）

① 饬建：下令建造。
② 屡会时艰：多次碰上时世的艰难。
③ 损益：增减，改动。

238.死　　海①

（纳匝勒）东四十里，有大湖，名底伯利德，又名曰乃撒勒德，又作加利勒亚海。纵约四十六里，横十里有奇。水淡而润，鱼多而美。四邻土地，肥沃无比。南境大湖称死海者，则迥异是。按，其初为苏多玛等五城旧壤，陷为巨泽。宽凡二百里，广约五十里，其水势下沉尽，天下为最，以视海洋水面，直百丈有奇。浚深六百丈，两岸岩石壁立，尚留火迹。其西南，有盐柱一，高可四丈。水有盐渍，得四分之一。湖中常有秽气上升，易致疫疾，人不能堪。即鱼族鳞介亦不得生育于其间，游入者辄死，故名死海。全境荒凉，人烟不聚，凡历其地者，皆云止可身试，不能以笔舌达也。

（龚柴：《东土耳其考略》）

① 死海：位于以色列与约旦之间，因其含盐度高、没有生物而得名。

239.亚　丁　港

（光绪二年）十一月初一日午正二刻，抵亚丁停船。……未刻，偕法人威基谒（亦效力我国海关，今假满回华者）上岸，至经理文报船友处小坐，乘车出游。山径纡迴，山势突兀，怪石狞恶，土赤劣，无草树。山东有颈地，潮退时，可通阿剌伯回部。英于山之高处及频海要隘建筑炮台，既周且密，坚固无比。山口如门，有一夫当关之势，又于山腹凿道以行。有兵房数十所，屯兵二千。设总督、总兵各一员，资镇守。盖此山为屯石炭济海舶之所，又当红海门户，往来印度必由之路，故英甚著意焉。居人约二万五千，回族及阿非利加人居多，皆佣工服役之流。其人朴

质安分，终年无斗殴事。地甚炎燠，或一年一雨，或二三年不雨，淡水缺乏。英于各山窝聚处，相度① 凿池，曲折湾环，上下联络。西人谓其形若炮台，洵然②，而建筑之奇异，几若神工鬼斧所成者。天雨，山水汇灌其中，以资饮食，并灌溉花草（皆自印度移来盆景）。复由轮船用机器以水火二气化海水为淡水而成冰（西国行海轮船，食用淡水，亦系此法），并多凿水井寄居者。以羊皮全张缝为袋，一驴背五六袋，或用骆驼以巨桶负载，或黑人男女腰驮背负羊皮袋，往来不绝于道者，皆淡水也。

（李圭：《环游地球新录》）

① 相度：根据测量的情况。
② 洵然：确实如此。

240.亚　丁①

（光绪二年十一月）十五日午正行七百七十七里，在赤道北十二度三十八分，又行一百四十五里半，抵亚丁。亚丁与阿剌伯地势相连（《瀛寰志略》误为一岛），濒海一山皆石，英人建炮台。山尽处东西各为一山，横出海面，中广十余里，可以泊舟。英人踞此以为红海口外一形胜地也。洋人环东山为居。山后海水泛入，成一小荡②，亦建炮台，凡炮台三座，海岸亦皆列炮。兵官亨德来舟宣述孟买总督之意，此地亦孟买所辖也。居民阿剌伯八千余人，印度六千余人，阿非利加亦三、四千人，四洋各国百余人。奥民在此任工作者千人，而设兵至二千人，有炮兵、马兵、步兵之别，大率为印度人。此地本隶阿剌伯，英人踞之，为往来海道停泊之所。阿剌伯回教剽悍，劫杀不可测，故设兵宜多。有兵船，一名伯尔德，管带兵船者，阿尔本也。亚丁雨少晴多，询之亨德，居此六年，仅三见雨。沿山为小池，导山流，纳

而濡之，以供饮，每雨涓滴无遗弃者。地产驼鸟，伸颈可长丈六尺，卵容一斗，羽毛供西洋妇女冠饰。

（郭嵩焘：《使西纪程》）

① 亚丁：阿拉伯半岛西南角一地区，位于红海南部入海处的东边。此名源于阿拉伯语的一个词根，意为“马鞍”。该地区由两个火山半岛组成，形似马鞍。1967年成为南也门的一部分。

② 小荡：小水池。荡，积水的洼地。

③ 剽悍：矫捷勇猛。

241.独　木　舟

（光绪二年）十一月初一日午正二刻，抵亚丁停船。其地属英国，北距苏尔士四千九百七十里。时有阿非利加洲小儿，皮色青黑，鼓棹① 而来。船长仅数尺，刳木为之，不畏风浪。客以银钱掷海中，群儿争先没水② 握钱出，客皆譁然为乐。

（李圭：《环游地球新录》）

① 鼓棹：摇着船桨。棹，划船拨水的工具，短的称桨，长的叫棹。

② 没水：泅水。

242.过　红　海

初五日① 寅刻② ，开船入红海口。口外山势缭曲，最防坏舟，西人呼为堕泪门。遥见贝林小鸟，如白云一点，英人建双垒其上，盖据扼吭③ 之势云。

（潘飞声：《西海纪行卷》④ ）

① 初五：指光绪十三年（1887年）八月初五。

② 寅刻：天亮前三点至五点。

③ 扼吭：扼据咽喉。

④ 作者简介见前。《西海纪行卷》记录作者于光绪十三年赴德国柏林讲学时的见闻。

243.红 海 景 色

（光绪二年十月二十五日）酉刻① 复行，南入红海。天气热甚，客皆换夏衣，饭厅用风扇，房舱夜不能寐。先是客皆于马塞② 上船时，预购长藤椅置船面，至此则卧椅迎凉。每夜漏三下，始能归寝。诚以海形狭长，两面皆山，南风自赤道来，四时皆热。早晚天半赤霞，倒映海中，若生万树珊瑚，故西人曰红海。

（李圭：《环游地球新录》）

① 酉刻：十七时至十九时。

② 马塞：法国城市，又译作“马赛”。

二、非　洲

244.阿非利加

阿非利加一洲，地当赤道之中，于中国约十倍余，通洲人民黑面卷发，……诚朴无伪。上古时，外人至其地者，惟洲之北境，即埃及、摩洛哥等国。后葡萄牙、荷兰两国人至其东西二境，贩人为业。其南境岌朴哥罗尼①，亦有荷兰人居焉。六十年前英人逐之，据有其地，开垦隙地②，种地之事以兴。亦与本土人开市贸易。凡英人之入中国者，皆经是地购买食物，添置煤炭以为孔道③焉。然所至不过沿海之滨，若洲之内地，从未有深入之者。

（王韬：《探地记》④）

① 即好望角，在非洲大陆的最南端。
② 隙地：空地。
③ 孔道：通道。
④ 作者生平已见前。《探地记》简记有关阿非利加洲的见闻。

245.拨拔力国

拨拔力国①在西南海中，不食五谷，食肉而已。常针牛畜脉，取血和乳生食。无衣服，唯腰下用羊皮掩之。其妇人洁白端正，国人自掠卖与外国商人，其价数倍。土地唯有象牙及阿末香②。波斯商人欲入此国，团集数千人，赍缣布③，没老幼共刺血立誓，乃市其物。自古不属外国。战用象牙排、野牛角为矟④衣

甲弓矢之器。步兵二十万，大食⑤ 频讨袭之。

（段成式：《酉阳杂俎》⑥）

① 拨拔力国：今非洲索马里沿岸之地。
② 阿末香：木条的龙涎香。
③ 赍缂（xiè谢）布：带着捆扎着的布匹。缂同纟枼，用长绳捆绑东西。
④ 矟（Shuò硕）：长矛。
⑤ 大食：国名，即穆罕默德所建立的阿拉伯帝国。
⑥ 段成式（？—863），字柯古，唐代临淄（今属山东）人，家于荆州。以父荫为秘书省校书郎，官至太常少卿。家中藏书甚多，博闻强记。《酉阳杂俎》二十卷，续集十卷，或录秘藏，或叙异事。分类记载，体制略似西晋张华《博物志》。

246.大食弼琵罗国①

有洲四座，无国主，惟土豪更互主事。如婚嫁，取有孕牛尾为信，候牛生犊时始还。……地产骆驼鹤②，长六七尺，有翼能飞，食杂物，或烧赤热铜铁与之食，生卵如椰子，破之如瓮瓮有声。国人好猎，日射兽而食。

（周致中：《异域志》）

① 弼琵罗国：《酉阳杂俎》作拨拔力。
② 骆驼鹤：即驼鸟。

247.好　望　角

南阿非利加洲之地兰士华路，盖即俗称好望角者是也。本名阿辅丹北司峡，译言“暴风”，山陡出海中，时有回风，舟行至此，极为危险，又名“岌朴”，西人改名“兀贺峡”，言山峡情景可观也。在阿非利加极南尽头处，峡长五百八十里，广二百余

里，平芜① 半沙石，无青草，依山滨海，东西齐平，东为印度海，西为大西洋，南为南洋。两岸茂林蓊翳② ，大田多稼，时序温和，牧场宽广，牛羊孳息③ 。迤北半系沙漠，往往风起云合，黑气迷漫。所产狮象、虎兕、鹿麂、海马、驼鸟之属甚多。土人短身黑面，穴地而居，得野兽则生食其肉。前明④ 时，葡萄牙人泛舟东来，始识其地。

（阙名：《地益士华路考》⑤ ）

① 平芜：平旷的原野。

② 蓊翳：茂盛。

③ 孳息：生长、繁殖。

④ 前明：即明代。估计作者是清代人，所以称明代为“前明”。

⑤ 作者姓名不详。《地兰士华路考》概述南非洲好望角的地理形势、历史演变，以及土人的生活习惯等。

248.麦哥罗罗

二十余年前，有苏格兰人立温斯敦① （一作李文通）者，家贫，好读书，尤精于医学。久之，为耶稣教士，至洲之南境行教，后奋志欲入内地，遂携妻子偕往，先后居内地者十有五年。洲之内地，隔有沙漠，一望迷漫，苦无勺水，天又经年不雨，草木皆童② ，行人难于跋涉，惟每十五年夏时多雨，沙漠始生瓜果，可以解渴，乃得经历其地而深入焉。立③ 待其时，至于沙漠相近处，筑屋而居，迭遭荷兰人之劫掠，有时出外，遇狮伤其右臂，险阻艰难，亦备尝矣。立善与近地人为友，近地人有与内地人结亲者，愿与之偕往。临行时，妻子乘牛车，旷野邈远，勺泉莫取④ ，几至烦渴殒命⑤ 。后过一湖，名艾弥，有良山美地，胜于海滨，居民亦较善，见立面白，皆善待之。立遂有远志，欲深入其地，使妻子返旆⑥ 回英，己乃只身独往。见内有多国，每国有君以相辖。后至一国，名麦哥罗罗，其君名西冀利都，立与之

友，甚相亲洽。是国人最信鬼，亦最信药，以为凡事皆可服药而效。见立为教士兼为医生，多就而问之者，立皆一一教之。故其国人敬待愈优，猜疑尽释。是国猎祇(只)用弓箭，或设坎阱，见立以枪猎兽，俱喜其便。又是国有一江，彼岸生毒虫，名蛑螯，螯牛，牛死，故彼岸无牧牛者。是国多产象牙，甚有以之筑墙者，即鬻与外人，亦第⑦易之以布。立乃教之往海滨发售，必得重值。其君闻之，立遣二百五十人，肩负象牙，求立偕往。立乃与之同至海滨，将象牙售于英人，得价甚厚。麦哥罗罗人皆深喜之，又见向者所易之布，其价甚贱，始知为人所欺。于是遂购外国火枪，意欲返国为猎象之用。

（王韬：《探地记》）

① 立温斯敦：英国人，著有《黑蛮风土记》，记述非洲风土人情甚详。
② 童：山无草木，光秃。
③ 立：即立温斯敦。
④ 勺泉莫取：一勺泉水也取不到。
⑤ 烦渴殒命：渴极而死。
⑥ 返旆：回车。旆，本指旗子。
⑦ 第：只。

249.桑给巴尔①

（光绪二年三月）三十日至四月初二日，风大顺，日可行三百里。晚刻，舟抵散西巴尔泊焉。按散西巴尔，亦名桑给巴尔，在阿非利加东境，为弹丸小岛，得四万一千九百八十四方里。……其地天气炎酷，常如初夏。土境荒凉，人民稀少。惟桑给巴城设有商埠，滨海数十里皆种树木，荫地参天，绿阴如幄。所产五谷，甚丰饶。更盛产芭蕉，一望皆是。土人面黑如漆，亦有黄瘦如菊者。多衣白色长衣，善水性。民间船只（只），如中国划子②式，江船多用双桨，舟子皆衣白衣，腰缠红巾，别有一般

装束。

（阙名：《三洲游记》）

① 桑给巴尔：印度洋的一个岛及其首府的名称，该岛靠近非洲坦桑尼亚海岸。此名由阿拉伯语词zang（意即“黑人”）和伊朗语词 bar（意即“海岸”、“地区”）组合而成，意即“黑人居住的地方”（八至九世纪，此地在阿拉伯人统治之下）。十五世纪前，“桑给巴尔”一名仅指这里非洲东海岸一带，不包括桑给巴尔岛。1964年，桑给巴尔与坦噶尼喀联合组成坦桑尼亚。

② 划子：小船。

250.桑给巴尔土人

（光绪二年四月）初六日，晨兴① 无事，同仲和② 行游街市。见乡民大半裸裎③ 赤足，惟腰间白布一方，以蔽下体，如入赤身国中，略无羞耻，且奔跑甚速，满面汗流，……土人更好吃烟，并嗜茶。故烟卷、茶叶两物，不可一日无。

（阙名：《三洲游记》）

① 晨兴：早晨起身。
② 仲和：姓巴，名元爵，浙江宁波人。
③ 裸裎：脱衣露体。

251.刚　高　利①

（四月）二十二日，阴，凉风洊至②，行道颇宜。是日计行八十余里，至刚高利地方。时已八下钟，觅店投宿。该处素兴夜市，廛屋皆结茅为之，高仅及肩，须伛偻鞠躬方得入门。门户围壁皆编竹为之．坚固特甚。室中不开窗户，以故黑暗如漆室。内一灯如豆，日夕常明，以便照物。河中之水，半杂沙

土，不可汲饮。

（阙名：《三洲游记》）

① 刚高利：可能就是刚果（金）。
② 洊（jiàn荐）至：一阵接着一阵吹来。洊再。

252.非洲人的装饰（刚高利）

自此余等在酋长署中止宿，以待土兵添至。日间谈论之暇无所事，则与仲和闲游郊郭① 。见该处乡民大半穿耳，耳上所戴，碾石子以为缨络，垂垂约三寸许，颈上则悬牛角铁以为美饰，亦有悬金银球者。面上多花点纹，用铁石刺成，斑点多者以为美丽。其发并无梳栉，只分数绺卷绞而上，编成尖角，如高髻然。发之端系珠络数串，皆铁石为之。其言语吱咯② 啁嗻③ ，不可以解。

（阙名：《三洲游记》）

① 郊郭：郊外。郭，外城。
② 吱咯：鸟声词。
③ 啁嗻：鸟声，与“啁啾”同。此指当地方言。

253.大松林遇盗

（四月）二十五日午后，行三十里抵迦古罗山……

二十六日午后，行四十里，天气炎蒸，其热如炙，仆夫士兵挥汗如雨，喘不能行，欲觅一避暑所，乃共趋前山，遇一小冈，有大松林一，所荫广数十亩，深树云浓，绿荫如幄① 。众喜奔赴

入林，见林深处已有四五人在彼纳凉，见余等人众入林，彼等遽持杖奔逃，大呼："我行客五人，为小负贩，行走此途，并无可献。"余等始甚惊皇，及闻此言，色勒克尔等不禁抚掌大笑，因婉告之，并为麦君② 述其故。盖彼等以余众为绿林盗也。麦领事劝令相安，彼等始返。余等亦弛担③ 林中，袒裼裸裎④，随意坐憩。时赤日行天，炎威如火，口中渴吻，觅水无从，忽闻山下有歌唱声，余等凝望良久。须臾见一黑面人，肩负二巨木筒⑤，作歌而来，高下抑扬，居然可听，但闻声音之婉转，不知所唱何歌。其人甫抵林口，见前歇五人，俱与言语。俄见其人负担入林，揭去筒盖，出瓦缶一具，授与众人。众人向筒内舀之，就口便饮。麦领事令通事特往瞷⑥ 之，还报黑面之人系贩卖凉水者，故林中之客向购解渴耳。时众人正思饮不得，闻而大喜，亟怂通事招黑面者至，将筒中水尽购之，人数众多，如渴马奔槽，仅各饮一杯而凉水尽矣。渴消热退，遍体清凉。讵⑦ 该党半系匪人，见余等百余人，不敢行劫，乃别设诡谋，令一人乘炎热之际，肩负凉水来山叫卖。其五人先饮，使余等不疑，比⑧ 余等亦欲购，然后暗投腹痛之药。余等饮后，不盈片刻，腹中皆绞痛异常，倒地乱滚，不能起立。林中五人并卖水者六人一笑前来，将余等行李银两食物衣服肆行抢劫，但捡轻软值价者打叠捆载而去。余等无力抵御，任其所为。忽前冈人声鼎沸，马鸣萧萧。顷臾尘卷沙飞，蹄声蹴踏，见一群人手持火枪，喘息奔至，旗帜高张，并有数人肩负行李什物，其为首乘骑者，即所遣往散西巴尔之急足⑨，盖已募得土兵，星夜驰至。急足见余等抱腹呼痛，又见六盗负物欲行，余等因大声呼救，众人知必有异，乃将六人掩执，盗惊皇，弃物而逃，众兵然枪击之，毙其五人，其一亦倒地血流。急足审余等情状，知误尝毒药，适行李携有解毒药酒，分饮几许，俄顷，口中咯咯作声，各人大吐。约两下钟时，始得痛止，惟四肢尚属无力，爰⑩ 以补力药酒饮之，药入丹田，奏功甚速。又片时，众人始得起身复旧，互相议论，麦领事怒，命将未死之盗击

杀，投尸山麓。

（阙名：《三洲游记》）

① 幄：篷帐。

② 麦君：即麦西登，丹麦国新简驻阿非利加洲领事。当时年四十余岁，“本谙各国方言，且知中华文字。”

③ 弛担：放下担子。

④ 袒裼裸裎：脱衣露体。

⑤ 木筩：即木筒。

⑥ 瞷：窥视。

⑦ 讵：岂（知），哪里（知道）。

⑧ 比：及，等到。

⑨ 急足：急行传送信件的人。

⑩ 爰：乃，于是。

254.过沙漠所见

（四月）二十七日，晴，晨兴，病兵已愈。食毕，拔帐起行。午刻行二十里，向小村觅食。复行十余里，抵一处，平沙无垠，荒凉万状，似素无人至者。沙地上高阜一区，阜之西，野兽成林，土兵等持枪追逐，随意轰击，得野猪、獐兔十余头。一兵深入兽丛，为两狼所噬，比众人往救，已首离其颈矣。乃舁回敛葬。方欲启行，见灰狮一头，自西阜舞跳而来，各兽无不辟易① 。麦君亦大惊，命众人以火枪攒击之。狮惧，返身而遁。又有野兽一群继至，土兵轰之未中。

（阙名：《三洲游记》）

① 辟易：惊退。辟同避。

255.杜道玛①所见

（五月）二十四日，行至杜道玛地方，丛林深树，一望皆然，身入其中，真觉绿荫如幄。该处居民绝少，土地荒凉，罕闻鸡犬。聚族而居者仅寥寥数百户。以猎为生，不事稼穑。山谷中百兽皆有，狮象尤多。途中见一兽，白质黄斑②，如小驴，首有一肉角，大可如握，其尾如猫，不知何物。又于树上见一小兽，长二尺有奇，毛黄而润，其形如猿，尾长三尺余。见人不甚畏惧，以尾卷于树枝上，两足摘果而食。土兵以枪击之，惊，从树林逃去，不可获。爱特③谓此名卷尾禺④，尾长有力，轻捷善跳，寻常之兽皆畏之。

（阙名：《三洲游记》）

① 杜道玛：可能就是现在坦桑尼亚的多多马。

② 白质黄斑：白的底色，上有黄色的斑纹。

③ 爱特：非洲人，懂当地土语。

④ 禺（yú余）：兽名。《山海经·南山经》：“有兽焉，其状如禺而白耳。”郭璞注：“禺似猴而大。”

256.基笪辣酋长

（五月）二十六日，行抵基笪辣地方，始有人烟。麦君命停息五日以苏众困①，并为自己养病。于是添置行粮，购办各物。克尔②言：此地向不与外人交接，土人偏隅自守，以猎为生，苟有外方人行经其地，酋长闻之，必来相见，馈赠土物。息力至第四日，果有酋长带土酋十余名来见，馈太牢一头④，羊二头，皆甚肥腯③。酋长首大如瓠，身仅三尺许，方面大耳，卷发深瞳，耳垂铁连环一串。上穿衣服仅蔽胸背，以皮带密缠，下

以白布围腰如犊鼻裙，盖无裤公也。足登木屐。与麦君为礼。其余诸酋以白布围腰，头发编成小辫十余条，下垂四周，耳目掩映于发辫中，几不可见。麦领事相见，受其礼物，酬以八音匣⑤一具，彼不知用，乃令克尔、色勒⑥教以开锁之法。但闻铮铮玒玒，五音迭奏。酋长及众酋大喜，起立乱舞。余等不知何故，未免惊张。爱特谓如此情形，彼因欢喜之极也。酋长舞后，即取八音匣而去。少顷，遣人送来禽兽各一，兽身长四尺，高二尺，状类野猪，而两耳外又有两角。角生于两眼之下，角之端卷成一周如环。禽类青凤，五色相宣⑦，高二尺，首有一冠，作惨绿色，尾如麈尾⑧，鸣声甚大。色勒云：兽为猪鹿，鸟名鸸鹋，曾于奥削尼洲见之。领事命畜于竹笼中，舁之而行。

（**阙名：《三洲游记》**）

① 以苏众困：以恢复众人的疲劳。苏，原为病体复原的意思，引申为困顿后得到休息。

② 克尔：非洲人，懂当地土语。

③ 肥腯：肥壮。

④ 馈太牢一头：赠送牛一头。太牢，牛。

⑤ 八音匣：即留声机。

⑥ 色勒：英国驻桑给巴尔领事馆马尼师代请的通事，“年三十余，气象恂恂，蔼然可近，各国方言，俱能通晓”。（《三洲游记》）

⑦ 五色相宣：多种色彩相错杂。宣，错杂。

⑧ 麈尾：拂尘，拂子。麈，音主。动物名，即今之四不象。

257.以投鞋为卜

（六月）初三日，由红阳鹰地方启程，曲折循山而北，约三十里，觅午餐。又行十数里，见山羊一群，硕大肥腯，或寝或吪① 颇得天机。又行数里，见平原上仅有牛一群，约数千头，角甚短，而背肉耸起，如橐驼然。询之土人，云：系该处酋长所畜者。又前行，一路驴马甚多，村落炊烟颇堪入画。时已傍

晚，支帐停骖②。见村中男妇，较他处特为美丽。该处村长挨勃尔适已他出，其子奇得知余等远来，率村中美少年携牛乳一桶，来帐谒见。奇得蔼吉③可亲，领事饮以加非，奇得因味苦不能食，领事乃赠五色玻璃杯及手巾各物。奇得谦而后受，临行自脱所穿皮履，三投空际，然后再穿，笑谓领事曰：此行必吉，前途保重，或者后会有期也。遂去。余等不解投履之故，询之村人，方知彼处风俗，以投鞋为卜，视其旋转高下，以定吉凶，亦可笑也。

（阙名：《三洲游记》）

① 吪（é鹅）：动。
② 支帐停骖：架设帐篷，停住车马。
③ 蔼吉：和善。

258.乌苏古码风土人情

（八月）二十四日，抵乌苏古码，该处风土人情与亚罢隄又异。村落散居，四围多种丛树，密叶千章①，流青匝绿。其树逢秋季出浆，如漆而毒，入目即瞽，食之腹裂，而土人种之，所以防盗……。衣服以粗布为之，甚短，仅及其膝。村中有一公地，上树木杆，系铜铃百余枚。每日辰刻，社长派一人将铃球力撼之，声震闔村②，男妇皆起，至公地操作。午后，球又震，始回家饮食。须明日复至矣。若逢雨雪，则各在家中操作，别有司事者巡察勤惰，以定赏罚。子女自十四五岁，已须入队。

（阙名：《三洲游记》）

① 千章：指许多大树。章，成材的大树。
② 闔村：全村。

259.加拉贵国王

（八月）二十七日午后，高唯（酋长）又盛筵相款，……席间，色勒因言：去此百里，有一小国，名加拉贵，地处僻陋，向不与人通声教。近年来，始有英国牧师及法国教士拟欲前往该处宣教，恐气谊不能融洽，未果。……余等怂麦君前往一游，绕道而过。麦君命觅乡导一人，次日即启行登路，行两日始到该处。王为一好酒之徒，贪饮无度。余等入境，众人相聚而譁，乡导代告来由。有数人前来，细察一回，若甚奇异者然，乃牵麦君及色勒、慧鹦① 之袂同去，余与康庇② 相从。领事命仲和与色勒看守行李。余等前至王宫，导者先入报见。王宫亦编茅为之，甚高敞。左有竹杆一枝，上悬彩球，累累如贯珠。右首一石塔，塔上建一巨铜钲③ 。俄而铜钲一吼，声震山谷。先入者出，导余等入，历数重垣，见凉篷一。王在凉篷下踞坐，袒褐裸裎，仅蔽下体。别有明童二人，身无寸缕，立王左右。余等至，王起立，上前执手，口中酒气薰蒸，不可近。色勒将来意声明，并以洋枪二杆送之。王喜，拉坐。须臾，一裸童约十四五岁，进酒一大盂，木瓢十余枚。王命皆席地坐饮。忽有一土兵奔至，谓国人恃强抢夺行李，先生特遣送信，乞为定夺。色勒转告于王，王怒，遣一裸童手持一铃摇而出。未几即回，云：国人已散，原物交还矣。麦君甚喜，王亦喜，命人抬一方几④ 置地中。又有数人舁肴馔至，都置几上。肴则鹿兔山鸟，薰炙者多，尚可适口。酒味甚酽⑤ 。群臣皆环坐王后，不敢作声。饮半时许，王大醉，口中流沫，笑而卧地。时群臣皆起而退出。余等亦同退。甫出门，麦君恐王醒后相嬲⑥ ，或至肇祸，故约同仲和即刻启程，飞行约三十里，心稍安。复行二十里，乃宿。

（阙名：《三洲游记》）

① 慧鹅：于苏哥所雇通事，“年仅二十余岁。十二三岁时，即随其父作贾远方，出入于阿非利加洲陆道。心既聪明，阅历又广，是以各处土音，无不通解，又兼勇力过人，轻捷善跃，可以追猴搏虎。”（《三洲游记》）

② 康庇：“西仆之有膂力者。”（《三洲游记》）

② 铜钲：铜锣。

④ 方几：方形小桌。

⑤ 醨：浓。

⑥ 相翳：相纠缠。

260.海外桃源

（九月）初五日，……未刻抵斯彼格……初九日行二十余里……日已及晚，始抵一所，有峻岭一区，山下人民稠密，编树成村，鸡犬桑麻，颇有桃源①景象。土人言语，尚属可辨，且姝姝暖暖②，和蔼谦恭，见余等往，欢然迎伺，接候路旁。知余等从泰西、中国来，喜甚，争邀至家，设酒杀鸡作食。一时村中妇孺，纷至沓来，观看异邦人物。其地风俗纯良，土地肥沃，稻粱果谷，物产丰饶。居民衣服，均以粗麻为之，外衣垂垂至膝。所戴冠甚大，其式方圆之制，各就所宜，皆以丝编就。妇人编发为辫，上系翠玉如缨络然，首束五色巾，随风飘飐，面目颇妍丽。麦君因其情意殷拳③，出西洋彩布及巾帕等物，次第分送，皆欢谢而去。少顷，村人赍④梁肉，凡路上应需之物，前来馈送，麦君受之，殷殷致谢。

（阙名：《三洲游记》）

① 桃源：晋朝大诗人陶渊明的《桃花源记》描绘了一个无战乱，无纷争，无剥削，自耕而食，自织而衣的和平宁静的社会，用以寄托他的社会理想，人们称之为世外桃源。

② 姝姝暖暖（xuán宣）：温顺的样子。

③ 殷拳：情意殷切深厚。

④ 赍：赠送。

261.途中遇盗

（九月）二十六日晨八下钟，启行。在路宰所馈豕一头羊一头，以为肴馔，分饷众人。午后经一处，林深箐①密，细草蒙茸，忽见二人卧岸上草中呼救。麦君命停舟登岸以视，暴客数十人，突从林后出，举石乱掷，伤康庇之足，麦君逃避入船，巨石踵至，船板摧毁。土兵急以火枪御之，击死数人，伤者数人，众始逸去。土兵欲登岸穷追，麦君不允，命速启行。

（阙名：《三洲游记》）

① 箐（jīng精）：竹名。一种细小的竹子。

262.马笪勃数国

（九月）二十六日……行一日无所事，与舟子谈，色勒因言："洲南有一小国，曰马笪勃数，朴陋可笑，数年前，余曾偕人前往，今闲居无事，请为诸君子言之。该国地势卑下，宫室民房，大半筑土而成，上以茅龙① 掩盖如覆釜②，朴素拙陋，无锥雕藻缋之观。政治尚简略。土地虽广，不甚肥沃。有官业而无民业，计田升科，咸输纳官府，除度支③ 外，皆储蓄屯积以备荒旱，及与邻国搆兵之费。境内战兵四营，每营分四部，每部分四哨，每哨七百五十人。哨有哨长，部有部将，营有营总，外设大督一人，总统其众，皆以国中富户充之。所用机械：藤牌、镰刀、长矛、鸟枪，皆类中国，惟斑剥粗锈，钝不利用。国王残忍好杀，穷兵黩武，每岁必椎牛飨士，设大会数次，酒肴纷罗于野，皆国王供给，牛饮大嚼，歌舞欢呼。每举一会，必向邻境侵凌，杀人动以千计。盖人民性皆好斗，遇死不避，故以斯杀

为能事也。俗多穷困，每雇一人，终岁值只须四、五金。民不尚交情，终岁不相通问，至亲亦如陌路④。一言不合，父子相戕。婚媾悉令男女自择，相爱则亲，不劳媒妁也。国中无文字，性游移，信从邪妄，妖巫又蛊惑其间，以致举国若狂，纷纷祀鬼，朝野上下，最重诅咒，一语之间，大祸立至，且有因而致死者。故国人虽遇要事，不肯轻发誓言，谓不祥之言，鬼神临瞷⑤，不可无故詈人⑥也。余等同瓦当⑦暂支行帐歇宿一日，然后由牧师引道，率同通事入宫，仪制规模简陋特甚。瓦当命先将赞仪⑧献赠，计六门手枪一支，玻璃盏二，八音匣一架，洋毯一条，手巾八条，香串两挂。见国王首巨如斗，髡顶无发，伟状可怖。时适在用膳，踞坐坦腹，任意大嚼。遥见余等至，侧睨而嘻，偃坐胡床⑨中，手擘肉脯，恣意饮啖。酒以瓦器盛之，以口就吸，呵咂有声。酋长之妹闻余等至，先召入见。酋女数名，绛色圆冠，衣青紫衣，与酋妹环坐地中谈笑，见客不起，亦不知作礼，惟嬉耍拍掌，口指手画，窃窃笑不置⑩。牧师命余等同坐。少选⑪见门外树荫下，置酒一大盂，云是款远客者，即有一小酋跳舞至前，与通事语，请客入席，酋妹曳客同起，至树下踞地坐，皆捧盂作牛饮。酒系菽米所制，味亦可口。酋妹吸饮甚捷，须臾尽一器。未几，酋长亦至，已醉不可状，见客嬉笑，余等欲与为礼，酋长已坐地牵余等衣，捉手拍掌，即相见礼也。又以白布支幕，有野酋五、六人，彩衣雉尾，在白幕演剧，面则杂涂脂粉并树叶汁，所演之戏，无异傀儡，两优人，一吹短角，一击金鼓，演者口鸣鸣，唱番调，驴鸣犬吠，……。酋长手捋⑫余须，不胜艳羡。小酋又以酒肉进食，酋长饮大醉，僵卧于地。余遂偕众人告退。次早，酋长率从者二人，手执长矛，徒跣来余帐，云系答拜，见余帐中有西式车，摩挲爱玩不肯舍，问此物可价购否？瓦当谓余等欲游历此地，若肯力为保护，当以此车奉送。酋长喜，微笑而出。比出帐，与其从者皆高唱，疾行而去。少顷，牧师至，代陈酋长意，愿为保护，已遍谕国中，无敢与余等为难者。余等心始

安。自此以后，瓦当在该处行商，获利颇巨。余因无事遂告归。今瓦当尚在该处，屡招余往，余因欲游历内地，故未之许，不图今日之为麦领事之聘也。”色勒娓娓而谈，不觉日坠虞渊⑬，乃命止宿。

（阙名：《三洲游记》）

① 茅龙：茅草。《庐山记》：“饶子卿隐庐山，无瓦屋，代以茅茨，每年一易茅，谓之茅龙更衣。”

② 覆釜：倒转的锅。

③ 度支：财政支出。

④ 陌路：陌路人的简称。即素不相识的人。

⑤ 临眴：亲临察看。

⑥ 詈（lì立）人：骂人。

⑦ 瓦当：人名，据文意，应当是当年与色勒同行的旅伴。

⑧ 贽仪：进见的礼物。

⑨ 胡床：椅子的一种，是一种可以折迭的轻便坐具。

⑩ 笑不置：笑个不停。不置，不止。

⑪ 少选：过一会儿。

⑫ 捋（luó罗）：抚摩。

⑬ 虞渊：神话传说中日落的地方。《淮南子·天文训》：“日至于虞渊，是谓黄昏。”

263.罗大迦风俗

（十月）初四日阴，西风甚厉，寒欲裂肌，朝餐后，王遣弗非①……促麦君往，遂行抵王宫……席间，始问弗非该国来历，弗非云：“我国名罗大迦，开创已及千年，地广人多，版图之长约一千二百里，广二百里，居民约得二百万有奇。今国王名墨德撒，爱才好客，四方来归。去此国西北五百里外，四时极暖，风俗强悍，略于礼让②。居民不御③衣服，专以猎兽为生。人死则掘地为窟，如燧道然，中铺白布，以置死者，屈其足作屈伏状，旁设平生所爱之物，或弓矢，或刀剑，不一其名，然后掩以土，亦有砌以石者，形皆如冢。丧家守孝，少则十五

日，多则五六月，视死者之亲疏，以轻重之。丧期内家人屡往墓上行礼，惟身无寸缕，但于额上掩树叶一片。若父母之丧，则胸前更增一片，即此为丧服。”

（阙名：《三洲游记》）

① 弗非：本桑给巴尔人，后为罗大迦国臣子。
② 略于礼让：不注重礼让。略，疏略。
③ 不御：不用。

264.大臣见国王礼节

（光绪四年正月）十四日晴，晨起黄门官叩门，入传王旨请见。……见后令麦君旁坐……正言间，一官入殿启禀，有大员求见，王令入。少顷，果见一官身披羊毛短服，首束红布，插雉尾簪花，趋入，向王拍掌一声，然后叩首。叩首已毕，起向王曰：“伐者伐者伐者，柔害苏拉。”王喜甚，亦拍掌答礼。既而令大员近前，王嘘气其面，复以口中沫唾大员手中。大员启奏数语，即以掌中沫揉搓，向两颊拭之，作洗脸状，然后拍掌三声而退。麦君见此情形，腹中窃笑，然不解“伐者”数语，暗询通事，知此系该国土语，犹言早晨早晨，好早晨，好日子，王好否也。

（阙名：《三洲游记》）

265.男女聘娶之礼

（光绪四年正月）十四日，……晚间别王登舟，护弁亦随至。余细考该国风土，知其风俗甚陋。男女聘娶，无六礼之将①。

婿家只以羔羊十二头，铁锸三柄，大布数百匹或数十匹，送于妇家，以为定婚之仪，贫家力薄，则羊与布概可不送，而以弓矢、戈矛代锸。既娶入门，妇家屡到婿家需索，诛求② 无厌，须到生子之期，则不复来索。倘来需索时，吝而不与，或未遂所欲，则妇家竟可纠人将新妇劫去，别嫁他人。如已生子，则以为血脉已通，不可为他人之妇，而婿家亦得免扰矣。

（阙名：《三洲游记》）

① 无六礼之将：没有送给“六礼”的仪式。六礼是中国古代婚姻成立的手续。即：纳采、问名、纳吉、纳征、请期、亲迎。六礼是以男方付给女方的身价为主要特征，是旧礼教下变相买卖婚姻的具体表现。将，送。

② 诛求：责求、索取。

266.居丧人的装饰

（光绪四年正月）十四日……余细考该国风土，知其风俗……居丧之人，首围蕉叶一张，叶枯复易。面则抹以灰煤，杂以油漆，遥望之，黑而有光。……男女衣服，皆以中羊皮为之，外束芭蕉索，颈中悬铁环数枚，累累如贯珠，以为美饰。

（阙名：《三洲游记》）

267.斩 决 罪（三）

刑法，则偷盗、奸淫、杀人三案，皆以斩决定其罪，不问重轻。如犯案之人肯终身为事主之奴，则可恩免杀戮，惟须事主愿

收，方准免死，否则终难轻贷① 也。

（阙名：《三洲游记》）

① 轻贷：轻易饶恕。贷，饶恕、宽免。

268.祭　河　神

（光绪四年二月）十三日，抵富来岛……十四日……泊舟登岸……河旁泊有巨舰两艘，数人向河中行祭，不用牺牲①，见一人持大珠数颗抛掷波心，婆娑叩揖，众口欢呼，祷而致词曰："嬴贼嬴贼，汝水如是其多，如是其广，今与子约，请任我一行，勿加祸害，大吉大利，当即报汝。"言已，解缆而去。余不解何故，土人告余曰：此经商客舟出门致祭，以求得利，其所谓嬴贼者，河神之名也。余闻之，不觉失笑。

（阙名：《三洲游记》）

① 牺牲：古时祭祀用的家畜的通称。色纯为"牺"，体全为"牲"。《左传·庄公十年》："牺牲玉帛，弗敢加也，必以信。"

269.乌康达农村

（光绪四年三月）二十二日，行抵乌康达① 地方，该处土壤膏腴，颇宜稼穑，野田半植香蕉，一望十余里，泼绿翻青，嫩香欲滴。土人面微有黑色，性习勤，衣饰修洁，与黑蛮大异。其妆束别有一致，颈中圆领，尚青色，背上青衣一领，如半截斗篷，胸前如钮扣，仅束一带。入其村，绿树重重，阴围四匝。村口每有庙堂一座，谓系护宅之神。乡民云：此神仁恕慈祥，不贪供献，但能诚心感格②，即一盂酒，一蛤肉，一茅之献，一钱之

陈，亦得邀其默佑，降福消灾。问其何神，则不知来历。各家大门前有一小园，遍种瓜豆，蔬果、加非、甘蔗、烟草等物。园外空场一区，为放牧之地。宅后多植棕榈，取其皮，缕分以织，为粗布，可制衣，贫人多有服之者。每村望衡对宇③，鳞次而居④，出入守望，合力同心，老幼欢呼，亲密殆甚。入其宅，厅事一所，高大轩敞，作圆式如牛棚然。中间木柱甚多，以支屋顶，中分前后两间，隔以疏窗，窗以细木为之。厅后板屋一区，无窗户，为妇子家人偃息之所。其中床榻用木板支之，制殊粗陋。厨房建于厅后，家人妇子工作其中，所用器皿，皆瓦缶、藤篮、铁铲、棕席、竹筒等物。锅灶之式亦寻常。

（阙名：《三洲游记》）

① 乌康达：即今乌干达。

② 感格：感应。

③ 望衡对宇：衡，以横木为门，引申指门；宇，檐下，引申为屋。望衡对宇，形容住处接近，可以互相望见。

④ 鳞次：象鱼鳞般密密地排列。

270.见乌康达国王

二十四日十下钟入城，见车马纷纷，云皆地方官长前去见王。既而马君① 遣人至，邀请麦君，谓王宫在小山之上，可随之偕行。麦君同余骑而往。遥见山岭之巅，行人如织，王宫一所，朱杗粉壁②，气象辉煌，四周营垒重重，旌旗飘荡。余等至山腰，马君已候王宫门首，一笑相见，引麦君及余同入。两旁甲士数千，荷戈肃立。直入内殿，见殿五间，覆以香茅。王坐殿中，年约三十许，白衣红袍，绣花肩帔，而赤足秃首，髡顶无发，类行脚僧。额上束布一条，高插一茎雉羽，约长三尺。臂上金钏一围，指上手记③ 累累如贯珠。膝前列象牙两枝，大而长。王身长体伟，双目炯有奇光。麦君与余坐王之右，马君坐王之左。相与

略言泰西风俗政令。既而百官来见，皆匍匐而入。其相见之仪，或以口亲王手，或以鼻闻王颊，以为亲密，或伏地呼曰："多洋齐，多洋齐。"不知作何解。见后各就其位，在两旁席地坐。

（阙名：《三洲游记》）

① 马君：即马撒加，"本后宫小臣，年二十五，因见宠于王，一旦遂为大帅。"（《三洲游记》）

② 朱宗（máng忙）粉壁：红色的梁栋，粉白的墙壁。

③ 手记：指环，戒指。

271.以生人祭黑煞神

（四月）二十一日抵乌秦罢地方……行四日，至一处，见河畔村民数百人，击鼓鸣锣，作大胜会。乃泊舟登岸游之。见岸上一山，山有一洞，昏黑不知其底，洞口支一木架，架上倒悬二人。通事怪问之，土人云：洞内有黑煞神，凶恶异常，喜为人祸患，每年春夏之交，须以生人祭之，始可无事，架上之人，乃欲杀以祭神者。余等闻此陋俗，殊觉不平。麦君恐肇祸机，令勿多事，游片刻回舟。

（阙名：《三洲游记》）

272.在鸡稍所遇

及行五日，至鸡稍地方。甫登岸，乡民皆扶老携幼，奔避仓皇。麦君怪之，获一人，问其故，盖误以余等为仇敌也。色勒告以至此缘由，即令其人将数人追回，再三开导，乡民始各相安。然前行者不知其故，仍未敢归。中有一人，伟躯黑面，离数十步，遥呼曰："汝白面之人，人邪？鬼邪？吾等往日无仇，并未

干犯，尔等今来此何故？愿明以示之，吾等当唯命是听。”余等知其怀疑，亦遥相告语，并以善言劝慰。麦君又出色布掷与之，且取食物下咽，以徵其为人。众人始敢近前。于是百十成群，咸来问讯。据土人云：“本地父老相传，谓北海有白面人，其膝直而难曲，堕地不能起立，凡有起立坐卧，须他人挽扶而后能兴，君等得无此类欤！”余等闻之，不觉失笑。于是麦君率领众人，皆作坐卧起立跳跃状，轻灵敏捷，矫若猿猱。众人相顾失色，咸鼓掌问曰：“白人系父母所生乎？抑生于白羊白马乎？”麦君斥其无理。众人曰：“畜类生人，当世皆是，即如吾等鼻祖，乃系山中老猿，故皆面黑如漆。君等不生于白羊白马，乌有如是之白者？”麦君曰：“羊马四足，故其子亦有四蹄，今余等只有二足，乌得谓生于畜类哉！”乡民语塞，良久不能对。大声一呼，跳舞而去。

（阙名：《三洲游记》）

273.乌高镇集市所见

（五月）二十一日，至乌高镇，烟户云稠，市廛①热闹，交易入市者，踵趾骈罗，为该处最大之埠……

二十三日，晴，晨兴，闻市中乡民喧扰之声，不绝于耳。早点后，偕麦君、色勒、仲和数人，往市中游玩，见交易者皆以物易物，市上之货，无非牛羊、芭蕉、甘蔗、鸡卵、乳酪之类，乡民身上束尺许羊皮，只蔽下体，余寸缕俱无。颈中臂上，套铁丝圈数十，累累然如贯珠。彼都人士以为美饰。市中咸鱼尤多，土人多喜嗜，每食不舍。铺肆之大者，售网罗、铁器等物，然仅各售所有，并无分门别户及贩运等事。聚市之人，限以时刻。过此，街道无人，门可罗雀，亦风俗然也。购买货物，以瓷圈代银钱，长约半寸，可作戒指手记，其色或白或黑，以二十枚贯一

串。每串可易一人二日食粮。贫家力微，生子女不能鞠养②，亦来市中呼卖。其价甚廉，故奸贩之徒，往往至该国购买子女，出售他方，获利甚巨。然虽有此风，从未闻当道为之禁止者，甚可怪也。

（阙名：《三洲游记》）

① 市廛：市场上的店铺。
② 鞠养：抚养。

274.以圆木桶作舟

（五月）二十四日，抵打伽尼地方，行路艰难，均有小河阻隔，并无桥梁可通彼岸。乡人富者均以圆木桶作舟以渡，贫者则竟凫水以济①，往往有占灭顶之凶而误伤性命者。

（阙名：《三洲游记》）

① 凫水以济：游水渡河。济，渡。

275.罗雅居民的发式

（八月）初三日，至罗雅地方。其地居民粗黑特甚，而雅好修饰，顶上之发，种种不一：有全行薙去者，有薙去顶上而留四周一圈者，有惟留脑后一丛余皆削去者，有全留不薙编成细辫，盘于顶上如杞柳盘浮屠式① 者。耳上俱饰金铜银铁环珠累累相贯。土人技艺，以雕刻为优。几椅门窗，皆雕镂山水人物禽兽鳞虫草木等，

形神奕奕，惟妙惟肖。

（阙名：《三洲游记》）

① 如杞柳盘浮屠式：（杷细辫）象杞柳的枝条一样，盘成佛塔的式样。

276.在郎薄所见

（八月）初四日，至郎薄地方。该处一大村落，烟户甚繁，鸡鸣犬吠相闻，风景可爱。村外百步有温泉一道，热气蒸腾，沸声如煎鼎。以百度寒暑表测其沸处，得八十度，余则五十度至四十一度。时坐汤者甚多，余等遂往游他处。见居民以瓦盆为帽，如瓷碟而微深，覆于首上，途中口渴，即以帽舀水饮之。又行数百步，见一村落。余命土兵侍者暂停此处，余同麦君、色勒、爱特、康庇、慧鹦六人，携仆海平、西役细微尔，共八人入村。见房屋皆作圆式，如牛车棚而大，上覆香茅。每屋一区，门户四达，正中为村长之屋，惟各家之门，高仅三尺，非伛偻鞠躬不能入。屋后隐隐有物，细辨之，则棕榈树也。村人见余等至，男女争出，叫嚣来观，嘈杂特甚。其男女皆无上衣，……口阔如箕，鼻塌如梁，眼尾向上，半开半启，面黑如漆，唇红若硃。颈中悬挂蛇蜕及玉石、铁圈等物，以多为贵。腰四周束以棕毛，如覆檐然，腰以下垂垂者，无非牛羊角、小石丸、猴皮、猴骨等物。自腰至膝，围粗布一方，……两足尽赤，脚皮坚厚，几同鞋底。见余等衣冠白面，皆疑为鬼。色勒明告之，并言明来游意。咸大声呼曰："乌牙牙，乌牙牙。"犹言"人耳，人耳。"嗣来村长一人，色勒问其鼻塌之故，答言："我等幼时，母负系于背，因束缚太紧，遂将鼻梁擦扁。"因导余等入室，席地而坐，各言本地风俗。

（阙名：《三洲游记》）

277.在马耶妈所见

（八月）初八日，至马耶妈地方。该处土地肥沃，物产丰饶，人民装束，与他处不同。男子首上，每戴泥冠，坚硬如石，式样方圆不一，甚不易破。妇人之发，前后分之，前半编结大辫，笼起成团，如西瓜式，后半则散垂于背。腰下半皆以牛皮护之。时八月初旬，天气尚热，故露体赤足，所在都是……。各村口鹿场之旁，皆有高阜，树木丛丛，凉阴四匝，阜形如几，上平而广，凿有数窦，为打麦去壳之用。酋长妆饰，腹下悬兽皮一方以遮私处。须长及脐，须之端悬玻璃珠及铜铁小片。首冠大布之冠，上插数茎雉羽，每长三尺许，临风飘飏，土人皆深羡之。每出行，则携木枪一具，上有刀矛，下悬小铃四五枚，铃铃作响。行时坦胸直腹，旁若无人。另有一人击皮鼓前导。臣民在道路相逢，闻鼓声则趋道左伫立，俟酋长过去，乃敢复行。否则必遭重责，且有致死者。该处无驴马，余等放骑而前，见者皆为诧怪，男女争观，往来相告，有随行数里者。

（阙名：《三洲游记》）

278.观　　战

（八月）十一日行至一处，房屋比连，约千余家……翌日，酋长遣人来召，著余与麦君同往观战。少顷，有敌将名步都者，在隔河挑战。酋长饬令长子率兵三百人往御。讵彼此各立河边，一水不通，无从接仗，只跳舞大骂，唇枪舌剑，口若悬河。约二下钟之久，手足指挥，恶狠狠地至晚收队，以为交战大输矣。次日亦然。凡三日，始两军会合，肉搏相攻。先一人与一人对战，次各添一人，次各添二人，又次各添三人，已而四人五人

十人，各自相战。每战一下钟之久，即须添人。然器械不精，皆无授命① 而死者。麦君雅② 不欲观，乃星夜拔队行，并不辞别酋长，酋长亦不复追来。

（阙名：《三洲游记》）

① 授命：不爱惜自己的性命，用来送给别人，即“送命”的意思。
② 雅：甚，很。

279.以蛤壳代银钱

（八月）二十一日，至骂耶姆地方，该处市廛交易不尚银钱，以蛤壳代。凡购办货物，均需乎此。乡人佣工于人，每人工钱仅二壳或三壳。每三壳易一鸡，六壳易大口① 一日粮，二壳易包穀数十枚。风俗之殊，得未曾见。

（阙名：《三洲游记》）

① 大口：指大人。

280.臭　木

（八月）二十二日，至伽蓬果地方。行路之间，觉鼻中忽作奇臭，味类死尸，乃急驰向前，觉愈行愈臭。土兵中有闻臭作恶得病难行者。因执土人而询之，始悉该处有臭木一种，状如棕树，茂盛而多，土人以为柴薪，炊饭煖炕皆藉之。一遇火焚，则烟散四方，其臭益甚。本地人习焉不觉，而余等已不堪其苦。麦君命忍臭速

行。竭半日之力，始过其境。

（阙名：《三洲游记》）

281.所谓“生尾人”

（八月）二十九日，行至阿来伽地方，见土人身无寸缕，惟胯前后悬猴皮一方，臀下悬兽尾一具，其毛茸茸然，垂于股际。初见误以为真，细辨之，方知其伪。西书之谓斐洲有生尾人，殆即指此。

（阙名：《三洲游记》）

282.刺臂流血，向空设誓

（九月）二十三日，行至罢堤，……二十四日，乡民之愍①不畏死者，又来挑战。麦君念小民无识，妄动干戈，被击而亡，深堪悯恻，因令色勒求盟，再四往来，许赠数十金，始肯罢战。并与色勒约，谓：“汝等此日过境，若欲行粮、鸡鸭、牛羊、水果等物，准许价买，惟不得在村镇扰害，击枪惊人。”麦君允之，往述其意，乡民犹不肯信，谓恐汝等反覆无常，非刺臂流血，向空设誓不可。麦君无计可行，勉从其请，令一土兵往，以利刃刺之，血流如淖②，然后以血和土，令色勒跪发盟言。乡民大悦，额手相呼，作种种得意态，然后散去。

（阙名：《三洲游记》）

① 愍：忧伤。
② 淖：汁。

283.悍戾之风

（九月）二十四日麦君乃命入市购取粮物，见民家门首，都悬挂枯骸，有多至十余具者。盖与人斗杀，得他人之尸悬之，以多为勇。若门首有百余具，则他人不敢来犯，悍戾之风，于此可见。又闻去此百余里，有大族，风气更偷①。凡父母年逾七旬②，则皆杀而食之。地方酋长，亦习与性成，不知示禁，诚恶俗也。

（阙名：《三洲游记》）

① 偷：薄，鄙薄。
② 七旬：七十。

284.肌肤上俱刺花纹

（十月）初一日，至罗彭加地方，其人民自顶至膝，肌肤上俱刺花纹，或方、或圆、或长，有形如卵者，有形如刀者，有形如花叶如禽兽者。印路纵横，怪状百出。颈中则刻牛角、牙骨等物，悬之累累垂垂，如贯珠，如系索。

（阙名：《三洲游记》）

285.募化之遇

（十月）二十日，晴。晨光甫动，即收拾行李，由土人引导前行，至募化地方。该处居民喜怒无常，性情绝异。见余等入境，以为异事，于是纷纷来观。有持赠土物者，有踊跃欢呼者，有觳觫①怖畏者。每见余等行李中物，则龋齿声牙②，作狰狞鼓舞之状。时余等饥甚，麦君命支帐作餐。炊未熟，麦君偶写日

记，下笔未及一页，来观者益众，一见写字，皆惊窜狂奔，若甚畏惧，须臾不见一人。午膳方毕，忽人语嘈嘈，土人数百名，结队而来。或持戈矛，或持刀戟，将余等行帐围住，有欲得甘心之势。麦君大惊，命土兵各持洋枪，预备迎敌。一面出帐，呼问何事。中有一人挺身前曰："吾等良民，并无开罪途人之处，今何故无端写字，且将白羊刺杀，菜蔬切割，非欲借杀菜杀羊之意以杀我等乎？尔之写字，非欲记我等之名，次第行戮乎？我等惧为人谋，，故结党兴师，来拚一死。汝若肯将所写之字，立时毁去，则可见汝并无害我之心，我等亦当退去。否则定以干戈从事也。"言已，汹汹喧哗，数百人皆拊之以掌③。麦君闻言，不禁狂笑。然事关重大，若与抵御，恐众寡难当，倘果将所书日记焚毁，则数岁之苦劳，废于一日。寻得一计，谓众人曰："汝等勿惊，我当毁去其书也。"乃故意在箱中取出旧书一册，与日记形式大小相同者，当众言曰："尔等既已见疑，可将此册取去。"众战慄曰："莫言，莫言。此是何物，触之立死，乃欲赚我等乎？"麦君乃以火焚之。众欢蹈，齐声唱歌散去。麦君命拔帐速行。

（阙名：《三洲游记》）

① 觳觫（hú sù胡诉）：恐惧颤抖的样子。
② 龋齿声牙：使上下牙齿参差不齐并发出声音。龋，当作龌。
③ 拊之以掌：鼓掌。拊，击、拍。

286.酷　信　异　端

（十月）二十一日.清早启行五十里,至巴森地方。该处风俗，酷信异端。人苟染病，以为芭蕉树为祟①。及死，则尸属②各取火枪，向芭蕉树然放轰击。男死轰十五枪，女死轰十枪，幼孩死

则轰六枪。以为如此，方可尽哀。

（阙名：《三洲游记》）

① 为祟：作怪。
② 尸属：死者的家属。

287.埃及都城改罗

午后抵改罗①，埃及之都城也。城外隙地，颇极宽广。陈果品逐什一者②，妇女居多，肌肤已渐作黄色，面目亦无异人处，惟多以白布蔽面，仅露双睛，睒睒③向人，状殊可怖。入城见甲士持械夹道立，循西例④也。衢市稠密，而屋制颇卑陋。寓舍格局堂皇，房宇精美。所供肴馔亦殊丰腆⑤。长桌两行，可坐百数十人。食时有日耳曼人进而作乐，音韵铿锵。自苏彝士至改罗都城，计程三百七十八里。命车往观圜闉⑥，环行一周。西北行二十余里入山，林树扶疏。访所谓古王陵遗迹，尚有存焉者。有一石洞，伛偻可入，中有石棺，叩之渊渊作声。有一礼拜堂，高踞山巅，规模宏远，堂高几四十丈，直耸霄汉，四壁皆云石，光怪陆离，不可逼视。堂中玻璃灯大异寻常，燃烛须万枝，辉耀远近。守者俟游客至，跪而进履，易之而后入，谓圣地不可轻践也。铺地尽以云石，细腻滑泽，殆无其比。其地多驴，殊健，能涉远而价亦甚廉。

（王韬：《漫游随录》）

① 改罗：即开罗。
② 陈果品逐什一者：摆列果品出售，追求十分之一利润的人。
③ 睒睒（Shǎn闪）：光辉晶荧的样子。
④ 循西例：遵照西方国家的规矩

⑤ 丰腴：丰美。

⑥ 阛阓（huán huì还会）：阛，环绕市区的墙；阓，市区的门。故统称市区为阛阓。

⑦ 作者生平已见前。《漫游随录》记述作者漫游海内外的情况。重点写他由香港往欧洲游历时的见闻。

288.埃及旧京亚力山大城

出犹太国由旱道至埃及，古名麦西国，在阿非利加大洲之东北。先至亚力山大，城建于地中海之滨，为通商大埠，埃及之旧京城也，建之者为马其顿王。亚力山大旧址败坏已久，兹以新城而仍其名，规模大非昔比。城内居民初约三十万，今仅三万。旧城所留遗者，瓦砾之外，有花石造成高塔二座，名克里育百之针。克里育百者，古埃及有名之女王也，其塔为罗马国王自别处移至此者。现埃及王以二塔一赠英国，一赠美国，均用轮舟载去矣。离城三里有一石柱，乃用囫囵花石① 筑成，其形圆，周三丈，中段高七丈三尺，连头脚共高九丈。查是城不产此石，须由六百里外而来，不知其何法而移此大石乎？昔有英國船主过此与友人赌赛，欲登其颠，闻者皆难之，伊乃放一风筝，以麻线兜住柱顶，使之沉下，后以粗绳接之，除去麻绳，再以软梯接之，乃攀援而上，直造其巅② ，众皆奇其敏捷。

（阙名：《游历笔记》）

① 囫囵花石：整块的花石。囫囵，本谓浑然一体，不可剖析，一般用来形容整个的东西。

② 直造其巅：直登上它的顶峰。造，到、往。

289.埃及人生活多似中国

自亚力山大往加义罗京城，路平坦，多棕树。尼罗河两岸麦

苗甚旺，青草蒙茸，菁葱可爱。是处雨泽虽少，然雾露迷离① ，足资沁灌② 。乡间房屋仿佛中国，其大宅院式样亦同，四周建屋，中留天井一方，与泰西大异。其民薙发，中留圆顶，惟不梳辫，女子指爪亦喜染红，齿牙皓白。娶妻用媒妁，学生之读书背书以及田间桔槔③ 、牛犁、耒耜④ 俱同中国，是以知人之本原，皆出于一脉也。

（阙名：《游历笔记》）

① 雾露迷离：雾露浓重，一片模糊。

② 足资沁灌：足凭以滋润，灌溉农作物。资，凭借、依赖。

③ 桔槔（jié gāo结高）：一种原始的提水工具。用一横木支在木桩上，一端用绳挂一水桶，另一端系重物，使两端上下运动以汲水，也称“吊杆”。《庄子·天运》：“子独不见夫桔槔者乎？引之俯，舍之则仰。”

④ 耒耜（lěi Sì垒四）：上古时的翻土工具。最初的耒是一根尖头木棒，在近尖端处缚有一根供脚踩的短横木，操作时主要靠脚踩的力量，把尖端刺入土中，然后利用杠杆的作用，翻掘土壤。耒耜是由耒改进而来的，即在耒的尖端改装上单齿或双齿的平板，以提高掘土的效率。改装上去的部分称作耜。最初的耜是用石、骨或木制的，自从发明冶金技术以后，也用青铜或铁铸造。耒耜是我国最原始的翻土工具，后世也以“耒耜”作为各种耕地农具的总称。

290.开罗见闻

（埃及）京城周约三十里，垣墉高厚，城门之石俱雕镂花纹，城内街衢弯而狭，皆泥涂，无铺以石者，故人马往来，常见尘土飞扬。城中房屋高四、五层，造法甚奇，层层凹① 出，最上一层与对街上之楼近可牵手。其下层皆店面，甚狭小，方不过一丈，所卖货物率皆烟袋、鞋袜等项。大行大店皆所未有。国人首戴红色毡帽，尖其顶，上缀蓝缏一条以为饰，亦有以白布缠头者。俱身穿大袖长衣，足无袜，靸红色尖头皮履。发长面黄睛黑须少，薙头修面与中国人仿佛。其衣袖长过于手，见尊长则以手缩入袖中为礼。往来俱手携长烟袋。妇女亦穿长衣，自腰至足有

杀缝，亦有锦袱缠腰至背后缚结者，外罩短夹袄或用丝绸，或以金线绣作花纹者，大抵皆富贵家也。首以色绢包之，后拖数辫，辫梢缀金线宝石等类。最奇者，妇女出外必有一巾遮面，只露两目，防人看也。其巾长至脚，已嫁者用黑绸，未嫁者用白或各色之绸，另有狭长之纱罩于外面，袒胸赤足，亦有全身俱赤而只遮其面者。

（阙名：《游历笔记》）

① 凹：似为“凸”字之误。

291.方塔之游（二则）

（一）

次日，寓主人命人导余游古王冢，又名方塔①，离城约三十里。导者以双马车安置食物，于九点钟起程，经尼罗河，过一古王宫殿，极高大华美，乃埃及全盛时所建者。路甚高燥，两旁棕树不少，田内种有麦苗，清芬可爱，牛驼骡苗壮无比。时天气甚清，遥望三塔高耸矗立，不啻海上三山②。又过低平地，约一点钟，顷至一小山，弃车登山至塔前，俱有阶级可登，基阔顶锐。至大者高四十五丈，底方六十六亩，顶方一丈五尺。所用石块大者长三十丈，阔十五丈，厚四丈。深明算学之人以此塔之石长一丈厚一尺五寸者积算，以英国计之，可铺满三个英国，以法国计之，可铺满法国全地，即此可见此塔之石大而且多矣。考古者谓此为埃及第四朝古法王所建。王大有权势，曾役十万人，于十年内从亚喇伯、挨提阿伯等处运石至此，又加人工二十年，方成此大功。尝有欧、美二洲人登塔顶升旗饮宴为乐。土人暨阿拉伯人之贫苦者咸来求乞。余初登时，有亚喇伯二人来相扶，余恃有力，

一跃而登，升至三分之二，即足软筋疲，仍倚二人而至绝顶，旷观远景，与山顶无异，乃以四开洋二枚酬之，二人欣喜而去。后入一洞，至塔中，深三丈四尺，阔二丈七尺，内藏石板，旁立一碑，上镌人物花卉，皆隐字迹，现为英、法二国博士考出其中意义矣。相传昔有人欲于塔之北面凿通以观内景，人皆谓其决不能成，枉费开凿，乃事有凑巧，适中其本来之门，一凿即开，人皆谓为天缘所致。椭离不远，有石像一头，面作女形，身体系一狮子，自首至胸高六丈六尺，头之四周围约十丈，口阔二尺，鼻长四丈，前足高五丈，前爪下罩一小庙，不知其命意之所在。又有各种古棺，先以香料衅③其尸，又以麻布数百丈绕尸而漆之，再以厚纸三四层漆裹其外，嵌以珠宝，施以五彩，纳入或木或石之棺内。其棺雕镂精工，盖上刻人形。近有人于古墓中掘得香衅之尸，虽经数千年仍不坏，面犹可辨。

（阙名：《游历笔记》）

① 方塔：即金字塔。

② 不啻海上三山：无异于海上三座神山。《史记·秦始皇本纪》：“齐人徐市等上书，言海中有三神山，名曰蓬莱、方丈、瀛洲，仙人居之。”三山指此。不啻，无异于。

③ 衅（xìn信）：以香料熏身。

（二）

（同治丙寅三月）十一日庚午，晴。卯初，同众上四轮马车，极快，行十四、五里，至乃乐河岸。沿途房舍虽亦石砌，然较前所见则皆粗鄙，更有矮小之室如穴者。见女子头顶瓦罐在河边取水，又有以猪皮背者。又人赶母羊四、五只，手持木碗卖热牛乳。至此下车雇驴六头，一同登舟过河，中遇小岛，上面楼阁新丽，四围高迥，台榭穿廊，红紫盈眸，宛然岛中仙舍，询之乃埃及国王表弟之行宫也。抵彼岸，弃舟乘驴行二十余里，见晨光

熹微，树林阴翳，马鸣山上，牛卧水中，田间麦高三尺。复行六七里，则大片荒沙，人迹疏绝。后至一古埃及人建之王陵，其陵三尖形，宽一百八十丈，高四十八丈，皆巨石叠起，相传乃前三千数百年建造，天下第一大工也。其次则属中国之万里长城矣。其正面一洞通入内，上有埃及文一篇，字皆象形，又如鸟篆。彝偕德善与法民司朴纳二人从洞口而进，黑暗已极，乃有土人九名秉烛扶持。入门有陡路极窄，左右上下皆大石长二丈者，横竖叠叠，一步一滑，并无正路，上下有须曲其身而跳跃穿行者，后则蹲行，再则足爬，手攀援石之楞而上，险甚。其路径曲湾，行则去前失后，退后迷前，幸有土人搀扶引导，绕行时许，至阔处宽约丈半之地。内一石棺无盖，形如马槽，击之铿然，放于壁角。看毕，又绕几处，皆费力之极，在内约三时许，出则一身冷汗矣。并邀上陵顶一观，恐力不济，乃辞。又土人有持绿瓷小人，碧锈铜钱出卖，言皆自此陵下掘出者。王陵大小共三座，又有大石人头一个，高约四丈，宽三丈许，耳目清分，或云乃古时蚩尤① 之头在此化为石矣。语殊妄诞。又有大石沟极深。土人云，乃古时太阳庙。盖此国民皆礼拜三光② 之回人也。

（张德彝：《航海述奇》）

① 蚩（Chī吃）尤：相传是黄帝时的诸侯，跋扈不驯，暴虐天下，黄帝征集诸侯军队讨伐他，战于涿鹿，把他杀掉。

② 三光：指日、月、星。《白虎通·封公侯》：“天有三光，日、月、星。”

③ 作者简介已见前。同治乙丑年（1865年）冬十二月，清政府派斌椿等前往欧洲游历，察访风俗。张德彝以八品官六品顶戴随同前往。《航海述奇》即记此行的所见所闻。

292.埃　及　人

二十二日未刻，泊波塞，此地为阿非利加海滨沙漠，属埃及，本无居人。自新开河成，舟楫停泊，添载煤炭，遂为要津。

百货云屯，贸易渐盛。因偕安（德生）① 驾小舟往游市廛。埃人面秀发黑，无异华人。回俗闲② 妇女甚严，出门则黑帕笼首，以衣领当鼻，以藤纽合之著于鼻端，仅露两眸。即乞丐亦然。时见负膨脝羊革③ 而过者，则运水器也。

（潘飞声：《天外归槎录》）

① 安（德生）：瑞典国人。作者于七月十六日在路途所遇，“言亦附历嘉船往粤东医院”，“能粤语”。（《天外归槎录》）

② 闲：限制、约束。

③ 膨脝羊革：膨涨的羊皮袋。膨脝，腹部膨大的样子。

293.苏尔士①见闻

（光绪二年十一月）二十一日卯刻，行五百一十三里，抵苏尔士湾口。地为亚细亚、阿非利加两洲一线相连处，广约三百里，介红海、地中海之间。同治三年② ，法人赖赛朴以机器开河，通舟楫，广六丈，深不逾三丈，凡七年始成，费至七、八千万。各国商人醵金③ 为之，以地属埃及，蠲与④ 三分之一。往来征船税，按成分收其利。同治十三年，埃及以千二百万金鬻之英人，于是英人合官民所出公费，约得全股之半。适有轮车赴苏尔士，为埃及一市镇，距湾口八里，偕刘云生、黎蒓斋、刘伯和、张听帆、德在初、凤夔九⑤ 一往试之。至苏尔士洋行小坐，行主特尔勒亦英人也。洋楼及民居多土筑，屋皆平顶，远不逮⑥ 西洋各口埔头之繁盛也。……左近立一石人，高丈许，云二百年前法人名瓦琛者始通两海相距之远，立石以记之也。红海以两岸皆红土为名，夕阳返照，见山石红紫辉映如胭脂图画，亦一奇景也。

（郭嵩焘：《使西纪程》）

① 苏尔士：今译作苏伊士。

② 同治三年：即公元1864年。

③ 醵（jù句）金：集资、凑钱。

④ 蠲（juān捐）与：给与。蠲，通“捐”，减免的意思，这里是免收埃及的钱，而给与它三分之一的所有权。

⑤ 刘云生、黎莼斋、刘伯和、张听帆、德在初、凤夔九：这些人是随同公使出使的人员。刘云生为副使；黎莼斋为参赞；刘伯和为随员；张听帆、德在初、凤夔九等为翻译官。

⑥ 不逮：不及。

294。苏尔士运河的修建

咸丰六年①，法人里息勃斯创议开凿，使地中海商船得以直达红海，商之埃及总督阿斯巴尼拉，埃督韪之②，督固于里君友善也。于是，里君回法集资，每股五百个法蓝（每法蓝合洋钱二角）。一面相度丈量，先建机器取水，法埋铁筒地下，接他处淡水，备工人饮食。已得始事要领，遂于八年兴工。用绝大浚机③六，七十具，事畚挶者④，日常二、三万人。复患沙易流合，就他处取黄泥、蚌壳类，于两岸填压之。国治七年⑤十月告成，历十一年之久，费十万万两之巨，成河长二百八十七里，宽一百九十二尺，深二十六尺。法主以里息勃斯功伟，特锡男爵。过河之船，度船身大小，每容货一吨，取钞十个法蓝，船客每人亦十个法蓝。船行其中，不宣速驶，或左或右，或行或止，必照运河公司规制，无不欣然听从。

初，法人兴此大役，天下纷纷，不一其议⑥。有料其必成者，有疑其或可成者。惟英国则直决其万无成理，以其地浩浩皆沙，非土石之尚易从事，必随开随合，而不谓里君已筹及之。英于泰西诸大事多争先以倡，不甘居人后，独于此事不预闻，坐失东西要道之权，此英之失计也。光绪元年⑦，英太子东临印度，经此河，埃督欲要结英，以股分四百寿⑧太子，太子酬以金，自是运河英得而预⑨焉。

（李圭：《环游地球新录》）

① 咸丰六年：即公元1856年。
② 韪（Wěi伟）之：肯定它、赞成它。
③ 浚机：疏浚的机器。
④ 事畚挶者：从事盛土抬土的人。
⑤ 同治七年：即公元1868年。
⑥ 不一其议：议论纷纷，意见不统一。
⑦ 光绪元年：即公元1875年。
⑧ 寿：赠送。向人进酒或以财物赠人都曰“寿”。
⑨ 预：参与。

295.埃及回民之丧葬习俗

土人棺木系一长匣。穷人持服，只以白布缠头。其坟茔① 亦与中土回民同。

见邻铺有出殡者，前举一十字、二玻璃灯，后有三神甫诵经。棺不着盖，四人以手提环。亡人着新服，以白布交缚其手，口含白棉，系奉天主教者也。……

闻埃及回民之棺匣，多系檀梨之木，甚为坚固。葬时倾亡人于坎② 内，覆之以土，将棺带回，以备他人再用。为双亲持服一年，亦白色。

（张德彝：《三述奇》③）

① 坟茔：坟墓。
② 坎：墓穴。
③ 作者简介已见前。同治九年十二月初五（1871年1月24日），张德彝以兵部候补员外郎的职衔充当清廷派往法国特使崇厚的英文翻译，启程往法国。这是他第四次到法国去。从1月24日至12月10日，呆了差不多整整一年，从头到尾亲见亲闻巴黎公社事件的整个过程，以一个目击者的身份写下了这本《三述奇》。这里摘录的是他路经埃及的见闻。

三、欧　洲

296.英都伦敦（二则）

（一）

（光绪二年十二月）伦敦街道两旁，白石平垫，通男女往来。中则沙土碎石筑成，车马所经也。道之广者可七、八车并驰，狭者亦可四、五车，皆洁净，无稍垢秽。民居、官署规模不甚悬异，结构类皆四层，并入地者计之则五。白石为墙、为柱，铸铁为护栅，为栏杆，环于门外。其内糊壁以花锦，铺地以细毡，嵌窗以玻璃数尺，亦铁栅护之。估肆则临街大玻璃橱，货物咸鉴澈于外。惟耶稣堂、银行、客店、信局、电报局、施医院，制度独崇閎①。每游骋道上观之，左右房舍峻整华洁，数百街如一式。问其房价，动须数十万金钱，可以知其地之富足矣。数街辄有广囿②之区，荫以杂树，有池沼而无亭台楼榭，沿路安长铁几，以便游者憩息。地由国主建置，百姓男女均往焉。盖以其人所居皆层楼叠阁，无呼吸通天处，虑以气郁生疾疫，故特辟此囿，俾民闲暇，散步舒怀以畅其气，重育民也。每夜九点钟前，市肆犹烘闹，男女络绎途间，路灯皆煤气为之。

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 制度独崇闳：（建筑）规模特别高大宏伟。

② 广囿：宽广的园圃。

④ 刘锡鸿，清末广东番禺人。字云生。咸丰年间任刑部员外郎。同治年间极力反对仿造外洋船炮，训练新式军队，发展工商业。光绪二年（1876年）任驻英副使，与正使、洋务派官员郭嵩焘思想分歧，遇事攻讦。光绪三年被召回国。《英轺私记》（又名《英轺日记》）是他出使英国时的日记。

（二）

伦敦无城，其巩若城阙者，火车所经之桥梁也。民居稠密，不可以行火车。爰以巨石为飞桥于万家烟户之颠，架以铁板，垫以沙土，俾往来焉。卧百尺楼，时闻其上雷轰隐隐不断，则火车过也。乘车眺望，遥见其下，行人如织，街市闾巷，渺若重渊，几疑其穴地为之，而不知身在桥上也。又或高凌宝塔之尖，俯拾帆樯之顶。初至其地，骇心惊目，无非异观。闻人言，南至海口，北至苏葛兰①，铁路共数十道，每行百里，人纳车价仅一息零②，较之未有火车时省费数倍。……马车式亦不一，有单马车、双马车，以木夹漆布两重为车屋，可敞可蔽，寻常出游以之。有四马车，则富人以之行数十里内者。又有街道车，形如画舫而卑其轮，两马驾之，上下两层，可坐数十人。每人附载三里，仅给价一边士③。其高轮采画大车亦然。余尝问不立城郭之故于英人，据云：前百余年，固有之。自火炮盛行，城不足自卫，闭关以守，伤人愈多，故毁去。今增固海口炮台，御敌可较得力。即不幸被敌闯进，犹可出兵各路以驱逐之。外洋之无城郭，正不独英。

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 苏葛兰：苏格兰。
② 息零：即先令。
④ 边士：亦译作便士。先令、便士，俱为英国钱币。

297.雾 伦 敦（二则）

（一）

（光绪十六年十月）初六日记。伦敦惟四月至八月天气较为

清朗，九月以后直至三月，几于无日不阴，无日不雾；虽有时天气稍晴而日为烟雾所遮，但见红轮① 晃漾，其光不甚明亮。盖英伦三岛，四面皆海，本多白雾，而伦敦五百万户之煤烟又为雾所掩，不能冲霄直上，聚为黄雾。往往白昼晦冥，室中皆燃灯火，方能观书写字。冬春尤甚，每五日中，必有两三日昼晦② 者。盖天气稍冷，则人皆拥炉，又多五百余万人终日夜焚煤之烟，非特灶突之烟③ 也。大抵伦敦为地球第一繁盛之区，洋房几无隙地，又多三层、四层之楼，平房之下尚有地室，已不啻④ 五、六层矣，是不啻以一伦敦化为三四伦敦也。所以英之官绅，每至夏冬必移居乡间一两月，名为避暑避寒，实则欲换吸新气，谓可却病⑤ 养身。盖煤炭薰灼之气，与人身脏腑之浊气，惟伦敦为最盛也。此人烟过于稠密之患也。

（薛福成：《出使四国日记》⑥）

① 红轮：红色的太阳。

② 昼晦：白日昏暗。

③ 非特灶突之烟：不仅仅是炉灶烟囱上的烟。特，仅仅。

④ 下啻（Chì赤）：不止，不仅。

⑤ 却病：除病，去病。

⑥ 薛福成（1838—1894）清末江苏无锡人。字叔耘，号庸庵。是由洋务派中分化出来的改良主义政治家。他称赞西方的君主立宪制度“无君主、民主偏重之弊，最为酌酌得中。”主张效法西方国家，发展中国的工商业。主张私人集股成立公司，不赞成洋务派对新式工业的垄断政策。光绪十五年（1889年）出任驻英、法、义（意）、比四国公使。自出国之日起，即按清政府“使臣必须写日记定期寄回”的规定，写成这本《出使四国日记》。全称《出使英法义比四国日记》。薛福成是以超乎办例行公事的认真态度写这部日记的，通过它来宣传中国必须开放以了解外国、学习外国、对付外国，努力谋求自立自强之道的主张。

（二）

（光绪二年十二月）十二日，戊戌。早，大雾沈沈，内藏气薰蒸。按《博物志》① 内载：冒雾行三人，一人无恙，一人病，一人死。无恙者饮酒，病者食，死者空腹焉。凡冒雾出行，必先

饮数杯，酒气上蒸以敌雾气，理或然也② 。以告同人，咸以为是。未正雾散，细雨。威公使③ 携其夫人来拜。近日风劲天寒，四围烟瘴④，空林荒草，始觉冷气逼人。

（张德彝：《随使日记》⑤）

① 《博物志》：书名，共十卷，旧题晋代张华撰。
② 理或然也：所讲的道理，或许是对的。
③ 威公使：即当时英国驻华公使威妥玛。
④ 烟瘴：有害的气体如烟般弥漫。
⑤ 作者生平见前。《随使日记》是作者于光绪二年（1876年）任三等翻译官，随同郭嵩焘、刘锡鸿使团前往英国时所记。

298.英都烟火

（光绪三年四月）十二日，丁酉，晴。是日原拟公请二星使① 与李观察、日意格、罗缉臣三君② 晚酌③，适值英人佛培之邀，往水晶宫看烟火，遂于申初同往。入内四面游览，见穹窿广厦，修饰倍丽于前。作乐唱歌，蓄鱼养花，悬油画，列百货，殊觉可观。入饭厅食毕，登正楼，下视游人，往来如蚁。亥初，开放烟火，见起火五彩光焰熊熊，与前三次所看者同。惟气球然于地上，徐升半空，散成数十火星，光芒甚巨。水池施放火蛇，飞腾数千，互相往还。左右水池亭后，然五色灯花，水泉滚起，如百道飞瀑与火焰相间。又为其君主像，眉目口鼻，冠缝衣褶，皆以火烟现之。末为文恣宫，万户千门，规模巍焕。遥见火光中，层阶环槛，大木扶疏④，青碧之色，葱蒨⑤ 若活，真奇观也。法以铁条，外挂硫黄火药，如京师⑥ 上元⑦ 所放花盒，惟不能如此之精巧耳。

（张德彝：《随使日记》）

① 二星使：指光绪元年（出国在光绪二年）派驻英国的外交使臣郭嵩焘、刘锡鸿二人。星使，皇帝的使者。

② 李观蔡、日意格、罗缉臣三君：张德彝在本书中有云：“四月初一日 丙戌，雨。前于二十八日，有管带学习水师监督候选道李丹崖（凤苞），及法郎西人提督衔日意格，英文翻译官罗丰禄（辑臣），由福建船政局携带官生 三十二人到伦敦。是日未正一刻来拜。”这句中所说的三君即此三人。

③ 晚酌：吃晚餐。

④ 扶疏：枝叶茂盛分披的样子。

⑤ 葱蒨：翠绿鲜明。

⑥ 京师：京城。

⑦ 上元：正月十五为上元节。旧俗正月十五日夜，京城大放花灯，合城仕女出游观看，十分热闹。（见《东京梦华录》）

299.白 金 汉 宫

（光绪三年正月）廿五日未刻赴焉。入其堂，凡六、七所，以及客寝，以及君主燕见亲臣之处、用膳之处，公主居息之处。惟国主寝室不可入。客寝者，俄罗斯、土耳其国王畴昔亲聘① ，曾此信宿② ，距君寝咫尺耳。其堂室皆以花锦缎为壁衣，有红、绿、黄、蓝四色。几榻铺垫，各与壁色称③ 。藉地④ 以杂采花毯，亦各异色。壁间悬玻璃镂金格子洋画，或方或长，以多为贵，皆绘其今昔君臣、列国主状貌，与莅军行乐之事。前庭一图，维多利亚(英国主名)裸体而卧。玻璃明镜，高辄丈余，亦镂金为格。屋顶凿花飞金，悬大小各式玻璃灯。几榻皆饰金，有全体象牙镂花者十数具。煤炉亦饰金。其陈设多花瓷瓶缸罂缶，辄金其口，镂金为座。游廊夹道，皆遍间以古铜、瓷器。有象牙船三，如吴粤⑤ 花船，雕刻人物，篙桨毕具。有九层宝塔数座，高盈丈，嵌空玲珑，或铜、或象牙为之。有杂宝攒成花卉，罩以玻璃。有白石琢成裸女子形，全体胥露⑥ ，卧立不一，在于众目交集之地（各处宫观及富室大家，多以白石琢为裸女子，立于前庭，街道旁间亦有之，想由国主为之倡也）。其余器具几案，为玉为石，不能尽名。置身其间，惟觉金光灿烂，极人间之奢丽而已。游览毕，又

令马厩长挪敦导观其马厩銮舆所。马八匹为一厩，皆骏良膘壮，毛色红、黄、黑、白，区之以类，鞍镫羁络亦异色，红黄者饰以金，黑白者饰以银，无相混也。銮舆高大，如中国制，轮盖支柱，皆金为之。前后各有金身海神二，鳞甲执械，若护卫者。然即位四十年，未尝一驾。其驾以嘉会者，一高轮车，盖上以金为脐，属以四爪持其四角。余八辆皆寻常官车，惟略高耳。

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 畴昔亲聘：过去亲自聘问。
① 信宿：连住两夜。再宿曰“信”。
③ 称：相配。这句是说，桌椅上的垫套与墙壁绫糊的锦缎颜色相配。
④ 藉地：铺地。藉，以物衬垫。
⑤ 吴粤：江苏、广东的简称。
⑥ 胥露：全部显露。

300.伦敦水晶宫（三则）

（一）

（同治五年四月）二十一日，晴。往都南二十五里各里思答尔巴累恩（译言水晶宫也）。山上地势甚高，建大厦，高二里，广三里。南北各一塔。北十一级，高四十丈，皆玻璃为之，远望一片晶莹。其中造各国屋宇人物、鸟兽，皆肖其国之象。司宫者启关，导予遍观，且备小车以代步。表里洞明，凭栏远眺，能见六十里之外。旋邀至客座，小楼三层，精采可人，穿廊咸罩玻璃。绕廊紫藤盛开，红药、杜鹃，皆大于中土。间以杂色花草，绿茵铺地，璀璨① 可观。夫人备茶酒，出画册与观，款洽② 甚殷。

（斌椿：《乘槎笔记》）

① 璀璨：光辉灿烂。
② 款洽：亲密、亲切。

（二）

玻璃巨室，土人亦呼为水晶宫，在伦敦之南二十有五里，乘轮车顷刻可至。地势高峻，望之巍然若冈阜。广厦崇旃①，建于其上，逶迤联属，雾阁云窗，缥缈天外。南北各峙一塔，高矗霄汉。北塔凡十一级，高四十丈，砖瓦榱角②，窗牖栏槛，悉玻璃也；日光注射，一片精莹。其中台观亭榭，园囿池沼，花卉草木，鸟兽禽虫，无不毕备。四周隙地数百亩，设肆鬻物者麇集，酒楼茗寮，随意所诣。有一乐院，其大可容数千人，弹琴唱歌，诸乐毕奏，几于响遏云而声裂帛③。有一处，鱼龙曼衍，百戏并作，凡一切缘绳击撞，吞刀吐火，舞盘穿梯，搬演变化，光怪陆离，奇幻不测，能令观者目眩神迷。宫之中央，有一观剧所最大，所演多英国古时事。战阵亦用甲胄刀矛，贵官出巡亦坐舆轿，仪从仿佛中华。最奇者，室宇可以霎时变易。洵如空中楼阁，弹指即现。有一女子，年仅十五、六，短衣蔽膝，下缀金穗，上皆钻石，宝光璀璨，不可逼视。容色艳丽，一笑倾城，长于跳舞，应节合度，进退疾徐，无不有法。有一楼，多设奇珍之物，火齐木难④，翡翠珊瑚，悉充牣⑤焉。又储各国宝器，罩以玻璃。楼下有狮虎，共争一羊，狮腹破而虎亦殒。楼梯旁有一印度女子，向西而立，手执连环，姿态绝美。云系古时王妃，聪慧异常，以非命死。有一石筑方室，高与楼齐，乃澳大利亚积年所掘之金已有此数。有一处，悉造各国宫室，人物禽兽，皆肖其国之象。登其楼，目及数十里外。宫内游人虽众，无喧嚣杂遝⑥之形。入者畀银钱二。余游览四日，尚未能遍。

（王韬：《漫游随录》）

① 崇旃（zhān詹）：高高地竖着赤红的旗子。旃，赤色的曲柄旗。

② 榱（cuī催）角：屋椽，屋檐。

③ 响遏云而声裂帛：乐声阻遏行云，震裂布帛。形容乐声的美和响亮。

④ 火齐木难：火齐，宝石名。左思《吴都赋》有“火齐之宝”句。刘逵引《异物志》中“火齐如云母，重沓而可开，色黄赤似金”加以说明。木难，宝珠名。曹植《美女篇》有：“明珠交玉体，珊瑚间木难”句。

⑤ 牣（rèn认），满。

⑥ 杂遝：众多杂乱的样子。

（三）

（光绪七年）七月初一日，午刻，同乘火车至南乡水晶宫。宫为三十年前，英主设赛珍会之所。高数十丈，阔如之，长几百丈，尽以玻璃嵌铁框中为之。其中分设厅事，陈百物无所不备。两边厢楼上陈设，则羊毛、绒绵为最多，绒毯有值百余金一条者。中国股厅中设有书画、玉器、雕刻、冠服，并有衙牌、告条等件。洋人好奇而贵远方之物，雅俗无从辨也。宫内有乐台，有花圃，有埃及国塑像，有纺织全机，有池有亭，无不覆载于玻璃之中。下一层入地则有水族院。虾长尺余，鱼圆如盖，奇奇怪怪，不一而足。宫之外则有马戏园，有抛球场，有高塔二，直矗云霄。有大池数处可泛舟，喷水之池则长数十丈。西向，小山滴翠，大树成阴，百忙中遇此清景，似出意外。欧洲各国，如万牲院、博物院、水族院、画院，以及百工技艺，各设专院，无不大同而小异。唯英国之水晶宫，足称大观。但年分已久，未免稍欠修理耳。

（钱德培：《欧游随笔》）

301.避暑胜地——杜拉

杜拉在苏格兰之北境，其地万山环合，苍翠万状，冈阜蜿蜒，树木丛茂，于夏为尤宜。时当中国五月下旬，节逾小暑，而

气候清和，犹如首夏，早晚尚可著棉衣。地距北极三十度许，每至春杪① 夏中，彻夜光明，为日舒长，正若小年② 。去杜拉十二里许有囿曰“伦伯灵”，名胜所也。译以华言为“行雷桥”，谓桥下泉声之喧，有若雷耳。境既幽邃，候亦凉爽。每至夏日，都人士女，命俦挈侣，联袂往游，藉以逭炎暑③ 而消长日。囿旁客舍数椽，可供游人小憩，或呼酒肴，咄嗟立办。是囿广袤百顷，就山麓为之，径路曲折高下，幽奇可喜；虽稍加人工，而无不出自天然。一涧潋洄④ ，千峰合沓⑤ ，偶入其中，爽气扑人，尘念俱绝。有飞瀑数处，从高注下，铿訇⑥ 盈耳。顾声喧境静，仰观俯听，其趣颇永⑦ 。沿涧傍山而行，约计十数里，行尽处，境忽洼下，汇作一潭以承水。水从石窍中怒喷而出，遥望之作白练一匹，惜不甚长耳。水注潭中，跳珠喷雪，声轰晴雷，土人谓之“大镂”，以水声若沸也。两旁巨石嶙峋；潭底石齿巉露。须下践潭石，面壁正观，乃尽其妙。盖此山之奇，固以飞瀑著名也。

（王韬：《漫游随录》）

① 春杪（miǎo秒）：春末。杪，树木的末梢，引申为年月、季节的末尾。
② 小年：旧俗以阴历十二月二十四日为小年。
③ 逭炎暑：逃避炎热的暑天。逭（huàn换），逃，避。
④ 一涧潋洄：一条涧水环绕。潋洄，水回旋的状态。
⑤ 千峰合沓：千座峰峦重迭拥聚。
⑥ 铿訇（kēng hōng坑轰）：象声词，形容钟鼓并作的声音。
⑦ 永：深长。

302. 苏格兰古王宫

埃丁濮① 向为苏格兰国京师，二百年前始并于英，今人犹呼曰：“此苏国王城也。”城中有前王宫殿，相传已三百余年。楼宇三层，崇閎巍焕② 。内皇后寝宫六所，床榻帷褥，陈设俱备，镜槛香奁，芳泽犹在。墙壁皆幕以锦绣，上织人物花草，刻画如

生。有一宫为古恶王杀死王后之处，板上尚留血迹人影，濯之愈明；司启闭者以手拭之，隐隐若见，不觉毛发尽戴。宫中尚有王后手刺绣纹，贮以琉璃宝匣，制极工巧。观其象，端淑秀丽，亦一慧心女子也。乃遘暗君③，竟至废戮。怨甚长门④，冤深钩弋⑤，惜哉！最下一殿，中绘苏国列王像。自创国以至见并英伦之代，共一百三十六王。内女王二，其一年齿甚少，妍丽罕俦，名曰媚李，闻多秽行，为国史所不齿。苏国之并入于英，非以征伐，乃以揖让。其时英王薨后无嗣，遂以苏王入继大统，自此议勿别立苏王，而苏英遂合为一国。故至今苏格兰人皆自称为苏国，示别于英人也。

（王韬：《漫游随录》）

① 埃丁濮：现译爱丁堡。

② 崇闳巍焕：高大壮伟而又华美鲜明。

③ 遘暗君：遇上昏愚的国君。

④ 怨甚长门：哀怨比被贬长门宫的陈皇后更甚。长门，汉宫名。汉武帝的陈皇后失宠，贬居长门宫，请司马相如作《长门赋》，希望重获宠幸。

⑤ 冤深钩弋：所受的冤屈比汉武帝时的钩弋夫人更深。钩戈，汉宫名。汉武帝夫人赵婕妤居钩弋宫，亦称钩弋夫人，后无罪赐死。

303.百利替司博物院

百利替施博物院（英称其本国为百利替施，即英、苏、爱三岛合而为一之总名），屋以白石建，规模宏钜，土木之费五百万圆。内有大室十余处，皆三千年前古物，自埃及、犹太、希腊等国地内挖得者。有古时偶象多座，衣饰诡异，云已四千年矣。又有希腊古宫前壮士、神女骑马石像，高可一丈四尺，一石所成，镂刻精细。古棺数具，或石或铜，棺面凿卧像，即死者像也。石紫黑色，极坚致，扣之作磬声，亦整石所成。铜棺则铸就，非铜板凑合者。有木偶，或人身马足，或马首人身，可十余具，不一其

形。古砚与华式略同。希腊古铜镜，大小数十柄，背有文，近似蝌斗，亦有若鸟兽形。尝疑为中土① 物，而实得自希腊者。巴比伦国（其地今属土耳其国），树叶书若钟鼎文。又一楼，有三千余年古尸十余具，各卧棺上。西友为言；古时候，埃及人死，将尸置日下晒，稍热，涂以香油，后用布裹扎极紧，图死者面貌，再用布二三百丈裹之，入棺埋葬，可历久不坏，而其法今不得闻矣。此悉从埃及得来，外裹之布已去，而仅存内裹一层者。旁置数十柜，皆牛羊猫犬鱼鸟之类，亦用前法包扎，盖殉葬物也。船只、刀矛、斧凿，式与中华同。又见古剑，柄为碧玉，上有古篆二字，锈蚀不可辨。又发塔一座，式若胡卢② ，高九寸，上刻篆书六字，中以黄缎包发一盘，塔重八十二两八钱，五成金制，皆我中华物。院正中为书库，藏各国古今书七十万册，中华书约万册。旁有圆楼，径可十五丈，坐三、四百人。国中士子及他国游学之士领有凭照③ 者，得进内观览。屋建以铁石，无寸木，防火患也。又有大室二间，一为各类兽皮，一为鸟皮，皆用他物满塞腹内，缝制如生，举天下各国鸟兽无不备。有鸟小于孔雀，文彩灿然，若吾华所绘凤鸟，西国名“都都”。谓六百年前尚有之，今无此鸟矣。询何以知其无，曰：“考究其骨今无同者，故知其无也。”

（李圭：《环游地球新录》）

① 中土：指中国。
② 胡卢：指葫芦。
③ 凭照：指阅览证。

304.根性登博物院

根性登博物院，各国器用服饰，无所不有，猫眼宝石，大若

鸽卵，古今君主冠服刀剑，罗列十数柜，宝器古玩数十柜。有道光年间觉生寺所制铜磬及金玉钏钗环簪珥、景泰炉瓶、雕木器，皆得自中国者。古铜大佛像，瓷铜各件，赁① 自日本者。有瓦瓶高三尺许，三千年之物，得自埃及国地下者。中悬大幅，绘各国高塔，其中最高者为义大利国② 罗马城教堂之塔，可五百五十尺。江宁③ 已毁之长干塔亦在列，高二百十尺。百年前，英法各国男子，多用假发结辫垂肩际，外衣亦甚长，近似华式。

（李圭：《环游地球新录》）

① 赁（Yèn任）：租。
② 义大利：即意大利。
③ 江宁：即南京。

305.伦敦的天士河①

天士河一名颠迷士河，伦敦之胜景也。河亘穿城垣而过，清流映带，屈曲绵长。两岸则绿树参天，芳草匝地。间有楼阁，皆富商巨绅纳凉息静之所。溯流而上，建闸重重。船之踰闸也，必集待数十然后启。令丛聚于槽，俟下流之闸既闭，乃启上流之闸，节节如是，其制极精。测其水势之高下，相距几及一丈，设无此重叠障水之法，则其流必时虞② 涸竭矣。虽嬉戏之务，其不吝工费也如此。河中游艇极多，往来如织。男女杂遝③，三五成群，率皆手自打桨，鸣桡④ 乎中流，容与荡漾，致足乐也。沿流垂钓者有人，团饮者有人。舟中人亦皆停桡登岸，择绿草如茵处，席地欢饮。履舄⑤ 交错，杯盘狼藉，亦既醉饱，则又乘兴鼓櫂争先，随波上下，以相取乐。间有泛小火轮舟游乎其中者，舟内肴核具备，团团聚饮，水色山光，都归眼底，更形畅适。所犹悦目者，妇女辈亦解操舟⑥，翠袖红裙，放浪于青溪绿水间，较之中土秦

淮⑦、虎邱⑧、西子湖⑨、平山堂⑩，别又一般乐趣。

（袁祖志：《涉洋管见》⑪）

① 天士河：泰晤士河。

② 虞：担忧。

③ 杂遝（tà沓）：纷纭集合。

④ 鸣桡：划船。桡，船桨。摇动船桨，便发出声音，所以说鸣桡。

⑤ 履舄（xì细）：鞋子。

⑥ 操舟：驾船。

⑦ 秦淮：水名。流经金陵（今南京市）城中，旧时为著名的游览胜地。杜牧《泊秦淮》：“烟笼寒水月笼沙，夜泊秦淮近酒家。”写的就是秦淮河。

⑧ 虎邱：山名。在江苏省苏州市。泉石奇美，上有佛寺，登上山顶，全城历历在目。相传吴王阖闾死后葬在这里，三日有虎踞其上，因而得名。是苏州名胜之一。

⑨ 西子湖：即杭州西湖。

⑩ 平山堂：在江苏省扬州市西北瘦西湖北面蜀岗上。宋朝庆历八年，为郡守欧阳修所建。因登堂可见江南诸山，故名平山堂。

⑪ 袁祖志（1827—光绪年间）字翔甫，清末浙江钱塘（今杭州市）人，著名文人袁枚之孙。光绪初年曾出访欧美。《涉洋管见》即记出洋时所见。

306.宫廷宴会

（同治五年四月）二十三日，早起，掌宫官以名帖称奉君主命，请赴宴舞宫会宴。亥初二刻，委员暨翻译官皆赶备礼服佩刀，至晚始备。届时，同赴宫门外。下车，将士百余人执戈排队，皆衣赤。门内将弁持戟按队，鹄立不动，每门皆四人。入门左转，过长巷，四、五折，间段炽炉火。阶用文石①，咸铺氍毹②，两旁遍植鲜花，芳菲满砌。灯火照耀，无纤毫幽暗处也。上阶百余级，命妇③入朝者踵相接。闻每月两次，朝君主礼也。予随导者数转，始至宴舞宫。殿宇之大，纵五、六丈，广十余丈，高亦过五丈。屋角及四面悬灯，罩以玻璃，计八千五、六百盏。近数年，君主多不见客。遇他国往来典礼，命太子及妃代。是日入宫者，公侯大臣四百余人，命妇八百余人。太子与妃南面坐。两旁

设堂三层，各官坐立皆听。坐予④与随来员弁于对面。乐人于楼上奏乐，音节铿锵。男妇跳舞十余次。武职衣红，文职衣黑，皆饰以金绣。妇人衣红绿杂色，袒肩臂及胸。珠宝钻石，项下累累成串，五色璀璨，光彩夺目。迨子刻，太子及妃起赴别所，众皆旁立。旋有宫官称太子请见。随之往，太子及妃皆立，问："伦敦景象较中华如何？惜距中华太远，往来不易，此行尚安妥否？昨游行宫，所见景物佳否？"予一一应答，且云："中华使臣从未有至外国者，此次奉命游历，始知海外有此胜境。"皆含笑让。旋赴宴，酒肴多品，膳宰皆衣金绣，持盏授餐。几疑此身在天上瑶池⑤，所与接谈者皆金甲天神、蕊珠仙子⑥，非复人间世矣。

（斌椿：《乘槎笔记》）

① 文石：有文理的石块。
② 氈毹：地毯。
③ 命妇：受有封号的妇女。
④ 坐予：安排我坐在……。
⑤ 瑶池：相传为西王母所居住的仙境。
⑥ 金甲天神、蕊珠仙子：我国旧小说中的天将和仙女。

307.茶会与跳舞会

茶会、跳舞会之盛，每年由三月至六月中旬止。此俗由来最古，欧罗巴、阿美里加二洲各国率皆为之。凡人家店肆，平时大厅敞房以备盛会，若以为公事之不可无也。西人性好奢华，凡富贵喜交结者，皆乐为之。一人子女，待其长成，虽无力，亦必勉强支应，设会结交，以便子女得友相与往来。则男可访女，女可觅男，嫁娶咸赖于此。因男女细心访察，各得所愿，则意洽情投，鲜① 有作秋扇之歌② 者。每会所费，少者百余磅，多者至

六、七百磅，合银二千四、五百两。

（张德彝：《使英杂记》）

① 鲜：少。

② 秋扇之歌：被捐弃的哀唱。汉朝班婕妤的《怨歌行》写道：“新裂齐纨素，皎洁如霜雪。裁为合欢扇，团团似明月。出入君怀袖，殷勤微风发。常恐秋节至，凉风夺炎热。捐弃箧笥中，恩情中道绝。”扇子到了凉秋，便没有用处，被搁置一旁。故用来比喻妇女年老色衰而见弃。

308.英人的姓氏

英人于二千年前皆群聚密林，跣足披发，卧草被革，茹毛饮血，树汁漆身，游猎于野。至汉宣帝甘露年间①，英南界始为罗马所有，继而日耳曼、法朗西、和兰人渐多流居其地，故今英人语言相貌多与此四国者同。旋振兴自立，始为一国。当时人民姓氏固有罗、日、法三国之遗种。而土人尚无者，多乃有因地名为姓者，如林、河、城、镇；有以颜色器皿为姓者，如青、红、黑、白，蜡烛、碗盘；有以物件禽兽为姓者，如营、铃、鱼、狐；更有以本人所作之工为姓者，如铁匠、裁缝、庖丁、木匠等，以后渐渐被化为姓氏。有经官赐者，凡有功于国，多因其事为姓。闻其古时兵将皆著铁盔，铁甲缠身，不露面。书画其姓于铁牌面上，以便人识。中有善骑者，王喜，赐姓马，则其人画马首于牌面。如数百年前，国王出猎，遭野猪之危。正畏惧间，一勇士急以衣带裹左肘迎猪，使啮，右手以剑刺死，王得免。乃赐其姓为野猪，遂画猪首于牌面。后世子孙追远，皆欲画一猪首于门首、车房，印于信纸，刻于指环，以及烧于瓷与玻璃器皿之上，以铭其宗祖之功。夸以为荣，至今尤甚。因而国家收税，每年送纸单于各户，问其前代曾否有功于国，将铭诸物否？其有而不愿书者，隐而不对。愿则照单注明，铭诸何物。每年按件官收一、二、

三磅，竟有共纳税数十磅者。有私刻画于物上者，被官查出，罚金加倍。

（张德彝：《使英杂记》②）

① 汉宣帝甘露年间：即公元前53年至公元前50年。甘露，是汉宣帝的年号。

② 作者生平见前。《使英杂记》作于光绪二年（1876年），作者随使英国期间。记述英国的政治制度、宗教信仰、邮电交通、风俗习惯、文化娱乐以以殖民地等情况。

309.女皇庆生辰

（光绪三年四月）廿一日，即西历六月初二日，维多理亚①庆生辰。伊国无朝贺之典，惟伦敦数百街中，结彩悬灯，花气芬馥，男女往来如织，歌乐之声阗然②。余病甫愈，未能往观也。闻夹道皆卖香水者，少女辄袖之以游。青年子弟为所属意，则以香水溅之。

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 维多理亚：英国女王的名字。

② 阗（tián田）然：充盈。阗，满、盛。

310.伦敦的礼拜堂

伦敦礼拜堂林立，新旧大小凡七百三十所，而以圣保罗会堂为最巨。此堂落成于一千七百十年，经营缔构，前后凡阅三十五年，其工始竣。建堂模式，其图为多华玲所绘，固创作也。堂之东西俱四百九十三尺，深二百四十六尺。两旁有楼，弯环若半月形。十字架由地至颠，高三百九十八尺。墙垣均用青石筑成，计

用金钱七十四万七千九百四十五磅，合中华银数凡二百六十五万六千七百三十三两。余尝与理君雅各① 揽衣陟其巅，凭栏远眺，则都中宫殿楼台，园林景物，历历在目。惜其日风力太猛，驻立稍出，身几为之掣去。堂之顶有圆球，上置十字架。球空其中，可容三、五人。继往“半月楼”小憩，余坐于东，理君雅各坐于西，两面遥对，约距五丈，而出言问答，犹在耳际，亦奇矣哉。堂之正中，上有自鸣钟，高约丈有二尺，声彻十余里。出入闼三门，以白石雕琢古贤哲像。堂中多韶年童子咏歌诵诗，乐人奏琴以谐其声。此外，礼拜堂多至指不胜屈。大约每大街通衢各建一所，而推选一教师为之主持。其堂规模不一，建堂之费，多由街民捐集。每逢礼拜安息日②，群至堂中祝祷如仪。凡婚娶喜丧等事，亦至堂中，率循成例。盖通国崇教，严敬画一如此。圣保罗礼拜堂外，即为冢墓，多葬昔年名将、名臣、名师。其次曰绵式达③。建造之久，凡经两王，乃始蕆事④。东院……深三百五十五尺，广约一百九十二尺。英王即位践阼⑤，即于此堂受朝贺焉；既没，陵寝即在此堂之南。将相师儒，亦多陪葬。有圆室曰哥罗西雍⑥，规制与礼拜堂相仿佛。层楼高耸，四周垣墙砌以白石，雕琢诸象。最上一层，四壁绘英都全图，宫室园囿，街衢城市，历历备载。顶嵌玻璃，明净亮彻。堂中亦有童子讴歌作乐。通国士民，无论遐迩⑦贫富，皆得入而纵观焉。

（王韬：《漫游随录》）

① 理君雅各：即理雅各，英国汉学家，曾任香港英华书院院长，后任牛津大学汉学教授。译有中国经典多种，作者与他有业务上联系。《漫游随录》中载：“今至香港，与西儒理雅各君译“十三经”。旋理君以事返国，临行约余往游泰西，佐辑群书。”

② 礼拜安息日：即星期天。西俗“礼拜日，官不治事，民不力作，马不效驾，牛不负犁，所以节群劳也。”（《英轺私记》）

③ 绵式达：译音。本意为寺院，此指威士敏斯特寺。

④ 蕆事：事情已办完。蕆（chǎn产），完成。

⑤ 践阼：即位当政。古代庙寝堂前两阶，主阶在东，称阼阶。阼阶之上为主位，

因此称即位掌权为践阼。

⑥ 哥罗西雍：疑为Colosseum（圆形剧场）的译音。

⑦ 遐迩：远近。

311.在伦敦过圣诞节

是日，系耶稣诞辰前一日，天主、耶稣两教之礼拜堂皆燃灯列座，夜半奏乐诵经，声闻数十里。街市各铺关闭，男女着新衣，昼夜游街。家有小儿者，皆买松树一枝，上挂各种玩物、纸人、荷包、红绿小烛等；至晚燃蜡，蜡尽按人俵散①。

十二日乙酉，阴。是日，系西历十二月二十五日，为耶稣诞辰。铺肆关闭三日，家家食牛肉李子饼。男女相见，各道“欢喜圣诞”。有树名“和力”者，华言“圣”也，叶深绿，枝粗有刺，结豆红如石竹；凡礼拜堂、人家、铺户，皆挂大枝于门首。又树名“迷色头”者，未详何义，碧叶曲枝，结白豆大如樱桃，内含白浆；人家铺户皆挂于中堂，女有从下过者，男女必狎抱接吻以为欢，俟十二日后始行撤去。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 俵散：分散。

312.耶稣受难日

（光绪三年二月）十六日，壬寅，晴。是日为西历三月三十日，礼拜五日，系耶稣钉十字架之日，国人通称好礼拜五日。凡富宦，皆外出闲游。不去者以及穷民男女，亦著新衣，步游街衢园圃之间。铺户关闭，匠役停工，各堂昼夜念经作乐。其议政院亦由昨日关闭，至下礼拜二方开。酉初，有议政院绅士阿士柏里

请听乐于阿拉柏堂。因堂在海岱囿前，正对其君主之夫阿拉柏之金像亭，故有是名。堂外圆形如馒首，砌以红砖，四面皆门，高约八丈，周五十八九丈。内则长方形比戏园。正面设天下第一大风琴，高二丈余，宽亦如之，其铁筒外见与内含者各六十余。粗者周七、八尺，细者六、七寸。琴下高台左右，层层横列，歌者座千余。正面前横歌者座三百余。后列乐工座百余。台下前三面，正中平座三行，后则凳座两圈。再后小屋一圈，各容四、五人。上则大屋一环，各容十座。其中间左鄙① 二间为君主御座；右二间为王公之座。再上则杂座三环。当晚作乐者百余人。其器多琵琶、胡笳二种。左立歌女，著白衣，肩横绿带者一百五十名。右立歌女，著白衣，肩横红带者亦一百五十名。又正中左右共立男子歌唱者千余名，通堂容二万二千人。而是日听乐者，男女老幼不下一万数千人。阵阵歌唱、诵经，乐声震耳。末则通堂男女齐立，一齐祝天主升天；再祝保佑君主，子正始毕。出门，则男女蜂拥，车辆云集，然静悄无一争先者，巡捕在旁弹压故也。

（张德彝：《随使日记》）

① 左鄙：左方边上。鄙，边远之地。

313.民谣歌唱宗教斗争

（同治七年九月）二十一日，己酉，晴。是日，系西历十一月初五日。因二百六十年前，英国天主、耶稣二教不睦，天主教欲害耶稣教，暗埋地雷于王宫会堂各处。有兵名佛克斯者，派往听令，放火时被耶稣教所获，其事乃泄。以此遗下风俗，每届十一月初五日，通国无赖子弟皆着纸衣纸帽，蒙以鬼脸，肖佛克斯之像，或以纸作偶人，置于车内，随行四五人，皆纸衣古装，手持木棍，随带鼓乐，且行且歌。记其曲云："君记得冬月初五，

火药地雷埋下土。为甚此事年年传，皆因世人不忘古。”又云：“佛克斯悬杆顶，在此地来索命。”又云：“一块面包喂掊朴，一瓶苦酒一盘肉；一番烈焰无情火，烧死掊朴碎其骨。”又云：“孩儿们，孩儿们，齐声贺彩。孩儿们，孩儿们，千年未改。孩儿们，孩儿们，钟响丁当，弃下掊朴，耶稣救王。”“掊朴”者，华言天主教之教皇名也。自辰至午，周游街市以乞钱。至晚，则将衣帽偶人以爆竹火药而轰之。此事，凡英人之奉天主教者皆不喜焉。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

314.西人的迷信

泰西人向不讲风鉴①、卜相②、禁忌等事，现英法各国亦渐蹈此辙矣。其相法云：高额大头者，才高性敏；大手重眉者，体壮心精。其禁忌云：切莫隔窗看新月，看者不祥；礼拜六不可起首作事，违者不长；十三人不可共食，若共食，其先坐先起者，三年内必亡；入夜炉留余火，必有仙来。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 风鉴：本指对于人物的识见，后世又称相人之术叫风鉴。
② 卜相：占卜相命。

315.蜡人馆有林则徐像（二则）

（一）

（同治七年九月）初六日庚辰，阴。未刻随志、孙两钦宪①

乘车往栗榛街法国德慈夫人之蜡人馆一观。内储各国古今名人之像，其头与手系以蜡抟成；冠履衣裳，皆当日本人所服。其像或仿画像，或仿照像而塑，与真逼肖。中有粤督林文忠公（则徐）暨其夫人之像，阶前对立，仪表如生。其余王后大臣，宿将名士之像，罗列前庭，无不生气勃勃，而观者有时不动，亦将疑为蜡人矣。其工之精巧如此。闻入夏则每夜将头手置于凉屋，以防销化，而避灰尘。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 志、孙两钦宪：指同赴欧美使团成员志刚与孙家谷。

（二）

光绪三年正月元旦，东向恭拜圣牌，行三跪九叩首礼。午后，与正使① 及参赞各员观于蜡人馆。入门右首，则林文忠公（则徐）像也。馆凡三层，前两层摹其历代贤国主及列国名人像，后一层为罪人像，皆酷肖。混诸生人中，不可辨别。文忠前有小案，摊书一卷，为禁鸦片烟条约。上华文，下洋文。夫文忠办禁烟事，几窘英人②；然而彼固重之者，为其忠正勇毅，不以苟且图息肩③ 也。可谓知所敬。

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 正使：当时清朝驻英正使为郭嵩焘。
② 几窘英人：多次陷英人于困境。
③ 图息肩：企图卸去负担。

316.英俗太奢

（光绪三年五月）十八日，博翻译来，余问英国事。博曰：

英俗太奢，铺陈享用，务极华侈，殊非久计。妇女浪费，尤中国所无，衣裙一袭，动须银百余两，服之仅二次，即嫌不鲜，又换新制。每日往来酬应，车马酒食，所费浩烦，月非三、四百金不办。故女子择配，必以男家富有为期① 。而男子又病供应之难，必此女力能自给，方敢聘定。故男终身不娶，女至老不嫁者比比。华人以多男为庆，英人以多男为苦。近年此地育女常倍于育男。

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 期：期望。
② 比比：频频，形容众多。

317.女子衣着讲究时款

外国女子衣冠，多爱时款，或七日一易妆，或半月一改式，各国率以法京为标准。闻十余年前，女子皆服钢圈如盘香者，裙边蓬松，摇曳生风。前二年，改为马尾圈，虽亦宽大，较之钢圈者其劲少逊。今多去而不服矣。每届礼拜，有大张新报，将衣冠之新式刊图细解，并有着色者，以便人之选择而用。另有小画，周逾二尺，上绘老幼妇女，或坐或立，亦系新服新式。至于髮发鞋袜，亦无不踵事增华① ，变本加厉。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 踵事增华：继承前人之事而使之进一步发展。语见萧统《文选序》："盖踵其事而增华，变其本而加厉。"

318.男女婚配（二则）

（一）

男女婚配皆自择。……，两意投合，告父母互访家私，家私不称，不为配也（苟访查不确而被欺，则虽既嫁、既娶后，女仍不以男为婿，男仍不以女为妻，等诸婢仆而已）。称，则以语男女，使自主焉。聘定之后，偕出入，益惟其意。迨过门（男子三十而娶），女家赴耶稣堂延教士诵经，大会宾客，供十字架于案，新妇偕婿入跪案前，伴亲之女郎皆跪，教士亦跪，旋起立，向新妇与婿诵戒语，戒毕而祝。祝亦毕，导其夫妇入后堂，书名册籍。又同赴乡官署，各秉笔立案。遂任所之，恒相偕走数百里，宿客店成婚，见者，初不知为新婚也。新妇衣白，蒙首以白纱，婿常服，皆无异恒人。嫁女陪送良厚，衣服器用，纤悉毕备。男家戚友，亦添女妆，无为男助冠婚费者。二十九日，余至伦敦美亚① 家亲阅视之。英俗，子妇向不与舅姑同居，年七、八十，亦无侍盘匜酒浆者② 。新婚后如何成妇礼、明妇顺，均未之闻也。（据禧在明言：已聘定后，女即常至舅姑家，过门无他礼节。）

（刘锡鸿：《英轺私记》）

① 美亚：英国地方官长之称。伦敦美亚，即伦敦市长。

② 无侍盘匜(yi宜)酒浆者：没有侍候盥洗饮食的人。盘匜，是古代盥洗器皿。匜与盘合用，用匜倒水，使盘承之。

（二）

男女婚配，虽皆自择，然女于二十岁以前，则听父母之命，过此则自主。如男悦于女，女未及二十岁，男请观剧、晚酌以及

游乡，则须母女同请，不能私约，盖母女步步相随也。往拜，必同拜其母而留刺① 与其父。或值令节，或由外而归，或市售新物有所赠送，亦必令其母知之。久而窥女之心，似有所属，男可向其父母跪而求之。女过二十岁，则背人私语，相约出游，父母不之禁。款洽既久，情意相投，各告父母，互访家资，称，始配之。其嫁娶之俗，届时各下帖请其戚友入堂，或邀饮高会。更有于数日前出印新闻纸者，言某男与某女择于某日时在某礼拜堂结缡②，特此布闻，恕不专帖。此二十年前旧例也。今则不然，以帖专请其同族至戚，及先为馈送礼物者，富者数百人，贫者数十人而已。按国家婚仪，皆有一二十男仆扶持新郎，其他只用一人，呼曰“格路木司曼”，译言伴郎也。至日，其人随入礼拜堂，近教师（即牧师）台，立于新郎之右，手执新郎之帽，礼毕，即与冠戴，领入会房画押。酬教师者，由五磅至二十五磅。酬先生者，一、二磅而已。新郎先事预备净面金戒指一枚，及赠新娘、伴娘红白玫瑰花束，皆当早令人送至女家。又备新车一辆，以便由礼拜堂携新娘至早餐处，再由彼至火车客厅。盖订期后，彼此即备办行装。届时，早餐后即乘船他往游览。按旧规，或在本国，或游别国，一、二年方回，名曰度新婚月。今则仍在外数月始归，另择新室而偶处矣。凡伴新娘之女，或新郎或新娘之亲近姐妹，届时新娘之父偕众先入礼拜堂。其父已故，则叔伯与兄或长亲皆可，后则母女同车。其父衣帽纯黑，其母衣色不拘，新娘与女伴偕一色雪白。新娘执白花束，女伴执红花束。新郎衣黑色，插鲜花一朵于胸前右襟钮孔。女父率众到，其他男女戚谊亦陆续到。女父立候于堂门之外，女伴立于门内，分列两行，余皆分立女伴之后。新娘母女到，女携其父之右腕先入，继而女伴随入堂内偏间。女伴偶数为六、八、十二，自然骈肩而入，若奇数，如五、七、九必加三名幼童或幼女同行，以成偶数。女伴之列第一对者，必新郎或新娘未嫁之姐妹。女母随众女伴尾之，其伴伊母者，或子或侄或甥皆可。男女在堂中，不许携手同行，若老妪，

可代为扶持。其他男女戚谊，对对行于新娘之母之后。众入，或以车往接新郎父子到，乃直入立于教师台前之右，待新娘由偏屋至，立于新郎左。新郎与新娘之父，及他各男戚，皆立于新娘之左，新娘之母及其已嫁之姐妹皆立于众男之后，众女伴又对对立于新郎之后。凡新郎之亲谊坐教师台左，新娘之戚谊坐教师台右。此外如有被请者，皆坐于堂中两厦。教师登台，新娘脱手套及鲜花递第一女伴，然后齐跪，教师向新娘与新郎诵戒词，诵毕，贯新郎所备之戒指于妇之右手四指，再祝，众客和之。祝毕，教师下台先行，新郎戴帽以右腕携新妇同众后行入会房，新夫妇先画押，后则新娘之父与其至近戚友各二、三人为之画押，画毕，第一女伴代新夫妇分散赠与戚友什物，其赠女客者，一枝银橘上系白段一条，长四五寸，宽七八分；赠男客者一银橡叶与栎实四五，义皆未详。各人收讫，以针插于胸襟。新娘若系再醮③，则无谢物、无女伴，不能戴文君兜与白花冠，只戴女帽一顶，衣则淡青或葱绿二色，仍戴前夫所与之戒指，其后夫之戒指则贯于左手中指。旧俗于画押后，戚友皆向新娘亲吻道喜，今则彼此握手而已。新夫妇缓步登车，由堂门至车下，以鲜花铺地。新娘之母另登一车，追随到家或店，以便接待戚友。盖有因屋宇窄小，另租客寓者。众戚友出堂登车，不分先后，总以先抵其家为快。因在堂未得与新夫妇叙谈，故先至而畅谈以贺喜也。众客到齐，罗列戚友所馈礼物以共赏。盖二家戚友皆当送礼与新娘，有闻二家结姻，量其娶聘，必早即为馈送者，有请柬未到而预送者，亦有临期始送者。所送无非金银珠宝，首饰镯钏，金钢石项圈、耳环，表链，瓷花，绸扇以及驼鸟翎而已。有因其另树门墙而送器皿使用之物者。当时，以大桌铺黑绒，四面围以鲜花，陈设各色礼物，各系白纸一条，书送者之名姓。请柬……须于半月前发送。男女或抵其家，或至店中，式同午后茶会。男皆免冠脱手套，女则否。未设筵之先，新娘之父或母酌定某男伴某女。侍仆报饭齐，则云：请某老爷携某夫人或小姐下楼早餐。下楼第一对

为新夫妇，再则新娘之父携新郎之母，三则新郎之父携新娘之母，以后各女伴及男女各宾按等级以次同降。设筵之式与跳舞会之夜馔同。有立者，有坐者。立则量人数，列方桌，男女围立，不分上下；若坐则置长桌，新夫妇坐于一端，或中腰以上。屋大者坐，屋小者立，无论何处，皆新妇坐于新郎之左，非上也，乃下也，因西俗尚右也。次则新娘之父与新郎之母，坐于新娘之旁；新郎之父与新娘之母坐于新郎之旁；其他男女排列成圈，各女皆在男右。此早餐与午酌大同小异，汤有冷热，菜多冷荤，三鞭舍利俱全，有鲜菜，不备茶食与加非。坐则汤菜皆经仆人捧进；立则置于桌上而自取之。热汤有以盖碗盛满，另置一桌者。冷荤则鸡鱼兔脯等类。坐者备菜单饭布，立者无。汤菜进毕，新娘坐分喜饼与众，英名“卫定开克”。译，卫定者，新婚也，开克者，饼也。以乾樱桃和面而蒸之，厚二、三寸，周约二尺，味颇甘。盖入座后，盛以银盘，旁置银刀一柄，至此新娘自切一刀，后仆人接下，按客数分切，每人一片。旧俗系新娘嫁后，将喜饼切片分寄戚友，今则无矣。吃毕，众客之品位尊者一人，起而立祝新夫妇以吉语。新郎立言一段以谢众人。谢毕，首客再立，言数语以谢新郎。此后，新郎之父立祝新娘之父母，彼此祝毕，新娘即入卧室易行装，众客入大厅以候。少选，新妇至，众客辞去，其父母待其登车，始洒泪辞别。更有一种土俗，系新娘易衣后，将其所著白段鞋请贵客或首女伴由楼顶掷下，若新娘藏避，除未嫁之男女，皆可以米粒掷之，其义未详。似与中土之闹房相似。又凡嫁娶，三个月后，新妇方能作主请客云。

（张德彝：《使英杂记》）

① 留刺：留下名片。

② 结缡（lí离）：代指结婚。古代女子出嫁，母亲把佩巾（缡）结在女儿身上。《诗经·豳风·东山》：“亲结其缡。”

③ 再醮：再嫁。

319.祝 贺 金 婚

（光绪四年十月）二十五日，辛丑，阴。亥正，同马清臣、凤夔九乘车行数里，至坡得满坊第二号，赴多卜立夫人家茶会。按日耳曼旧俗，凡嫁娶至二十五年为银婚，再二十五年为金婚，又十年至第六十年则为金刚石婚。届日，戚友咸来，至近者具仪以贺。是日为西历十一月十九日，即伊夫妇金婚之期，男女如云，案上置有礼物八、九种，如金花一朵，金刀叉一分，及金镯酒斚① 等。丑正回寓。

（张德彝：《随使日记》）

① 酒斚（jiǎ假）：装酒的器皿，用来温酒。

320.丧葬的习俗（二则）

（一）

人死则沐浴其尸，衣以生前礼服。及敛，遍体易白衣裤。贫者，木棺裹以氈呢；富贵者棺椁三重，一松木，二铁，三红木，葬于官地。无祭扫之事，思忆所及，则诣① 墓一观，挂鲜花一圈于碑碣而已。其浴尸敛白衣与回教相似，而葬棺又与儒教无殊，足见风化之不同也。

（张德彝：《使英杂记》）

① 诣：至，到。

（二）

（同治七年十一月）初八日辛巳，阴雨。艾教习之友司悌尔于前六日丧偶，是日送殡。其装殓之例，不着生人衣服，身覆白色寝衣，手执鲜花一束，男女皆然。其棺如瓶，上广下狭，殓后裹以回绒，钉以铜钉，极其整洁。盖上嵌正方铜板，刻某人名姓，生死日期。戚友执绋①，皆系预请，身着青衣一领，头罩乌纱一条，并无哭跪祭奠等事。发引②之日，舁棺先至礼拜堂，牧师科头③端坐，身披白氅，念经一通。然后以黑车载棺至义地，牧师再行祝颂一番。灵柩入穴不掩土，只盖大石一片，外立石碑。其穴四周垒砖，中横二铁条，夫妻先亡者瘗于条下，后亡者瘗于条上。想因地贵之故也。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 执绋：送殡。绋，牵引棺材的绳索。古时送葬者帮助举棺木下穴叫执绋。后作为送葬的别称。

② 发引：出殡。引，挽灵车的绳子。旧时出殡，灵车出发，送殡者执引前导，称为发引。

③ 科头：头上不戴帽子。

321.少妇染成白发

（同治五年五月）初九日，雨。公爵白君邀至公会所观跳舞，男女数逾千人。各官皆礼服，如在宴舞宫时。丑刻，回寓。闻苏格兰人居多。妇女白发者十有二、三，姿容少艾①，询系染白。

（斌椿：《乘槎笔记》）

① 少艾：年青貌美的妇女。

322.染白发的由来

伦敦世爵王公之仆役，皆著古服，短衫，背心与袴皆红色，高袜逾膝，黑皮亮鞋钉带，有以粉而染发者。盖百年前英有君主年迈发白，自恨其老，乃谕令通国男女老幼，凡与君主面会者，皆染白其发，以使老幼不辨。今大制虽改，各王公国戚之府第仆役，仍用以示尊崇也。

（张德彝：《使英杂记》）

323.西人对遗产的处理

西人不重后嗣，积产数千百万，临终尽舍以建义塾及养老、济贫等院，措置既已，则自谓没世无憾。询其故则曰：以吾一人之财，生千万人，养千万人，诚为乐事。今吾虽有子，将来贤否不知，贤者即能守成，必致好逸偷安，毫无所学；不肖者既不能保全，因而伤身败德，更无所学。莫若自幼使之贫乏，令其学成一艺以赡其身，则美名或可望获也。其意与范文正公① 相似。由此观之，西人虽不重后嗣，亦保全后嗣之一道也。且云：吾舍重赀以成善举，虽千百年犹奉吾像于其地，又何乐而不为善哉！盖西国通衢多铸铁凿石为功臣像，以旌其贤，而医院学堂多有悬油画，立石像以铭首善之人焉。

（张德彝：《使英杂记》）

① 范文正公：即宋朝名相范仲淹，他死后谥文正。

324.拜 客 有 时

拜客有时，清晨者，系在已午之间，非至契同族，不能拜访。午后，拜客之层次以交结之深浅而分，由申初至申正者为恭敬，由申正至酉初者为远近之间，由酉初至酉正者为戚友拜访通用之时。礼拜日拜客最为不恭，女固不为，而男子因平日无暇，多于是日由申初至酉正拜访，戚友无不原谅。夫妇虽能同行拜客，而实在同行者少。有女长成，可偕与往，同居妇女，并识一友者，亦可共车。夫妻子女同车拜客者，都城少而外省多。

（张德彝：《使英杂记》）

325.以 花 传 语

英国有小书，名《百花语》者，系以百花撰成哑语，如红玫瑰为“爱”字，黄玫瑰为“妒”字，白菊为“信”，黄菊为“悦”，白莲为“清”，黄莲为“假”，无花果为“惰”，麻为“勤”，金枝兰为“保”，紫罗兰为“谦”等字。男女相交，有不可言传者，则以花为识① 云。

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 识（zhì志）：表记，通作“志”。

326.英人喜畜名犬

（同治七年九月十六日）酉正同艾教习北行十五里，入荔蓁囿魁荫閧（阁），至其友萨德乐家。萨公夫妇款接，情意良厚。

伊养有一犬，白质黄章①，阔颊长毛。初入屋时，即迎而吠。明② 曰："予非操梃行窃者，吠何为？"主人云："此犬性纯良，白昼能识宾客，今入夜则易驯而悍，以便守门户耳。今君华服，非彼习见，能勿吠？"坐此，见其徘徊左右，睥睨③ 而视，口含素牙，目若明星，浑如华产。询之，始知来自日本，其名曰"邦"，译华言好也、美也。明言："中国古有李门猎狗，名曰白望，音与邦同。凡犬之佳，得美名邦，其犬之杰出者也。"萨云："敝国名犬固多，而如此可爱者甚少，故锦茵以卧之，金铃以佩之，非肉不食，终日镇守门户而已。"

（张德彝：《再述奇·英吉利游记》）

① 白质黄章：白底上有黄色的花纹。
② 明：这是张德彝自称。张德彝本名德明，字在初。
③ 睥睨：斜着眼看。

327.西班牙斗牛

国中斗牛之戏盛行，每逢礼拜日申正开演，戌正毕事。至时往观者不下二万人，君主君后咸临焉。椅位需银一、二圆不等，最下亦须半圆。斗法：选健牛六头，两人乘马持枪，按辔从容以出。以红巾蒙马眼，别有十余人，身擐① 铁衣，手执红绸一方，随纵牛出，各撩拨以侮弄之。牛骤怒，奋角相觝，乘马者径前，以枪刺牛背，牛暴触马腹，人马俱仆。执红绸者导牛至别所。所仆人马再起与牛斗，牛背被枪三、四次，马亦腹洞肠裂而殒。人与牛斗，须勇士八人，四人为一列，各持二尺许短枪以刺牛胫②，锋刃陷入不得脱，而其人不为牛所伤，方为高手。最后一人左持长剑，右执红绸出与牛斗，以剑刺牛脑，直贯牛心，牛乃吐血倒地。每斗一牛，马之被触死者必三、四匹。此中残忍，所

不忍观，而国人多好之，殆习俗使然欤！闻国王欲申禁令，举国若狂，竟不能行。

（蔡钧：《出洋琐记》③）

① 擐（huàn换）：套、穿。

② 胫：自膝下至脚跟的那部分叫做“胫”。

③ 蔡钧，清末浙江仁和(今杭州)人，字和甫。曾任苏松太道。光绪七年（1881年）奉清政府派遣出洋，随使美、西、秘三国，光绪十年（1884年）回国。光绪二十七（1901年）又被派充出使日本大臣。曾电请清廷停派留日学生，并阻挠中国留学生入日本的陆军学校，遭到国内外爱国志士的严厉指责。在随使美、西、秘期间，著《出洋琐记》，记出洋期间的见闻。

328.戏园舞会

（西班牙）每年西历二月，戏园举行跳舞会。上自爵绅命妇，下逮硕士名姝①，无不麇②至。入门购票，女需银一元有半，男需银三元，不习跳舞者，另赁一房，价值十元。跳舞之际，男女各自择偶，乐作则作，乐止则止，进退疾除③，曲折盘旋，皆以乐音之婉转抑扬为节。女子入场，多戴面具，变娇婉之音为雄壮，即素所识者，亦不知彼为何人。若有识破庐山真面目者，则必前来，嘲笑杂生，诙谐间作。

（蔡钧：《出洋琐记》）

① 硕士名姝：品节卓著学问渊博的人，著名的美女。

② 麇（qún群）至：成群而至。麇通群。

③ 疾除：快慢。

329.嘉那华会

（二月）二十四至二十七凡四日，为嘉那华会。每日午后，

群赴嘉冶革士街，驰车游览。是街长亘数里，两旁观者如堵墙，大小车马往来如织，计不下千辆。领有官票者，得驰中道。领票之数，四日需银百元，少亦需五十元，无票者车行两旁。车多行缓，从午至暮，亦不过往返数次而已。于时士女盈衢，悉戴面具，亦有男作女妆者，扑朔迷离，雌雄莫辨①，拱立车旁，任其嬉戏。即逢君主君后之车，亦无所避，……。

（蔡钧：《出洋琐记》）

① 扑朔迷离，雌雄莫辨：模糊不清，分不出性别。古乐府《木兰诗》：“雄兔脚扑朔，雌兔眼迷离，两兔傍地走，安能辨我是雄雌。”

330.以所生之日定名

日国① 生子女，无论何族，其名皆一定不易，即以所生之日定名，如每年三百六十六日，则三百六十六名。自正月一日起，如正月一日生子生女，应名以某字，二日又系某字。凡同日生者，通国皆同名，不计其年之不同也。故呼其名即知其所生之日。惟名多雷同耳。

（崔国因：《出使美日秘国日记》②）

① 日国：即西班牙国。

② 崔国因，清末安徽太平（今当涂）人。同治十年（1871年）进士。光绪十五年(1889年)，以翰林侍讲学士接任张荫桓为出使美、日（西）、秘大臣。光绪十九年回国。《出使美日秘国日记》共十六卷十二册。自光绪十五年九月初一日到华盛顿开始记，至光绪十九年八月初四日“上槎那轮船”止。

331.巴 黎 风 光

（同治丙寅三月）二十三日壬午，行九百二十里，卯初抵法

国京都巴黎斯。……当晚乘车出店街闲游十数里，见道上人稠，男女拥挤，路灯灿烂辉煌，宛一火城也。朝朝佳节，夜夜元宵①，极为可观。法国京都巴黎斯，周围五十里，居民百万，闾巷齐整，楼房一律白石为墙，钜铁为柱，花园戏馆茶楼酒肆最多。四围火轮车道，遥望如蛛网。街道正中，胥②以小方石墁平，砖〔专〕走车马，宽约四丈许。两边石砌高半尺，宽有二尺，皆黑漆与白沙抹平，数武③植树一株，如桐如杨，取其有阴凉也。每两三树后有绿油漆长凳一条，又两树间各一路灯，高约一丈许，乃铁铸。花柱上有四方玻璃，上、下、大、小如僧冠然。每隔数十步有一铜眼，内有消息④，通于水道，每辰每午，有人以一皮觜插于铜眼之内，转则水出，遍涤街道后，则街旁顺石砌流归河海。随时有车撮取秽土、马粪。铺户泔水、尿屎，楼上楼下皆有铜管通于地道，流归江海。又每十数树间有圆房，粗约二围，乃为行人小便者，其道途之整洁，可想见也。而途中并无肩挑贸易者。间遇一小儿拥一小箱，如行人皮鞋落土，则给铜钱一文，使跪于地上，抱骸吐沫，以黑刷刷上，其鞋则焕然一新。有卖新闻纸⑤者，亦小儿也。有青服带刀，头顶饺形毡帽八字乌须者，看街兵也。隔半里一名，皆各守汛地，往来行走，终日不离，至二餐时，有人来换。如车多拥挤难行，彼即为之指拨先后，御者不敢不听。凡有不平之事，多是此人为之剖断，却极公平，故无人不服。左右住户楼房，十里一檐，皆十一层，墙则一色白石，窗则一色玻璃，并与帘幔栏干色一律。楼下铺户亦然，门面内外，大小玻璃，门之左右，各煤气灯二盏，铺面并无望幌⑥，所有货卖之物，皆放于窗下，由外可以见内。开铺者多是须眉男子而伙计则皆嬝娜妇人。若铺中一无女子，恐终年即不货⑦一物也，此亦是地风俗。即如手套铺，有人入内买时，必有娇女应酬，每启口问答，必笑容可掬，连称“莫四约”，译“莫四约”之语，法言大爷也。问毕，取手套套于客指，以试大小，试毕始问价值。值四开者要七开八开，设买主不忍驳价，即必欢然而如其价以与之。

频来此铺，客人伙计已熟，至礼拜日，可择其美且好者邀而与之游，……每日戌正，各铺户楼房路灯皆点齐，直如白昼，虽毫发皆见。人民皆喜夜游，入夜车辆更多，或夫妇、或朋友携手同行。子正，灯火皆息。各巷娼妓每日戌刻，皆在本巷巷口左右，往来徘徊待客，远近不一，亥正同回，其未接客者，在家待之。

（张德彝：《航海述奇》）

① 元宵：阴历正月十五日夜。唐代以来有元宵观灯的习俗，故称“灯节”，十分热闹。

② 胥：全。

③ 数武：数步。古代以六尺为步，半步为武。

④ 消息：机关、机栝。物体上装置的，能使机件转动的机纽。

⑤ 新闻纸：即报纸。

⑥ 望幌：店铺的招帘。

⑦ 货：卖出。

332.法国赛马

（同治丙寅三月）二十二日辛巳，巳初，彝同凤夔九、彦智轩、欧罗瓦等乘车行十余里，至较场看比马，至此有门票，入者每人助钱五开。其场周围七十余里，观者如堵① 。南面看台结彩插大旗，为将军坐处，左右男女数千人。当中圆圈马道，周围二十余里，其中途有河沟，有土岗，有木栅，有荆篱。将军门前有木棍，马越河沟土岗等处，先过棍者赢法元五万开，次者三万开，其余则妙手而归② 。马道圈东，罗列车马，中有乐兵百余，皆红袄青靠佩刀，顶盔上插鸡翎。马步兵亦百余，惟马兵皆执刀，官皆红衣青袄，工字毡帽，插白鸡羽，亦有戴马尾盔者，皆在马道内外乘马执刀巡查弹压。彝等排车东鄙③ ，有武官取白板一块，横放于车顶上。坐看至午刻，正北放炮一声，乐声即起。乐止又放一炮，则跑马者始跑，其衣帽颜色各有分别，所以别其

马之快慢，赢否易分也。头一次五人中有骑青马蓝衣蓝帽者先过木棍，次过乃骑红马著白衣白帽者。第二次六人，有穿黄绿衣者二人先过，所赢者亚于头次。三次跑亦五人，自东跑来，将转北时，只见头匹马著青衣者已跑出二里许，而第二匹、第三匹因木栅未能越过以至落马，有马骸折而人臂亦折，有挂于凳上，马拽之而死者，各皆任命④而矣。

（张德彝：《航海述奇》）

① 堵（dǔ肚）：墙壁。这句以它来形容围观的人多而又密。

② 妙手而归：空手回去。妙手，本指技艺高超的人。唐传奇《聂隐娘传》中，有一剑客名妙手空空儿。其剑术神妙，能从空虚入冥，善无形而灭。他行刺时，一击不中，即便退走，妙手而归作空手而归解，从此变出。

③ 东鄙：东侧边上。

④ 任命：任凭命运安排。

333.法国马戏馆

马戏馆内有圆厂①，平铺沙土，径十数丈。有绝美女郎，年可十五六，衣鲛绡②，立马背驰骤③，连跳十数圈，仍卓立马背，轩轩然如欲轻举④者。观者咸拍手叫绝。又有象十二只，能串阵跳舞，象蹄起落，与琴声应节。象奴于鼻端盘旋作势，或以首探入象口，使衔之而无少伤。或谓象体伟，弗乃非雅观，不知象固能舞。蛮中⑤有象阵，斯诚灵物也。见铁栅一，置车上。栅高七八尺，深二丈余，宽六七尺，内蓄七狮。使二象负车出，一人入栅，以铁梃击狮，使怒。与角斗许久，尤以为未足，复轰以火枪，则皆怒吼，声若铜钲，狰狞相攫扑，观者股栗⑥。正在急迫，人忽耸身出栅，栅门随闭。人虽有巧技，容非狮敌，故闻屡有被伤者。

（李圭：《环游地球新录》）

① 圆厂：圆形的棚舍。厂，棚舍。

② 鲛绡：传说中鲛人所织的绡。《述异记》：“南海出鲛绡纱，泉室（即鲛人）潜织，一名龙纱，其价百余金。以为服，入水不濡。”亦泛指薄纱。

③ 驰骤：奔跑。

④ 轻举：飞升。

⑤ 蛮中：指我国南方少数民族居住的地方。

⑥ 股栗：两腿发抖，紧张、恐惧貌。

334.法国的中文专家

（同治丙寅三月）二十八日丁亥。早，乘车往文人坊拜姓茹名良者，年约五旬，读中华书三十余年，识字之义，未闻字之音，且已翻出许多中华书：《礼记》①、《三字经》②、《千字文》③、《平山冷燕》④、《玉娇梨》⑤等书。入内让坐，并不交谈，以笔写出，可通其意。又出其所翻书卷与看，甚是。其人所住之地，因四方文人多会集于此，故名曰文人坊。

（张德彝：《航海述奇》）

① 《礼记》：书名，亦称《小戴记》，汉代戴圣所记。

② 《三字经》：旧时蒙馆教孩童诵习之书，因以三字为句，所以叫做三字经。世传宋代王应麟编。

③ 《千字文》：书名，南朝梁代周兴嗣编。

④ 《平山冷燕》：长编小说。题“荻岸散人编次”。二十回。叙才女山黛、冷绛雪及书生燕白颔、平如衡的婚姻故事，即摘取四人姓氏为书名。

⑤ 《玉娇梨》：又名《双美奇缘》。长篇小说。清张匀作，原题“荑荻山人编次”。四卷二十回。写苏友白和白红玉、卢梦梨的婚姻故事。

335.圆明园①失去之物

（在英国）（同治丙寅四月）初四日壬辰。早有兔姓来拜，并请彝等游，遂乘车行十数里，至一处，内极广阔洁净，见上下罗列者，皆中国圆明园失去之物，置此货卖。见有龙袍、貂褂、

朝珠、太后朝珠、珠翠玉石古玩、诸般画轴神象、金鸡、中天马、钱鼠等衣，皆御用之物。睹之不胜恨恨，乃辞出。该官又与彝等每人一簿，乃诸物价值，意欲将诸物买回。同人乃操詈语②，而兔姓等不懂，尚欢笑如常。

（张德彝：《航海述奇》）

① 圆明园：园名，在北京。为清朝统治者游览避暑的地方。一八六〇年被英法联军焚毁，珍藏文物被劫掠一空。

② 詈语：骂语。《韵会》：“正斥曰骂，旁及曰詈。”

336.看变戏法

（在英国）（同治丙寅四月）十八日，亥初，乘车看变戏法者。见其先变者多与中国相似，后在坐客中借一高帽，一伸手，即出银碗百个，小匣四枚，后又随手取出两大炮子。又借一表，由帽内取大面包一块，其表在面包内，又自后取出一匣，匣内麦西国人头回旋俯仰，能言能笑。又一妇人卧在床上，将床撤去，妇人虽悬在半空，依然曲肱而枕。又在桌放一大筐，将一少妇盖在筐内，以刀乱刺，妇在筐内哭叫哀号，渐渐声息如刺死之状，声尚未息，即开筐视时，而少妇已在楼上矣，其妙至极。

（张德彝：《航海述奇》）

337.西洋魔术

（在新加坡）次日无所事事，与仲和乘车同游。观西剧，凡四出。第一出，以洋漆盘置座客桌上，令诸客探囊出洋蚨① 置盘中，凡十数枚。一戏士在戏台中，一手持玻璃杯，一手持木杵

一，细如指，长尺许，口喃喃不知作何语。又以杵向空书字，既而弃杵以手远招，若欲使漆盘之洋蚨入其杯中也者。俄而叱咤一声，果见空中有洋蚨片，若蝴蝶之乱飞，尽投玻璃杯内，铿然有声，座客视漆盘中，则空所有矣。第二出，易戏士一人，持革鼓四具，登台乱击，嘲谑演唱，座客哗然击掌，若甚赏心。既而戏士以鼓一掷，竟各悬空中，而并无线带维系。戏士乃以槌向空遥击，鼓随槌之所向应声合节，不忒不差，令座客空击之亦然。第三出，炽炭一盘，设当台，以一紫铜大釜满贮清水置炭上。俄而大沸，作苍蝇鸣。戏士出一小盒与众观之，空无他物。后以白巾一，覆于盒上，以手探盒，取出一生鸽，丰羽修翎②，其状甚俊，乃焘③去其毛，散弃台下，复刳腹出肠，雨血缤纷，殷红满手。复向盒中取出数鸽。盒大如掌，不知何自来也。鸽毛均去，将死鸽次第置沸汤中，更入五味。少顷鸽熟，香味透鼻观④，令座客登台观之，则莘莘芬芬⑤，已糜烂矣。客归后，又有一西人出，颠跻登台，似已中酒⑥，将釜推覆于地。戏士大惊，令人撤去炽炭，并将醉者曳入。然后将覆釜揜过，则鸽翩翩飞起，未死一头。座客鼓掌称异。最后一出，台中先设一屏风，装饰既丽，雕镂亦精，上排小钉数个。戏士令西国小童，手托漆盘下台，向客借时辰表五六隻，各系记号，置盘中。童持以登台，比至台，童遽跌扑，盘翻而表尽破碎。戏士惊而怒，缚童于屏，以大白布单蒙之。童泣呜呜。借表之客皆惴惴。已而见戏士出大手枪一，先装火药，后拾取台上之表实枪内。以铁条入枪，用力猛捣。捣后向小童，然火轰之，猛震一声，座客股栗，戏士掷枪而笑。乃揭去白布单，则童不见，诸表俱悬屏上。转瞬间，童自戏房中含笑而出，取表还客，并赠洋糖等物与借表之客。然后复奏西乐一回，其戏遂毕。时已半夜，余始回，倦极即卧。

（阙名：《三洲游记》）

① 洋蚨：外国钱币。

② 丰羽修翎：羽毛丰满漂亮。

③ 煔（qián前）：用开水去毛。

④ 鼻观：鼻孔。

⑤ 苾苾芬芬：芬芳。苾，浓香。《诗经·小雅·楚茨》：“苾芬孝祀。”郑玄笺：“苾苾芬芬，有馨香矣。”

⑥ 中酒：醉酒。

338.拿破仑遗蹟

法京中多前王拿破仑遗蹟，至今游人观览者，犹想见其功烈之崇隆，势位之烜赫焉。有埃及石柱一，高可十六、七丈，广可八、九尺，下阔而上锐，四周镌埃及上古文字，几于剥泐① 不可识，相传三千年之古物也。昔时埃人掘地所得，以为至宝。八十年前，法王攻埃，克之，入其都城基改罗② ，见此石耸峙突兀，爱之，乃以巨舰载之回国，从地中海达于京师，辇致之费不赀③ 。爰为构亭，置之通衢，望之若凌霄汉④ ，其亭曰依接顺阿比利斯⑤ 。余近临柱下，拂拭而观之，埃及字有若云形，殆古之云师而云名者，黄帝氏之苗裔欤？惜无好事者手拓其文，携至中国，俾识古博览之士一考求之。法王昔年与欧洲列国搆兵⑥ ，所向克捷，几于一统，因以历战所得大炮鎔之，建一铁室，墙壁、窗槛、榱角、栋柱，雕刻花卉鸟兽，室外围以铁栏，栏上累累悬系者，悉王冕也，殆不下千计。其冕或以杂彩编织所成，国中士女所贻⑦ 也。西国之例，有功谓之加冕。今悬冕，所以旌军士之功而念其劳勩⑧ 也。若谓非藉军士之力，则不能宏战勋、获敌器至于如此。室曰比治士亚符干葛⑨ ，亦在衢路间。顾法王所建，最巨者莫如纪功碑楼⑩ 。其旁隙地空旷，东西南北每方大抵不下五百丈。楼作四方形，而中贯若十字。其下行人可以出入，广可容车马。四周环以铁栏。有数门可登，常键不启，而专设弁兵掌瞭望，司管钥⑪ ，每值礼拜四日，门始大辟，游者亦得入焉。楼之基址垣壁，悉用坚石筑成，其高约二十余丈。所勒字广径五寸，

皆叙列征伐兼并事。金赤参错，四壁皆满。四方文士出其国都者，无不诣碑循览诵读，徘徊不能去，叹其战绩之盛而惜其勋名之不终，楼名荷治亚符德来拉恩⑫。

（王韬：《漫游随录》）

① 剥泐（lè勒）：剥落龟裂。泐，石依纹理裂开。
② 基改罗：开罗。
③ 辇致之费不赀：运输费用不可计量。赀，计量。
④ 凌霄汉：高入云霄。霄，云霄；汉，河汉；俱指高空。
⑤ 依接顺阿比利斯：埃及方尖碑，译音。
⑥ 搆兵：交战。
⑦ 贻：赠。
⑧ 劳勚（yì意）：辛劳。
⑨ 比治士亚符干葛：为“炮室”之意。
⑩ 纪功碑楼：指凯旋门，为拿破仑所建。
⑪ 司管钥：掌管钥匙。
⑫ 荷治亚符德来拉恩：凯旋门的译音。

339.拿破仑墓①

（光绪三十二年二月初七）午二时，往游拿破仑坟。外院数间，满储军器、盔甲之属，及拿破仑生平常用衣服、器物。中间供基督钉死十字架像，四柱以文石为之，光可鉴人。其下为墓门，扃钥② 甚严。守者引入视，则石棺存焉，闻为俄国所赠，围以石栏，雕其将佐功臣形像环列。上下三层，杰构巍峨，庄严明净。石壁俱刻拿破仑故事。其建筑之壮丽，与华盛顿墓迥殊。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 拿破仑墓：在法国巴黎。
② 扃钥：锁闭。

340.路易十六之故宫

（同治十年三月）初十日庚子，晴。午初，法之民会官葛勒赛及麦里得同哥士奇来拜。未初，随星使乘车行三四里，抵王宫右小特农园。先入一屋，内存先代轿辇与冰床、雪床共数十辆，皆甚华丽。又有娶后彩舆，极其高大，铜质，饰以金银，内铺锦绣茵褥，重一万八千斤，曳以八马。其轿辇、冰床，皆与前在俄国王宫所看者同。惟雪床专为踏雪用者，式系二蛇作篆文女字形，上卧一虎，虎腹空敞，人坐其中，以马曳之，其速如飞。出此，步行半里，过屏门，入其先王路义第十六① 之故宫，清幽静悄，所有画轴床椅，及一切陈设，皆先代之故物也。傍门立王后马娄爱讷之石像，工极灵巧，望之如生，询知系二百年前被民杀害者。下楼，步数武，入一大园，树林阴翳，花木参差。所识者，花如杜鹃、玉兰、丁香、木笔、牡丹、芍药、绣球、玉簪、风仙、木槿、辛夷、石榴等，树如松、柏、槐、柳、橘、橙、榆、竹、桃、李、栗、梨等，率皆葱笼可爱。又有小河曲径，丘壑桥梁，亦皆一一入画。人之初入，多有迷途者。因马后为农人女，在此特建草楼数椽，前临小湖，后傍深林，鸟飞鸟语，别一洞天。王后每来此乘凉，躬造② 牛乳出售以自娱。楼前有一花坞，绕以藤萝，四布浓阴，红尘不到。屋内设有木盆花草数种，或沛甘雨，或披和风，皆可寻芳揽胜也。

（张德彝：《三述奇·凡尔赛纪事》）

① 路义第十六：路易十六。
② 躬造：亲身制作。

341.巴黎的游乐场

法京中游玩广场非止一所，一曰孛黎士，一曰簪士伊。孛黎士正当要冲，南通钜桥，北接大街，王宫翼其西，圣院峙其北，洵足擅一都之形胜①。簪士伊地宽阔约四、五里许，东狭而西广，由渐恢拓②，略如张箕形③。有一通衢横亘其中，两旁遍植树木，青苍一色。戏馆乐院悉在左右。昼则车马殷阗④，夜则笙歌喧沸。寻春侠客、挟弹王孙，掉臂游行，一夕之费，动逾十万金钱，罔所吝惜。每值良辰令节，国庆民欢，名剧登场，士女云集，争先快睹。戏馆之尤著名者曰提抑达，联座接席，约可容三万人，非逢巨典，不能座客充盈。所演戏或称述古事，或作神仙鬼佛形，奇诡恍惚，不可思议。山水楼阁，虽属图绘，而顷刻间千变万状，几于逼真。一班中男女优伶，多或二、三百人，甚者四、五百人，服式之瑰异，文彩之新奇，无不璀璨耀目。女优率皆姿首美丽，登台之时，袒胸及肩，玉色灯光，两相激射。所衣轻绡明縠⑤，薄于五铢⑥；加以雪肤花貌之妍，霓裳羽衣⑦之妙；更杂以花雨缤纷，香雾充沛，光怪陆离，难于迫视，几疑步虚仙子离瑶宫贝阙而来人间也。或于汪洋大海之中涌现千万朵莲花，一花中立一美人，色相庄严，祥光下注，一时观者莫不抚掌称叹。英人之旅于法京者，导余往观，座最居前，视之甚审⑧。

（王韬：《漫游随录》）

① 洵足擅一都之形胜：实在是据有都城优越的地理形势。洵，确实。
② 恢拓：扩展。
③ 如张箕形：形状象张开的簸箕。
④ 殷阗：众多之貌。
⑤ 轻绡（xiāo消）明縠（hú胡）：轻薄透明的丝织品。
⑥ 铢：我国古代衡制中的重量单位。《汉书》："二十四铢为两。"
⑦ 霓裳羽衣：曲调名。本婆罗门曲，自西域传来，唐河西节度使杨敬述进献，

唐明皇润饰其词而加以美名。亦有说，此曲为唐明唐所作，杨玉环善为霓裳羽衣舞。

⑧ 甚审：十分清楚。审，真确明悉。

342.假面舞会

见脂粉肆出售假面，系各色洋绸所造，形似桃，只遮两眼与鼻。每礼拜六日，在某大戏园设会，子正开门，卯刻散。所有男女游人，皆蒙假面。男子有着兽头鸟翎，古怪服饰者；女子有着短裙，赤臂跣足① 者，以便人不识也。所用之奇服异装，皆有出赁之肆② 。门内设乐，男女跳舞，嘲笑亵狎，无所不至，任听欢喜，严禁怒詈③ 。跳至天明，有相识者，则男女同入酒肆沽饮。官宦僧尼皆听之。名曰“假面舞会”，每月四次。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

① 跣足：赤脚。

② 肆：商店。

③ 怒詈：怒骂。

343.秋千胜会

小住法京，盘桓浃旬① ，意将渡海至英。壁满② 必欲留余暂憩一日，意甚殷勤，特作咄嗟筵③ 饯行于飞鹰酒楼。此肆平日著名，烹饪之精，称为巨擘④ 。坐甫定，佳肴美馔络绎而来，适于口而不能知其名。酒亦有数种，味并甘洌。饮半酣，忽一纸飞入，则期明日往观秋千胜会也。壁满跃然起曰：“然则我留君为有名矣！一千八百六十五年，曾设秋千戏，称一时雅集，为十余年所无，今可继斯盛已！”翌日⑤ 午后，乘车往观，则献技者日耳曼人也。剧场甚宽广，场中茂草一区，绿缛丰丛，一望平远，地形稍坦，因于此设立秋千诸架。场后有一歌楼，金碧七重，高

凌霄汉。女士之精音律者，咸唱和于斯。楼之绝顶，悬红、黑、黄三色旗，旁更间以公会星旗、瑞士十字旗，相为掩映。是日天气晴明，剧场四周宾客毕集，士女如云。由日耳曼来演剧者，大小约有百余人，各皆矫健绝伦，容彩焕发。剧班中供奔走使令者，不下一、二千人。观者既齐，即有数人执旗而前，先陈庆贺之词而后演剧。诸伶装束登场，攀架盘旋，各逞生平绝技。楼中歌者，同声齐唱，响遏行云，抑扬宛转，高下疾徐，无不巧合节奏。一时歌缭绕而舞翩跹，喜暖气之融和，觉凉飚之扇发，洵足乐也。初，法人有朗克斯者，亦精斯技，于日耳曼人初至之时，投刺往见，欲预其列⑥以为荣。日人谓之曰："尔我两人，技均艺敌，且所习者同此数剧，非有五花八门之观，宜间日而出，分则可各献其所长，聚于一处，则我之所演，汝袭而效之不奇，不若各竭其心思，角优争胜，庶可动阅者之目。"法人口虽诺之而心不以为然。始入场观演时，神色之间若有不胜鄙夷者。嗣后观其争高对蹴，技洵超群，合口同赓⑦，声推绝唱，真有耳不暇接而目不暇给者。时观者不下数千人，莫不肃然起而色然喜。歌舞既终，皆举手除冠，同声称美。剧场中本设有巡丁，所以弹压造事者，继缘日人举动中礼⑧，周旋合度，佻达子弟，皆遥立远眺，不复敢前，是以无需防范。法人转语其党云："此虽技也而近乎神矣。近今以来，未有若斯之盛举也。"既夕，法人登场演剧，光怪陆离，变化错综，颇极其妙。

（王韬：《漫游随录》）

① 盘桓浹旬：逗留了整整十天。浹，周匝。旬，十天。
② 壁满：人名，王韬此行的导游者。
③ 咄嗟筵：即时备办的筵席。咄嗟，一呼一诺之间，顷刻间。
④ 巨擘：大拇指。比喻最特出者。
⑤ 翌（yì意）日：第二天。
⑥ 预其列：参加他的演出队列。
⑦ 合口同赓：众人齐声连续歌唱。

⑧ 中礼：合乎礼节。

344.海 滩 游 乐

法国西海岸有地，依山面海，木茂繁荫，土净无尘，当暑清凉。居人选幽据胜①，建楼筑馆，以待夫家富身闲，不远千里而来消夏者，谓之洗海澡。问其故，则称人当夏日，腠理疏漫②，海水咸，能固腠理，洗之久，则腠理坚，而夏日风湿，不为患矣。是盖卫生之一道也。其洗之也，皆著澡衣，男仅裩裆③，女加背心，攘臂掷足于平滩浅沙之上，微潮卷至，搏跃而乐。朝暮日三洗，余则笙歌聒耳，燔炙④纷纭，或斗叶⑤射球⑥，或博奕⑦饮酒，或鸣琴聚跳，入凉秋则热场散矣。遥闻其事而艳之⑧，惜忙，未得一往观焉。

（志刚：《初使泰西记》⑨）

① 选幽据胜：选择景色幽美的形胜之地。

② 腠理疏漫：肌肉纹理不紧密。腠理，肌肉纹理。

③ 裩裆：有裆的袄子。

④ 燔炙：烤肉，这里泛指食物。

⑤ 斗叶：打牌。

⑥ 射球：踢球。

⑦ 博奕：下棋。

⑧ 艳之：羡慕它。艳，艳羡。

⑨ 志刚原来是清末礼部官员，后来经过考试，到总理各国事务衙门任章京，历经王大臣保奖“赏戴花翎”，“记名海关道”。同治七年(1868年)至同治九年(1870年)，他和孙家谷奉旨随蒲安臣（原为美国驻华公使，1868年，清政府请他“权充”中国派往泰西各国的使臣）出使美、英、法、俄等国。《初使泰西记》即记叙他们此次欧美之行的见闻。

345.藏 骨 洞

（同治八年六月）十六日，观藏骨洞。洞原系攻煤① 之洞，

煤竭洞废。当巴厘② 开拓都邑时，迁移墓骨及与各国争战阵亡之骨，葬瘗无所，因就废洞而藏之。洞口有屋，入屋下窟，即秉烛而游。石阶九十余级，乃平进、曲折、高下、宽狭不一。昏暗阴惨之气逼人。及深入刻许，照见两旁积骨。谛视③ 则髑髅股肱脊肋之骨，分类而层纍之，堆置整齐，云有四百万之多。当不知其如何生聚，如何训练，而始有此多骨也。

（志刚：《初使泰西记》）

① 攻煤：挖煤。
② 巴厘：巴黎。
③ 谛视：仔细观看。谛，注意、仔细。

346.追　悼　会

（同治十年二月）二十三日晚，由外部递到阵亡二提督之讣，内云：“前日出殡，未曾知照各国公使，今定于翌午在大礼拜堂诵经超度，恳请光临为幸。”二十四日甲申，阴。巳正，随星使乘车行里许，抵大礼拜堂。外立马步队千余名。堂高九丈，阔八丈，深十四丈，内外横有黑布帘幔，中立一十字，上悬耶稣木像。两旁立瓷烛十二只，高各五尺。上下左右燃灯千余盏，插国旗数十杆。台上设香案，右坐主教马比喇，头戴白缎帽，形如山字，身着白袍，上罩青绒金边十字披肩，足登白花鞋。又教师六、七名，头戴黑帽，形如凸字，亦系白衣，黑十字披肩未缘金边，着黑皮鞋。台下红椅三行，坐本国大员，如逵尔、发福尔等。后长凳数行，坐各国公使以及外宾，再则小学生数十。木栏外设假木柩二，上覆黑帐，四周列白蜡长四、五尺者百余只。前列亡者之甲胄刀剑，再后列乐兵四百余名。楼上设有风琴大瑟。左右石栏外，立本地男女无数。初则奏乐唪经① 。其主教时而免冠，时而看经，其坐立无暇晷② ，观者皆随之。余人时而递书，

时而呈帽，皆跪进。又皆北向十字，忽而请安，忽而问讯。其中亦有着黑衫白披肩者，皆教徒也。有三教徒以金壶、金盘、白布巾各一，跪而进水于主教。主教坐而浣其左手前二指，后步于十字架前拈香。其合掌膜拜，如僧道礼。又以提炉焚檀，绕台三匝，阖室生香。回台后，教徒跪进黑布鞋，紫地金花氅③。更衣毕，有二对高烛、一炉木香前导，主教步于柩前。后一乌衣人戴毡帽者，手举银镭，长约六尺。奏乐念经一通，其礼乃毕。宛然一出戏也。又第三次祷告天主前时，门外马步队鼓噪一阵，以助其威，以赞其忠，闻而罔不惨然。

（张德彝：《三述奇·凡尔赛纪事》）

① 唪（fěng风上）经：高声念经。唪，大声吟诵。
② 暇晷：空闲时刻。晷，日影，引申为时光。
③ 氅：大衣。

347.男女交际

闻法国处女禁止独自出门，每逢街游，必有亲属或乳媪① 相伴，不与外人交谈，其年岁不许人问。发鬓容止，间有粉饰，外人不得直言，只可夸其颜色娇美，绝世无双，愈承奉而愈欢喜。更有自炫② 洁白而故涂黑点于眉下口旁者。再，男女相见，男先免冠致礼。女不先举其手，男不敢与之曳手③ 问候。男女至近者，必三、四摇而后止，否则彼此一曳而矣。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

① 乳媪：奶妈。
② 自炫：炫耀自己。
③ 曳手：即握手。

348.游　春　会

每年正月下浣①，或二月初旬，有游春会，日期由官选定。有会首六、七人，屠户某买出号②大牛一。二、三、四只不等，载以彩车，遍游于城。有乐兵百余护送，往各公署及王宫吹打讨钱，所得法方③三、四百开不等，亦以三日为期。

（张德彝：　再述奇·法郎西游记》）

① 下浣：下旬。大概根据唐朝制度：十日一休沐，所以以上、中、下旬为上、中、下浣。

② 出号：特大号。号，排定的等级次序。

③ 法方：法郎，法国货币。

349.耶稣受难周的游行

（同治七年十二月）二十六日己巳，晴。是日，系西历二月初七日，外国礼拜之期，为耶稣受四十日大难之始。凡奉天主教者，由是日始，吃无血素斋四十日。国中宴乐、跳舞等事，概行停止。再，自初七日至初九日，此三日男女小儿皆许着异服，戴假面，吹牛角、铜喇叭，昼夜游戏街市，种种玩耍喧哗，金吾①不禁。……

初七日为第一日，见马队八十，皆着彩衣，举花旗；步队八十，戴银盔，执亮戟；乐兵百余，花衣古装。马步两翼排行。其金轮彩车四辆：第一车载大牛一，重二千五百斤，值价二万四千方②，合银二千八百八十余两。车上左右立四人，着短服，执狼牙棒，作力士状。第二车载青衣乐兵六十余名，各戴一假鼻甚长。第三车内载女子二十余名，皆系赤臂，头戴金箍，号曰“仙女”。末车中立一男甚高，赤臂跣足，披发虬髯③，头顶金帽，

腰围短裙，号曰“男仙”，左右有两女孩，其服饰如之。每至各公署，乐兵鼓吹于庭，“男仙”领女孩下车，入见署员问讯，饮酒一杯，领赏谢去。所得钱文，除偿牛价外，众皆俵分④饮酒。至第四日，宰牛，头一刀送入王宫，余肉均分。或云，前年较今年尤为闹热，系以楼车载七牛而行，乐兵马步，男女“神仙”共以千计。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

① 金吾：亦称执金吾，古时官名，掌管京城治安的长官。
② 方：法郎。
③ 虬髯：胡须蜷曲。
④ 俵分：分派、散发。

350.巴黎的贫民窟

法京东南有述梦园。近园一带，闾巷狭窄，房屋鄙陋，风则扬尘蔽目，雨则泥泞难行。居民率皆贫苦，大半囚首丧面，终日男女喧哗，孩童泣笑。较之凯歌路①、马达兰②等处，迥不相同矣。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

① 凯歌路：即香榭里榭大道。《再述奇》曾介绍说：“步行凯歌路，又名天堂路，长约六里，宽十余丈。”
② 马达兰：《再述奇》：“午后步至马达兰坊，甬道左右因近新年，添置木棚，百货云集，颇有京华景象。”凯歌路与马达兰俱为巴黎繁华地区。

351.西人厚今不慕古

泰西于千年前，人多羡古，如华人之慕三代①。因当时心多

朴实，俗尚敦庞②，名曰“金世③”；继而人心不古，名曰“银世”；后因渐流浇薄，远不如古，名曰“铜世”；至今千载，世风日降，暗而不明，则曰“铁世”。今西人谓今胜于古，遂无慕古之心；仍袭用“铁世”二字，其意以为铁之为用甚广，如车有铁道，船有铁轮，制器有铁机，医病有铁水，无一而非铁世界矣。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

① 三代：夏、商、周，代指上古。
② 敦庞：质朴淳厚。
③ 金世：黄金时代。以下“银世”即“白银时代”，余类推。

352.“弄　人　日”

（同治八年二月）二十日壬申，晴。是日，系西历四月初一日，土人呼曰“弄人日”①。是日，无论男女，皆可彼此设计愚弄，互不悔怨。闻有送大木箱于人者，箱内层层尽纸，至尾则一小木鱼，长约寸许而已。又有约定今日某时会于某处，其人赴约，一无所见。诸如此类，可笑之极。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

① 弄人日：愚人节。

353.妇女饰物

西国妇女之已嫁未嫁者，不有别于鬓发，惟其择定有人，及已出嫁者，于无名指上必戴素金戒指以别之。至镶嵌珠宝者，可随意装饰而用之，乃无关乎嫁否。耳环，有戴者，有不戴者，各

任其便。至镯钏则皆用，惟左右腕各具一式，不必成对也。又老妪生须，于此恒见之，长皆三、四分。土人不以为奇，乃云须由天赐，以文① 其陋，趣甚。

（张德彝：《三述奇·凡尔赛纪事》）

① 文：文饰。

354.女子的装扮

西俗：女子皆喜高乳细腰，小足大臀。肆中出售一种腰围，系以铜丝麻布所造，贴身服之，腰自细而乳亦高矣。又有一种假乳，造以粗布，如中土之护膝。又有一种假臀，系以马尾细布所造，形似倭瓜，佩于臀后，立则突出，坐亦棉软。

（张德彝：《再述奇·法郎西游记》）

355.西人服饰

西俗：男子虽当酷暑，不挥扇，不裸体，不着纱罗，不换凉帽。妇女用扇不拘时候，夏固因热，摇以生风，冬季于赴茶会跳舞会等而仍用。所用皆折扇，其旧式甚巨，今则长不及尺，造以绫绸、象牙，绘以五彩；至蕉叶、翅羽，则不尚① 焉。又，除俄国因地近北极外，他国男子，虽值严寒，不畏霜雪，不披絮②，不着皮衣，不换戴暖帽。妇女则不然，虽夏日骤凉，亦可拥裘也。

记：西国男女，不论冬夏，出门皆戴帽，入室即脱去。惟妇女赴白昼茶会不脱。男子虽入酒肆、茅房，亦必脱去露顶，乃礼也。男女帽制亦殊。男帽造以毡绒，色惟黑紫与灰。女冠造以绸

缎，色则五彩。妇女不簪鲜花，其缀于帽上者，皆布造，色极鲜美，与真毕肖。间有饰以假果者，如樱桃、地槚、李子等，亦皆精巧，色相宛然。

又，西人喜净，早晚饮食之际，男女以及童稚，入座必先更衣、漱口、浴面。饮食不得有声，唾余必盛以器。男女寝必有衣，长与身齐，缝以白布，有袖无襟，从首套下。故遇华人之服白长衫者，必发狂笑，盖以为误着寝衣出户也。又，见华人之露顶出行者，俱以仆役目之。缘西俗仆役非因主遣外出，或未经告假，私自远行，皆不得冠。

（张德彝：《三述奇·凡尔赛见闻》）

① 不尚：不崇尚、不流行。
② 披絮：穿棉衣。

356.新生儿的“入教洗礼”

（同治十年四月十二日）申初回寓，复同刘辅臣街游。步至巴鲁街，见大礼拜堂内男女老幼跪而默诵者十数人。旁立一少妇，怀抱婴孩，系本日所生者。甫生未逾一日，即抱出户，风气之不同，于此可见。妇旁一童，着乌衣，举烛长逾四尺。中立神甫，年近三旬，与之看经解义；后将圣水涤于儿头，以棉拭之。拭毕登记于簿，少妇深谢而去。此初生儿入教礼也。

（张德彝：《三述奇·癸后巴黎记》）

357.西人喜街游

西俗，富贵人家，每日申酉之间，必乘车出游一次。或走街

衢，或入园囿，流水游龙，裙屐济济。中等人家，亦必男女三五成群，闲游于市，皆须联袂并行，不得参差前后。故朝朝午后，男女络绎不绝于途也。又定例，每日妇女必须街游。苟男子拦阻，妇女可以控官，乃判将该男监禁若干日，以昭儆戒云。

（张德彝：《三述奇·赘后巴黎记》）

358.递　扇　子

闻洋女持扇，若旁人借看，回递时能示人之喜怒。如恭敬则持柄递面，不喜则持面递柄，惟横递则怒不可当也。

（张德彝：《三述奇·赘后巴黎记》）

359.丹京集奇馆

（同治丙寅五月）二十三日辛巳，至画阁之集奇馆。内楼系按天下国都人物分间各备一式。先是北极北冰海未化之国①，黑人不知用铁，斩木为兵②，刻木为舟，著兽皮鸟羽，犬拉冰床。再则膻肉酪浆③，韦辅毳幕④，鹑居觳饮⑤之辈。又有南极，南冰海之野人出食人肉，南阿美利加野人，在唇下钉黑铅一块，其口永张，面黄色，散发赤身。再则饮血茹毛，穴居于野，拔耳贯胸之徒矣。已化之国如欧罗巴之英、法、俄、布、日耳曼、大吕宋等，亚西亚之诸回部番邦，日本、琉球、越南、朝鲜、蒙古、西藏等所有土产服物，无一不有。唯中华土产器皿较多于他国，有袍褂裙衫，鞾鞋帽袜，皆老样，更有画轴钞票等数千样。亦有阿美利加、阿非利加诸国土产货物。是日仍雨，前在埃及国时，三月初旬，麦已割收。今到此已五月下旬而麦尚未黄。前在安南国时，时甫二月，竟热似三伏。今在此乃五月下旬，竟凄凄然凉似暮

秋时也。时与地殊，信然。

（张德彝：《航海述奇》）

① 未化之国：未开化的地域。
② 兵，武器。
③ 膻肉酪浆：带着腥气的肉和乳浆。
④ 韦韝（gōu沟）毳（cuì翠）幕：兽皮衣和毡帐。韝，臂套。
⑤ 鹑居鷇（kòu扣）饮：鹑鸟无固定的住所；鷇，鸹鸟，待母哺而后得食。故以此比喻粗简的生活。
以上三句是说：吃带羊骚气的肉，喝乳浆，穿兽皮，住毡帐，生活极为粗简的人。

360.丹麦博物院中的古物

所最奇者，刻石为骰子①，上列一、二、三、四、五、六，点数、位置，悉同中国。又有黑白棋子，其棋枰已碎坏，然尚约略可数，适符十九道之数，与吾国围棋无不暗合，真咄咄奇事。颇疑中国故物流传此间，而院长则坚谓非是，惟无从忆其何年代及所从来耳。又有铜角，用以饮酒，则与吾国吻合。盖爵②、角通用，而觥、觚③等字悉从角旁，角固古之酒器也。

（戴鸿慈：《出使九国日记④》）

① 骰（tóu投）子：赌具。以象牙或兽骨做成，立体正方形，六面，分刻一二三四五六之数。
② 爵：古时饮酒用具。
③ 觥、觚：都是我国古时饮酒的用具。
④ 戴鸿慈（？—1910），清末广东南海人，字少怀。光绪进士。以编修督学山东、云南。中日甲午战争时，连疏劾李鸿章误国，要求严惩。后任刑部侍郎。光绪三十一年（1902年），为出洋“五大臣”之一，出国考察。《出使九国日记》即为这次出国考察时的实录。

361.巨鲸的躯壳[1]

（同治丙寅[2]五月）二十九日丁亥。又至一处，得见大鲸鱼皮与其骨。其骨抽出，以铁条支起，其五脏挂于壁上。其皮长则五丈五尺，宽一丈二尺，以木架支撑，宛然一房。内设桌凳盆镜等物，其口如门，长五尺馀，满口毛如棕叶，尚有腥臭之气。牙边有跳板，通在楼梯上，出入鱼口。其腹可受五、六人，盖古人曾谓宁赴湘流，葬于江鱼之腹。予谓鱼腹中，能受一人，自为大鱼矣，而此鱼腹中，能受五、六人，不更大哉。询之，知此鱼出自北海，因触翻大洋船数隻，有智者出以千人设法擒之，乃得是皮。

（张德彝：《航海述奇》）

① 此则记在瑞典所见。

② 同治丙寅：即同治五年，公元1866年。

362.威柏阁胜景怡人

（同治丙寅六月）初四日辛卯。早，入大海名芬兰海，想即北海也。水黑色，顾海左右频见岛岸。行七百馀里，未刻抵威柏阁。倚口有白石炮台二座，乃以小轮船引入内河。傍岸后，彝等乃乘车游逛，行九里许，先至一园，名满浦泗。入内，初极狭，才通人，复行数十步，豁然开朗，便得一湖，湖心有岛，中接以活桥，桥乃四楞木板，有两条丝绳连于左右，人上时，随步拉绳，板自行矣。至岛盘桓而上，有松实细长如瓜，野果圆小如楮[1]。极上有墙如城，自内步梯而上，眺望四野，唯此岛崒然起于苍翠之中，四围湖水，波浪不惊，岸芷汀兰[2]，郁郁青青，水中鸥浴林内，鸟鸣山壑，桥楼迷离掩映，上下天光，一碧万顷。上有古

家，系前古名人。下归旧路，穿山越岭，曲径通幽，处处寂静，一路花草，时闻泉声，同游者咸取异草插于帽顶，摘奇花佩于襟胸中。有俄国武官毕姓者，身著青服，金线镶边，腰带长刀，身高力大，重眉环眼，八字乌须，彼引看各处。又见一树，天生塔形，上下不见梃③。一井亭前有铁二人凳，同人皆纵身从凳前跃过。又见平原一带，遍地青草，中有男女四、五人打圈作戏，众见彝等，止戏，便向西山环而去。彝等向北一转，即是园门，出此乘车行二十馀里，绕至一高埠之后，地名休息宴密。下车盘桓，至山顶，有饮茶作乐之所。见游人伛偻提携，前呼后应，往来不绝于山林园囿之间。山之东西，林壑④尤美，蔚然深秀⑤；山前临湖，藻荇铺翠⑥，石齿斑斑；山后则丰草绿缛，佳木葱茏。彝等乃停杯就岸，掉舟而东。俄国武官，裸衣弄桨，缘岛而行。时则清风随来，水波不兴，飘飘衣裙，荡荡舟轻，采水花草，妙于采菱。今日之乐，俨若太清⑦。惜无琴以鼓曲，恨无才以诗铭⑧。土人所言，一语不明，摇手屈指，以此达情。舟行几里，自南而东，遥见对岸炊烟上升，楼台掩映，桥阁纵横。绕过一岛，向北而行，复为西望，天水澄清。登岸落坐，多谢毕公，举酒属毕，毕谢复从。已而夕阳在山，人影散乱，茶烟歇，酒力醒，树林阴翳，上下鸟鸣。少焉⑨，月出于东山之上，游人去乎乡里之中，彦智轩及包腊等乘火轮渡回船。彝等乃乘车而归，土民犹追随争看，瞻望咨嗟而已。

（张德彝：《航海述奇》）

① 楮（chǔ楚）：树名，叶似桑，果实圆而红。
② 岸芷汀兰：岸上的香草，小洲上的兰花。
③ 梃：植物的直茎。
④ 壑：山沟。
⑤ 蔚然深秀：草木浓茂，极为秀美。蔚然，草木茂盛貌。
⑥ 藻荇铺翠：藻和荇给水面铺上一层翠绿色。藻，荇，水生植物。
⑦ 太清：仙境，道家三清之一。道书认为回人天外有三清，圣登玉清，真登上

清，仙登太清。太清为仙人所居。

⑧ 以诗铭：以诗为记。

⑨ 少焉：一会儿。

363.北极传闻

（光绪二年十一月）二十六日午正，行八百四十里，在赤道北三十四度四分，大风颠顿至不可耐。……船主怀德言：英总兵勒尔斯寻北极至八十三度，凿冰行一千二百里，遇冰山矗立，无路可通，或崎岖行一里许，凡一百四十馀日，不见日。随行兵多病者，计穷而返。始知致病之由，以无从得水果，而咎① 兵部不多储水果汁以行，仍决计再往探之，以穷尽冰海为期。言冰上亦有居民，凿冰为屋，以雪为门，入则封之。猎鱼兽为衣食，衣以鹿皮，亦荐② 其皮以寝。其猎鱼锤冰。深至十馀丈，鱼得冰窍③ 以嘘其气，则群聚于穴中，制铁为刃，累长竿钩取之。用鱼油为薪，夜则燃以为灯。其居逐冰窟迁徙，以凭猎取鱼兽，若蒙古之游牧然，亦穷荒④ 之异闻也。

（郭嵩焘：《使西纪程》）

① 咎：责备、加罪。

② 荐：卧席。此作动词用，意思是“用……作卧席。”

③ 冰窍（qiào俏）：冰洞。窍，洞穴。

④ 穷荒：极荒远之地。

364.雪山之游

（光绪三十二年闰四月）十八日，晴。是日，将与参随等乘火车为士森尼伯辣雪山之游。瑞政府① 乃遣招待员阿勃黎等二人为导，同行者凡二十七人，时八时四十二分也。沿途望山，雪色不断，牧场衔接，长林迤逦。九时二十分，至肫湖。三十分，至

湖岸下车。湖边有小轮船，专以渡客，游人群集渡江如鲫，盖此地可车、可舟，而湖色尤胜也。自此返望，湖岸树影蘸波，林屋幽雅，翛然② 若出尘俗。渔舟三、四，临流撒网。仰视山上，则宿雪弥漫，云气蓊郁③，若近若远，殆移人情。湖本通流也，若来因④，若多恼⑤，若伦河⑥，皆发源于此。——因思中国山川之胜，庐山、西湖、罗浮之属，如瑞士比者，不可偻指⑦。顾瑞士以佳山水闻天下者，何也？欧洲无大好山水，其气候亦多不适宜于避暑旅行之处，故瑞士一隅秀出尘表⑧。而中国内地未辟，交通不便，又乏所以保护而经营之术，使坟茔纵横，斧斤往来⑨，风景索尽，游人茧足⑩，职此由矣。——湖水浅碧，晴波不扬，中流容与，谈笑风生。移时，至普列治，是处水势弯环，尤湖心胜处。有客店，朱阑白屋，绕湖而居，诚避暑佳所也。十时二十分，至比田不士脱，时有扁舟载女郎数人，挥巾相招。尔时，水腻于油，渐渐深绿，逆望诸山，或尖若危堞⑪，或平若芜田，或树深没石，或云影横断，出没变化，不可端倪。十一时，至延特勒干，登岸步行。市上列肆求售，皆山水影本也。四十五分，乘车复行。至山下，易火车登山，渡溪流，蜿蜒入林间。但见四山青合，疑无去路，屋舍纵横，树木萧疏，山花五色，掩映岩际。峰回路转，忽现平地，时有茅屋，足适游客读书之居。推窗近望，则万石奔赴，老树屈强，或岸然独立，或群干争长。少顷，斜入山洞者再。此山之颠，距海面凡八千英尺，是时，已登高六千七百尺矣。自此以后，天气渐冷，寒气袭人。下瞰晴湖，曲折数见，参天高树，时出车底。山本陡峻，因其盘旋之势，纡回数里而行，故不觉险。乃知凡作一事，不贵急激，惟宜以毅力持之，方向苟不变，虽取径稍纡远，终必达其意之所祈，于游山见之矣。山路间阻绝，以石桥渡之，如是者三。维时天气渐异，山上微雨，山下自晴，烟雾空濛，咫尺百变。十二时五十分，至比黎留恩宁，则雪深夹道，皆自山顶而下，高可没人。石壁嵯峨，有如古城断碣。复过山洞二，俯临万仞，层崖峻险。山间时见瀑

布，盖长一千英尺以来，直至山底。一时十五分，至士森尼伯辣，入士森尼伯辣旅馆。是处眺望良胜，有舍可馆客。火车行至此止矣。铁路之长，其高盖十英里。仰观山峰，亭亭秀挺，可跻攀而登。饭后，同游诸人多陟其上，攀藤抚石，喘息再四，登高一呼，群山毕应，声了了可辩。已而云气忽来，散漫山谷，迷不见人。良久乃下，则满袖携云归矣。就旅馆小憩啜茗⑫，寻相偕下山，拔云寻道，山石蒸湿，滑不可步。四时三十分，复登火车下山，渡山洞二。积云如絮，窗外不见一物。五时，至比黎留恩宁，仍循原路而回，巨石嶙峋，奇诡万状，有如劈柴，又如骤雨，如蜂窝，如蠹木，如奔马，快人心目。夫名山胜地，固出天然，亦需人工。吾国山川之胜何限，顾守土者不加修葺，则颓废有时，或甚蒿莱不治，人迹罕至，时有伏莽⑬之虞，非谢家山贼⑭纠合徒众，不可得游，抑可叹也。欧人诚好游，乃有汽车、电车，纷驰道上；有记里之旗，有邮信之函；处处有旅馆，游客所需，无有不备，可谓便甚矣。五时三十五分，至威尔特士威尔。六时，易车至延特勒干，仍乘专车返。以日向暮，故舍舟而车也。车行沿湖，过山洞者四。盖虽濒水，然皆山脚，故须凿隧乃可通也。旁岸急行，遥见湖心白鸥数点，小舟荡漾，别饶清致。迨返巴仑，则已七时四十五分矣。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 瑞政府：瑞士政府。
② 翛然：无拘无束，自由自在之貌。
③ 蓊郁：茂盛之貌。
④ 来因：即莱因河。
⑤ 多恼：即多恼河。
⑥ 伦河：即罗讷河。
⑦ 偻指：逐一屈指而数。
⑧ 尘表：超绝尘世。
⑨ 斧斤往来：不断砍伐。斧斤，伐木工具。
⑩ 茧足：象蚕作茧一样把脚缠住，即裹足不前之意。

⑪ 危埨：高塔。埨，即塔字。

⑫ 啜茗：喝茶。

⑬ 伏莽：潜藏兵戎在草莽之中，指盗贼。

⑭ 谢家山贼：指谢灵运。《宋书·谢灵运传》载："灵运因父祖之资，生业甚厚，奴仆既众，义故门生数百。凿山浚湖，功役无已。寻山陟岭，必造幽峻，岩障千重，莫不备尽。登蹑常著木履，上山则去前齿，下山则去后齿。尝自始宁南山，伐木开径，直至临海，从者数百人。临海太守王琇惊骇，谓为山贼，徐知是灵运，乃安。"

365.瑞士风物

在荷兰国时，闻瑞士国之清景甲于欧土，于是乘轮车东南行。至其地则万山叠峙①，野谷绵亘，气候迥异，山岭严寒，平原温和，山谷炎热，溪涧交流，远客来游者不可胜数。国为欧洲之中原，居民不一。北近日耳曼，务②纺织；西近法兰西，精制造；南近义大意，务游牧。心性诚实，饭食节俭，乐于故土，不愿他徙③。胆大力健，临阵不惧，量宽性和，行旅客商栖之、食之，相待不啻亲串④。奉耶稣天主教。其国之牛最多乳汁，取乳之妇以桶盛汁，一次便满。国之四周皆陆地，无海口，以此商船兵舶皆所未备。通国分二十二部，户口二百二十五万，以百尔尼为京城，各省设立乡官数十人主理，大事则会同商议。山名亚力伯，为洲内极高之山，有峻岭名仙宾，高约七百丈，贸迁之客⑤渡岭者，络绎不绝。山下暑热熏蒸，山上则冰雪交凝，终年不化。道上行人每感寒瘴，忽觉迷倦，恹恹路隅，俄而六出⑥纷飞，竟为雪葬，或半途遇雪，拥路不前，僵跌坑窟。富而仁者，尝建义庄于中路，畜巨犬以救之。每二犬作一队，一背毡衫，一悬酒食，令其于山路上随嗅随行，觉雪里有人，能爬挖出之，蹲守其侧，俟人醒，饮酒穿衣，引归义庄。人若冻死，犬即奔报其主。有一犬曾活二十二人，捐金铸鐶以钳其项，镌字以纪其功云。昔有小孩，行至此山，迷失路途，徬徨之际又遇大雪，小孩几欲冻死，值义犬巡至，见小孩僵卧，即以舌温其口，小孩渐

苏。犬乃伏其身傍不去，小孩骑犬而至庄内，得以不死。

（阙名：《游历笔记》）

① 叠峙：重迭地耸立。
② 务：从事。
③ 徙：迁移。
④ 不啻亲串：无异于亲人。亲串，亲近的人，亲戚。
⑤ 贸迁之客：贩运买卖的人。
⑥ 六出：雪花。雪花六角，故以此为其别名。

366.过 芦 干 湖

二十日巳刻，坐火车入瑞士国，过芦干湖。湖长二千三百尺，绕数十峰。中有桑额达岭，高四万二千尺，山半积雪，冷光射眸，不能仰视。又穿大石洞，逾数刻始出。出则寒云阴翳，不见天日，惟闻瀑泉镗鞳[1]而已。晚渡西连城湖。酉刻抵芦在城客馆。

（潘飞声：《西海纪行卷》）

① 镗鞳：钟鼓声。这里用来形容瀑布流泉的声音。苏轼《石钟山记》："窾坎镗鞳者，魏献子之歌钟也。"

367.游 芦 在 湖

十三日阿（恩德）[1]有游湖之约，巳刻偕竹君登小轮船。船行湖中，山青水绿，绕山皆湖，绕湖皆山。日出烟消，苍翠浮动，望比拉、离基诸峰，积雪晶莹，山光湖光，映带上下，真宇外之奇观也。

同游多英、法女郎，有极明丽者，与余隔坐，嫣然微笑，赠

异花一枝。又有意国人名姑（因美）言曾游广东者，赠瑞士湖山图全帙。舟抵一山小泊，游客皆驾火车登山。山壁峭削，山上有汽机，以铁缆牵车驰入苍翠中，心旷神怡。山腰有酒亭，正对飞瀑，瀑穿树杪，横冲石顶，散为天半雪花。把杯延赏，几忘下山。忽闻钟声，则火轮催发，乃由车返舟。阅地图，知瑞士湖山雄奇幽秀，迤逦五、六百里，非襆被② 数月，不能穷其胜。且国无苛政，风俗纯良。地分二十二部，各推部长治事。……余今日游芦在湖，虽未至官斯丹萨大湖，登比拉、离基诸峰，然亦小结湖山缘矣。酉刻归客馆，写书寄柏林诸友，述湖山之胜，并以湖山影照本赠媚（雅）女史③，别时所属购也。

芦在湖泛舟得诗四首

湖草湖花续旧缘，重来湖景尚依然。
不须更作苍桑感，我梦湖山已四年。

暗暗离愁奈若何，伤秋憔悴瘦维摩。
湖山要我开生面，风雨宵来逐病魔。
（昨晚夜大风雨，酒后腹痛，今晨登舟乃愈。）

垒垒青山湖上云，湖中香舸净无尘。
白衣红袖蓝绫扇，妆点湖山要美人。

离基雪掩待登攀，何事匆匆又早还。
未免被他猿鹤笑，满衣尘土别湖山。

（潘飞声：《天外归槎录》）

① 阿（恩德）：作者的德语翻译。

② 襆被：用袱子裹扎衣服，意思是打点行装。襆，包袱，这里作动词用。

③ 媚（雅）女史：是作者在东学书院任教时的女学生。作者离柏林时，“东学书院诸生皆来送行，而媚（雅）、芬（英）、威（丽默）三女史亦各赠花毬。”（《天

368.弹丸之国

舆地之家论小国者，率以法兰西之摩那哥，意大利之森马林，日耳曼之光石，界于西班牙与法兰西之安道耳为口实。考四国之幅员，其较大者为安道耳，不过八百方里，纵横析计之，各得二十里有奇。光石得二百五十三方里，森马林得一百方里，摩那哥惟得三十五方里，纵横各可六里，似乎渺小难施治化矣，而不知欧洲之国极小者曰摩尔奈，计其方里约得一九之数，析其纵横，各得三里。东邻日尔曼，西连比利时。地产锡矿一所，苗旺而利宏。有农人百馀家，结茅屋数十椽，聚族而居，务农之馀，兼事开矿。当西历一千八百十五年，欧洲戎事方平，普鲁士与荷兰、比利时诸国，重整疆域以弭① 争端，各使勘界大臣巡行边邮（陲），秉公从事，初无争心。及勘至摩尔奈地，见土壤肥腴，锡矿苗旺，风俗醇厚，居民醇良，于是各思占据，乃历久而议莫能成。其时普国度支② 未足，兵力未强，听其自立。各国议定，莫得私行侵扰，而摩奈尔遂励精图治，居然成国矣。其国例，公举总统一人，统理境内一切事宜。迄今七十馀年，屡有更举。现在任职者名施密德，其副为医生。总统之下，又有议事官十员，归总统自行选择，有要事则召而谘询之，无则终岁不召也。其将与兵皆仅一人。每年公费税项，小民每口捐六个佛郎克，以别款捐项及锡矿所出并计之，每年可得公费利银一万八千佛郎克，拨为人员俸饩③ 及修桥、补路，设学校，开锡矿诸公费，绰绰有馀，无忧匮乏。而又人民安分，富庶两增，前此数十茅椽，今已改为八百馀座高房大厦。

（龚柴：《弹丸小记》④）

① 弭：消除。

② 度支：规划计算。

③ 俸饩：旧时官吏所得的俸钱和禄米。

④ 作者生平已见前。《弹丸小记》记述当时世界上最小的国家摩尔奈的土地、物产、人口等情况。

369.那不勒斯见闻

（光绪三十年五月）三日七时，汽车行，乘之入奈波里①，意人皆不解英语，游之甚难。惟欧洲埠有一游埠公司，皆有司事者一人在车场，以代游客料理。其冠皆有游埠公司字号，英语名之曰“哭”。其人必解英、德、法三大国之语，乃能应客，余乃觅“哭”人而托之。然欺诈甚，自巴连的诗往罗马，上等车价七十八喇利（意国通行之币也。每英磅易二十五喇利，略低于中土半元，而轻小仅如双毫耳）。而“哭”代买票，欺称九十八。既查其价明告之，彼乃云在奈波里少停者八十七佛郎。衣箱一件，则云须二十佛郎，后索六佛郎，其他类是。则极难信也。

……一英商告曰：“到罗马、奈波里客店，各行李当慎检，金钱不可置箧笥中，多遭胠箧②。吾译人偶不留意，在奈波里置二金钱于房中衣内，一出房食餐而即失。……一西仆奥人罗弼告我曰：昔在奈波里客舍夜寝挂衣，失去金数镑。与英人之言皆同。行客过此，不可不慎。……吾之游火山也，乞儿数十，追随里许，此与印度无异。此皆吾所亲见闻者。若其褴褛之情，颠连③之状，此各国所同有，又不止奈波里也。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》④）

① 奈波里：今译作那不勒斯。

② 胠箧（qū qiè区切）：撬开箱子。

③ 颠连：困顿不堪的情状。

④ 康有为（1858—1927），清末广东南海人。原名祖诒，字广厦，号长素，又

号更生。近代资产阶级改良主义者，戊戌维新变法运动的领袖。变法失败后，逃亡国外，漫游欧洲诸国时，作《欧洲十一国游记》，记叙游历时的感想和见闻。

370.长埋地下的古城

午游邦泮，距奈波里二十馀里许，在海湾内。盖当耶氏纪元七十九年，斐苏威火山震，喷火。全埠三万人，为火山所压，死者三千人，犬豕鸡同时而僵化，馀仅走免。时罗马第度帝②，大施恩惠以救难民，而沉埋甚深，终难发掘。其宫室庙堂，同时被压。千年沉冥，于西历一千七百四十八年，有穿井者，发掘灰石，得精制品物甚多。后七年，奈波里王查尔斯三世时，发出大戏园。渐渐疏剔，乃至全城显露。火山之上覆移尽，则墙园、道路、室阶、像设、器物、食品、玩具、图画、字迹一一具存，班驳壮丽。游之如在二千年前罗马古国中，见其人物风俗也。此为地球第一之大古玩。而所关于政治、文化、风俗之法戒，以为进化退化比较之具，亦莫大之鉴矣。……

入一官宅，甚丽。制与他宅同，而石像甚多。庭除③甚深，上下二层。中供一白石神像，刻极精。有男具石人二，石鸭二，石马二，石兔二，石鱼二，石鳖二。人面马足之怪一人，以手提其足。又一石刻人挟鱼蛇，极精妙矣。又有两石刻人首立左右，皆在花草掩映间。盖罗马之俗，以雕刻为尚，故陈设尚之。

又入一官宅，摩色画④铺地更壮丽。中间水管激射。下一白石神龛，七级而上，前临石池。四壁画鱼鸭虾无数。一鹭以数笔为之，花上鸟亦然。其馀花草皆潇洒出尘，如今江、浙画，其着色尚极新。吾国人睹此，则知淡逸之品，罗马人二千年已能为之，所难者，仍在精工迫真耳。故今日欧人之画，又上一层也。此室若迁于中国，皆信为中国之物，盖无一不与中国同也。……

末入一大富室，弘丽为此城之冠矣。门高数级，类中土。门庭甚大，门旁一房。庭有铁箱，遍铜钉，绿花班驳。石兽甚多，

雕刻极精。又有圆石作神像。东向一大室，右旁一庭二室。爨釜之具⑤五，皆铁器为之，如古烧牛然，班驳青绿，似中国古钟鼎矣，此最为真物也。……

西向一大室。隔一梯，又一室，又一庭。其当正门之大庭，环廊南北七柱，东西四柱，置石人铁人十馀。石盘、石台方圆长形不等，亦十馀，刻镂极精。东向一堂一室甚大，四面丹壁，绘画金采，完好如新。图写其当时人物风俗器具，亦全城之冠也。今意人以大铜链绕其边外，不许人近，且修其坠瓦，以为完室。旁三室庭，画亦精妙。……

此城望之虽小，而行之无穷。衢巷转折，南北东西，行半日不尽。盖巷窄屋小，所容众多故也。然虽三万人，而神庙甚多，富室甚多，所经者已数十。自入此最精丽宏大之巨室后，馀皆不如之，亦不暇遍观矣。日渐西下，乃速行而出。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 耶氏纪元：即公历，或阳历。纪元是从传说的耶稣生年算起。
② 第度帝：古罗马皇帝，今译作“狄度”，费拉维王朝的创立者韦斯巴芗之子。
③ 庭除：庭院。
④ 摩色画：以小石砌成的五色画。
⑤ 爨釜之具：煮东西的器皿。

371.罗马观感

（五月）六日三时到罗马。将到时，群山走下，渐开大野，蔚为巨观，远望之知为大都会，即将到罗马矣。遥望巨桥横野，高若层楼，迤曳数里，断之续之，上插云表。拱门数百，高出数丈，皆以石筑之。吾决其为引水石渠，问之果然。盖罗马盛时所筑，至今二千年矣。虽时有断者，然非常之巨工，已先见一斑。入克兰大客店，极宏壮也。一厅一室，铺垫甚都①，价仅二十

佛郎，贱于英、德多矣。次者十二佛郎，一日兼食宿焉，亦甚贱。

罗马今为意新建国之都城，仅四十馀年。楼阁仅高三、四层，皆新净。道路以小石为砖铺之，甚洁，无奈波里之倾侧。人民衣服亦稍洁，乞丐亦少。……严禁妓馆。百戏亦寂寥，虽无英、法、德之繁填②，而新整可观。临泰摆江③，列道夹树宽广。七山相望，草树秀绿。城中古塔、古石表矗天，坏殿危楼遍地，祆祠④宏丽甲大地，大者凡一百四十馀。吾览观三、四十祠，亦皆宏丽崇严，为他国大都所无者。盖此为千年教皇故地使然。英国伦敦保罗庙，号最宏丽，置之罗马中，不能在百数之列也。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 甚都：十分漂亮。都，华美，漂亮。
② 繁填：热闹。
③ 泰摆江：流经罗马的河流名。
④ 祆祠：祆教神庙。

372.罗马教堂

噫，不至罗马，乌知教堂他处虽大，此处尤大耶？不至罗马，又乌知教堂此日犹衰，当日盛邪？罗马一境，教堂林立，以教皇向都于此故也。其中之极大者有二，传为耶稣二大门徒所立。二大门徒者，如释迦之二大弟子文殊、普贤然。殁后即各葬于堂下，其堂皆以白石及花石垒筑而成，高至五、六十丈，冲霄凌汉，莫与之京①。楹柱之石，有三人合抱者，石色更佳，或如玛瑙，或如翡翠。壁则以各色碎石嵌磨人物故事，直与绘画无异。层层所履之地，亦嵌磨作各种锦毯花样。正不知耗费几千万金钱，经历几百年时日，乃获成此巨观，此二堂之所同也。其少异者，一则门前恢廓②，中矗砥柱，高数十丈左右，自来水亦喷涌

作十数丈之高，堂左为教王之宫，堂右有库房，藏庀③历代教王之衣冠、器皿，贵重无比，缘镶嵌珍宝，皆希世无价之物。一则屡经兵燹④，少毁复修，堂前已完好如初，堂后尚经营伊始，然开工已六十年。据云，再六十年或可峻工，其工费亦可想见。历代教王皆留有画像，一一摩嵌壁上，面目如生。又由石级千百盘旋，登至承尘⑤之巅，仰视屋脊，尚高数丈，其间足容万馀人，真可骇焉。其他各堂，或供耶稣临刑所履之石阶，或供耶稣当日澡身之浴盘，或陈所留足迹之石块，或踞曾匿教徒之地窟，规模较隘，皆无足称云。

（袁祖志：《涉洋管见》）

① 莫与之京：无法与它比大。京，大。
② 恢廓：宽阔宏大。此指宽阔。
③ 庀（pǐ痞）：备具。
④ 兵燹（xiǎn险）：因战乱所遭受的破坏。燹，野火。
⑤ 承尘：天花板。

373.号称宇内第一的彼得庙

四时出游衢道，先游彼得① 庙。此庙壮丽，欧人夸为宇内第一。创始于明之中叶，为西历一千五百零六年，成于一千七百八十年，工程凡三百五十年，费金一千五百万镑。穷② 教皇之所不足，乃卖“赦罪纸”以成之，路德③ 因得藉口以攻之而兴新教，而天主教因之以倾，为此庙也，所关亦大矣。其与秦之役民筑阿房④ 而亡国将无同。其工出自名匠勃拉曼德。是时新学日出，勃乃变罗马、日耳曼之旧式，而自出新裁。勃死，而名匠拉发罗、巨利瓦、罗孟诺、弗拉约、康独、安得诺、密克尔安春罗七人续成之。其馀内外雕饰，皆妙选当时之名手无数以成之，可谓巨工矣。以吾所游印度，见沙之之汗陵庙，壮丽相等，而雕刻则不

及。若君士但丁⑤之珊逊祆祠，最有巨丽名，我未见之。未知果为宇内第一否？然工程之久大，雕刻之精工，关系之伟巨，必为宇内有名之大建筑矣。

门外旷墀⑥如天安门外，深广数百步，宏敞非常。两廊各百余柱，作圆拱半壁形。其上立雕石先哲像，每柱上一像。中间一华表，高十余丈，体方。左右两大管为喷水池。体势雄伟，甚类印度也。正殿阶崇数十级，殿高三十余丈，左右各六柱，柱大四尺许，上层顶平，亦环立其先哲像。大门五，中门以铁为之，作圆拱形，高三百四十二尺。拱上门外横廊广数丈，雄深崇峻，亦似印度。

入门，右有法国王之像。其阶砖皆五色文石砌花鸟品物，各形无同者。正中攒石为圆形，如我天坛。最中圆红石丈许，为教皇拜处。顶盖高一百三十八尺，皆作藻井⑦，画刻各色金花，光灿夺眼。藻井形或方，或长，或椭圆。最中圆穹径百九十五尺，高四百二十六尺，至顶四百五十八尺。顶上作金人十六，以十六格分刻之。中层作金宝星十余。四周开窗，每窗顶皆画一像。其下为画五层，一方，一圆，一长。皆刻金为底，以丹青为画，饰以宝石，璀灿照耀。圆穹上顶作数丈金塔形，荫下作方亭。

亭下为彼德、保罗墓。方亭高数丈，四大金柱皆作曲形。以文石砌路，左右两路凡十七级，下至墓所。墓前四宝石柱，是自古罗马皇尼罗殿移来者。其石级下两宝石柱，大三尺余，以火照之，光通彻，余皆以金为之。上层环周石栏，以金作花叶形之灯，凡百数。坟堂正座之椅，乃彼得原坐者。椅下以朵云盛之，刻四教皇像，以手捧云。左右刻神像甚多，并精绝。其神放星光，亭上供奉十字。自亭盖以至坟下，一切皆刻金饰宝石，光丽无伦。墓门刻金，如中国神龛，墓前作第六教皇布拉沙希跪像，甚精美，为名匠加南所刻。

亭后正花处，供奉耶稣。左一石棺，乃一百八十九代教皇阿路巴拿士咽地者。棺刻花，首尾起卷书形尺余。中左作一百六十九

代教皇波花路地筛士，中右作教皇亚历山大坐像，皆以文石为之。中间神龛，以二神像托之。所有各像，手足筋骸，精妙入微，光动如生，真刻像之极品也。罗马本以刻像著，此为罗马第一大工，故正殿刻像尤为妙绝。有一画写耶稣故事者，以“摩色”为之，用五色小石，其精细微妙，与笔画同。此画为四名手所作，三人皆为作此画而死，第四人乃能成之。凡经十年，尤为绝技神异之品矣！

殿左右皆以文石为之，两旁皆刻石像。多置历代教皇之棺，高下不一，有在丈许高者。去年死之新教皇，亦瘞于此。全殿藏棺百数，教皇棺六十四。各国惟王者乃能藏棺于是。木棺外皆有石椁，凡两三重，故无恶气。棺上皆刻死者像，或坐或卧，此欧洲之通例。突厥、波斯亦然。观埃及古棺，皆画像其上，则其传流甚古矣。其感动人而留纪念，亦至切易。故欧洲各墓地多有之，贵人则殆必有矣。

……

此殿全用五色文石，雕镂精绝，庄严妙丽，高杳宏深，柱础皆盈丈许。盖欧洲皆奉天主教，教皇驻于罗马，此殿为教皇及天主教总供奉处也。殿左右为教皇宫。宫门在左，绕后至右。是日先至左殿。自殿檐门外，则为游廊，甚长。夹廊皆立石像无数，雕刻精绝，皆文石也，此为教皇宫矣。入一方殿，再入为一圆殿，昔之三百廿年教皇之鸡骨犹存。故圆殿上刻一大金鸡，大七、八尺，乃全金为之者。此殿望之似小，而内有八百室，皆以文石为之，有古画十九幅，皆一千四百八十四年者，高妙绝伦。有宝石柱，上刻全金彼得像。其柱自埃及移来，长三尺余，黄金色，通彻如镜，中作云气缭绕。此石名亚拉伯士他，真奇宝也。行遍欧洲，见宝石多矣，甚少其比。有僧七十余人，每僧占三室，一书室，一卧室，一食室，皆文石。僧亦太乐矣哉！

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 彼得：耶稣的门徒。

② 穷：尽。

③ 路德（1483—1546）：十六世纪欧洲宗教改革运动的发难者，被基督教新教路德宗奉为创始人。

④ 阿房：即阿房宫，秦始皇所建。这宫殿穷奢极侈，耗费无数人力物力。

⑤ 君士但丁：即君士但丁堡，土耳其的故都。今名伊斯坦布尔，位于欧洲东部，扼黑海、地中海之间的咽喉。

⑥ 旷墀：宽阔的台阶。

⑦ 藻井：即承尘，俗称天花板。

374.精工绝伦的保罗庙

罗马寺庙，自彼得殿外，莫如保罗庙，此诚地球绝伦之精工者也。吾遍游欧洲十余国，无有比其一鳞半甲者。彼得庙以雕刻作画胜，保罗庙以各色文石胜，彼得庙其由来已古，保罗新筑，则务以金石辉煌过之。然石崇、王恺之斗富①，终不能比刘向在天禄石渠② 也；然二庙者，未知君士但丁之珊逊寺何如耳。印度之黄金庙天文台，缅甸之黄金塔，与之体裁不同，各有胜处；若欧洲寺庙，则二庙可称观止③ 矣。

九日游之，殿长六百尺，高百尺。古庙有名，焚於道光时，而复新作之。殿前百八十尺，大门左右为半圆龛，朝北刻神像，精绝。左右廊深长各列八柱，柱横列二重，共十六柱，二方一圆，高三丈许，大三尺许，皆以五色文石为之，而金饰花焉。中间广庭为拜地，皆以五色文石砌花，各如其色，方圆尽妙。顶盖藻井，皆刻金花，与大殿同其华丽也。近墙方柱，皆碧绿文石，如玉如晶，皆含山水之形。每两柱中壁间，嵌宝石数方，每方数尺，五色七章，无采不备，尽地球石质之所有，光华炫烂，有红如柿，有黄如栗，有黑如漆，有绿如翡翠，如水如云，如霞如雾，天然妙章，令人叹绝。此真竭力以宝石炫奇斗丽，恃教皇之力，而无与争锋者也。廊上衬楼，皆五色玻璃作窗，花样备极光怪。此玻璃闻亦甚奇贵云。

殿前凡二十柱，深广共八十，皆以文石刻金花。其殿中方亭六十柱，每一大柱用夹柱，凡十一面。其柱曲若缠藤，单纽双纽，无式不有。庭上有彼得大像，其旁有石棺、石碑甚多。亭下为保罗墓，与彼得殿下墓同式，神龛同中国。保罗旧葬处去此六里，复迁于此。有小室数丈，宝石柱甚多，富人自事神者，不许他人入也。正殿则刻金雕石，丽极矣。全殿柱及壁，皆用五色宝石镶成。神座之绿宝石，出自俄国。其亭柱八，作灰碧云色，出自南非洲，尤为瑰丽奇宝。

壁上及圆穹皆刻金。其金非金也，乃以金色之石为之。周围上下共用金石数百丈，乃於金上作摩色画，绘耶氏故事，及其弟子像百数。此华严妙相，至是真叹无加矣。自内殿至外廊，周绘列代教皇像凡三百六十。第二代教皇之睛，以钻石为之，亦皆以金色石作底者。此石之精采华妙，可谓无有。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 石崇、王恺：晋朝人。石崇为当代巨富，王恺为贵戚，二人常争豪斗富。“石崇与王恺争豪，并穷绮丽，以饰舆服。武帝，恺之甥也，每助恺。尝以一珊瑚树高二尺许赐恺，枝柯扶疏，世罕其比。恺以示崇，崇视讫，以铁如意击之，应手而碎。恺既惋惜，又以为疾己之宝，声色甚厉。崇曰‘不足恨，今还卿’。乃命左右悉取珊瑚树，有三尺、四尺，条干绝世，光彩溢目者六、七枚；如恺比，甚众。”（《世说新语》）

② 刘向在天禄石渠：刘向，汉朝人，有名的学者。天禄石渠，即天禄阁、石渠阁，汉宫中藏书的地方。刘向曾在天禄阁校勘书籍。“然石崇王恺”二句是说：可是如石崇王恺的炫财斗富、穷极奢侈的俗兴，终究不如刘向在天禄阁、石渠阁校勘古籍所享受的雅趣。借以说明保罗庙的金壁辉煌，比不上彼得庙的高度艺术。

③ 观止：称赞所见者无比美好。吴季札观乐于鲁，见舞韶箾者曰：“德至矣哉！大矣！虽甚盛德，其蔑以加於此矣！观止矣！若有他乐，吾不敢请已！”（见《左传》襄公二十九年）

375.教　皇　宫（二则）

（一）

右旁则教皇正宫，于初九日乃游之。宫门在殿旁，长廊数百步，高耸斜上，登楼凡百数十级。门内外有卫兵十数人守之。守兵衣甚怪伟，黑绒衫袂，以红黄条相间成色，又有斜纹者，亦异观也。楼高四重，敞宫四合。入门内，四壁悬历朝教皇像，皆以金杂摩色石为底。红袍正衿，肩垂二带，或白或黄。帽似中国小帽，多以绿绒黑绒为之，白绒缘边，无顶。穿殿数重，皆教皇像也。铺设壮丽，磁器金石之玩相望，皆千数百年古物，多各国皇所贡献者。其瑰伟班驳，莫非至宝。聚天下之精英，几可为地球之第一大世家者矣。

……

教皇宫号称天下第一壮丽庄严之宫。其纵三百余丈，深二百余丈，堂室一万一千，盖竭千余年累世教皇之力为之。今教皇仅占一隅，其余皆分为博物院及公所。以吾所游欧洲十一国皇宫，虽法之路易十四，尚不足比其规模之半，何况其余。若中国皇宫之大，固甲地球；而土木粗恶，绝无雕刻，又乏重楼。其视教皇宫之瑰丽，相去不可道里计也，况所奉之彼得殿，尤为华妙绝伦乎。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

（二）

宫中有一摩色画院。“摩色”者，以小石成画之名。其石长数寸数分，如铅如铁，备分五色，钉入画中。先成一稿，乃以石

钉，居然似笔画者，精巧无伦。每幅虽至小，亦索价千百，欧人最好之。然富家名士室中，亦不多觏①。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 觏：遇见。

376.罗马最巨大的斗兽场

七日，游科鲁斯之斗兽场。场为罗马第九帝斐士巴顺所筑（当西历七十余年），今将二千年矣。此场容八万人，宏伟崇壮，地球史著名者。将到，望见崇垣屹峍①，比今北京城尤峻。高本十重，今尚有六重，巍然十数丈。在地上有三层，已陷地下，犹略可俯见。圆周八十室，每室高丈五、六尺，广丈许，以石间砖为之。中间亦复迷离，故乱如八阵图②。墙厚三、四丈许。隔二丈许辄开一门，每门一路，上下内外皆缭绕周通。其上楼之路，前墙塞者后路通，前路通者后墙塞，下路通者上路塞。一通一塞，八十室十层同之，大例如此。今仅余其半，余皆填为高地矣。右半上三重亦已倾。每石大数尺，每柱大数抱，柱础皆有花。其地下以作狱。巍构伟然，望之惊人。……

罗马俗好斗兽，时选壮士或囚犯与猛虎巨牛相斗，或帝者亲自为之。尼罗帝及高摩道斯手刺百狮，又亲与勇士格，人血迸流，骨肉狼藉，则相视抚掌大笑，以为欢乐。不仁若是，而国俗不忘之，岂不异哉。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 屹峍（yè业）：直立高耸貌。
② 八阵图：古代作战时的一种战斗队形及兵力部署。

377.尼罗帝宫

既焚罗马都后，尼罗① 乃更筑新都，土木壮丽，震惊后世。今所存者，即尼罗新筑之宫也。殿在山址，门外有栏，守者一小室居焉。荒草离离，与颓垣相映。殿高二层，废坏半矣。门作拱形，与中国城门同。陷入地者丈余，今在地上者尚高四、五丈。墙厚数尺，瓦盖亦四尺。穿数殿，洞门复道，弯折高下。行数十重，深黑幽杳。其食殿甚广，然亦甚黑暗，以不解开窗，仅藉中溜② 及前窗通光故也。经一庙，祀其爱妃歌里高，像犹有焉，有石为尼罗拜处。又有一庙，祀其男妃（欹嫌）尾路，亦有像，人拜之。带路者引观二人之密室，有一长复道密通之。……过其后驳丕亚寝殿。此后夺自奥梭之妻者，最以娇侈名。浴以牛乳，为蓄牝牛数千。已而尼罗亦杀之。过其正寝，上为圆拱形。然帝后之寝，皆泥为之，今犹剥落可扪也。其前有天井，亦藉中溜以通光。中溜甚圆大，然终不能救其黑暗。导者须燃火照路，如游隧道中。有数殿甚高，导者以长竹数丈，置烛其杪，举竹引上，俾客仰视。虽颇叹其穹窿，然甚嗤其黑暗，如在十八重幽冥地狱中，既幽且湿，日光不到，风气不通，有若山洞，有若囚狱。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 尼罗：罗马著名的暴君。
② 中溜：即中霤，土室的天窗。

378.意大利风景佳，人才多

意之工艺不开，在罗马购影相机及千里镜皆甚昂，盖皆自英、德、法来者，其他可推① 矣。除制文石、写画、刻像外，无特别精工之物。音乐昔甚有名，今亦让之德矣。

意人贫，每日工得一佛郎足用矣。意人身之长短与华人同，然貌颇丰腴红白，似湖州② 人，则以地为之耶？意之山水甚似江南，秀美静穆，三面滨海，长数千里，风景尤佳，故人才甚盛，而美术尤著，……。当欧洲十六世纪时，学术莫盛于意，……

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 推：类推。
② 湖州：今浙江吴兴。

379.意人重艺术

游邦堆翁古庙，在西历前七十年，当汉昭帝时矣。高一百五十尺，广一百尺，上下皆圆，以纯石为之，朴无雕饰。中溜缺丈许以通天光而无窗，真古物也。以有中溜，可信，亦与王宫同制。其藻井三层，净面无饰。察其壁盖，亦非真石，乃以灰结者，可存数千年，亦良法矣。其左壁奉意前王之棺，右壁奉画师拉飞尔① 之棺，并有盖饰。以一画师与一名王并列，意人之尊艺术亦至矣，宜其画学之冠大地也。

……

晚再游大公园，则士女如云，旌旗缭绕于林木间，警察兵骑马而巡警于园内。乃为某诗人立石像，此为揭幕之吉日，故来游观。免冠行礼者甚众，以数万计。甚矣，意人之尊艺术也，宜其艺术之盛矣，此亦吾国所惭矣。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 拉飞尔：又译作拉裴尔，意大利第一画家。生于西历一千五百八年（时当中国明代中叶），油画即其所创。

380。那不勒斯城

自都灵① 起程往南，火车行约七百余里，至那不勒司② 城，屋宇高大，殿阙巍峨，面海背山，风景佳胜。两旁皆海岸，曲似弯弓合抱，海水若半壁，然中有小岛数处，飞楼玉立，傑阁云连，交映于潮汐之间。郭外一带平壤，阡陌连绵，稼穡丰茂，地势渐远渐高，渐与山接。万峰环绕，内多幽邃古洞。离城二十里有一火山名苏未由③，山顶常吐烟焰，或炎石空坠，或飞灰遍地，或火浆迸流如水，所至草木尽为焦灼。余到之日，火焰尚未大发，得以畅观。至明日而火势大作，轰声震地，火浆四路流下，余已行二百余里矣。闻被灾者正复不少，夜间遥瞩④，不啻如巨烛插于天空也。近山有古城遗迹二，一名里格兰，一名傍贝以。当一千八百年前，火山发焰，竟将二城灰埋覆没，人民城郭渺焉无存。至二百年前土人掘出，垣堞依然，更从而根寻，则鳞鳞屋宇触镢皆是，闻之国主，乃大兴工作，开土拨覆，乃得一切。城池故址暨街市巷道房屋，悉皆石筑，室中器具一一如故，壁悬淫亵图画，亦一一若新，都无损坏。僵尸或坐或立，或偃卧或俯伏，或有抱子欲出者，或有负囊欲逃者，触之骨肉皆成灰烬，只存空模。有博物之士乃以石膏融化，灌入模中，俟冷，将各面之模敲去，成一完好之石人焉。……那不勒斯城百物庶富，人民四十万，虽不时地震，祸患频仍，而人皆无肯远避者，以田土肥沃故也。

（阙名：《游历笔记》）

① 都灵：意大利撒丁省都城。
② 那不勒司：今译作那不勒斯，在罗马的东南面。
③ 苏未由：今译作维苏威。
④ 瞩（zhǔ主）：看。

381.火 山 之 游

自越印度洋，即闻客言火山状，姑妄听之。迄渡红海，过地中海，将履意大利境，又有客指前途山巅之烟缕缕者曰：此即火山也。初以为山皆出云，无足异焉，仍姑妄听之。及抵拏波利①，舍舟登陆，寓客舍，舍楼四重，左瞰火山，如在睫下。细审之，有云一缕，自山巅出，入夜则上为云，下为火，色熊熊然，光耀骇目。越日，乘车直诣山下，车本驾两马，至是又增一马，迤逦盘旋，不知几十百折，始达山腰。其地阑以木栅，有人盘诘，由此再登，直至机器室外下车。入室少憩，便乘机车，车式斜立，座分三层，可容十二人，吹号二次，机器展动，车自缘铁索而上，山形壁立，而循轨极稳，约两刻许，造巅②车止。又以肩舆卑行碎沙中，舆人持杖助力，防失足也。既至绝顶，舍舆徒步，距出火处三丈，乃止足焉。但见浓烟从窟中出，直冲霄汉，且时作轰隆声，于烟中涌出纷纷红片，大小不一，落地便作黑色，似煤非煤，似石非石，……。立既久，觉热气甚盛，且洞口土石，色若硫黄，隙际杂出，焰烟懔乎其不可久留也。俯视山趾，则大海当其前，民居环其下，车轨一道，细于羊肠，摇摇然若悬旌。吾不异夫山之高，路之峻，特异夫不劳而陟，如履平地，则斯人之巧思奇制，诚卓绝乎千古，而非前人所意想得到也。山之东又一峰，亦有焦灼痕，据引导人云：火本从彼处出，继彼塞此通，正不知几何年。又云：前二十年（即咸丰八、九年间），此山曾涌泻一次，如冶炉中倾出铁汁者然，所过房屋人畜以及草木，皆荡然无存，至今形迹宛在。因由窟前察之，尚作黄色，以下则或紫或黑，坚者如石，散者如土，仍为波澜旋涡状③，散漫而下，直至山前数十里之远，历历可指，缘是处至今仍未生有草木故也。又云：二千年前亦曾涌泻一次，则全境成墟，人民无一免者。噫！为祸之烈至于此，又岂洞若观火者所能料及哉。山腰以下，草木蓬

蓬然，果实离离然，沿山至海则禾黍芃芃然④，人民扰扰然⑤。

（袁祖志：《涉洋管见》）

① 拏波里：今译作那不勒斯。
② 造巅：登上顶峰。
③ 波澨旋涡状：形容火山口附近岩浆喷泻后由上而下回旋起伏的遗痕。澨，水激回旋。
④ 蓬蓬然、离离然、芃芃（pénɡ朋）然：都是形容植物生长茂盛的情状。
⑤ 扰扰然：纷纭众多之貌。

382.威 尼 斯 市

游斐呢士市①，此为意国自立市之最古而最大者也，在欧洲为最有名之佳丽地。地本海滨荒岛，而开河渠以通舟楫，曲曲交通，有花艇以往来焉。两埠皆巍楼华屋，并以文石筑之，柱础墙壁皆五色宝石，筑工既精，其宏丽真为欧人之冠。盖意人建筑艺术，本自过全欧人，而此市以豪富甲全意，故第宅店肆之宏丽尤绝也。公馆、客店、戏园，精妙华侈，望之如金楼玉堂。歌人舞妓在桂棹兰桨② 中摇曳而过，音乐悠扬，观者夹道。其市中瑰货山积，大工厂相望，皆精工制金刻宝石，及乐器、文具、服物、美术之品为多，盖义（意）之豪商富人所集焉。今欧洲称美丽繁华之都市者，以此市及法之满的加罗为最。宫室、饮食、歌舞、游乐、衣服、玩好，穷奇极乐，皆为欧洲第一。伦敦公园亦造此市街道、河渠、舟楫、店肆、舞女、以供人游焉。

（康有为：《欧洲十一国游记·意大利游记》）

① 斐尼士市：威尼斯市。
② 桂棹兰桨：精美的小船。

383.柏林日长夜短

（光绪七年）四月初距夏至尚有四十日，而日长已甚，晚九点钟始黄昏，至夜半二点半钟，东方已白，三点则可看书写字。柏林距瑞典国尚远，而已昼长夜短如此，无怪近北极处，有不夜之天矣。

（钱德培：《欧游随笔》）

384.德国老王宫

（光绪四年四月）老王宫在柏林西乡，距城约十里许，地名萨罗敦布尔希。德君之父即以此宫为陵寝①，于园囿之北建屋，设圹。圹之上面，以白石雕琢本人夫妇二形挺卧石床上，刻工极精细。屋顶以蓝玻璃映之，地以大理石铺砌，镌生没年月于上。宫中周围甚广，树木阴森，各房内庋藏②古军器、瓷器、绣衣等甚多。衣锦渐将灰化矣。

（钱德培：《欧游随笔》）

① 陵寝：帝王的陵墓寝庙。
② 庋藏：收藏。

385.德 国 圆 画

怕拏拉麻者，译言圆画。以圆庭一所，径十数丈，围三、四十丈，上以玻璃作顶，复承以布篷，周围墙上油画绘德法交战图。上得天光相映，下以真树、草地、石墙与画上地址接连。远

望数十里，人马沸腾，烟云缭绕，受伤之兵马，烧毁之房屋，树木为炮轰折者，纤悉毕肖，直不能以画目之也。此等画图，英法等国皆有，各绘其惊心触目之事。德国初次造成，观者如堵。画者为内庭供奉之画院教习伐而奈儿，计值德银十五万马克。

（钱德培：《欧游随笔》）

386.德国医院及医学堂

（光绪三十二年二月）二十一日，晴。十二时，往拜海部大臣提阿辟齐。一时，往观医院及医学堂。先至验病所。有病者，无论居家行路，皆可就医。至此分别何病，以安车送之院中。院外立铜像，为创建人阿度甫像，盖医院之成立，其首倡云。观教室。观小孩调护室。小孩未满周岁者有病，送院中医之，看护妇均小心将事①。小孩卧铁线床中，轻软适体。病之轻重，各异其室。每四、五小孩，一妇护之。每日病势之加减，及大小解之稀数，吃物之多寡，皆列书于表，以报告于院长。其属传染病者，小孩各一榻，皆以玻璃壁阑之，不使相近，护妇以各种恩物② 引令耍笑焉。别室供几桌，为孩子玩游之地，于四壁遍画故事，俾娱悦忘苦，可谓思虑周密矣。观割症教室。室后有小间，用迷药令病者昏醉，乃舁出施刀刲，而生徒聚观焉。其壮年所居病室，男女别居，室各三十人，窗明地净，案供花草，以吸清气，窗外树木扶疏而不蔽光，甚善法也。闻全国中医院视此者，凡六十余所，自余小者，不可胜计。此院每年所施治者，计一万八千余人，除陆军医学生外，充当大小医员者，百八十人。其附属有博物院。院有种种体操器械，并电光透骨机、验脏腑病机、验眼病镜、察微虫镜；有药室，药类千数百种；有人身模型室；有图书室，古医书及人身图经在焉，多数百年前物也。别有器械，如割刀、铁钩，多关于医术上用者，并罗列以供参考。观毕，复用电

光写真法，演示各种病体脏腑图。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 将事：奉命行事。

② 恩物：旧时幼稚园中用来启迪儿童的玩具。为德国教育家福勒贝尔所命名，取长者所惠赠的意思。此泛指儿童玩具。

387.入俄所见

（光绪四年十二月）初八日癸未，阴，微雪。行三千一百五十里，戌初一刻，抵俄京彼得堡①。一路在德界，田地肥腴，楼宇整洁，入俄则遍地沙漠，雪厚尺余。居民多结草为庐，碎甓为短垣②，雪地冰天，鸡鹜并集，将近都城，见有木建重楼而门堂固有整洁者，然亦仅③矣。土人服饰多与蒙古人同，白羊皮袄，头护毡毯，足登皮靴，土产唯松杉而已。

（张德彝：《使俄日记》）

① 彼得堡：即今列宁格勒。

② 碎甓：碎砖。甓，砖。

③ 仅：少。

④ 作者生平见前。光绪四年(1878年)，张德彝由出使英法大臣的翻译，奉调随崇厚(钦差全权大臣)出使俄国。该日记即逐日记载赴俄过程以及在俄国境内的见闻。

388.在巴立帅大戏园观剧

（光绪五年正月）初五日，己酉，微晴。是日系俄历正月十四日，为庆贺其公主下嫁之第三日。戌正，俄皇贴请各国公使随员及本国王公大臣夫妇，在巴立帅大戏园观剧。届时，星使率邵参赞、桂冬卿、庆霭堂与彝著公服同孟第乘车前往，行二三里而

至。一路车马驰驱，灯烛灿烂，每大街口，男女拥挤，有巡捕弹压指引。戏园极大，式与英法同。惟楼上头层正中大敞屋一间，正面红椅三十余，横列三行，后厦设案挂镜，华丽整齐。左右各小樠① 十五，每樠容六人，樠皆斜形向台，屋左各樠坐国戚王公夫妇、子女，屋右各樠坐英、法、德、奥、土耳其、中华头等公使，日斯巴尼亚、葡萄牙、瑞典、丹尼、合众、日本、荷兰、波斯、比利时、意大利、巴西、秘鲁二等公使，台前坐各文武大员，左右与楼上二三层坐文武仕宦男女老幼，共五千余人。楼顶中悬万烛玻璃灯一，状似花篮，玻璃开花挂叶，缕缕垂珠，烛焰玻璃互相映照，更觉光明。每层左右距九尺，插十烛灯一架，末层两鄙又加电气灯各三，则通堂光同白日，如开不夜之城。亥正一刻，俄皇到，由后厦入敞屋，台前奏乐，百官起立，转身面向正屋，高呼万岁。各国公使及各妇女皆立起，面向鞠躬，俄皇亦向众鞠躬而后坐。郡主着粉红色衣，袒胸露臂坐于正中，驸马著黑毡袄，裤佩刀，挂宝星，坐其左。俄皇著大红长袍，金丝玉带坐其右。后则国戚及御前大臣命妇等二十余人，分坐两行，即时开场。首出甫毕，御仆捧盘向各坐前进茶后，俄皇携郡主等退入后厦小食，众人亦皆陆续步入。饭厅正面横设长筵，罗列酒肴美果，饮食各任其便。当时因灯火人气酝酿，竟至热似酷暑。旋二出开，乃一场跳舞也。幼女百数十人，服短裙，色分五彩，分群列队，作线成环，忽燕飞而鱼跃，忽鸿翥② 而龙游，殊觉闹热可观。子初戏罢。俄皇率众立起，百官复转立三呼万岁，各国公使及各妇女亦皆立起，面向鞠躬，俄皇及郡主驸马亦向众鞠躬，退入后厦，下楼登车。彝等随星使于子正回寓。

（张德彝：《使俄日记》）

① 小樠：即包厢。

② 鸿翥：大雁飞翔。翥（zhù铸），飞举。

389.马拽雪床

（光绪四年十二月）十二日，丁亥，雪。早行十数里，至大信局送官信，记。俄京道路宽敞，遍地结冰，上浮雪八九寸，车辆难行。设有马拽雪床，床身造以薄木，形如凹字，下面左右铁梁各一，形如凵字，御者坐前，行人坐后，平行者坐一二人，或一马拽，或二马拽，驰驱甚快。一马拽者名萨呢，二马拽者名爬拉，又有以三马拽者名惟喀，每富室自乘之。

（张德彝：《使俄日记》）

390.礼拜日观舞

（光绪五年正月）十九日，癸亥，雪。……同乘雪床行十数里，入巴立帅大戏园观剧。因俄俗每礼拜日不禁奏乐歌舞，故是园惟于礼拜日专演一场，胜于平日，座价亦因而翔贵。是日系礼拜之期，故男女观者甚夥。见俄皇坐于台右小室，御戎装①，肩金穗，挂宝星。有将弁环坐其旁。是晚舞而不歌，名曰巴蕾塔②，义亦跳舞也。伶人皆幼女，服五彩衣，有百数十名。景致尤觉奇异，一望千里，真假非目所能辨。如初场地近北极，雪地冰山，白熊水獭，虽系人工，动作与真毕肖。时值冬令，幼女跳舞，衣履皆白。忽而入春，和风暖日，景象一新，幼女跳舞，衣履皆绿。继而入夏，赤日烘云，花芳树密，幼女跳舞，衣履皆红。继而入秋，风吹木落，千里寂寥，幼女跳舞，衣履皆黄。忽又入冬，山寒水冻，烟雾苍茫，幼女跳舞，衣履皆黑。正跳舞间，大雪狂风，天地严肃，海浮冻块，山作冰楼，大船遭险，四面触冰，桅折旗裂，人呼拯救。观者为之惊骇咋舌③。末则灯烛复明，通场作一大花园，花明柳媚，水秀山清，幼女改装跳舞，依

乐移步随式转躯，又换一番景象也。子正散戏而归。闻俄京各戏园，官为建造，官为管辖。当夜跳舞，皆系贫女，由四、五岁入官学习，给以衣食，学有成效，则令入园。新获工值入官，年限满后，愿出者听，否则每年官给庐布五百，其每日工值，仍须入官。

（张德彝：《使俄日记》）

① 戎装：军装。
② 巴蕾塔：即芭蕾舞剧。
③ 咋（zhà乍）舌：形容惊异或畏惧，不敢出声。

391.棺色与灵车

（光绪五年二月）十六日，庚寅，阴，入夜大雪，记。英法之棺皆一律用黑，外包黑毡。俄虽包毡，间或包缎，色则不同。如男用绛色，女用黄色，鳏夫用藕色，寡妇用蓝色，幼童用五彩色，处女用白色。贫者木染浅黄，孕而不生，生而不育者皆白木。棺形如二槽相合，上浅下深，正面形如㊀字。富者镶边，饰彩缎，中下四边垂穗，四角下有足，饰金色，驾以四轮敞车，马数不等。车马皆黑色。车前行有教人① 一二对，或四五对，著乌衣，举长柄乌木㊀字形玻璃灯一盏。后则幼童提炉焚香者一对。末系神甫一名，著驼色袍，跣足科头②，手举铜十字。至贫民则车载木棺而已。

（张德彝：《使俄日记》）

① 教人：教会中人。
② 跣足科头：赤脚，不戴帽。

392.俄国的复活节（二则）

（一）

（光绪五年三月）二十一日，乙丑，晴。因明日为耶稣复苏之期，亥正，各礼拜堂开门 男女听经恭祷耶稣复苏。各国公使随员及外教游客皆准入观。子初，彝同蒋丹如、塔木庵、陈养原、夏干诸君步入伊萨吉业弗斯吉索卜大礼拜堂。正面设耶稣位，头二、三等神甫数百名讽经礼拜，左右临壁二平台坐外国男女二、三百人，前面又一高台，前横耶稣木棺，后立一灯，插烛二十四。左右立教童数名，著宽袖乌衣，胸前背后有金绦，宽约寸五，……。通堂男女数逾六千，五神甫年逾六旬。头等者披金氅，戴金冠，形似倭瓜，手举金十字。二等者亦披金氅，戴金冠，氅系紫质金花，亚于头等 三等者亦披金花氅，戴乌缎帽，……皆左提香炉，右举小金十字兼小烛一，不时步登左右二台，向众鞠躬，示金十字。诵至子初一刻，同登对面高台，在棺左右立诵一阵后，将棺盖舁过正堂，又朗诵少时，复登高台。时值子正，放炮鸣钟，通堂气灯齐燃，男女皆手持一烛，长八、九寸，上下光明如昼，又彼此朗诵一阵，为庆耶稣复苏。诵罢，各神甫率教徒举烛出正门，绕行堂外一匝入，后大神甫立诵正堂，其他对对分往左右，向壁上各神像鞠躬，见人则言可贺耶稣复苏，回后诵至丑初少息，继按常规诵至寅正始罢。当夜，堂外顶上四角燃火灯，通城各家门首亦燃灯，与庆贺年节同。是日为一大节，故终夜市肆不闭，人民不寝。又堂前三面廊下罗列木案，出售糕饵、酒肉，男女蜂拥，以数千计。

（张德彝：《使俄日记》）

（二）

二十二日，丙寅，晴，礼拜。午初，席槎呐伍斯吉母女请早餐。因其祖籍波兰，每值耶稣复苏后第一礼拜日，设馔约戚友来会，设长筵，列燻鸡、火骸①、酱牛羊肉，各种冷荤以及各式糕饵、染红鸡卵、牛乳饼、乳油面包等，主人举盘问客所欲。食毕进茶，临行谢别。其至戚者，可与主人亲吻，或以口啜主人手背以为礼。见市肆出售真假鸡卵，造以糖面，饰以五彩，以之送人。无论识否，妇女准相接吻。自是日起，三日后止。当日系俄历四月初一日，西历四月十三日。各国皆以是日为大节，而俄国遵守礼仪为尤盛，官府投刺②拜贺，故星使亦遣员前往焉。

（张德彝：《使俄日记》）

① 火骸：即火腿。
② 刺：名片。

393.鸡　子　节

（光绪十四年三月）二十六日，己卯，晴。为俄鸡子节。盖其俗奉东教①，以昨日为耶稣死，今日复生，家家称庆，食彩鸡子。其法：用鸡子裹以五色绒，浸水煮之，其纹斑斓焉。前十余日，肆间售玩具，或木质，或草织，或绫锦，或玻璃，或瓷，或铜，或银，皆作鸡子形，傅以人物花鸟绘画，其中或置香水一瓶，或鍼、剪、刀、梳之类，其粗者实以饧②。民间纷纷购取赠遗，为馈节之礼③。其至好者，必以酒食相邀约。

（缪祐孙：《俄游日记④》）

① 东教：即东正教。1054年基督教会东西两派公开分裂，正教以东派为主体，故又称东正教。

② 饧（xìng，又读tāng）：古“糖”字，后特指用麦芽或谷芽等熬成的糖。

③ 馈节之礼：节日的礼物。

④ 缪祐孙，字柚琴，清末江苏江阴人，光绪丙戌进士，历官户部郎中，有《稽弦诗存》。他曾被清政府派往俄罗斯考察政治，于光绪十三年（1887年）八月由上海乘船出发，由海道至欧洲，再乘火车入俄国。光绪十五年由陆路回国。《俄游日记》即记此次游历见闻。

394.苹果节

（光绪五年七月）初一日，癸酉，晴。是日为俄历八月初六日，即西历八月十八日，俄俗为一大节，曰苹果节。盖此时苹果成熟，各礼拜堂神甫供献天主，亦荐新之意也。因而家家茹素①，处处停工，街市男女填塞，昼夜车马驰驱。闻夏园、万牲园等处，晚有新戏灯火，趋者若鹜②焉。

（张德彝：《使俄日记》）

① 茹素：吃素。茹，吃。

② 趋者若鹜：到那里去的人象鸭群一般。鹜，鸭子。

395.俄人常爽约

（光绪五年八月）初三日，甲辰，早雾，未初晴，记。西人每事订时，无论何等人，毫不爽约①。至俄京则不然。如赴宴会及他约，皆晚到一小时不为迟，工役犹甚。苟订明日某时，必逾一日或二日。问则对以某日礼拜六、某日礼拜一，或例应休息，或因醉未醒，诸多推诿。虽大僚订期会晤，亦有如是者，每言一点钟，必延至四、五点钟始至焉。亦风俗使之然也。

（张德彝：《使俄日记》）

① 爽约：失约。

396.戏院包厢

（光绪五年十月）十六日，丙辰，雪。每春各戏园具禀请示各国以及本国绅富，愿否租屋一间，愿者每年付值千余，于十四日内付清，即有尾欠，亦须书押为凭。如某日无暇往观，可于清晨送信，则园主转售其票，分戏值四分之三于赁主。盖戏园每有名角或演新戏，当日增价，是一年除观剧外，反有获利者。亦惟俄京有此风俗耳。

（张德彝：《使俄日记》）

397.女骗子

（光绪五年十一月）十七日，丙戌，阴。闻前日一少妇某姓者，装饰华美，乘双马雪床，在乃武吉斯街珠宝店看得珠石数件，共值六千五百庐布。议值已妥，乃言："可令一人随我取钱，我夫系一治理疯疾医生，资财皆存伊手上。"主人云："我可随往。"乃同登车而至，延入客厅，云："待我上楼取钱。"盖此房实一治疯疾之医家也。妇登楼见医生云："我夫现染疯疾，每启口即云珠宝钱财，不知何故，恳请疗治。"医曰："可"。妇又云："妾不欲闻其所言，如有他路可避，或先转回。"医云："从此下楼可也。如查尊夫实系疯症，可令其住此，随时治疗之。"妇深谢鞠躬而去。医旋入厅，其人即言："适才夫人所买珠石，在此敬候付钱。"医云："我并未买，且我贫医，尚未娶妻。"其人闻而急怒，医仍以其言为疯语。遂令人缚之于木架，使之不动，按时治疗。该铺以其人连日未归，各处寻觅不

获，后询诸巡捕，始行接回。而妇已黄鹤一去，不复返矣。

（张德彝：《使俄日记》）

398.俄人不畏冷而畏热（二则）

（一）

（光绪五年六月）十五日丁巳，早晴，记。土人生近寒带，久历冰雪，不畏冷而畏热。迩来天虽晴暖，较中土凉似中秋。见街市往来妇女，多著单衫，且有露肩而称热者。俄国北界，天时甚冷，夏不挥扇，余时服裘，故炎帝当权①，亦无须招凉避暑也。

（张德彝：《使俄日记》）

① 炎帝当权：指夏天。旧指司夏之神为炎帝。《汉书·魏相传》："南方之神炎帝，乘离执衡司夏。"

（二）

（光绪五年十二月）初七日，丙午，极冷。见街市行人须皆皓白，马身无论或红或黑，亦皆皎然似鹤。盖因天冷，汗与呼气凝而成霜也。又土人最能耐寒，当此凛冽之时，滴水成冰，而各家男仆仍著单布汗衫，女仆仍著单布裙褂而已。

（张德彝：《使俄日记》）

399.半 身 活 女

（光绪五年十一月）初七日丙子，阴，记。……武吉斯街之

蜡人馆内，临门新建一小室，宽八、九尺，深五、六尺，高七尺，左右二灯，四壁糊以红帛，棚顶亦然。中一方桌，高三尺，上一小圆桌，高盈尺，上置一半身活女，年近二旬①，装饰华丽，其至奇者，只见其手与肩，乳以下则空空如也。女自言其出身年岁，令其歌则歌，令其笑则笑，究不知其由何法作出者。

（张德彝：《使俄日记》）

① 二旬：二十。

400.富丽的俄宫

（同治丙寅六月）初八日，步至其皇宫，入内见楼高五层，大小宫屋三千余间，周围距千余丈。其四壁以及阶梯栏柱皆各色花石建造，真玉岛琼瑶之地。相传西土宫楼以俄国为最大。见有以花石攒作之画，人物山水与笔画无异。在第三层楼，上见有一块土地，当中玻璃罩棚，……询之，乃知第二层楼顶横以铁板，堆土丈许，是以花木皆生……。又见一金钟，外有方玻璃罩，宽八尺，高一丈余，当中一棵金树，立一孔雀，树下一雄鸡、一夜猫，又有灵芝草三枚，皆金色，乃钥匙也。夜猫四面有小钟十数枚，若拉左边灵芝，则小钟齐鸣，音声抑扬，宛似作乐，猫头摇摇眼动，两爪起落，如两人跳舞状；拉右边者，则鸡展翅而鸣；拉当中者，则孔雀伸颈开屏。又两顶王帽，皆以钻石攒成，顶上各红蓝宝石一块，皆大如鸭卵。又一金柱，上插一钻石，长约二寸，国人言此宝乃天下第四块，其他三块未知落在何国。四壁玻璃匣内镯钏、项圈、耳环、坠旒扇、股边框，并皆钻石穿成，每粒皆指肚大小。是时大雨。又有其先王学业之器皿、衣冠并其木像，皆盛于龛内。初，俄罗斯小国也。有君名彼得儿① 者，幼年前往欧罗巴各国佣工，学业既成，归国励精图治，以所学者教

民，育才设教，开垦通商，掘矿重技以富国，制造船炮以强兵，未二十年，遂成霸业。……俄国之亚西亚，地多沙漠，少田亩，而金银铜铁，胥产其地，是宜其富有也。其在欧罗巴暨阿美利加之地② 皆膏腴，土产多而人亦密。去此又一车驾库，是其御车，在第三层楼上。车极大，皆四轮，金檐金顶，样式不一，内挂洋呢回绒垂头，铺垫靠背皆红紫之色，余皆金色。车箱两旁开门，内可受四、五人，四角以钢条圆形悬起作元宝样，使人在车内不觉颠摇，如坐轿然。车箱前一座如椅如凳，紫呢坐褥，四围金色，为执鞭之士所坐者。车独檐四轮，套四马、六马，皆其春秋车也。夏令者，车箱可闭可开，上有凉棚，下有冰床作龙跑形。国多狗，狗亦甚大，床以大狗拉之，中可坐八人，上有遮身狐皮。又有太子车、后妃小轿等物。有一古车、一大轿，皆极笨，四窗糊以云母石。此楼后一门开，见一条石道直通楼下，乃运车路也。归时，仍是细雨淋漓，少凉。

（张德彝：《航海述奇》）

① 彼得儿：即彼得大帝。

② 阿美利加之地：即阿拉斯加，位于北美洲西北部，为一大半岛，本为俄国领土，一八六七年卖给美国。作者写此游记在同治丙寅年，即同治五年，公元一八六六年，当时阿拉斯加仍属俄国。

401.帝俄别宫

（同治丙寅六月）十五日壬寅，闻有可游之处，因未起身。巳正上火轮车，行四十五里至博尔屯，复乘马车至一王宫。宫内多银器，又有其先王与法君和约之公案，并其所爱之古玩，卧病之床榻。又闻其先王与法国一贤士为友，其人饱学于中，不慕荣利，王甚敬爱之。其王性颇异，二人对谈，不准他人伺候。及吃饭时，宫中有饭厅，厅中一桌、活心，通于楼下，厨中若上下

菜，全仗桌心之转动，每饭一人不见，而菜肴自行上下。出宫上车，沿途柳阴路曲，万紫千红，小山岌岌，流水溶溶。行七里许，登小山，入一宫，宫柱皆白石雕成力士，内有坐钟一架，不大，自其先王死后，遂停针不动，因王死之时刻而记者。

（张德彝：《航海述奇》）

402.俄国骑兵由太后统带

询知俄国马队兵，每八百人为一营，每营分为四队。每月兵饷每人二卢布，衣服、饭食均由国家供给。每兵一马，价约五百卢布。兵官多自置，马价多至一千卢布者。兵制：人年二十一而充兵，四年期满，退为后备；至四十五岁，乃免兵役。至如有重大兵事，仍可调遣也。自俄皇之曾祖母亲带马队，至今循为故事，归太后统带焉。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

403.立　体　画①

（同治丙寅七月）初二日戊子，午后往拜美里登②。又至一圆楼，高约七丈，广十二丈，下以白石砌，上一整玻璃罩作馒头形。自下缘梯而上，极暗，至顶豁然开朗，中有土冈高二丈，四面栏杆，在上眺望，别有一天。东西南北，荒山万里，有法、普两国人马交战，枪炮齐发，刀戈并举，征马驰驱，弃甲曳兵，横躺竖卧，大军动处，尘土迷扬，火药轰者，飞腾烈焰。又见冈下有损坏炮车炮子，旗帜金鼓器械等物，以兵败而遗弃者，宛然

一大战场。询之，乃知通楼一幅图画也。楼顶两层玻璃，皆作悬磬③形，置画于四面，其内层玻璃乃显微镜，是以人立于土冈上，观望物皆凸起，不知远近，冈下之车旗乃真者。彼此看来则真假难（辨）矣，奇巧已极。

（张德彝：《航海述奇》）

① 记在俄国所见。
② 美里登：曾任福州税务司。
③ 磬：旧时寺院中钵形的铜器，拜神时则击之。

404.俄皇遇刺

（光绪五年三月）二十三日丁卯，阴。巳正，忽闻放炮三声，询知俄皇于巳初① 步游宫右御园，派有巡捕二名暗侍左右，途次突遇一人，著官衣，年近三旬② 者，趋而进，免冠鞠躬，俄皇以右手扶帽答之，见其神色可疑，俟其过回顾时，伊已取出手枪，未及呼已连施三枪，幸而脱。时左鄙民房门丁闻声往捕，伊以枪中其左颏而仆。后经二巡捕将伊缚之。同时前面又一人向俄皇放枪，又被他二乘马巡捕所获，遂将二人下狱。前一人被获时，自吞毒约两丸，即刻晕迷。入狱后灌以解毒之水，移时稍醒，憨睡③ 而已。各处闻信，挂旗申贺。未刻，接一官帖。内云俄皇无恙，无须枉临惠问，容日觐见。夫俄皇被惊，此第四次也。其第三次亦在宫前步游，经人放枪行刺，系俄历一千八百六十六年（即同治五年）四月初五日。按日计之，比前次早两日矣。闻昨日街市墙壁粘有匿名告白④ 云：明日弒君，戮诸大僚。巡捕见而抹去，未经禀官。

（张德彝：《使俄日记》）

① 巳初：刚到巳时。巳时，即上午九点至十一点。
② 三旬：三十。
③ 憨睡：痴睡。
④ 告白：告示。

405.俄 国 刑 罚

俄罗斯国法律：凡叛逆犯上者，将身体肢解为四段；遇敌败北者斩；其劫夺并路截伤人或杀人者俱斩；其互相斗殴杀人者抵偿，持刀杀人者抵偿；伤人者断手；其偷盗仓库之官物者，视其赃之多寡，有劓耳鼻者，有重责以火烤而发遣者；其私铸钱者，将铜熔化，灌其口内以杀之；其私卖烟酒者，重责，籍其家发遣①；其因通奸杀死本夫者，将妇人之身体埋于地内，独露其首以杀之，奸夫悬于树上以杀之；其犯通奸之罪者，将妇人重责，交还本夫，不准离异，将奸夫重责，后按其罪收赎入官；其幼童与女子通奸者，俱重责，配为夫妇。

（图理琛：《异域录》②）

① 籍其家发遣：用簿册登记他的家产（加以充公）并将他流放。
② 图理琛，清代人，先世叶赫人，姓阿颜觉罗氏。康熙五十一年（1712年）五月，以内阁侍读出使土尔扈特，由喀尔喀越俄罗斯国至其地。康熙五十四年（1715年）三月回京，往返三载余。《异域录》叙述此行道里山川，民风物产，以及应对礼仪。

406.波 罗 的 海

波罗的海水不甚咸，因诸河水流入，洗之遂淡、然舟楫久浸易腐，载重辄沉，疑即古之弱水① 也。春融雪消，河奔腾而下，委入大西洋；夏秋水落，外海之水倒泻而入，卒然漫涨。故比德

堡② 常患涝，其汙浅之地及岛屿横峙，遇大西南风，舟过甚险。

（缪祐孙：《俄罗斯水道记》③）

① 弱水：我国古籍所载，“弱水”甚多。《尚书·禹贡》：“导弱水至于合黎”。《史记·大宛传》：“条支有弱水。”《汉书·地理志》：“金城郡临羌县有弱水。”《后汉书·东夷传》：“夫馀国北有弱水。”毕沅德《山海经》云：“弱水即吃莫川。”

② 比德堡：即彼得堡，当时俄国的京城。即现在苏联的列宁格勒。

③ 作者生平见前。《俄罗斯水道记》概述俄罗斯的河流、湖泊等情况。

407.马　戏

（光绪十三年十月）二十五日戊申，大雪。赁庑① 谟伊喀街。夜，使馆诸人约看马戏。其步法与乐之节拍相应。至于脱其衔辔，驰其鞍鞯，趁趯翍翀② ，以纤腰女郎，剪发稚子，足各立一骑，左之右之，巧献各伎，从容不迫，可谓难矣！又置诸乐器，使小象五，以鼻吹之，大象一，执鼓挝以节之，金石和谐，条理不紊，亦一异也。末一女子寻橦③ 度索，趍捷④ 可观。《南史》载，梁天监四年⑤ ，禊饮⑥ 华光殿，其日，河南国献赤龙驹，能拜伏善舞。河南，即荷兰也。立国在萧梁以前，其通中夏，亦在欧洲诸国之先，所献马，即今马戏之祖欤！唐元宗⑦ 之舞马，当亦同此。

（缪祐孙：《俄游日记》）

① 赁庑：租房屋。庑，大屋。

② 趁趯翍翀：相逐飞驰。趁趯，多人相随奔跑；翍翀，飞的样子。

③ 寻橦：爬竿。寻，攀援。

④ 趍捷：爬竿动作非常敏捷。

⑤ 梁天监四年：即公元505年。天监，南朝梁武帝的年号。

⑥ 禊饮：祓祭后的饮宴。禊，祓祭，古人消除不祥之祭，常于春秋二季在水边举

行。

⑦ 唐元宗：即唐玄宗。在清朝人的文集中，为避清康熙帝玄晔的讳，往往将“玄”改成“元”。

408.俄京博物院

（光绪十三年十月）二十九日壬子，阴。午后，游博物院。地邻宫禁，楼阁连达，几罗珍宝奇玩，金刚石独多。有青精石瓶二，孔翠石瓶二，高可七、八尺，又孔翠石案，四尺余长，皆其国所矜异① 者。中国之物，有玉环、玉碗、青田石印章、瓷花瓶之类。又有总统伊犁等处将军银印一方，伊犁办事大臣银印一方，皆叛回携来俄者也。又有明御马监铜驾牌一。壁间图其先代汗象，欧洲古事或奇异花鸟，世所罕觏，许民间就而临之。别一室，与宫寝近接，设所塑比得罗② 像，衣其平生之服，气象骜猛。旁置所常用物，一铁杖重可三十斤，木碗、木盂、木盘，累累二十余事，列于厨中，悬鱼骨灯，皆其变姓名，游欧洲，习工匠时所手制也。所常乘黄马，所常畜鸟犬，皮革俱完，饰之如生，立其前。与汉朝原庙衣冠之意③ ，正相合也。

（缪祐孙：《俄游日记》）

① 矜异：自以为特异。

② 比得罗：即彼得大帝。

③ 汉朝原庙衣冠之意：汉朝设立原庙以表孝思的立意。原庙，正庙以外别立之庙。《史记·叔孙通传》有叔孙通向汉孝惠帝的建议：“愿陛下为原庙渭北，衣冠月出游之，益广多宗庙，大孝之本也，上乃诏有司立原庙。”

409.大 好 日

（光绪十四年二月）初三日乙酉，雪。自初三至初六，为俄之大好日。家家食饼，男女逐队嬉游，歌唱酣饮。四乡之人辐辏①，

凡各跳舞会、旺乐会，趋之若鹜。巴拉干空地，特设会场，置秋千架，列剧馆，市种种戏具。学馆生徒②，由教习携乘官车出游。街衢灯火百千盏，皎如白昼，达旦不息。各家门首皆悬旗。初七日以后斋戒，至四十日后，乃复举盛会。盖前之斋戒为耶稣遭难，后之盛会，谓其复生，故尤举国若狂也。

（缪祐孙：《俄游日记》）

① 辐辏：集聚。
② 学馆生徒：学校中的学生。

410。西人决斗的风气

（同治丙寅六月）二十五日壬午，巳初上火轮车，复至卫赛拉游。乘马入宫，宫内画轴颇多，皆法国昔时战阵之事，更有画上一人伸骻① 而坐，人若正面看，则其腿正向之，左右看，则左右向之。又见楼下有许多石像，坐立不一。有赤身者，有披布片者，有著衣长者、短者各别，皆古世名人；更有二石人以绳捆于一处，每人各持铁锥一把，彼此相刺。盖西方旧俗，如两人各有不平，便赤身以丝绳捆于一处，各持铁锥对刺，必待死一乃止。或各持小手枪一柄，背面而立，相隔四、五步，每人各约四、五人两旁站立，又同邀一信人作保，口言一、二、三放，则二人齐转，对放其枪，必有一伤而后已。或二人持剑对立，相离一、二步，右骻前行一步，左手背后，不准多行寸地，以剑对刺，死亦如之。如二人中有藏私违约者，则两边监查之人自然不允。若死者，讼之于官，官则云：若尔打死他人，则他人亦无如之何矣。今则不然也，有是斗者，官必刑罚，作为犯禁。

（张德彝：《航海述奇》）

① 骻：即腿字。

四、美洲、澳洲

411.亚美利加洲概貌

前三百五十年，西班牙人初入亚美利加洲，其时土人皆野番，独墨西哥、秘鲁颇知教化。其所筑城邑及神庙陵冢衢路，或用巨石，或用泥砖，皆高大坚固，而国王宫室，则饰以金银，华丽异常，辉煌夺目。其风俗与别洲多有不同，而间有似乎中国者。如国王每年亲耕，以金为犁，四、五年一巡狩①。民间嫁娶，须媒妁相通问，皆如中国古礼。若美洲之土人，皆知有一位天地之主宰，名曰大神，至墨西哥则称此主宰曰帝阿细。查其俗则不事大神，乃事日月与众鬼神，惟秘鲁国王则称为日月之子。考墨西哥有象形文字，写书则用五色笔，所画人物，极其精巧。其纸舂树叶为之，洁滑柔韧。至于秘鲁国，初时亦未有书契，则结各色大小绳以纪事，如黄为金，白为银之类，吕宋人曾目击而述之。《易》曰：上古结绳而治，岂中国先而秘鲁后乎？想中国与秘鲁相隔虽有半地球之遥，而其间犹有陆路可通，自中国之东北隅至满洲，即由满洲之东，过白令海峡，计此海股相越不过百余里，一舟可航于是，从亚细亚而入亚美利加，遵亚美利加②而南，则过墨西哥，至墨西哥，则去秘鲁不远矣。

（阙名：《墨洲杂记③》）

① 巡狩（shǒu守）：皇帝视察诸侯所守的地方。

② 遵亚美利加：沿着亚美利加。遵，循；沿着。

③ 作者姓名不详。《墨洲杂记》记述美洲的地形、物产、土人，以及古巴、巴西等国的情况。

412.红种人（三则）

（一）

（光绪二年五月）二十八日戌刻，经“细呢”地方，停车二刻，见野狗小仅如鼠，本山所产，土人以鸟笼蓄之。又见一种人，披发赤皮，五官若华人，穿蓝色短衣、红裤。女穿花布长衣或红衣。有背负其子者，子生始数月，以绳布束紧，直立藤篓中。篓长而细，与其子身适合，反缚于背，啼哭不顾也。语言啁啾，赤足奔跳若狂。或奔至车内踞坐，对人嬉笑，管车者亦无奈彼何。视轮车将行，哄然去矣。询即红皮土番，散居内山，共九十余万人。洋人呼为“因颠”。美国以此等人究系地主①，不可欺凌，宜加恩待之。每年由官按名赏给绒毯一条，衣裤一副。其性不畏死，善用箭，以渔猎为生，常有杀害官兵事。故所住之处，派兵驻守弹压焉。

（李圭：《环游地球新录》）

① 地主：本地之主，此指印地安（即文中“因颠”）人，是美洲土著。

（二）

一点零二十五，到沙问。（火车路所过落机山之至高处，闻美国有一将军名沙问，其身材最高，故以此名之）计程一千三百六十五迈①，离海高八千八百四十二尺。是处天气，寒暑针至热八十二度，至冷三十度。以后东南一望，千余里皆荒郊坦野，人烟绝少，旧为胭甸野人② 游猎之所。当一千八百六十九年前，火车初开之时，野人不服，屡出杀掠。所杀白人、华人以千计，野人死亦不少。后美廷③ 发兵以威服之。近又设边吏以镇守之，该野

人遂移徙深山之中，离此约五百迈。间亦有出至附近山谷打猎者，但须托熟番先求边吏允准始可，否即杀而勿论。途中所见野人，红面如脂，发黑若漆，男女俱穿耳，留发不束，身体粗壮，五官亦整，见人辄笑而讨食。又见男妇两人，面抹黄土，各骑白马，身衣兽皮，手持羽扇，头戴皮冠，脑后两带下垂至腰，俱插羽毛。询之土人，云：此系熟番头人。（途中所见俱熟番）又云：生番远处深山，草木轇辖④，无路可通，间有互市⑤，非熟番不能到。（亦无人晓其言语也）近日美廷于此一带广设礼拜堂，欲使熟番招之入教，教以语言，给以粮食，使之耕种，烈⑥山泽而驱恶物，诛草莱⑦而播嘉禾，秽圩将变为腴壤⑧矣。

（陈兰彬：《使美纪略⑨》）

① 迈：英里。
② 胭甸野人：即印第安人。
③ 美廷：美国中央政府。
④ 轇辖：交错纠缠之貌。
⑤ 互市：一般指国家或民族间的相互贸易。
⑥ 烈：焚烧。
⑦ 诛草莱：砍伐野草。
⑧ 腴壤：肥沃的土地。
⑨ 陈兰彬，清末广东吴川人。咸丰三年（1835年）进士。光绪四年（1878年）以太常寺卿出使美、日（西班牙）秘三国。《使美纪略》即记此次出使的见闻。

（三）

（六月）廿九日，至博奇梯拉。……

此市红印度人最多，政府设法保护之，免俾绝种，每来复①颁食②一次焉。余至日，适遇颁食之期，全市阗塞。其衣皆红绿两色，为种种式样，以文其身，各以一木箱负其婴儿。诡形殊状，见所未见，亦一眼福也。

（梁启超：《新大陆游记》③）

① 每来复：每七日。《易经》：“七日来复，利有攸德。”因称一星期为一来复，星期日为来复日。

② 颁食：发给食品。

③ 梁启超（1873—1929），字卓如，号任公，别号沧江，又号饮冰室主人。广东新会人。近代资产阶级改良主义者，曾追随康有为大力鼓吹变法维新，进行一系列的政治活动，是一个出色的并有较大影响的著述家和宣传家。戊戌变法失败后，谭嗣同等六君子遭杀害，他流亡日本，不久游历欧美，与康有为等从事保皇活动，同以孙中山为首的革命派相对立。晚年从事著述与讲学。《新大陆游记》是他游历美洲时所记的见闻和观感。

413.美国黑人

戊辰① 又四月十一日，己未，晴。……入都行三里许，至盘邦街，宿于“梅斗柏立里”店，楼高五层。其男女奴仆系二百年前阿非利加人之遗种，面黑而微黄，发短而冗②，洋人呼“卜拉克司”，译言黑子也。盖自前明正德间③，英得阿美里加，后因地旷人稀，遂于国初时④由阿非利加贩黑人为奴，价颇廉，虽一尺花绸亦可换人一口。至嘉庆十三年⑤，英以贩人为海盗目之，遂永革禁。现合众国人分三种，或土母白父⑥，或黑母白父，或黑母土父⑦，彼此面色不同，故其后裔有黄、黑、红、紫之各异。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 戊辰：即清代同治七年，公元1868年。

② 冗：多。

③ 前明正德间：明朝正德年间，即公元1506年至1521年。正德，明武宗年号。

④ 国初时：指清朝初年。

⑤ 嘉庆十三年：公元1808年。嘉庆，清仁宗年号。

⑥ 土母白父：红种人母亲，白种人父亲。

⑦ 黑母土父：黑种人母亲，红种人父亲。

414.美国京城（二则）

（一）

京城名华盛顿，建于遮次毕海湾西汊之尾，东临袍特密河，纵横各十里，东北距费城四百五十里。初，华盛顿既与英盟，自立为国，定都于此。官民即以其名名其城，亦非斥尊犯讳也，志不忘也（西人大率类此，不以为嫌）。屋宇整洁，风景清幽，天气略似江苏。道路宽展洁净，多用油拌土而筑，极平坦坚韧。车马不甚多，行人和蔼谦逊，无遽声疾言，迥与费城异。孟费城为贸易之区，五方杂处，市肆繁盛，车马拥挤。此则宫殿、官署、民居而外，园林最多。若店铺皆寻常食用之品，由费、纽两城运来，无工厂行栈。虽有河通轮舶，而大商巨贾罕至其处。惟电线则合宇宙各都会罔弗通，轮车铁路则各省交贯焉。

城之正中建广厦，极高耸奇崛，内有书楼。左为吏部、上议院，右为下议院。东南有兵船厂、兵房。极南临河，有军器厂。迤西有博物院、农部。博物院之南，有创造新器给凭所。再南有邮政局。农部之西临河，则伯理玺天德宫阙① 在焉。洋务衙门、水陆二兵部在其右，户部在其左。再西有观天台，又有书馆、书院多处，以教士子。另建书馆，专训黑人（即阿非利加人，向为奴，今皆如齐民②）。西北树林深处，有大室数座，以养受伤兵士之无家者。其余衙署及各国公使行馆尚多，难以悉举。同治九年③ 查编户口（例以十年为一次），共十万九千二百人，内华人三名，黑人居三之一。

（李圭：《环游地球新录》）

① 伯理玺天德宫阙：总统府。伯理玺天德为President（总统）的译音。

② 齐民：平民。

③ 同治九年：即公元1870年。

（二）

（五月）十四日，由纽约至华盛顿。

华盛顿——美国京都，亦新大陆上一最闲雅之大公园也。从纽约、波士顿、费尔特费诸烦浊之区，忽到此土，正如哀丝豪竹之后闻素琴之音，大酒肥肉之余嚼鲈莼之味①，其愉快有不能以言语形容者。全都结构皆用美术的意匠，盖他市无不有历史上天然之遗传，而华盛顿市则全出于人造者也。

都中建筑最宏丽庄严者为“喀别德儿”。喀别德儿者，译言元首之意，谓此地为一国之元首也。喀别德儿之中央一高座为联邦法院，其左右两座次高者为上议院、下议院，其后一大座为图书馆，合称为喀别德儿。喀别德儿之前，置华盛顿一铜像。其中央高座、中门、棂楹、槐壁，盖皆美国历史纪念画，其技或绘或雕或塑，其质或金或石或木，自殖民时代，独立时代、南北战争时代以至近日，凡足以兴国民之观感者，无一不备，对之令人肃然起敬，沛然气壮，油然意远。甚矣，美术之感人深也。环喀别德儿之周遭，皆用最纯白大理石铺地，净无纤尘，光可鉴发③。其外则嘉木修荫，芳草如簀③，行人不哗，珍禽时鸣。琅嬛福地④，匪⑤可笔传矣。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 鲈莼之味：家乡风味。《晋书·张翰传》：“翰因见秋风起，乃思吴中菰菜、莼羹、鲈鱼脍。”

② 鉴发：照见头发。

③ 簀：用竹片编成的床垫子。

④ 琅嬛福地：传说中的神仙洞府。伊世珍《琅嬛记》卷上：“因共至一处，大石中忽然有门，引华（张华）入数步，则别是天地，宫室嵯峨。引入一室中，陈书满架……华心乐之，欲赁住数十日。其人笑曰：‘君痴矣，此岂可赁地耶？’即命

小童送出。华阊地名，曰‘琅嬛福地也’。”

⑤ 匪：阊非。

415.白宫（二则）

（一）

伯理玺天德宫，营构皆白石，故民间称为“渭德好施”（译即白屋）。规模宏巨，四面皆亭园，带以清流，荫以佳木，花草繁盛，四时皆春。园外缭以铁栏。正门南向，东西有门若辕门。进东门照壁下车。时值伯理玺天德避暑别苑未返，往见管宫大臣，偕与游览。内有大殿二处，各容数百人。四壁悬历任伯理玺天德画象，为召见百官之所。另有红、绿、蓝诸殿，为接见亲信大臣及各国公使之所。又有圆殿、宴舞殿，一应陈设，悉从俭约。楼上为政事房，再进为内宫，则皆封闭，不得入焉。

（李圭：《环游地球新录》）

（二）

喀别德儿之庄严宏丽如彼，而还观夫大统领之官邸，即所谓白宫者，则渺小两层垩白① 之室，视寻常富豪家一私第不如远甚。观此不得不叹羡平民政治质素之风，其所谓平等者真乃实行，而所谓国民公仆者真丝忽② 不敢自侈也。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 垩白：粉刷白色。

② 丝忽：形容极小。丝、忽，都是小数名，十微为忽，十忽为丝。《孙子·算经》：“蚕吐丝为一忽。”

416.华盛顿图书馆

华盛顿之图书馆，世界中第一美丽之图书馆也。藏书之富，今不具论。其衣墙覆瓦之美术，实合古今万国之菁英云。吾辈不解画趣，徒眩其金碧而已，数千年来世界上最著名之学者，莫不有造像，入之如对严师。其观书堂中，常千数百人，而悄然无声，若在空谷。

观书堂壁间以精石编刻古今万国文字，凡百余种。吾中国文亦有焉，所书者为“子夏① 曰日知其所亡月无忘其所能可谓好学也已矣”二十一字，写颜体②，笔法遒劲，尚不玷祖国名誉。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 子夏：春秋时卫国人，姓卜名商字子夏，孔子的弟子，长于文学。

② 颜体：唐代书法家颜真卿的字体。

417.华盛顿纪功碑

华盛顿纪功华表，矗立都之中央，与喀别德儿相对，高五百英尺，实美国最高之建筑物也。其中空，可以升降。用升降机上之，须五分钟始达绝顶，步行则须二十分钟以外。登华表绝顶以望全都，但见芳草甘木，掩映于琼楼玉宇间。左瞰① 平湖，十顷一碧。同行一西人，为余指点某邱某壑，是独立军决斗处；某河某岸，是南北战争时南军侵入处。余感慨欷歔，不能自胜，得一诗云：

琼楼高处寒如许，俯瞰鸿濛② 是帝乡。
十里歌声春锦绣，百年史迹血玄黄③。
华严国土天龙静，金碧川山草树香。

独有行人少颜色，抚阑天末望斜阳。

华盛顿纪功华表构造时，徵石于万国，五洲土物，鸠集④备矣。各国赠石，皆系以铭⑤，用其国文泐⑥之，以颂美国国父之功德。吾中国亦有一石焉，当时使馆所馈，道员某为题词。其文乃用《瀛寰志略》⑦所论载，谓华盛顿视陈胜、吴广，有过之而无不及云。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 瞰：远望。

② 鸿濛：宇宙未形成前的混沌之气。这里是指辽阔混茫的空间。

③ 玄黄：《易·坤·文言》："天玄而地黄。"后用玄黄作为天地的代称。这句是说，百年来的历史，血染大地。

④ 鸠集：聚集、搜集。

⑤ 铭：文体的一种，常刻於碑版或器皿上。内容或是颂功德，或以申鉴戒。

⑥ 泐：通"勒"，铭刻。

⑦ 《瀛环志略》：书名，共十卷，清代徐继畬撰，叙述五大洲各国疆土、沿革、物产和习尚。

418.游华盛顿第宅（二则）

（一）

（光绪十八年闰六月）二十七日，晴。游华盛顿第宅，乘小轮船，约半时辰到。岸上小岭，高数十丈。至华盛顿墓，有屋一所。自铁栏外瞻之，白石棺二，停土面，盖夫妇二人也。屋外左右有神道碑①。又前行不半里，至其第，局面甚小，乡居盖如是也。第一层，画华盛顿像，纵横约八尺，为骑马赴敌形。前一将执刀马前，后则华盛顿之兄，最后则从战诸将，皆骑马像。外有华盛顿亲笔书，又德法诸将小照，皆从征有功者。右室为洋琴、竹笛、琵琶各一，则平日所陶情者。室外衣架二，海花一朵，为婚时人所赠者。遂上第一层楼，中厅挂枪一枝，牛角觜一具，下置

笔架墨盂。厅前挂刀二柄，长二尺余，皆其生前所用之物。楼左右男女像各一，则其兄妹。前为客房，后为华盛顿卧房。房中有瓷盆、木箱、木榻，华盛顿即寿终于此榻。又上第二层楼，则临江一室，可眺长江。又一室，亦置盥具并木榻。则其夫人之卧房也。夫人后君殁，即寿终于此榻。再上一层，则已扃②，不可陟。乃下至各处瞻眺毕，约未初，遂返。

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

① 神道碑：立在墓道上的碑，上记死者的生平。
② 扃（jiōng坰）：本是自外关闭门户用的门闩、门环之类，此指关门。

（二）

（光绪三十二年正月）初五日，晴。早九时三十分，与午帅①、梁使②带参随等乘兵轮往蒙华兰③，观华盛顿墓，即华盛顿故里也。登岸，观马车厂、洗衣厂、饭厅，谒华盛顿及其夫人坟，列石棺二具，门外列纪念碑二。复入其卧室，闻为华盛顿易簧④时所居，后人仍其旧，以志钦仰云。室中陈设朴素，无异平民。盖创造英雄，自以身为公仆，卑宫恶服，不自暇逸。以有白宫之遗型，历代总统咸则之⑤。诚哉，不以天下奉一人也！游既，仍乘船回，申刻抵寓。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 午帅：端方，字午桥，曾历任总督，故时称午帅。
② 梁使：指当时清廷驻美国公使梁震东。
③ 蒙华兰：维尔农山。美国弗吉尼亚州的一个村庄；华盛顿的住地和墓地。
④ 易簧：病重垂危。
⑤ 咸则之：都效法他。

419.国务卿忆林肯遇刺前后事

（同治七年四月）十四日壬戌，晴，稍凉。酉刻，徐尔德① 约观剧，先至其家，登楼导入卧室。伊言三年前平复南邦之后，与统领凌昆② 观剧，有刺客以手枪轰其统领，铅丸穿透。又伤伊之下颏，回家延医调治。夜，忽一人登楼，对其子云："系医生令见尊大人，有面商之之事。"其子不允，彼遂转身下梯，回手一枪中其额，急抢入屋，欲以匕首刺徐之头。因屋内昏暗，伤其下体。彼时阖家③ 惊起，其人遂逸④ 。三日后被获，审之系亦南人主使。由是出入有官兵护卫，以备不虞。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 徐尔德：当时美国国务卿。
② 统领凌昆：总统林肯。
③ 阖家：全家。
④ 逸：逃走。

420.世界最古之报馆

同日往观"波士顿报"馆，史家或亦以此为世界最古之报馆云。考新闻纸之起源，或云当中世之末，意大利之俾尼士已有之，由政府发行，每月一册，用手写，非印刷也。其在英国，则千五百八十年，额里查白女皇与西班牙交战之时，政府亦曾发一新闻纸，出版无定期。至占士第一时，始有礼拜报。实则英国每日新闻，实自千七百九年始。而此"波士顿报"，则滥觞① 于千七百四年。然则谓此报为报界之始祖，殆无不可。距今适二百年，已不知几易主；而其规模之宏大，亦不可思议。余往观经三点钟乃毕，内容繁赜② ，倦于笔记矣。观毕后，馆主请留一相。余

每至一市，诸报馆访事皆来照相，此次又特别留记者也。

报馆愈古者则愈有价值。盖泰西之报馆，一史局也。其编辑文库所藏记事稿，无虑③百千万亿通；所藏名人像及名胜图画，无虑百千万亿袭；分年排比，分类排比。吾尝游大新闻报馆数家，其最足令吾起惊者，则文库是也。故无论何国有一名人出现或移动或死亡，今夕电报到，而明晨之新闻纸即登其像，地方形胜亦然。彼何以得此？皆其文库所储者也。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 滥觞：原来是说江河发源之处，水极浅，仅能浮起酒杯。后以比喻事物的开始。

② 繁赜（zé责）：繁多而不易看完。赜，幽深难见。

③ 无虑：大略（概）。

421.波士顿博物院藏中国御物

初七日，往观博物院。其中陈设之璀灿瑰玮，吾固数见不鲜，不复缕述。所最令余不能忘者，则内藏吾中国宫内器物最多是也。大率得自圆明园之役者半，得自义和团之役者半。内有文宗①所用之表，云是俄罗斯皇室所赠者，其雕镂之精巧，殆无伦比。表大不过径寸，其外壳絫两裸体美人倚肩于瀑布之上，两鸟浴于瀑布之下。表机动，则瀑布飞沫，诚奇工也。其余雕玉物品、雕金物品、古近磁器凡数百事，并庋一龛②，不遑③枚举。余观其标签，汗颜④而已。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 文宗：即咸丰皇帝奕詝。

② 并庋一龛：一起收藏在一个柜子里。庋，收藏。

③ 不遑：无暇。

④ 汗颜：羞愧。

422.贫富悬绝

杜诗云："朱门酒肉臭，路有冻死骨。荣枯咫尺异，惆怅难再述。①"吾于纽约亲见之矣。据社会主义家所统计，美国全国之总财产，其十分之七属于彼二十万之富人所有；其十分之三属于比七千九百八十万之贫民所有。故美国之富人则诚富矣，而所谓富族阶级，不过居总人口四百分之一。譬之有百金于此，四百人分之，其人得七十元，所余三十元以分诸三百九十九人，每人不能满一角，但七分有奇矣，岂不异哉，岂不异哉！此等现象，凡各文明国罔不如是，而大都会为尤甚。纽约、伦敦，其最著者也。财产分配之不均，至于此极。

（梁启超：《新大陆游记》）

① "朱门酒肉臭"等诗句，见杜甫《自京赴奉先县咏怀五百字》诗。

423.美国人的住地

野蛮人住地底，半开人住地面，文明人住地顶。住地面者，寻常一两层之屋宅是也。住地底者，孟子所谓下者为营窟。古之五祀①，有中溜，穴地为屋，凿漏其上以透光，雨则溜下也。今吾国秦晋豫② 之间，犹有是风。北京之屋，亦往往有入门下数石级者，犹近于地底矣。纽约之屋，则十层至二十层者数见不鲜，其最高者乃至三十三层，真所谓地顶矣。然美国大都会通常之家屋，皆有地窖一、二层，则又可以顶而兼底也。

纽约触目皆鸽笼，其房屋也。触目皆蛛网，其电线也。触目

皆百足之虫，其街市电车也。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 五祀：古代统治者祭祀的五种神祇。《白虎通·五祀》："五祀者，何谓也？谓门、户、井、灶、中霤（溜）也。"

② 秦晋豫：陕西、山西、河南。

424.妇女地位

西人有恒言曰："欲验一国文野程度，当以其妇女之地位为尺量。"然耶？否耶？凡游美者，皆谓美国之风，女尊男卑，即美国之人亦自谓然。以余观之，其实际断非尔尔①，不待辩也。虽然，谓美国妇人之地位，在万国中比较的最高者，则余信之。观其表面之现象，则凡旅馆、凡汽车以及诸等游乐之具，往往为妇女设特别之室，其华表远过于男室。道中男子相遇，点头而已，惟遇妇人，必脱帽为礼。在高层升降机室中，一妇人进，则众皆脱帽。街中电车坐位既满，一妇人进，诸男必起让坐（此风在东方诸市，如纽约、波士顿等，不甚行）。繁文缛节②，如见大宾。然此不徒对于上流社会为然也，即寻常妇女亦复如是，此实平等主义实行之表征也。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 尔尔：如此如此。

② 繁文缛节：形容礼节之多而隆重。

425.土著与客民

因查美国国例，总统由民举，议绅亦由民举。其未举也，必

先要结民心，将以求举也；其既举也，必求允洽民心，所以报举也。美国土著，系茵陈① 一种，与黑人相似，不归王化，画地② 而居。其居中土为民者，皆欧洲客民耳。顾欧洲客民入美籍，而中国客民不入美籍。入籍者得与举，不入籍者不得与举，……

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

① 茵陈：“印第安”的不同音译。
② 画地：另外划出地方。

426.任用官吏成拍卖场

美国自一八二八年以后，至一八八三年以前，其任用官吏法，殆如一市场。每当大统领易人之年，则联帮政府所属官吏，上自内阁大臣、各国公使，下及寒村僻县之邮政局长，皆为之一空。使① 新统领而与旧统领同党派也，则犹或不至此甚，若属异党，则真如风吹落叶，无一留者，此实千古未闻之现象也。此例自昃臣氏② 为大统领时（一八二八年）始开之，一就任即易官吏五百余人（前此华盛顿在任，八年中所免黜官吏不过九人。自遮化臣③ 至门罗④ 为大统领，二十年间免黜者不过六十人），以酬选举时助己者之劳。此风一开，遂为成例，故大统领林肯尝云，区区白宫（案：即大统领官邸），遂将为请谒者（案：宁谓之要求者）所踏倒。而某氏稗史记大统领加弗⑤ 自就任以至被弒时，凡七月间，除应酬党员之索官者，更无他事。纲纪泯梦⑥，至是而极。盖数十年间，美国之官吏，成一拍卖场耳。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 使：假若。

② 昃臣氏：即安德鲁·杰克逊，美国第七位总统。他于1829年3月就任总统，至1837年任满。

③ 遮化臣：即托马斯·杰斐逊，美国第三位总统。1801年至1809年在位。

④ 门罗：即詹姆斯·门罗，美国第五位总统。1817年至1825年在位。

⑤ 加弗：即詹姆斯·艾布拉姆·加菲尔德，美国第二十位总统。1881年就职，同年7月被一名失望的求职者所暗杀。

⑥ 泯棼：纷乱。

427.每办一事，必须筹费

（光绪十五年十月），金山总领事来禀云：美国政体风俗，事事非钱不行。每办一事，必须筹费。所需之费又巨，既非公帑① 之所得开支，又非私家之所能给。因查领事之设。昉② 自泰西，泰西领事，验货有费，查船有费，填牌有费，一切文凭准照，莫不有费。所筹者并非领事费用，不过以公众之财，办公众之事，不过合众人之力，官为之督率而维持之云云。

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

① 公帑（tǎng倘）：公款。帑，旧时国家储存金币的地方。

② 昉：始。

428.美国重专利权

（同治七年闰四月）二十六日甲戌，晴，午刻阴，细雨一阵。未正至一官署，如中国之户、工两部① 。楼高六层，汉白玉石建造，四围距楼六里，层层官舍，半理田亩之事，半理工匠之事。凡国人创造一物一器，准其将图式报官存照，四年后方许他人仿造，以便利创者获利。楼内存贮大小器皿百万万件，每器粘签，上书年月暨造者名姓。凡炮台、火轮、机器，以及些须玩物如风筝、纸人、绫花、磁果等，无不具备。其中大物之不能置

玻璃柜中者，皆造以楠木、象牙，与真无异。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 户、工两部：指清朝中央政府的户部、工部。户部，掌管户口、田赋，即后来的财政部。工部，掌管营造、百工，即后来的农工商部。

429.秘 密 结 社

闻西国男子结党名“福立美逊”①，入者助银三十圆，每年仍助三、四圆，以备公费。合众通党以统领朱温逊为首，各有暗号为识②，遇外侮则集其党，务便复其仇而后止。所用暗号，虽妻子不预闻，亦机密之至矣。刻下合众女子亦欲结党，自立庙堂会馆，……闻男党内有一女子，缘其父初与众议，彼匿于柜而窃听之，议罢闻女笑声，众皆怒而欲杀，其父长跽③求免，众令女誓以天日，永无渝志④，乃止。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 福立美逊：公济会。
② 识（zhì志）：记号。
③ 跽：长跪。
④ 永无渝志：永不改变志向。

430.王 家 书 院

到纽约，歇温沙客寓。此埠街道宏敞，屋宇华丽，有华人约千七、八百，住勿除街，以洗衣卷烟为业。杂货店不过数间，赀本俱小，闻近有凑股数万，拟设广贞祥字号，专由香港贩运中国货物，分通古巴岛、南花旗① 等处。……又有洋人巴力文兄弟，

偕随员等往各处游览，回据称：其王家书院，为楼六层，凡初附学者居其上为第六层，有男女童约四百，皆七、八岁者，专教以认字调音，第五层女童五、六百，皆十一、二岁者，教以书算图画等技，第四层女童六、七百，皆十四、五岁者，教以格致等技②，第三层约六、七百人，皆十、七八岁者，教以天文、地舆、制造、化学等技，第二层则由三、四层中，每日轮调约百人，教以琴歌跳舞等技，第一层为各绅董写字见客处。统计学生约二千四、五百人，女子居多，男子仅百余而矣，缘男童十岁后须往别馆也。

（陈兰彬：《使美记略》）

① 南花旗：南美洲。

② 格致：旧时称理、化、博物等学为格致学。

431.博　物　院

（纽约）园东二里许，有博物院，主人沙儿达。凡各国之珍禽奇兽，与夫木石、五金、军械、衣饰之类，无不罗致。中有兽，名模士，鹿头马身，脚开两趾，角长而扁，分十余叶，形似锯齿。询出南亚墨利加洲，不可多得。有鸟似画眉，膊有四翼，翼下箭毛数茎极长。有小鸟数百，细如蜻蜓，一鸟一色，斑斓粉错。有胭甸野番① 所用之箭，长至丈余，箭镞有倒钩，淬以毒药。其衣服俱兽毛结织，用兽肋穿纫，贵者以鱼皮为之，饰以翎毛。看毕，主人赠以人情纸数十页，称院非公家所设，须好友领进，后有贵友来游，即于纸上添上尊名，自然有人招呼云。

（陈兰彬：《使美记略》）

① 胭甸野番：即印第安人。

432.大　瀑　布

（一）

迤北有河名曰加哑辣，与安剔衣阿湖①、伊厘湖② 相通。英、美以此河为界③，北岸属英，南岸属美，两国皆设大帅于此，以镇守之。又于河上架飞桥两道，（一以便火车往来，一以便游人行走）其桥不用桥蛋④，四面以铁缆维之，两岸各建桥楼以挽铁缆，高约数十丈。南楼阔八十尺，北楼阔七十八尺。东南北三面，皆大瀑布。西人云：通地球瀑布，此为最大。北曰马蹄瀑，阔二千尺，水流自高至底一百五十四尺，东南二瀑与河同名，南阔六百六十尺，东阔二百四十三尺，水流自高至底皆一百六十三尺。石峰壁石〔立〕，湖水奔腾澎湃之声不绝于耳。水花如雪，远望祇见白光飞舞。岸傍有屋数间，内设绞车，机器下通水轮，以为升车上下之用。车如小室，可坐一十二人。四面玻璃透亮，有门以便开阖出入。对面树林浓翳、山上建有亭榭。游人上下亦坐升车，如小舟式，亦系水轮运转。离此二迈，有转水潭，因水急流至此湾曲而转，故名。又有风洞，因地下浮沙随流而去，上余坚土，形似瓦面，水气由洞口而出，故名。是处风景幽绝，天气清和，每至炎夏，举国官绅多来避暑。英界有酒店一间，颇雅洁。

（陈兰彬：《使美记略》）

① 安剔依阿湖：今译作安大略湖。

② 伊厘湖：今译作伊利湖。

③ 现为加拿大与美国的分界，作者去游览时，加拿大还是英国的殖民地，所以这样说。

④ 桥蛋：桥墩。

（二）

是时节方盛夏，而寒气迫人如冬，耳畔溢涌[1]之声，如河缺堤，聆[2]之令人股栗。盖此间有极大瀑布，总名与村同[3]，宽约四、五里，长百零八、九里，南连益利湖（原名伊尔厘湖），北通安秋湖而入海（原名安剔衣厘阿湖）。其溜[4]自南而北，至此下流十九丈八尺而成瀑布。舟在上流十里外不敢渡。下流二十余里，白沫飞起如云，直冲霄汉，声大于雷，震惊不止百里。附近之处，人距数百尺，对语不闻。两岸东为纽约，属合众[5]；西为上加拿他[6]省拉嘎拉城，属英国。（加拿他有上下之别）水至此分为三道，中一小者名激风洞，宽约八丈。在西者名马掌，宽约二百丈。在东者名阿美利甘，宽约五十余丈。上流有四岛，大者名山羊岛，旁三小者名姊妹岛，毗连处横有铁桥。山羊岛外有多宾塔，建以石，高逾三丈，登之则一望无余矣。每当夏令，四方人民来此乘凉者不可枚举，即冬令亦多临眺，因水结冰山，一切楼台花木，俨如雕刻玲珑，可称玻璃世界，故佳景为天下第一。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 溢涌：水流汹涌漫溢。
② 聆：听。
③ 总名与村同：指尼亚加拉村。
④ 溜：水流。
⑤ 合众：即美利坚合众国，简称美国。
⑥ 加拿他：加拿大。

（三）

（光绪三十二年正月）十七日，晴。早八时，至乃阿哥拉，乃世界第一大瀑布处也。十时，坐雪车往观。其地积雪满山，冷风砭骨，奔泷[1]直走，喧豗[2]震耳。临流注望，但见一泻千里，无

从溯其来源。中间丛木怪石，起伏不一。又方严冬，冰块亘流，故波折益甚。最低处水花满空，高至数十丈，尽成烟雾。闻其下有地洞，可以度人云。此瀑当加拿大与美交界处，故英、美各有半主权。是日，加拿大府尹亦来陪观，因度铁桥，循源上朔，往来两国界间。此瀑布之力，奔注数里，成一湖，所谓回澜湾也，复折而入安他利俄湖，循此河而入海。其下趋之势，摧陷一切，美人因利用其水力以运机器，居下流，创公司者数家焉。

有大瀑布电力制造公司，专用水力制电，以售诸制造之家。余等往观之，为楼十二层，铁轮凡九，皆以水力运之。上埠电灯、电车以及一切电器作用，皆发源于此。资本凡一千万元有奇，每年出售之电，价值三千余万元，获利十分之一。同时业此者两家，此其尤发达者也。其机器二十具，为马力五千者半，为马力五千五百者半，都凡十万五千匹马力。以此天然之水分造电力，以资远地之挹注③，行过十英里，不过电力十失其一而已。水之为用，可谓伟矣。又有麦饼公司，即间接用电力为之者也。在此午膳，并引观制饼、火焙、收藏之法，谓一切皆以机器，不沾人手，最为洁净云。

出，复乘汽车沿瀑布上行。绕河有车路二，次崖际，便游人之往复也。是日同游者为加拿大府尹、瀑布局总办、英税务司等，谈笑欢然，相看不厌。因述瀑布之始原，谓考古家想象陈迹，以为上古时，水当在下游为大壑，殆三千二百万年之久，乃渐始上冲成为今瀑，此后又当渐退矣。瀑布流处，皆出天然，不假人工。两岸壁石如削，即水力之所荡刷使然也。水至洄澜湾而折流，实非当时之河道。今绕至湾后，树木殆满，枯涧湮塞，古河道存焉。其改道折流之年，不可考矣。是处有华表一，当一千八百十二年，英、美交战，英将某死绥④于此，故立石纪之。同时英太子以战事至此坐憩，今其石犹存，刻字记焉。复循岸觇下游之势，水渐舒缓，可以行舟。闻盛夏之日，游人甚众，每泅水为乐。月夜景色转幽，士女如织，甚或天阴云翳，好事者以电灯映

照其间，代秉烛游焉，洵⑤美观也。绕游数周，复至图画店购瀑布画数帧以归。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 奔泷：奔腾的急流。
② 喧豗（huī灰）：轰响声。
③ 挹注：《诗经·大雅·泂酌》：“挹彼注此。”疏：“挹彼大器之水，注之小器之中”。后来就称以有余补不足为“挹注”。
④ 死绥：兵败而死。绥，退军，兵败军退，将领死殉，称死绥。
⑤ 洵：确实。

433.激　风　洞

（同治七年六月）二十一日戊辰，晴。午初，随志、孙两钦宪往观瀑布。过铁桥长二十丈。宽十五丈，先至山羊岛，在激风洞与马掌之间，长约三里，宽二里，花树颇多。激风洞左有小房一间，入内易以外国油衣、油帽，自筒楼环梯绕下，地皆乱石，如狼牙之林立，上望则峭壁陡岩，悬临千丈，天漏急流，飞波扑面。绕至激风洞之后，通有小木桥，极狭，仅容一足。渡桥后，则步乱石，扶木板，游历数处，而巨浸漫天，如江河之倒泻，其声音之震眩耳目亦不效灵矣。游毕登楼易衣，每人给票一纸，上云：“某人某日曾游激风洞”等语，以便其人自炫胆大心坚，无所恐惧之意。出此登塔一观，景虽毕见，而急风骤雨，势不可当矣。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

434.寄　藏　所

寄藏所，建以寄藏金珠、宝石、凭照、契券之所也。无论官

民，家有贵重之物，恐遭火患，或虞盗窃，可送至代藏。视铁箱大小，取资多寡，若七寸见方① 之箱一只，每年取资十五圆，最大者，每年三百圆。屋皆石造，上下四方护以厚铁板，置箱之架亦铁，通屋无分寸木也。巡守工人由富室循环具保而来。各室门锁，非经数钥不可启。各室外有时辰钟，钟面设针盘，盘心一小铁管，巡守人每二刻，以石笔就管内画一圈以志之。若针盘转过，有一空隙未画，则知其人某刻不在侧，当重罚。又有电线置各门暗处，有自外入者，电机一动，钟亦自鸣。凡此皆为严防盗贼之意。

（李圭：《环游地球新录》）

① 见方：正方形。

435.早期留美学生

幼童现仅一百十三人，以二人一班，分住各绅士家，随其子弟就傅习洋文。每人房食束脩①，每年需银四百两。局内延② 中华教习二人，幼童以三个月一次来局习华文。每次十二人，十四日为满。逾期，则十二人复归，再换十二人来。以次轮流，周而复始。每日卯正起身，亥初就寝。其读书、写字、讲解、作论，皆为一定课程。即各人写寄家信，亦有定期，每月两次。可见虽细端，亦极周至矣！尝观其寓而人绅士家，颇得群居切磋之乐，彼此若水乳交融，则必交相有成。是中西幼童，皆受其益也。况吾华幼童，仍兼读中国书而不参溷③，使其专心致力，无此得彼失之虞，是其法之尤善者也。他年期满学成，体用兼备，翊赞④ 国家，宏图丕烈⑤，斯不负圣朝作人⑥ 之盛意也欤！

（李圭：《环游地球新录》）

① 束脩：学生送给教师的酬金。脩，干肉。十条干肉为束脩，原为古代诸侯大夫相馈赠的礼物。

② 延：请。

③ 参溷：混杂。溷，混的异体字。

④ 翊赞：辅助。

⑤ 丕烈：大功业。

⑥ 作人：培育人材。

436.美国盐湖城的多妻教徒

（光绪二年五月）二十七日辰刻，经过盐湖城。车中人皆欲往游，惜未停轮，不果。询其处有何佳境而皆欲往游，据云其地有湖，在山之高处，计长二百六十四里，阔一百六十五里，湖水煎盐最旺。煎水四桶，得盐一桶，故谓盐湖，犹中国盐井然。湖旁有城，居人约二、三万，来自英国、瑞士者居多，性喜游戏宴乐。所奉之教，亦若耶稣，惟一夫数妻之例，与耶稣教相反。其头目已娶至二十人之多。向亦居美国东土，嗣以此俗不合教规，劝之不改，为国人所不容，徙居于此已三十年矣。美国呼为“毛梦”人（“毛梦”二字不解何义），其教曰“毛梦教”，盖久摈之于外矣。

（李圭：《环游地球新录》）

437.十八世纪的美国木器

木器亦最称妙。有一器高七尺，宽七尺，厚一尺，若大柜，视之无奇。及将机括一拨，即为斗室一间。两旁百页窗，前为门，中一榻，被褥都厚软。榻旁列一橱，下有柜，盥洗各器罗列于中。再拨机关，仍为原式。价仅二百元。又有木橱一口，前设半桌。桌面启，则一镜莹然，盥漱器亦备，旁有抽屉盛文具。再将

橱门一拽，则见一榻缓缓而下，共价一百七十五元。此皆西人设于别室备用，或携以游行，随处可安置者。

（李圭：《环游地球新录》）

438.旧金山名称的来源

美国卡厘方利亚① 之三藩谢司戈城，华人以其地产金，称为金山。嗣南洋澳大利亚岛亦产金，称金山，而以新旧别之，称此为旧金山，美西海滨一大都会也。

（李圭：《环游地球新记》）

① 卡厘方利亚：美国的一州，今译作“加利福尼亚”。

439.旧金山的“唐人城”

（同治七年三月）初十日己未，晴。午后街游，其风景稍逊泰西，所有闾巷市廛，庙宇会馆、酒肆戏园，皆系华人布置，井井有条。其大街土人称为“唐人城”，远望之讶为羊城① 也。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 羊城：广州的别名。

440.纽约“唐人埠”

纽约全省之华人约二万，其在纽约市及布碌仑（与纽约相连，今合为一自治团体）者万五千人，大率业① 洗衣者最多，杂

碎馆② 次之，厨工及西人家杂工又次之，其余商人，则皆恃工以为生。商店大小亦有数百家，自成所谓“唐人埠”者。每来复，唐人埠街衢为塞，盖工人休假，皆来集也，余日则颇冷淡。吾侪在东方诸市演说，惟来复日听众阗塞，余日则至者不及半数。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 业：从事……职业。
② 杂碎馆：经营中国菜餚的饮食店。

441.落机山之胜处

笠荣士顿为全美最高之都市，盖在落机大山之半麓矣。余至是适患小恙，同人劝浴于温泉。泉距笠市二十余里，落机深处也。风景幽绝，尘念顿消。余浴三日，行，得诗教章：

名山穆穆日如年，独步长歌复醉眠。
亦是兹游一奇绝，落机深处浴温泉。

泻潭飞瀑何太急，栖壑片云长自闲。
安得风尘弃我去，年年携酒看青山。

九万里中得三日，二十年间此一回。
猛忆过去未来事，清明肤寸现灵台①。

落机山中有黄石园者，周遭八百里，实全世界第一大公园也。闻奇景最多，有种种定期之喷泉，或一日喷一回，或一日喷三、四回，或隔日喷一回，或一来复喷一回，或一月喷一回，皆有定期，靡差靡忒②。园中熊最多，皆驯扰不犯游客。园中禁射猎，每岁只有半岁可游（余日积雪）。由联邦政府派兵一小队守

卫之。游客不得携枪械。惟今年总统罗斯福来游，曾破例许猎一熊以归云。园距市仅半日程，惟往游非半月不能探其胜，余无此暇晷③，仅购影画数十枚，当卧游耳。

（梁启超：《新大陆游记》）

① “清明肤寸”句：清明，神志清静、明朗；肤寸，古时长度单位，一指宽为寸，四指为肤，比喻微小。灵台，心。句意是说，一缕清明之光出现在心间，心怀特别清醒。

② 靡差靡忒：没有差错。

③ 暇晷：闲暇时刻。

442.费城宽街长桥

美国富庶之区，皆萃① 于东北各省。各省中又以三大城称最：一曰纽约，二曰费里地费，三曰波士登。此就贸易之繁盛而次序之。若地方之大，屋宇之多，街道之广，费城实居第一。再以地球各大都会言之，则居第十二焉。光绪二年②，为美国开基百载之期，创设大会③，以识庆典。会即设于费城，盖取意立国时华盛顿与英定盟处也。

城建于特尔拉洼河西岸，计地四百二十六正方里，属喷夕尔费呢阿④ 省。外通海港，商船可直达城下。街道纵横，其直如矢，宽自六、七丈至十丈。城中一街名“伯罗思剔利”，译即宽街。南北长三十余里，适中处新建费城梅尔署（梅尔若中国知府），宏巨华赡，云费一百五十万金。各街中砌鹅卵石，并仿轮车铁路法，平铺铁条，专行马车。左右稍低，夹植树木，疏风荫日。行人皆就两旁砖石路来往，亦甚宽展（西国街衢，率若此然）。屋宇或砌红砖，或砌美石，自二、三层高至五、六层。桥梁多以精铁为之，有长至百余丈，宽至七、八丈者，均极坚固灵巧。而尤以城西“志尔乃而”一桥为特绝。轮车铁路约十余条，

或径穿城而过。电线木杆，几于举目皆是，难更仆数，有一杆上悬电线多至五、六十条者。气候与山左略同，皆沙土，无湿气，多树木，居处宜人。

（李圭：《环游地球新录》）

① 萃：聚集。

② 光绪二年：公元1876年。

③ 大会：此指为纪念美国独立一百周年而举办的世界博览会。该文作者李圭曾参观此博览会。

④ 喷夕尔费呢阿：今译宾夕法尼亚。

443.假发假肢

（同治七年五月）初三日庚辰，仍细雨空濛①。卯初抵纽约。下车过渡，仍入前店，颇凉。申初，邻人杨昂约晚酌，同坐有马立孙、布拉格、巴安驷、斐立等十余人，皆新邦富户。谈间，见新闻纸绘一幼女，鬓发如云，仿华人编辫长二尺，游于市，被马衔去。乘马者夺辫而还，女子俯首赧颜② 受之，盖秃女饰假发以修容者也。又闻有富户某雇一仆，更深，主人欲寝，仆往送烛，见主人鼻牙右腿皆无，骇然而走，惊怖无措。盖主人肢体不全，饰假体以壮观者也。按西国有巧匠，善作五官百体，与真无异，不知者鲜有知其伪者也。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 空濛：迷茫之状。

② 赧（nǎn难上）颜：因羞愧而面红。

444.礼拜堂观婚礼

（同治七年八月）十七日辛酉，微晴。辰刻，同寓有狄芬三者结缡① 于黎氏，是日迎娶。巳初，有两家戚友男女二十八人来贺，男皆青衣高帽，女着白裙红缘，各执鲜花一束。至午正，则对对下楼，乘车十六辆，前去礼拜堂看新夫妇受礼。新郎候于堂中，俄而新妇至，身服白衫，手执白花，首罩白纱。盖泰西尚白，故新妇服此，一取其吉，二明其洁。曾记斌公《海国胜游草》有诗云："白色花冠素色裳，缟衣② 如雪履如霜；旁观莫误文君寡③，此是人家新嫁娘。"未初，受礼回寓宴客。新妇首坐，均分嫁饼于众。饼系白面糖果所造，有值数十金者。宴毕，新妇易衣，俟亲友去，则同其夫束装游历各国，据云一年后始归。

（张德彝：《再述奇·合众国游记》）

① 结缡：成婚。古代女子出嫁，母亲把佩巾结在女儿身上，后用为成婚的代称。
② 缟衣：白色衣服。
③ 文君：卓文君，汉朝人，才多貌美，年轻守寡。

445.狂　笑　园

郎埃仑在布碌仑之西，由纽约乘电车半点钟可达，避暑之地也，游者以夜。余尝一游，未至里许，已见满天云锦，盖电灯总在数千万盏以上也。层楼杰阁，皆缀华灯，遥望疑为玻璃世界。中有一园，名狂笑园者。人以洋一角售券入园，园中诸陈设玩区，有普通者，有特别者。特别者另买券乃能入观，其券贱者半角，最贵者亦不过两角半。然欲遍观之，每人须费二十三元有奇。其余如狂笑园而稍小者，尚数十区，欲遍游非三、四日不

能。然至者，率皆中下等社会及儿童耳。

（梁启超：《新大陆游记》）

446.李鸿章“杂碎”

杂碎馆自李合肥① 游美后始发生。前此西人足迹不履唐人埠，自合肥至后一到游历，此后来者如鲫。西人好奇家欲知中国人生活之程度，未能至亚洲，则必到纽约唐人埠一观焉。合肥在美思中国饮食，属唐人埠之酒食店进馔数次。西人问其名，华人难于具对，统名之曰“杂碎”，自此杂碎之名大噪。仅纽约一隅，杂碎三、四百家，遍布全市。此外东方各埠，如费尔特费、波士顿、华盛顿、芝加高、必珠卜诸埠称是。全美国华人衣食于是者凡三千余人，每岁此业所入可数百万，蔚为大国矣。

中国食品本美，而偶以合肥之名噪之，故举国嗜此若狂。凡杂碎馆之食单，莫不大书“李鸿章杂碎”、“李鸿章面”、“李鸿章饭”等名。因西人崇拜英雄性及好奇性，遂产出此物。李鸿章功德在粤民者，当惟此为最矣。然其所谓杂碎者，烹饪殊劣，中国人从无就食焉。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 李合肥：李鸿章为安徽合肥人，所以称他为李合肥。
② 具对：具体地答复。
③ 大噪：广为流传。
④ 衣食于是焉：靠这为生的人。

447.所谓“奴隶省”

纽柯连者，美国第十二大都会，而南部之重镇也，属路易安拿

省。人口二十八万七千一百零四人，华人千余。此地西人华人之生计风俗，皆与东部绝异，至此耳目为之一新。

南部诸省，前此所谓“奴隶省”；而纽柯连实为之总镇。纽柯连即南部数省之摄影也。故吾至纽柯连，其特别之趣味独多。

南部诸省黑人殆三分之一，而纽柯连之比较率，恐尚不止此数。盖旧蓄奴者皆大地主，而大地主集于大都会，故奴数尤多；今虽自主，犹附著于土地也。入其市，几忘为白亚美利加，而疑为黑阿美利加矣。

南部诸省号称为共和政体，实则至今仍寡头政体① 也。其人民大率可分为三级：其一曰上等之白人，即南北战争以前此地之殖民贵族（亦有新自北部移来者），而掌握地方上实权者也，其人数甚少，不过十与一之比例。其二曰下等之白人，此辈当用奴时代即已来住，但其时富家以蓄奴获利，一切垦辟耕耘之业皆奴为之；此辈既不自有资本，求劳佣之业亦无所得，其生计之困难，不可名状；坐是之故，更无余力以兴教育、受教育，其智识亦在水平线以下数级；其优于黑奴者，不过名义上有选举权，称自由民耳。（此在南北战争前耳，若在今日，则黑人与彼等不能轩轾② 。）近年来矿业、制造业渐兴，此辈之困稍苏③ 。然其进步究缓慢，远不逮上级社会。此等人约居十之四有奇。其三则黑人。黑人自解放后，有选举权，与齐民等④ ，然黑白之不敌；岂待论矣。黑人亦约居十之四。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 寡头政体：由剥削阶级中极小数人掌权的政治体制。
② 不能轩轾：不分高低轻重。
③ 稍苏：稍为恢复。苏，指困顿后得到休息。
④ 与齐民等：与平民等同。

448.美国对待黑人的私刑

美国有一种私刑名“灵治”刑者，以待黑人。此实文明国中不可思议之现象也。初有农夫名灵治者，一黑人触犯之，乃缚之而悬于树上，以待警吏之来，吏未至而该黑人已死，后遂袭用其名。近所通用者，则焚杀是也。每黑人有罪，不经法官，直聚众而焚之。当二十世纪光天化日之下，而有此惨无人理之举，使非余亲至美洲，苟有以此相语者，断非余之所能信也。计旅美十月，在新闻纸中见此等怪报，不下十数次。初甚骇之，及习见亦不以为怪矣。查其统计，乃知自一八八四年以来，每年行此等私刑者，殆平均百五十七次云。

（梁启超：《新大陆游记》）

449.过檀香山

檀香山者，北太平洋群岛之总名也。小岛凡八：曰尼后，曰孝威，曰摩落开，曰茂宜，曰兰尼，曰卡卢拉雅，曰夏威夷，曰澳亚湖，而澳亚湖岛火拿鲁炉① 实为正埠。其地东北至旧金山，西北至横滨，西南至悉尼，为太平洋航路之枢纽。曩者荒旷无人时，辟莱任地②，开矿修路，掷无数汗血心力以有今日者，伊谁之力欤？固吾中国人，又吾广东人也！

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 火拿鲁炉：檀香山。

② 辟莱任地：辟除杂草，开垦出可耕的土地。任地，古代统治者按照土地情况，订定赋税。

450.会下棋的蜡像①

（光绪三十二年正月）二十一日午后，往观蜡人院。院中蜡人甚多，或坐或立，神态如生。最妙者，一蜡像前置棋枰，能与人对奕。如对手欺之，故下一子不如式，则像即停子不下，若不豫② 状。其仍不改，即以手将棋子扫之。巧妙至此，诚可叹也。

（戴鸿慈：《出使九国日记》）

① 这一则记载在美国所见。
② 不豫：不高兴。

451.希卡果的铜铸人像

（光绪十九年七月）二十六日，晴。昨日至希卡果换车，因开车尚待五时，稍至各处游历。见石房至高者，地面约十八层，合之地下，当二十层，可谓高矣。又至一处，则铜铸人像。两男像为土人，即美国土著之烟甸人也。一妇人，一小童像，为英人，则二百年前初到美国者也。一紫人举斧以斫妇人，另一紫人以手格之，斧未下，妇人则以右手入紫人腰际，抽其短刀，已将出鞘，盖欲夺刀以刺紫人也。小童则骇极，张口而号① 。精神毕肖。距铜像二丈余许，有枯树一株，无枝叶。盖当时之物，已二百年，生气尽而未删伐，特留之以志此事之颠末② 也。

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

① 号：哭。
② 颠末：始末。

452.西人讲话的规矩

西人讲话，与一人讲，则使一人能闻之；与二人讲，则使二人能闻之；与十人讲，则使十人能闻之；与百人千人数千人讲，则使百人千人数千人能闻之；其发声之高下，皆应其度。中国则群数人坐谈于室，声或如雷；聚数千演说于堂，声或如蚊。西人坐谈，甲语未毕，乙无搀言①；中国人则一堂之中，声浪稀乱，京师名士或以抢讲为方家②，真可谓无秩序之极。孔子曰："不学《诗》，无以言；不学《礼》，无以立。"

（梁启超：《新大陆游记》）

① 搀言：抢先讲话。
② 方家：有名的大家。

453.吐唾罚银五百元

旧金山凡街之两旁人行处（中央行车），不许吐唾，不许抛弃腐纸杂物等，犯者罚银五元。纽约电车不许吐唾，犯者罚银五百元。其贵洁如是，其厉行干涉不许自由也如是。

（梁启超：《新大陆游记》）

454.世界第二的长铁路

（四月）三日，由温哥华① 首途，乘汽车往纽约，即C.P.R.公司之铁路也。此铁路横贯美洲大陆，长三千余英里，实中国万里矣。当俄国西伯利亚铁路未成以前，此路实为世界第一之长线。

当初议建筑时，资本家多目笑之，募股份，应者寥寥，謂其工程之断难就也。今则利数十倍矣。加拿大联邦之巩固，实自此铁路始。铁路与国政群治之关系，伟矣夫！

行经落机大山而东，层峰积雪者千余里。汽车所经行最高点，距海平殆三千尺。以机器车三座推挽，始得上。沿山螺旋，蜿蜒而进。一目见三铁路，若作平行线形，亦一壮观也。车中有感，口占一绝：

四月犹为踏雪游，光明世界入双眸。
山灵知为谁辛苦，如此华年也白头。

（梁启超：《新大陆游记》）

① 温哥华：地名，在加拿大。

455.巴拿马、个郎风物

巴拿马、个郎，地逼赤道。天气四时皆炎热如溽暑。寒带之人，至此极不相宜。树木丛杂，芭蕉满山，四时不凋，故开花而成实。黄橘、青梨、波罗各果，遍山均是，尚有不知名者。土人肌理黑黝，形状粗浊，自成风俗。非有铁路火车，不易经其地也。

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

456.飞　　鱼

舟至古巴岛口岸外，海面有似小鸟而结队纷飞者，因以为凫鹭之类。船主曰：此飞鱼也。以远镜视之，不甚明白。嗣有飞于近船者，始知为鱼。其飞，离水不逾丈，长不逾尺。望之如蜻

蜓，盖四翼也。舟人获其一，以药水制之不朽，随以相赠，即① 而视之，则前翅生于胁，而较他鱼为倍长，后翅稍短，然他鱼亦不能如此长也，宜其能飞。

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

① 即：靠近。

457.古　　巴

古巴者，西印度群岛中最大之岛也。……古巴系戈能布① 第一次过海觅得之地。初到时，土人称其地曰“古巴”。而戈能布自号其“瓦拏”，即日斯巴尼亚② 当时皇子之名也。屡更屡变，继而仍号古巴。查得此地之时，只土人居住，戈能布领欧罗巴人麟集麇至，人民日见其多。土人软弱，用以为奴，耕种田土，有因天花死者，有因瘟疫传染死者，有难受种田之苦而自尽者，有逃至他方者，户口殆尽。嗣用亚非利加之黑人以补其缺，地遂归日国专主。后复由古巴百姓经理，时时贩卖奴仆，兼复虐待华人。英国立法示禁，但至今俱不照约而行也。

（阙名：《墨洲杂记》）

① 戈能布：即哥伦布，意大利航海家。
② 日斯巴尼亚：即西班牙。

458.茶　　会

该岛风俗，喜交际，乐宴会。每礼拜辄一为茶会，以延亲友，男女迭① 为宾主，少长咸集。或曰藉以聚会，相择为婚。凡

为茶会，约夜间八点钟起，夜半始散，大茶会则彻宵达旦。赴会者，男则整齐修洁，高帽黑衣；女则胸背半露，蜂腰长裙。堂上灯色辉煌，铺置整丽。设长筵、陈酒果，随意就筵前饮食。座有洋琴，或弹，或唱，或跳舞，各得其乐。主人或自歌弹，或演杂剧以娱宾。其跳舞之法，有一偶同跳者，男女互抱，旋舞于室；有四偶和跳者，不搂腰而交相握手，肩摩踵接，如演礼状，乐停舞止，为一齣。十一、二岁女子，均得同群跳舞，父母不之禁……。至其设会，均以女子为主客②，家无女子，辄假比邻戚属庖代③，以助兴趣。

（谭乾初：《古巴杂记④》）

① 迭：更替、轮流。

② 主客：封建时代官名，负责对外接待应对事宜，清朝末年，废。这里指负责接待客人。

③ 庖代：代别人作事。

④ 谭乾初，字子刚，清末广东顺德人。光绪四年（1878），陈兰彬出使美、日（西班牙）、秘三国时，随同前往，任英文翻译。翌年，任驻古巴总领事，此书杂记作者在古巴时的见闻。

459.在古巴观斗牛

斗牛者，人与牛斗。其场以木板为之，形如圆月，内设客位十余层，每层数十位，以便观者。中设圆围，令牛斗于其内。号筒一响，斗牛者或骑或步，分队而出。骑者长矛甲靴，步者花衣红帕。所骑之马，以布蔽目，使临敌不退。步者引牛以帕，牛见帕则逐，骑者持枪以刺之。（牛常被刺跳出场外，观者多为所伤。）盖骑者以马为护身符，步者以帕，为活命计，牛则自顾其身，人则自顾其命，惟马则茫无所见，任人驱策，牛角一起，则马肠迸出，马命休矣！每斗一牛，往往毙四、五马。每毙一马，则观者拍掌欢呼。马伤愈多，人心愈快。约一点钟之久，杀牛者

方出，右手持剑，左手持帕，向牛脑迎面刺去，牛则迎刃而倒。观者或拍掌助兴，或掷帽以颂其奏技之巧，或赏以钱物，以为天下未有如此之神技，未有如此之乐事也。

（谭乾初：《古巴杂记》）

460.斗　　鸡

斗鸡者，法以雄鸡两头，大小轻重，彼此权衡，肥瘦强弱，两相比较，或博三四金，或百数十金。鸡爪削如尖刀，以助其威。其斗之势，颇类中国斗鹌鹑。惟场中狭隘，人声鼎沸，无非粗俗之徒，不及斗鹌鹑之雅观也。

（谭乾初：《古巴杂记》）

461.斗　　人

斗人者，必因两人不睦，各执一是，外人有不能解释者，始各择证人一名，医士一名，契友① 一名（即中国换帖者），订约斗于何日何处，用何军器，各立誓词，言此事出于情愿，生死于人无尤等语。斗法，有以伤为止，有以死为止。（如以死为止者，不用医士相随），然凡有此斗，均秘不外传，泄则恐事不成，虽父母至亲，亦事后始悉也。此风官民皆有之，国例严禁，但既立有自愿誓词，亦听之而已。

（谭乾初：《古巴杂记》）

① 契友：好朋友。

462.契　　神

生男产女，辄契一神①（俗名洗头），将本神之名以名其子，倩②最深交者为之主契，名曰契父。如遇本神之诞，举家庆贺，一若中国贺生日者。国中遇有大神诞③，皆放炮升旗以致贺，官不理事，至遇国王、太子等所契之神诞日，官绅与列国领事等，均赴总督衙门致贺。

（谭乾初：《古巴杂记》）

① 契一神：契合于一位神灵。意即（把小孩）托付于神，求得神的庇护。
② 倩：请。
③ 诞：诞辰。

463.相见之礼

岛俗，相见之礼：凡男见男，或男见女，均免冠鞠躬执手（外国皆然）；女见女，初交者，起迎握手，深交者接唇搂腰。女子不起迎送男客。女客至，男女均立迎，识面者，与之握手，否则候众坐则坐。告别礼亦如之。女子出入，必有父母兄弟或其夫相随，方为合礼……。

（谭乾初：《古巴杂记》）

464.华侨在古巴

华人之来，始于一千八百四十七年（即道光廿六年）。合同以八年为期，每月工银四圆，期满任由自主。不料抵岸后待之如

牛马，卖入糖寮，每月工银给以银纸，期满复勒帮工。日未出而起，夜过半而眠。所食粗粟大蕉，所穿短褐不完。稍有违命，轻则拳打足踢，重则收禁施刑。或私逃匿，则置之死地，或交官工所，迫作苦工，或由官工所发售。狠毒苛刻，擢发难数①。……查例凡在本岛居住者，不论何项人等，均须领有行街纸，方能出入。华人欲领行街纸，必有工主之满身纸呈递，方准发给，各工主藉此权利，故于华人满工后，不肯发给满身纸，更勒再立合同，名曰帮工，多有帮至数次，仍不能满其所欲者，缘工期已满之人，每月可获工金二、三十圆至五、六十圆不等，工主惟利是视，故诸多留难。岛中沿途皆设有巡差，各埠均设有官工所，如无行街纸者，即以逃工论，拘禁官工所，使其修桥整路，当一切苦工，以待原主寻认，日久无人寻认，即由官发卖。坐是②，华人永无自立之日矣！

（谭乾初：《古巴杂记》）

① 擢发难数：《史记·范雎蔡泽列传》："范雎曰：'汝罪有几？'（须贾）曰：'擢贾之发，以续贾之罪，尚未足'。"后因以"擢发难数"比喻罪行多得无法计算。

② 坐是：因此。

465.秘鲁田寮，虐待华人

（光绪十五年十一月）二十九日，到秘鲁都城。查得秘鲁田寮，虐待华人，督工者鞭挞，晚则锁脚置于黑监。工期已满，仍复捎留，擅造合同，强掳入寮。工作日夜不息，私刑拷打。合同已满，又复转批数年。秘鲁之战，杀戮尤多。

（崔国因：《出使美日秘国日记》）

466.嘉罗连的雅森神

东半球之太平洋，有群岛焉，名曰嘉罗连，乃西班牙所属也。岛中有屿，名雅森神。地虽褊小，然自吕宋航海至此，沿途所经，以是屿为最。屿中地土肥美，草木丛茂，一屿之广，无荒土焉。屿之滨，积砂成滩，怪石峻岩，别饶古致。地分五部落，土著约五千人，余俱别国种类，约五十名。或因传教而来，或由通商而至，亦有渔船失事留寓此间者。耦居无猜，浑浑噩噩，犹有太古遗风。……岛之人，名曰嘉拏家士，面貌浅黄，形容古怪，不知耕织，平时剥椰皮为衣，编叶为裳，如上古衣毛茹血状。惟当阴雨连绵，气候寒冻，则觅洋人旧衣御寒，亦可怜矣。土人亦尚修饰，而非衣服珍宝之类也。法以利刃雕镂其身，为花草楼台人物诸状，入以颜色，艳丽可观，色以黄蓝为上。殆所谓文身之俗欤！性喜穿耳，惟所戴双环而外，或缀奇花，或系烟袋诸物，他人见之，恒以为苦，彼固怡然自得。盖习惯使然也。妇人修饰与男子异，男子雕刻，多在上身，妇人多在小腹及两足。其刀法之工，颜色之美，如锦簇花团，虽写生妙手，无复出其右者。奇观哉！又性喜穿靴，靴色尚红，著后永不复脱，直至破烂而后已。所最异者，男女身肤，涂抹膏油，污秽不洁，臭气扑鼻，令人闻之欲呕。……婚姻一事，男子作主。在室之女，任自施为，无所拘束。及嫁后，则为夫所制役，如奴婢，痛苦不堪矣。岛中刑罚甚重，犯者自十八岁至二十岁，割其手足之半，若自四十至五十岁犯事，则尽斫去之，惨刻极矣。

（阙名：《海外群岛记①》）

① 著者姓名不详。《海外群岛记》记太平洋嘉罗连群岛的情况。

467.澳大利亚概貌

东南洋海中有大岛，曰澳大利亚，即粤人所呼为“新金山”也。现属英国。始载于《职方外纪》①，谓之为天下第五大洲。土地广大，为东南洋诸岛之冠。数百年前，为人迹所不到，野番兽处②，亘古昏蒙。明时西班牙王遣使臣墨瓦兰环海探地，既得亚墨利加两土，侈心③不已，展转西寻，忽见大地，以为搜奇天外别一乾坤，不知地球圜转，已至亚西亚④之东南洋矣。其地荒秽无人迹，入夜磷火乱飞。以是西班牙人虽得之，未尝经营之也。后荷兰人东来，即于海滨建设埔头，名之曰澳大利亚，又称新荷兰。旋为法兰西所夺，寻以穹荒弃之，于是始为英人属土，因其地之广，坚意垦辟，流徙罪人于此，为屯田计，贫民无业愿往者，即载之来，他国之民，愿受一廛者⑤，亦听之。久之，遂成都会。

（阙名：《新金山记⑥》）

① 《职方外记》：书名，共五卷，成书于明朝天启年间。书中前面有《万国全图》，分世界为五大洲。后附《四海总说》。

② 野番兽处：未开化的土人，如野兽般生活在那里。

③ 侈心：野心。侈，张大。

④ 亚西亚：亚细亚。

⑤ 愿受一廛者：指希望在那里定居的人。语见《孟子·滕文公上》：“有为神农之言者许行，自楚之滕，踵门而告文公曰：‘远方之人，闻君行仁政，愿受一廛而为氓（希望得到一个住所，做您的百姓）。”廛，老百姓的住房。

⑥ 著者姓名不详。《新金山记》记述澳大利亚的某 情况。

468.新金山土人

其地土人极寥落，……面色尽黑，如摩鲁隅人种类。蓬首裸

体，所食仅树根山果，巢木而居，几如上古穹荒之世。年来附近土人略晓英语，招其工作，颇尽力，而一饱之后，即复飏去①。故须少与之食，然闭置室中，三、四日后，即闷而求出。与之银，亦不识多寡。盖山林野性，非复可羁而驯也。……昔西国有二十余人，与之遇，初则佯为服役，比入深岛，皆突起攻噬，寝皮剥肤，并饱其腹，计仅脱六人。一随去童子，约十岁许，面稍黑，以为此乃己类，令坐兜篮中，舁之往游各山巅，供其饮食，不复杀。又见一檀香树，围可一亩许，枝叶扶疏，青葱可爱，折其枝焚之，香闻数里，土人全家巢其巅焉。西人许多与之金，购此树，土人弗愿也。曰：此累累者，饥不可食，寒不可衣，而我侪居此树，长子孙、成家室者数世矣，叶可蔽风雨，枝可供炊爨，岂肯以有用易无用哉！呜呼！迹其不识不知，无思无虑，真无怀氏之民欤！葛天氏之民欤②！

（阙名：《新金山记》）

① 飏去：跑掉。

② “无怀氏之民欤”二句：无怀氏和葛天氏都是我国传说中的上古帝王。《路史·禅通记》说，无怀氏之民，“甘其食，乐其俗，安其居而重其生意，形有动作，心无好恶，老死不相往来。”葛天氏之治，“不言而自信，不化而自行。”意谓当时社会风气淳朴，无为而治。作者把新金山土人比作那个时代的人。

〔附　录〕

引用书目

（以第一字笔画数为序）

1. 三述奇（清　张德彝）
2. 三洲游记（阙名）
3. 大唐西域记（唐　玄奘）
4. 天外归槎录（清　潘飞声）
5. 日本日记（清　罗森）
9. 日本杂记（阙名）
7. 日本纪游（清　李筱圃）
8. 日本考略（清　龚柴）
9. 日本杂事诗（清　黄遵宪）
10. 中山纪略（清　张学礼）
11. 中山传言录（清　徐葆光）
12. 五印度论（清　徐继畬）
13. 东游记（清　吴钟史）
14. 东游日记（清　黄庆澄）
15. 东游日记（清　王之春）
16. 东游管见（清　谭襄云）
17. 东南洋记（清　陈伦炯）
18. 东槎闻见录（清　陈家麟）
19. 东土耳其考略（清　龚柴）
20. 归国日记（清　王詠霓）
21. 印度考略（清　龚柴）
22. 印度劄记（清　钱德培）
23. 出使琐记（清　蔡钧）
24. 出使九国日记（清　戴鸿慈）
25. 出使四国日记（清　薛福成）
26. 出使美日秘国日记（清　崔国因）
27. 古巴杂记（清　谭乾初）
28. 西使记（元　刘郁）
29. 西辅日记（清　黄楙材）
30. 西洋番国志（明　巩珍）
31. 西海纪行卷（清　潘飞声）
32. 西南夷风土记（明　朱孟震）
33. 再述奇（清　张德彝）
34. 安南杂记（清　李仙根）
35. 安南纪游（清　潘鼎珪）
36. 异域志（元　周致中）
37. 异域录（清　图理琛）
38. 地兰士华路考（阙名）
39. 扶桑游记（清　王韬）
40. 酉阳杂俎（唐　段成式）
41. 佛国记（晋　法显）
42. 苏禄纪略（清　叶羌镛）
43. 阿拉伯考略（清　龚柴）
44. 初使泰西记（清　志刚）
45. 使东杂咏（清　何如璋）

46. 使东述略（清　何如璋）
47. 使西纪程（清　郭嵩焘）
48. 使西域记（明　陈诚）
49. 使英杂记（清　张德彝）
50. 使法日记（清　张德彝）
51. 使美纪略（清　陈兰彬）
52. 使俄日记（清　张德彝）
53. 使琉球记（清　李鼎元）
54. 环游地球新录（清　李圭）
55. 欧游杂录（清　徐建寅）
56. 欧游随笔（清　钱德培）
57. 欧洲十一国游记（清　康有为）
58. 岛夷志略（元　汪大渊）
59. 波斯考略（清　龚柴）
60. 英轺私记（清　刘锡鸿）
61. 癸卯旅行记（清　钱单士厘）
62. 星槎胜览（明　费信）
63. 南洋记（清　陈伦炯）
64. 南洋述遇（阙名）
65. 俄游日记（清　缪祐孙）
66. 俄罗斯水道记（清　缪祐孙）
67. 柔佛略述（阙名）
68. 高丽风土记（阙名）
69. 游历笔记（阙名）
70. 游历日本余记（清　傅云龙）
71. 游历高丽王城记（清　吴钟史）
72. 海语（明　黄衷）
73. 海岛逸志（清　王大海）
74. 海国闻见录（清　陈伦炯）
75. 海外群岛记（阙名）
76. 袖海篇（清　汪鹏）
77. 琉球朝贡考（清　王韬）
78. 诸蕃志（宋　赵汝适）
79. 真腊风土记（元　周达观）
80. 乘槎笔记（清　斌椿）
81. 航海述奇（清　张德彝）
82. 涉洋管见（清　袁祖志）
83. 弹丸小记（清　龚柴）
84. 探地记（清　王韬）
85. 朝鲜考略（清　龚柴）
86. 朝鲜杂述（清　许午）
87. 朝鲜风土记（阙名）
88. 朝鲜风俗记（清　薛培榕）
89. 朝鲜风土略述（清　吴钟史）
90. 越南游记（清　李仙根）
91. 缅甸考略（清　龚柴）
92. 缅藩新记（阙名）
93. 辖轩纪事（明　姜曰广）
94. 新金山记（阙名）
95. 新大陆游记（清　梁启超）
96. 漫游随录（清　王韬）
97. 随使日记（清　张德彝）
98. 暹罗考（阙名）
99. 暹罗考略（清　龚柴）
100. 暹罗别记（清　季麒光）
101. 墨洲杂记（阙名）
102. 瀛海胜览（明　马欢）

责任编辑：王培德
封面题字：李可染
封面设计：尚佩芸

统一书号：11193·0454
定　　价：2.50 元